# 元総社蒼海遺跡群(13)

前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

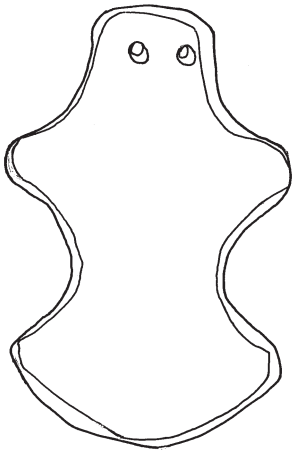
２００８．３

前橋市埋蔵文化財発掘調査団

# 元総社蒼海遺跡群(13)

前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う

埋蔵文化財発掘調査報告書



4 区　J－1 号住居跡出土土偶

2008.3

前橋市埋蔵文化財発掘調査団

1・3～6区遠景（南東から榛名山を望む）

3～6区全景（上が北）

7区全景（東から）

9区全景（西から）

4区　Ｊ－１号住居跡出土土偶

元総社蒼海遺跡群(13) 出土三彩・緑釉陶器

# はじめに

前橋市は、関東平野の北西部に位置し、名山赤城山を背に利根川や広瀬川が市街地を貫流する、四季折々の風情に溢れる県都です。市域は豊かな自然環境に恵まれ、２万年前から人々が生活を始めました。そのため市内のいたる所に人々の息吹を感ぜられる歴史遺産が存在します。

古代において前橋台地には、広大に分布する穀倉地帯を控え、前橋天神山古墳などの初期古墳をはじめ王山古墳・天川二子山古墳といった首長墓が連綿と築かれ、上野毛の国の中心地として栄えました。また、続く律令時代になってからは総社・元総社地区に山王廃寺、国分僧寺、国分尼寺、国府など上野国の中枢をなす施設が次々に造られました。

中世になると、戦国武将の長尾氏、上杉氏、武田氏、北条氏が鎬をけずった地として知られ、近世においては、譜代大名の酒井氏、松平氏が居城した関東三名城の一つに数えられる厩橋城が築かれました。

やがて近代になると、生糸の一大生産地であり、横浜港から前橋シルクの名前で遠く海外に輸出され、日本の発展の一翼を担いました。

今回、報告書を上梓する元総社蒼海遺跡群(13) は古代上野国の中枢地域の調査であります。上野国府推定区域に隣接することから、調査成果に多くの注目を集めております。今回の調査では、国府そのものに関連する遺構の検出はかないませんでしたが、古墳時代から平安時代にいたる多くの竪穴式住居跡を検出しました。今は一本の糸に過ぎない調査成果も織り上げて行けば、国府や国府のまちの姿を再現できるものと考えております。残念ながら、現状のままでの保存が無理なため、記録保存という形になりましたが、今後、地域の歴史・前橋の歴史を解明する上で、貴重な資料を得ることができました。

最後になりましたが、この調査事業を円滑に進められたのは、関係機関や各方面のご配慮の結果といえます。また、猛暑・寒風の中、直接調査に携わってくださった担当者・作業員のみなさんに厚くお礼申しあげます。

本報告書が斯学の発展に少しでも寄与できれば幸いに存じます。

平成20年３月

前橋市埋蔵文化財発掘調査団
団　長　　**砂　川　次　郎**

# 例　　言

1．本報告書は、前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う元総社蒼海遺跡群(13) 発掘調査報告書である。

2．調査主体は、前橋市埋蔵文化財発掘調査団である。

3．発掘調査の要項は次のとおりである。

| | |
|---|---|
| 調　査　場　所 | 群馬県前橋市元総社町1564番ほか |
| 発 掘 調 査 期 間 | 平成19年５月16日～平成19年12月21日 |
| 整理・報告書作成期間 | 平成19年12月25日～平成20年３月14日 |
| 発 掘 ・ 整 理 担 当 者 | 山下歳信・阿久澤真一・神宮　聡・清水亮介（発掘調査係員） |

4．本書の原稿執筆・編集は阿久澤・神宮・清水が行った。

5．発掘調査・整理作業にかかわった方々は次のとおりである。

青木昭二郎・阿部シゲ子・伊藤修道・井上和久・植木政俊・神澤とし江・北爪啓子・斉藤頼江・杉渕富雄・高橋公代・多田啓子・角田節子・角田昌幸・勅使川原幸枝・登坂うた子・友永　茂・中山　昭・長澤幸枝・中林美智子・中矢のり子・奈良啓子・萩原秀子・橋本　茂・橋本ちづる・細野進太郎・堀込とよ江・森下陽介・弥郡啓吾・山口淳子

6．発掘調査で出土した遺物は、当発掘調査団より前橋市教育委員会に保管を依頼し、前橋市教育委員会文化財保護課で保管されている。

# 凡　　例

1．挿図中に使用した北は、座標北である。

2．挿図に国土地理院発行の1：200,000地形図（宇都宮、長野）、1：25,000地形図（前橋）、1：6,000前橋市現形図を使用した。

3．本遺跡の略称は、19Ａ130－13である。

4．遺構及び遺構施設の略称は、次のとおりである。

Ｊ…縄文時代の竪穴住居跡　　Ｈ…古墳・奈良・平安時代の竪穴住居跡　　Ｔ…竪穴状遺構
Ｂ…掘立柱建物跡　　Ｋ…工房跡　　Ｗ…溝跡　　Ａ…道路状遺構　　ＪＤ…縄文土坑　Ｄ…土坑
ＤＢ…土壙墓　Ｐ…ピット・貯蔵穴（住居内$P_5$を貯蔵穴とした。）　Ｘ…性格不明遺構　Ｏ…風倒木跡

5．遺構・遺物の実測図の縮尺は、原則的に次のとおりである。その他、各図スケールを参照されたい。

遺構　　全体図…1/200　　住居跡・竪穴状遺構・溝跡・土坑・ピット…1/60　　竈・炉断面図…1/30
遺物　　土器・鉄製品…1/3・1/4　　石器・石製品・土製品…2/3・1/3　　鉄器・鉄製品…1/2　　瓦…1/6

6．計測値については、(　　) は現存値、[　　] は復元値を表す。

7．セクション注記の記号は、締まり・粘性の順で示し、それぞれ以下のように表現する。

◎ 非常に締まり・粘性あり、○ 締まり・粘性あり、△ 締まり・粘性ややあり、× 締まり・粘性なし
なお、セクション注記と遺物観察表の色調について新版標準土色帳（小山・竹原1967）を基準とした。

8．遺構平面図の-------は推定線を表す。

9．スクリーントーンの使用は、次のとおりである。

遺構平面図　　焼土…
遺構断面図　　構築面…
遺物実測図　　須恵器断面…　灰釉陶器断面…　灰釉陶器表面…
緑釉陶器断面…　三彩釉陶器断面…
漆付着…　煤付着…

10．主な火山降下物等の略称と年代は次のとおりである。

As-B　　（浅間Ｂ軽石：供給火山・浅間山、1108年）
Hr-FP　　（榛名二ッ岳伊香保テフラ：供給火山・榛名山、６世紀中葉）
Hr-FA　　（榛名二ッ岳渋川テフラ：供給火山・榛名山、６世紀初頭）
As-C　　（浅間Ｃ軽石：供給火山・浅間山、４世紀前半～中葉）

# 目　次

序 …… i

Ⅰ 調査に至る経緯 …… 1

Ⅱ 遺跡の位置と環境

1 遺跡の立地 …… 1

2 歴史的環境 …… 1

Ⅲ 調査方針と経過

1 調査方針 …… 7

2 調査経過 …… 7

Ⅳ 基本層序 …… 16

Ⅴ 遺構と遺物 …… 17

Ⅵ まとめ …… 68

# 図　　版


口絵　1　1・3～6区遠景（南東から榛名山を望む）
2　3～6区全景（上が北）
3　7区全景（東から）
4　9区全景（西から）
5　4区Ｊ－1号住居跡出土土偶
6　元総社蒼海遺跡群(13) 出土三彩・緑釉陶器

ＰＬ.1　1区Ｈ－1～3・5・7号住居跡
2　1区Ｈ－4・6号住居跡、Ｗ－2号溝跡、ＪＤ－1号縄文土坑、2区Ｈ－1号住居跡
3　2区Ｈ－2号住居跡、3区全景、4区Ｊ－1・3住居跡、ＪＤ－4号土坑、Ｈ－1号住居跡
4　4区Ｈ－1～4号住居跡、JD－3号土坑
5　4区Ｈ－4～6号住居跡、Ｗ－2号溝跡、ＪＤ－1・6、Ｄ－4・5号土坑
6　4区ＪＤ－5号土坑、5区Ｈ－1～3・5～11号住居跡、Ｗ－1・2号溝跡
7　6区Ｈ－1～3・7号住居跡
8　6区Ｈ－4～6号住居跡、Ｄ－1号土坑
9　7区Ｈ－1・2・4～7号住居跡
10　7区Ｈ－9～11号住居跡
11　7区Ｈ－12·13·15～19号住居跡
12　7区20～23号住居跡、8区Ｈ－1号住居跡、Ｗ－1号溝跡
13　9区Ｈ－1・3～5・7号住居跡、Ｔ－1号竪穴状遺構、Ｗ－2・5号溝跡、Ａ－2号道路状遺構
14　10区Ｈ－1・2号住居跡、11区全景
15　11区Ｈ－2～4・6・8～10号住居跡
16　11区Ｈ－8～12·16·18号住居跡
17　11区Ｈ－12·18·20～22号住居跡、Ｋ－1工房跡、Ｄ－27号土坑、Ｐ－15·27号ピット
18　縄文土器(1)
19　縄文土器(2)
20　縄文土器(3)
21　縄文土器(4)、弥生土器
22　1区Ｈ－1～4・6・7・10号住居跡出土遺物
23　1区Ｈ－7号住居跡、Ｗ－2号溝跡、Ｘ－1号性格不明遺構、2区Ｈ－2号住居跡、3区Ｈ－1号住居跡、4区Ｈ－1号住居跡出土遺物
24　4区Ｈ－1～6・8・9号住居跡、Ｗ－2号溝跡、Ａ－1号道路状遺構、Ｄ－6号土坑、5区Ｈ－1・2号住居跡出土遺物
25　5区Ｈ－3・5・8号住居跡、Ｗ－3号溝跡、6区Ｈ－1・4・5号住居跡出土遺物
26　6区Ｈ－5～7号住居跡、Ｄ－1号土坑、7区Ｈ－2～5・7号住居跡出土遺物
27　7区Ｈ－7・9～13号住居跡出土遺物
28　7区Ｈ－18·19·22号住居跡、グリッド、8区Ｈ－1号住居跡、9区Ｈ－3号住居跡出土遺物
29　8区Ｈ－1号住居跡、9区Ｈ－1・3・5～7号住居跡、Ｗ－3号溝跡、Ｄ－3号土坑、Ｐ－1号ピット、10区Ｈ－1・2号住居跡、11区Ｈ－1・6・10·11号住居跡出土遺物
30　11区Ｈ－6・12·18·21·22号住居跡、Ｋ－1号工房跡Ｗ－1号溝跡、Ｄ－9・18·22·27号土坑出土遺物
31　11区Ｄ－29号土坑、Ｐ－13·15·27号ピット出土遺物、石器・石製品
32　鉄器・鉄製品、瓦(1)
33　瓦(2)
34　瓦(3)
35　瓦(4)


# 挿　　図


Fig.1　元総社蒼海遺跡群位置図
2　周辺遺跡図
3　元総社蒼海遺跡群位置図とグリッド設定図
4　元総社蒼海遺跡群(13) 調査区位置図
5　元総社蒼海遺跡群(13) 1・3～6区全体図
6　元総社蒼海遺跡群(13) 2・7～11区全体図
7　元総社蒼海遺跡群(13) 4区Ａ－1道路状遺構全体図
8　基本層序
9　1区Ｈ－1・2号住居跡
10　1区Ｈ－3～5号住居跡
11　1区Ｈ－6・7・10号住居跡
12　1区Ｗ－1・2号溝跡、ＪＤ－1・Ｄ－1号土坑
13　1区Ｘ－1号性格不明遺構、Ｐ－1～7号ピット
14　2区Ｈ－1・2号住居跡、Ｗ－1・2号溝跡、Ｄ－1号土坑、Ｐ－1・2号ピット
15　3区Ｈ－1号住居跡、Ｗ－1号溝跡
16　4区Ｊ－1号住居跡
17　4区Ｊ－2～4号住居跡
18　4区Ｈ－1号住居跡
19　4区Ｈ－2・3号住居跡
20　4区Ｈ－4・5号住居跡
21　4区Ｈ－6～10号住居跡
22　4区Ｗ－1～6号溝跡
23　4区Ｄ－1・2・4・5・7号土坑
24　4区Ｄ－8～11号、ＪＤ－1～4号土坑
25　4区ＪＤ－6～9号土坑、Ｂ－1掘立柱建物跡
26　5区Ｈ－1・2・5～7号住居跡
27　5区Ｈ－3・8・10号住居跡
28　5区Ｈ－9・11号住居跡、Ｗ－1～3号溝跡
29　5区ＪＤ－2～4号、Ｄ－1・3～5号土坑、Ａ－1号道路状遺構、Ｐ－1～12号ピット
30　6区Ｈ－1・2号住居跡
31　6区Ｈ－4・5号住居跡
32　6区Ｈ－6号住居跡
33　6区Ｈ－3・7号住居跡、Ｗ－1号溝跡
34　7区Ｈ－1～3・5号住居跡
35　7区Ｈ－4号住居跡
36　7区Ｈ－6・7・9号住居跡
37　7区Ｈ－10·12·14号住居跡
38　7区Ｈ－13·15·16号住居跡

39　７区Ｈ－11･17･19号住居跡
40　７区Ｈ－18･20･21･23号住居跡
41　７区Ｈ－22号住居跡、Ｔ－１～３号竪穴状遺構
42　７区Ｗ－１～３号溝跡、Ｄ－２･５～８号土坑、ＤＢ－１号土壙墓
43　８区Ｈ－１号住居跡、Ｗ－１号溝跡
44　９区Ｈ－１･６･７号住居跡、Ｔ－１号竪穴状遺構
45　９区Ｈ－３～５号住居跡
46　９区Ｗ－２～５号溝跡、ＪＤ－１～４・Ｄ－３号土坑
47　９区Ｄ－１･２･４･５号土坑、Ａ－１･２号道路状遺構
48　10区Ｈ－１･２号住居跡
49　10区Ｈ－３号住居跡、Ｗ－１～３号溝跡、Ｄ－１号土坑
50　11区Ｈ－１･２･４号住居跡
51　11区Ｈ－３･６･11･17号住居跡、Ｄ－19号土坑
52　11区Ｈ－８～10･12号住居跡
53　11区Ｈ－16･18号住居跡
54　11区Ｈ－20～22号住居跡
55　11区Ｋ－１号工房跡、Ｔ－１号竪穴状遺構、Ｗ－１号溝跡
56　11区Ｄ－１～29号土坑
57　11区Ｄ－30～46号土坑
58　11区Ｐ－３～27号ピット
59　４区Ｊ－１号住居跡出土遺物
60　４区Ｊ－１･３号住居跡出土遺物
61　４区Ｊ－４号住居跡、ＪＤ－１･３･４･６･８号土坑出土遺物
62　１区Ｈ－１～４号住居跡出土遺物
63　１区Ｈ－４･６･７･10号住居跡、Ｗ－２号溝跡出土遺物
64　１区Ｘ－１性格不明遺構、２区Ｈ－２号住居跡、３区Ｈ－１号住居跡、４区Ｈ－１･２号住居跡出土遺物
65　４区Ｈ－３～６･８･９号住居跡、Ｄ－６号土坑、Ｗ－２号溝跡、Ａ－１号道路状遺構出土遺物
66　５区Ｈ－１～３･５･７･８号住居跡、Ｗ－３号溝跡出土遺物
67　６区Ｈ－１～５号住居跡出土遺物
68　６区Ｈ－６･７号住居跡、Ｄ－１号土坑出土遺物
69　７区Ｈ－２～５･７･９～11号住居跡出土遺物
70　７区Ｈ－９･11～13･18･19･22号住居跡出土遺物
71　７区Ｈ－22号住居跡、グリッド、８区Ｈ－１号住居跡、９区Ｈ－１･３･５～７号住居跡、Ｗ－３号溝跡、Ｐ－１号ピット出土遺物
72　９区Ｗ－３号溝跡、Ｄ－３号土坑、10区Ｈ－１･２号住居跡、Ｗ－３号溝跡、11区Ｈ－１･６･10･11号住居跡出土遺物
73　11区Ｈ－12･18･21･22号住居跡、Ｋ－１号工房跡、Ｗ－１号溝跡、Ｄ－９･18･27･29号土坑出土遺物
74　11区Ｄ－29号土坑、Ｐ－13･15･27号ピット出土遺物、三彩・緑釉陶器
75　石器・石製品・土製品・鉄器・鉄製品(1)
76　鉄器・鉄製品(2)
77　瓦(1)
78　瓦(2)

# 表

Tab.1　元総社蒼海遺跡群周辺遺跡概要一覧表
2　竪穴住居跡・竪穴状遺構一覧表
3　溝跡計測表
4　土坑・ピット計測表
5　縄文時代出土土器観察表
6　弥生時代出土土器観察表
7　古墳・奈良・平安時代出土土器観察表
8　三彩・緑釉陶器観察表
9　石器・石製品・土製品観察表
10　鉄器・鉄製品観察表
11　瓦観察表

# Ⅰ　調査に至る経緯

本発掘調査は、前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴い実施され、８年目にあたる。本調査地は、周辺で埋蔵文化財調査が長年に渡って行われていることから、遺跡地であることが確認されている。

平成19年４月17日付けで、前橋市長　高　木　政　夫より前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査の依頼が前橋市教育委員会に提出された。前橋市教育委員会ではこれを受け、内部組織である前橋市埋蔵文化財発掘調査団　団長　砂　川　次　郎に対し、調査実施について協議を行い、調査団はこれを受諾した。平成19年５月７日、調査依頼者である前橋市長　高　木　政　夫と前橋市埋蔵文化財発掘調査団　団長　砂　川　次　郎との間で、本発掘調査の委託契約を締結し、５月16日に現地での発掘調査を開始するに至った。

なお、遺跡名称「元総社蒼海遺跡群(13)」（遺跡コード：19A130-13）の「元総社蒼海遺跡群」は区画整理事業名を採用し、数字の「(13)」は過年度に発掘調査を実施した遺跡と区別するために付したものである。

# Ⅱ　遺跡の位置と環境

## １　遺跡の立地

前橋市は、利根川が赤城・榛名の両火山の裾合を経て関東平野を望むところに位置し、地形・地質の特徴から、北東部の赤城火山斜面、南西部の前橋台地利根川右岸、南部から南西部にかけての前橋台地の利根川左岸、東部の広瀬川低地帯という４つの地域に分けられる。

本遺跡の立地する前橋台地は、約24,000年前の浅間山噴火によって引き起こされた火山泥流堆積物とそれを被覆するローム層（水成）から成り立っている。台地の東部は、広瀬川低地帯と直線的な崖で画されていて、台地の中央には現利根川が貫流している。現在の利根川の流路は中世以降のもので、旧利根川は現在の広瀬川流域と推定される。台地の西部には榛名山麓の相馬ヶ原扇状地が広がり、榛名山を源とする中小河川が利根川に向かって流下し、台地面を刻んで細長い微高地を作り上げている。総社・元総社付近の染谷川や牛池川は、微高地との比高３ｍ～５ｍを測り、段丘崖上は高燥な台地で、桑畑を主とした畑地として利用されてきた。

本遺跡は、前橋市街地から利根川を隔て、西へ約３㎞の地点、前橋市元総社町地内に所在している。南東へ約１㎞の所に上野国総社神社があり、すぐ西には関越自動車道が南北に走っている。さらに、遺跡地の南側には国道17号線、主要地方道前橋・群馬・高崎線が東西に走り、東側には市道大友・石倉線が南北に走り、これらの幹線道路を中心にオフィスビルや大規模小売店が進出している。本遺跡はこれらの幹線道路から奥に入ったところに位置し、周囲には田畑が多い住宅地という静かで落ち着いた環境である。

## ２　歴史的環境

本遺跡地周辺には、古墳時代後期から終末までの上野地域と中央政権との関連をうかがわせる総社古墳群と山王廃寺、古代の中心地であった上野国府、さらに、中世には長尾氏により国府の堀割を利用し築かれたとされる蒼海城があり、歴史的環境に優れている。周辺の埋蔵文化財発掘調査によって、これまで連綿と続いてきた歴史を物語る多くの新しい知見が集積されている。

縄文時代の遺跡としては、前期・中期の集落跡が検出された産業道路東・西遺跡や上野国分僧寺・尼寺中間地域が筆頭に挙げられ、縄文文化を考える上で重要な資料といえる。

弥生時代の調査例は少ない。当時の稲作の様子を示す水田・集落跡等が検出された日高遺跡、後期住居跡が検

Fig. 1　元総社蒼海遺跡群位置図

出された上野国分僧寺・尼寺中間地域や桜ヶ丘遺跡、下東西遺跡等に散見するだけである。

古墳時代に入ると、本遺跡の北東に市内でも有数の古墳地帯である総社古墳群が広がる。総社古墳群を代表するものには、前方後円墳である遠見山古墳、川原石を用いた積石塚である王山古墳、前方部と後円部にそれぞれ横穴式両袖型の石室が築造された前方後円墳の総社二子山古墳、両袖型横穴式石室をもつ方墳の愛宕山古墳、県内古墳最終末期と考えられ仏教文化の影響を強く受けた方墳の宝塔山古墳があり、この地域と中央との関係を考えるうえで重要な意味をもつ古墳群といえる。また、宝塔山古墳の南西500mには白鳳期の建立と考えられる山王廃寺跡（放光寺）がある。さらにこの寺の塔心礎や石製鴟尾、根巻石等の石造物群は、宝塔山古墳の石棺や蛇穴山古墳の石室と同系統の石造技術を駆使して加工されている。これらのことから、この寺は上野地域を治めていた「上毛野氏」の氏寺であり、この古墳群には「上毛野氏」一族が葬られているとも考えられている。これらから、この地が「車評」の中心地として、仏教文化が古墳文化と併存しながら機能していた様子が窺える。なお、平成18年度から５カ年計画で「山王廃寺範囲内容確認調査」が実施され、平成19年度では、「金堂」の版築基壇や「回廊」の西側礎石が確認された。

奈良・平安時代になると、上野国府、国分僧寺、国分尼寺の建設と相まって、本地域は古代の政治的・経済的・文化的中心地としての様相を呈してくる。律令期における国司の政治活動拠点で地方を統治する機能をもつ国府は、元総社地区に置かれたとされる。

国府に関連する遺跡には、県下最大級の掘立柱建物跡が検出された元総社小学校校庭遺跡や「國厨」「曹司」「国」「邑厨」等と書かれた墨書土器や人形が出土した元総社寺田遺跡、律令期の掘立柱建物跡と考えられる柱穴が検出された元総社宅地遺跡がある。また、国府域の推定を可能にした大規模な東西方向の溝跡が検出された閑泉樋遺跡や元総社蒼海遺跡群（7）（9）（10）と南北方向の溝跡が検出された元総社明神遺跡の調査成果により、国府域の東北外郭線が想定されるに至った。さらに、周辺遺跡からは、官人が用いたと考えられる円面硯、巡方（腰帯具）、緑釉陶器も出土し、国府について考えるうえで貴重な資料となっている。

国分僧寺は大正15年に国指定史跡となり、昭和40年代から部分的ながら調査が進められるようになった。本格的な発掘調査は昭和55年12月から始まり、主要伽藍の礎石、築垣、塀等が確認されている。さらに、国分尼寺の調査では、昭和44・45年に推定中軸線上のトレンチ調査が行われ伽藍配置が推定できるようになった。さらに平成12年に前橋市埋蔵文化財発掘調査団で南辺の寺域確認調査を行い、東南隅と南西隅の築垣、それと平行する溝跡や道路状遺構が確認された。国分僧寺、国分尼寺周辺では、関越自動車道建設に伴う発掘調査が行われ、上野国分僧寺、尼寺中間地域では、当時の大規模な集落跡や掘立柱建物群が検出されている。

また、群馬町（現高崎市）の調査等により、本遺跡から約1.5km 南の地点にＮ－64°－Ｅ方向の東山道（国府ルート）があることが推定されている。推定日高道は、日高遺跡で検出された幅約4.5mの道路状遺構を国府方面へ延長したものである。これらは、当時の交通網を物語る重要な遺構である。

中世に至り、永享元年（1429）、上野国守護代の長尾氏によって古代国府跡に築かれた蒼海城は城郭としての機能を有し県内でも最古級に位置づけられる。しかも、県下最初の城下町を形成したと考えられている。蒼海城の縄張りは国府と関係が深く、現在の本地域の主要道路はこの縄張りに沿って造られていると推測される。

このように歴史的に重要な役割を果たしてきた総社・元総社地区であるが、その中でも上野国府が所在したと推定される元総社地区は注目される地域の一つである。元総社蒼海土地区画整理事業に伴い、平成11年より継続的に本地域の発掘調査が行われている。これにより、手付かず状態であった本地域の全容が明らかになっていくであろう。今後、この調査の進捗によって、上野国府や蒼海城が解明されていくことを期待する。

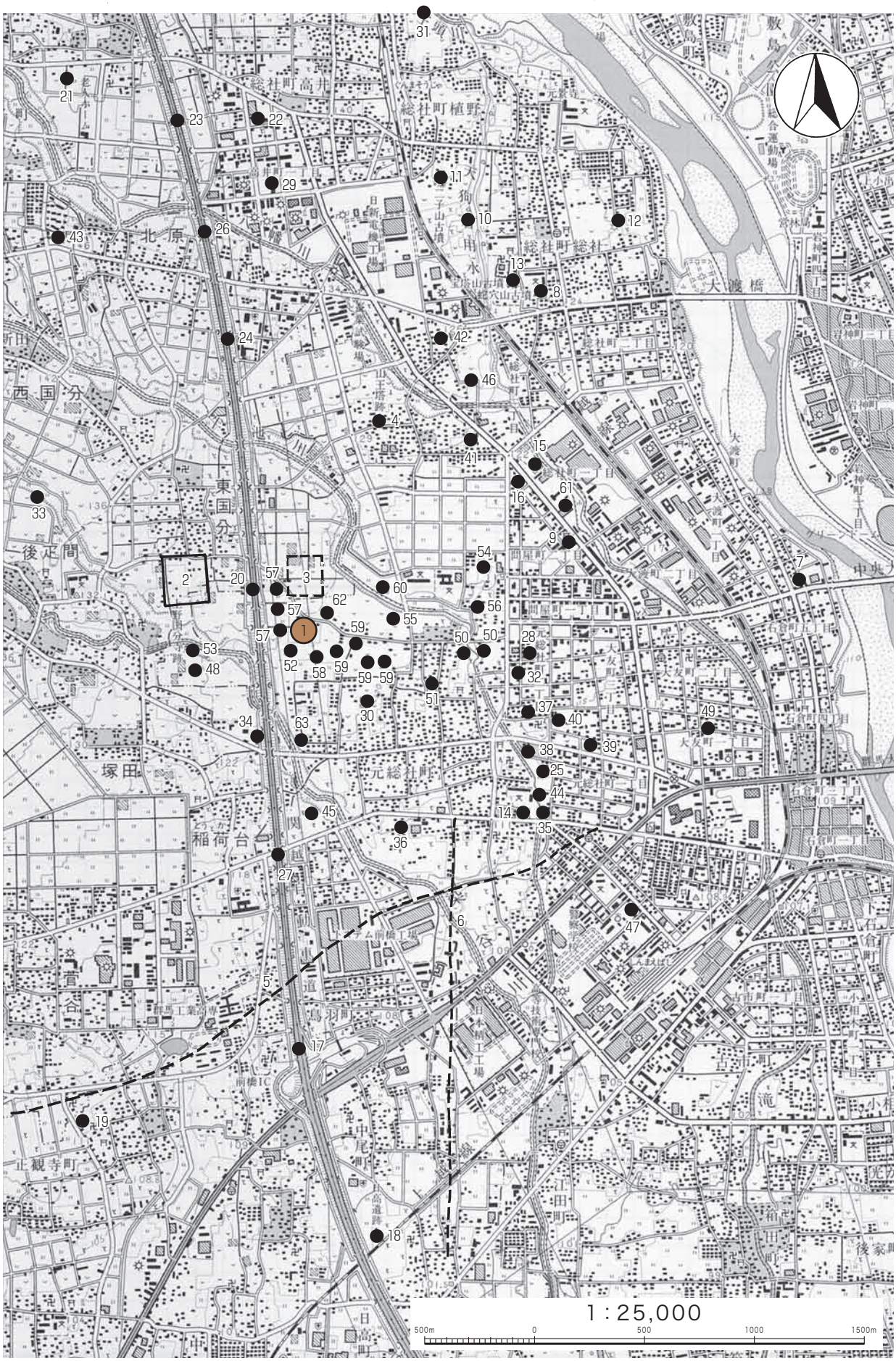



Fig. 2　周辺遺跡図

Tab. 1　元総社蒼海遺跡群周辺遺跡概要一覧表

| 番号 | 遺　跡　名 | 調査年度 | 時 代 ： 主 な 遺 構 ・ 出 土 遺 物 |
|---|---|---|---|
| 1 | 元総社蒼海遺跡群(13) | 2007 | 本遺跡 |
| 2 | 上野国分寺跡（県教委） | 1980～88 | 奈良：金堂基壇・塔基壇 |
| 3 | 上野国分尼寺跡 | (1999) | 奈良：西南隅・東南隅築垣 |
| 4 | 山王廃寺跡 | (1974) | 古墳：塔心礎・根巻石 |
| 5 | 東山道（推定） | | |
| 6 | 日高道（推定） | | |
| 7 | 王山古墳 | 1972 | 古墳：前方後円墳（６Ｃ中） |
| 8 | 蛇穴山古墳 | 1975 | 古墳：方墳（８Ｃ初） |
| 9 | 稲荷山古墳 | 1988 | 古墳：円墳（６Ｃ後半） |
| 10 | 愛宕山古墳 | 1996 | 古墳：円墳（７Ｃ初） |
| 11 | 総社二子山古墳 | 未調査 | 古墳：前方後円墳（６Ｃ末～７Ｃ初） |
| 12 | 遠見山古墳 | 未調査 | 古墳：前方後円墳（５Ｃ後半） |
| 13 | 宝塔山古墳 | 未調査 | 古墳：方墳（７Ｃ末） |
| 14 | 元総社小学校校庭遺跡 | 1962 | 平安：掘立柱建物跡・柱穴群・周濠跡 |
| 15 | 産業道路東遺跡 | 1966 | 縄文：住居跡 |
| 16 | 産業道路西遺跡 | | 縄文：住居跡 |
| 17 | 中尾遺跡（事業団） | 1976 | 奈良・平安：住居跡 |
| 18 | 日高遺跡（事業団） | 1977 | 弥生：水田跡・方形周溝墓・住居跡・木製農耕具、平安：条里制水田跡 |
| 19 | 正観寺遺跡Ⅰ～Ⅳ（高崎市） | 1979～81 | 弥生：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：溝跡 |
| 20 | 上野国分僧寺・尼寺中間地域<br>(事業団) | 1980～83 | 縄文：住居跡・配石遺構、弥生：住居跡・方形周溝墓、古墳：住居跡、<br>奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡、中世：掘立柱建物跡・溝状遺構・道路状遺構 |
| 21 | 清里南部遺跡群･Ⅲ | 1980 | 縄文：ピット、奈良・平安：住居跡、溝跡 |
| 22 | 中島遺跡 | 1980 | 奈良・平安：住居跡 |
| 23 | 下東西遺跡（事業団） | 1980～84 | 縄文：屋外埋甕、弥生：住居跡、古墳：住居跡、<br>奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡・柵列、中世：住居跡・溝跡 |
| 24 | 国分境遺跡（事業団） | 1990 | 古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡 |
| | 国分境Ⅱ遺跡 | 1991 | 古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡 |
| | 国分境Ⅲ遺跡（群馬町） | 1991 | 古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・畠跡、中世：土壙墓 |
| 25 | 元総社明神遺跡Ⅰ～Ⅻ | 1982～96 | 古墳：住居跡・水田跡・堀跡、奈良・平安：住居跡・溝跡・大形人形、<br>中世：住居跡・溝跡・天目茶碗 |
| 26 | 北原遺跡（群馬町） | 1982 | 縄文：土坑・集石遺構、古墳：水田跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡 |
| 27 | 鳥羽遺跡（事業団） | 1978～83 | 古墳：住居跡・鍛冶場跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡（神殿跡） |
| 28 | 閑泉樋遺跡 | 1983 | 奈良・平安：溝跡（上幅6.5～７m、下幅3.24m、深さ２m） |
| 29 | 柿木遺跡･Ⅱ遺跡 | 1983, 88 | 奈良・平安：住居跡・溝跡 |
| 30 | 草作遺跡 | 1984 | 古墳：住居跡、平安：住居跡、中世：井戸跡 |
| 31 | 桜ケ丘遺跡 | | 弥生：住居跡 |
| | 総社桜ケ丘遺跡･Ⅱ遺跡 | 1985, 87 | 奈良・平安：住居跡 |
| 32 | 閑泉樋南遺跡 | 1985 | 古墳：住居跡、奈良・平安：溝跡 |
| 33 | 後疋間遺跡Ⅰ～Ⅲ（群馬町） | 1985～87 | 古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：道路状遺構 |
| 34 | 塚田村東遺跡（群馬町） | 1985 | 平安：住居跡 |
| 35 | 寺田遺跡 | 1986 | 平安：溝跡・木製品 |
| 36 | 天神遺跡･Ⅱ遺跡 | 1986, 88 | 奈良・平安：住居跡 |
| 37 | 屋敷遺跡･Ⅱ遺跡 | 1986, 95 | 古墳：住居跡、平安：住居跡、中世：堀跡・石敷遺構 |
| 38 | 大友屋敷Ⅱ･Ⅲ遺跡 | 1987 | 古墳：住居跡、平安：住居跡・溝跡・地下式土坑 |
| 39 | 堰越遺跡 | 1987 | 奈良・平安：住居跡・溝跡 |
| 40 | 堰越Ⅱ遺跡 | 1988 | 平安：住居跡 |
| 41 | 昌楽寺廻向遺跡･Ⅱ遺跡 | 1988 | 奈良・平安：住居跡 |
| 42 | 村東遺跡 | 1988 | 古墳：住居跡・溝跡、奈良・平安：住居跡、中世：堀跡 |

| 番号 | 遺　跡　名 | 調査年度 | 時 代 ： 主 な 遺 構 ・ 出 土 遺 物 |
|---|---|---|---|
| 43 | 熊野谷遺跡 | 1988 | 縄文：住居跡、平安：住居跡・溝跡 |
| | 熊野谷Ⅱ・Ⅲ遺跡 | 1989 | 平安：住居跡 |
| 44 | 元総社寺田遺跡Ⅰ～Ⅲ（事業団） | 1988～91 | 古墳：水田跡・溝跡、奈良・平安：住居跡・溝跡・人形・斎串・墨書土器、<br>中世：溝跡 |
| 45 | 弥勒遺跡・Ⅱ遺跡 | 1989, 95 | 古墳：住居跡、平安：住居跡 |
| 46 | 大屋敷遺跡Ⅰ～Ⅵ | 1992～2000 | 縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、<br>中世：掘立柱建物跡・地下式土坑・溝跡 |
| 47 | 元総社稲葉遺跡 | 1993 | 縄文：土坑、平安：住居跡・瓦塔 |
| 48 | 上野国分寺参道遺跡 | 1996 | 古墳：住居跡、平安：住居跡 |
| 49 | 大友宅地添遺跡 | 1998 | 平安：水田跡 |
| 50 | 総社閑泉明神北遺跡 | 1999 | 古墳：畠跡・水田跡・溝跡、中世：溝跡 |
| | 総社閑泉明神北Ⅱ遺跡 | 2001 | 古墳：住居跡・溝跡、平安：住居跡・溝跡 |
| | 総社閑泉明神北Ⅴ遺跡 | 2004 | 古墳：水田跡、奈良・平安：住居跡 |
| | 元総社蒼海遺跡群(7) | 2005 | 奈良・平安：住居跡・溝跡 |
| | 元総社蒼海遺跡群(9)・(10) | 2006 | 古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・掘建柱建物跡・溝跡 |
| 51 | 元総社宅地遺跡１～23トレンチ | 2000 | 古墳：住居跡、平安：住居跡・掘立柱建物跡・鍛冶場跡・溝跡・道路状遺構、<br>中世：溝跡、近世：住居跡・五輪塔・椀類 |
| 52 | 元総社小見遺跡 | 2000 | 縄文：住居跡、古墳：住居跡、<br>奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡・溝跡・道路状遺構 |
| 53 | 元総社西川遺跡（事業団） | 2000 | 古墳：住居跡・畠跡、奈良・平安：住居跡・溝跡 |
| 54 | 総社甲稲荷塚大道西遺跡 | 2001 | 奈良・平安：住居跡・溝跡、中世：畠跡、近世：溝跡 |
| | 総社甲稲荷塚大道西Ⅱ遺跡 | 2001 | 古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・溝跡、近世：溝跡 |
| 55 | 元総社小見内Ⅲ遺跡 | 2001 | 古墳：住居跡・溝跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡・溝跡、<br>中世：掘立柱建物跡、溝跡 |
| | 元総社小見内Ⅵ遺跡 | 2003 | 奈良・平安：住居跡・溝跡、中世：井戸跡 |
| | 元総社蒼海遺跡群(12) | 2006 | 古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：井戸跡 |
| 56 | 総社甲稲荷塚大道西Ⅲ遺跡 | 2002 | 古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・畠跡・溝跡 |
| | 総社閑泉明神北Ⅲ遺跡 | 2002 | 縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡 |
| | 総社甲稲荷塚大道西Ⅳ遺跡 | 2003 | 古墳：畠跡、中世：畠跡 |
| 57 | 元総社小見Ⅱ遺跡 | 2002 | 縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡、<br>中世：溝跡・道路状遺構 |
| | 元総社小見Ⅳ・Ⅴ遺跡 | 2003 | 縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良･平安：住居跡、中世：掘立柱建物跡 |
| | 元総社小見Ⅵ・Ⅶ遺跡 | 2004 | 縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡 |
| | 元総社蒼海遺跡群(4) | 2005 | 縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡 |
| 58 | 元総社小見Ⅲ遺跡 | 2002 | 縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・溝跡、<br>中世：溝跡・道路状遺構 |
| | 元総社草作Ⅴ遺跡 | 2002 | 古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：溝跡 |
| 59 | 元総社小見内Ⅳ遺跡 | 2002 | 奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡・溝跡、中世：土壙墓・掘立柱建物跡・溝跡 |
| | 元総社小見内Ⅷ遺跡 | 2003 | 奈良・平安：住居跡・溝跡、中世：竪穴状遺構 |
| | 元総社小見内Ⅸ・Ⅹ遺跡 | 2004 | 古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・工房跡・粘土採掘坑・金片・金片、<br>中世：溝跡・土壙墓 |
| | 元総社蒼海遺跡群(2)(6) | 2005 | 古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、井戸跡、中世：溝跡 |
| | 元総社蒼海遺跡群(11) | 2006 | 古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：溝跡 |
| 60 | 元総社北川遺跡（事業団） | 2002～04 | 古墳：水田跡、奈良・平安：住居跡・畠跡、<br>中・近世：掘立柱建物跡・水田跡・火葬墓 |
| 61 | 稲荷塚道東遺跡（事業団） | 2003 | 古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・溝跡・竈構築材採掘痕・井戸跡 |
| 62 | 元総社小見内Ⅶ遺跡 | 2003 | 縄文：住居跡 、奈良･平安：住居跡･掘立柱建物跡 、中世：畠跡･溝跡 |
| | 元総社蒼海遺跡群(1)(5) | 2005 | 奈良・平安：住居跡・溝跡、中世：溝跡・土坑墓 |
| 63 | 元総社蒼海遺跡群(8) | 2006 | 奈良・平安：住居跡、緑釉陶器 |

※　調査年度の欄の（　）は調査開始年度を表す。

※　遺跡名の欄の（事業団）は㈶群馬県埋蔵文化財調査事業団を表す。

## Ⅲ　調査方針と経過

### 1　調査方針

委託された調査箇所は、前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴い築造予定の道路用地であるため、幅６ｍの極めて狭長なトレンチ状の調査区となっている。総調査面積は約2,846㎡である。現地での調査では、遺構の付番等における混乱をさけるため、調査区全体を１～11区に区分した。遺構番号は、各区ごとに個別に付番することとし、１区Ｈ－１号住居跡、２区Ｈ－１号住居跡のように遺構の前に必ず地区名を付すこととした。

グリッド座標については国家座標（日本測地系）X=+44000.000m・Y=-72200.000を基点（X0・Y0）とする４ｍピッチのものを使用し、７区においては、西から東へ X98、99、100…、北から南へ Y85、86、87…と付番し、グリッド呼称は北西杭の名称を使用した。

本遺跡７区の X110・Y86の公共座標は以下のとおりである。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 日本測地系 | X=+43,656.000　Y=-71,760.000 | | |
| 緯　　度 | 36° 23’ 26″ .9938 | 経　　度 | 139° 01’ 59″ .9319 |
| 子午線収差角 | 28’ 28″ .8 | 増　大　率 | 0.999963 |

調査方法については、表土掘削・遺構確認・方眼杭等設置・遺構掘下・遺構精査・測量・全景写真の手順で行うこととした。このうちの遺構確認については、基本的に As-C・Hr-FP 軽石と As-B 軽石が混入する土層を手がかりにした。

図面作成は、平板･簡易遣り方測量を用い、遺構平面図は原則として1/20、住居跡竈は1/10の縮尺で作成した。遺物については平面分布図を作成し、台帳に各種記録を記載しながら収納した。包含層の遺物はグリッド単位で収納し、重要遺物については分布図・遺物台帳の記載を行い収納した。

### 2　調査経過

現地調査は平成19年５月16日から12月21日まで行った。調査経過は下記一覧表のとおりである。

| 工程 / 区域 | 1、3～6区 | 7区 | 8区 | 9区 | 2、10、11区 |
|---|---|---|---|---|---|
| 重機掘削 | 9/3～10 | 5/16～18 | 7/9～10 | 5/21～22 | 11/6～9 |
| 遺構確認 | 9/13～18 | 5/18～22 | 7/13～19 | 5/31～6/11 | 11/6～26 |
| 杭打ち等 | 9/12 | 5/23 | 7/17 | 6/7 | 11/12 |
| 遺構掘下 | 9/18～11/2 | 5/22～7/24 | 7/19～8/7 | 6/8～8/22 | 11/12～12/19 |
| 遺構精査 | 9/18～11/21 | 5/22～7/25 | 7/19～8/27 | 6/8～8/23 | 11/12～12/20 |
| 測量 | 11/22 | 7/31 | 8/28 | 8/28 | 12/21 |
| 全景写真 | 11/21 | 7/26 | 8/24 | 8/24 | 12/20 |
| 埋め戻し | 11/27～30 | 8/28 | 8/28 | 8/29 | 12/25～28 |

１、３～６区は染谷川左岸台地上に位置する。１区は調査区中央から北側に流水の痕跡を残す性格不明遺構が検出されたため掘下げに時間を要した。３・４・６区については遺構の重複が少なかったため順調に調査が進んだ。5区については、遺構が高い密度で検出されたため調査に時間を要した。精査の結果、縄文竪穴住居跡４軒、土師竪穴住居跡36軒、掘立柱建物跡1軒、溝跡13条、道路状遺構２条、縄文土坑14基、土坑17基が検出された。

７～９区は、牛池川右岸台地上に位置する。７区は調査区中央部において遺構が高い密度で検出されたため、遺構の新旧関係の判断に苦心した。精査の結果、土師竪穴住居跡22軒、竪穴状遺構３軒、溝跡３条、土坑11基、土壙墓１基が検出された。８区については、調査区北側部分に、住宅火災により投棄された建築資材が大量に埋められていたため調査不能としたが、南側部分より土師竪穴住居跡１軒、溝１条を検出することができた。９区については、立竹木に調査区全体が覆われていたため立竹木の根を取り除いたところ総社砂層まで根が入り込ん

でいる状態であったため、総社砂層の黄褐色土面での遺構確認調査を行った。精査の結果、土師竪穴住居跡６軒、竪穴状遺構１軒、溝跡５条、道路状遺構２条、縄文土坑４基、土坑５基が検出された。

２・10・11区は推定国府域北側に近接する。２区については、水はけの良い土であったため順調に調査が進んだが、10･11区については、覆土の粘性が強く、乾くと非常に硬化するため調査に時間を要した。精査の結果、土師竪穴住居跡21軒、竪穴状遺構１軒、工房跡１軒、溝跡６条、土坑46基が検出された。

12月25日より文化財保護課庁舎に戻り、出土遺物・図面・写真当の整理作業及び報告書作成にあたり、翌年３月14日までに全ての作業を終了した。

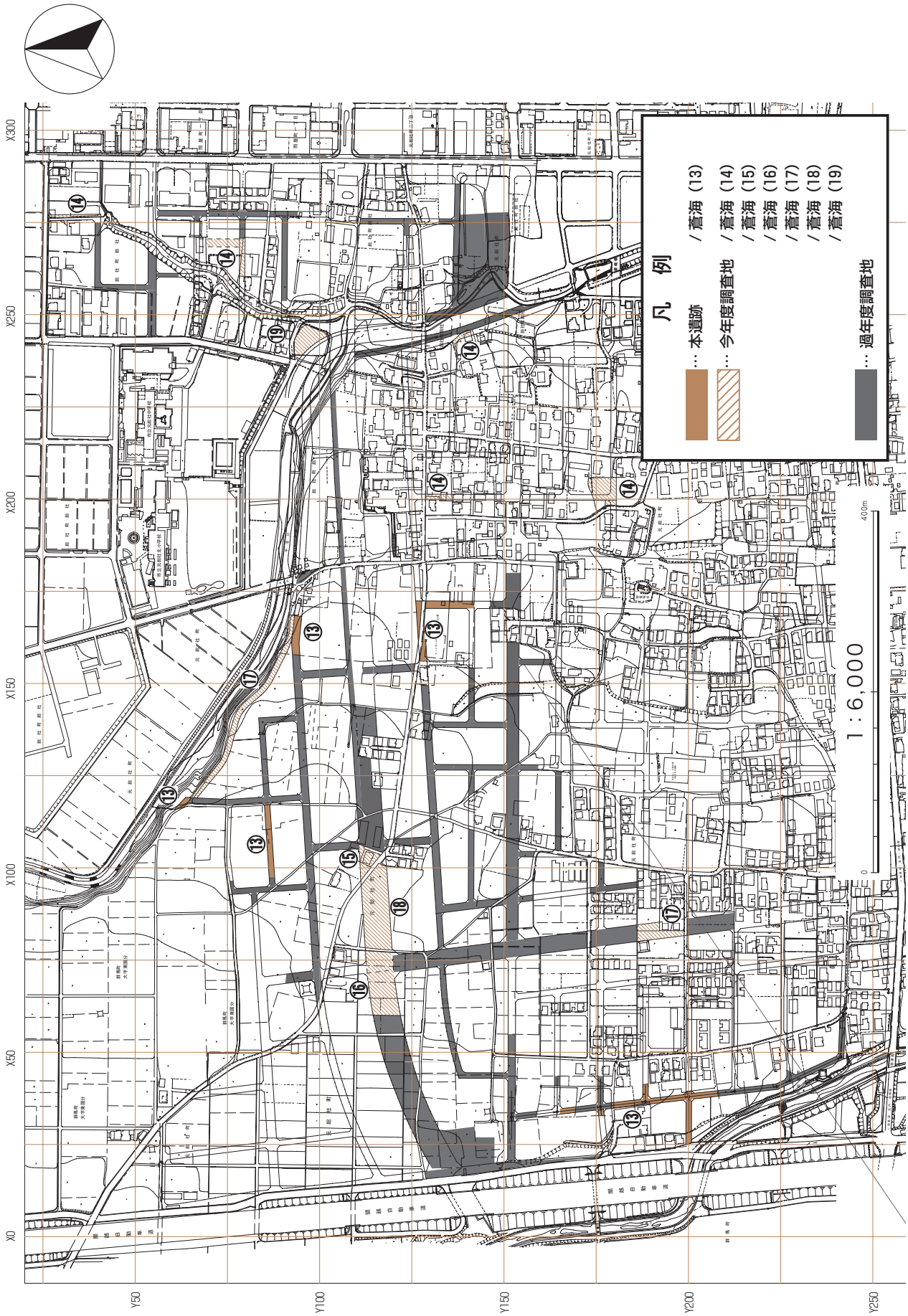



Fig. 3　元総社蒼海遺跡群位置図とグリッド設定図

Fig. 4　元総社蒼海遺跡群(13) 調査区位置図

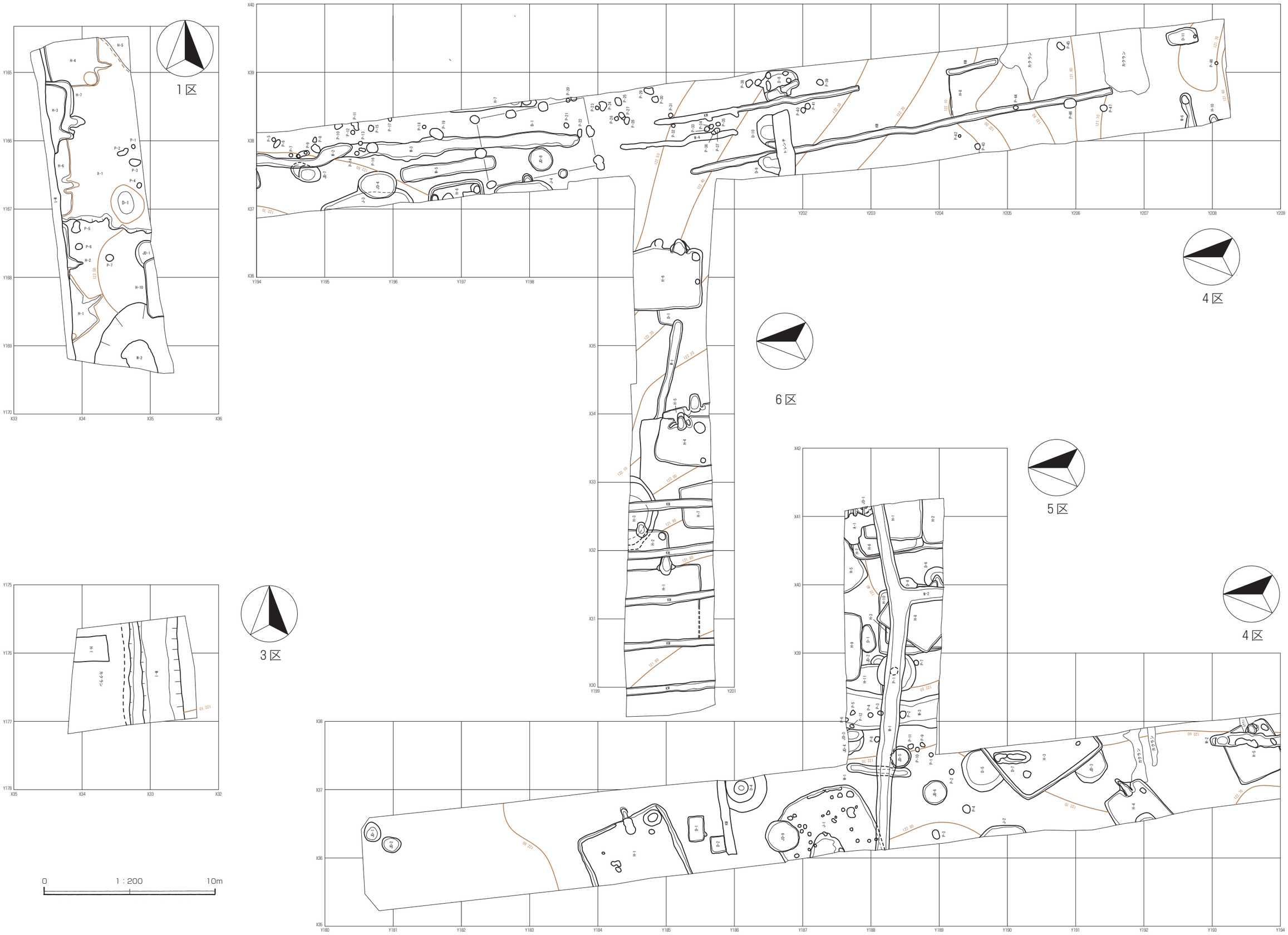



Fig.5　元総社蒼海遺跡群(13) 1・3～6区全体図

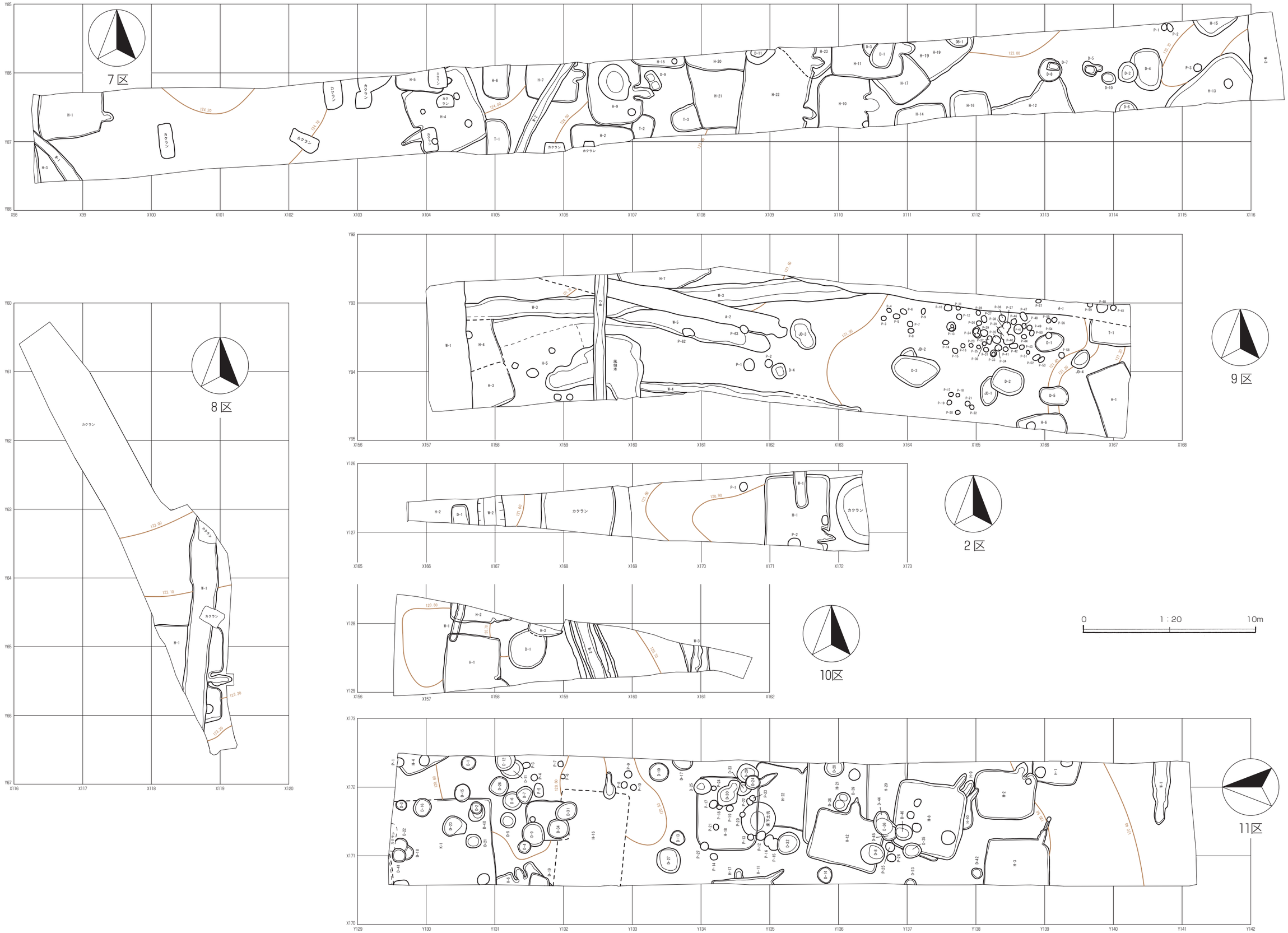
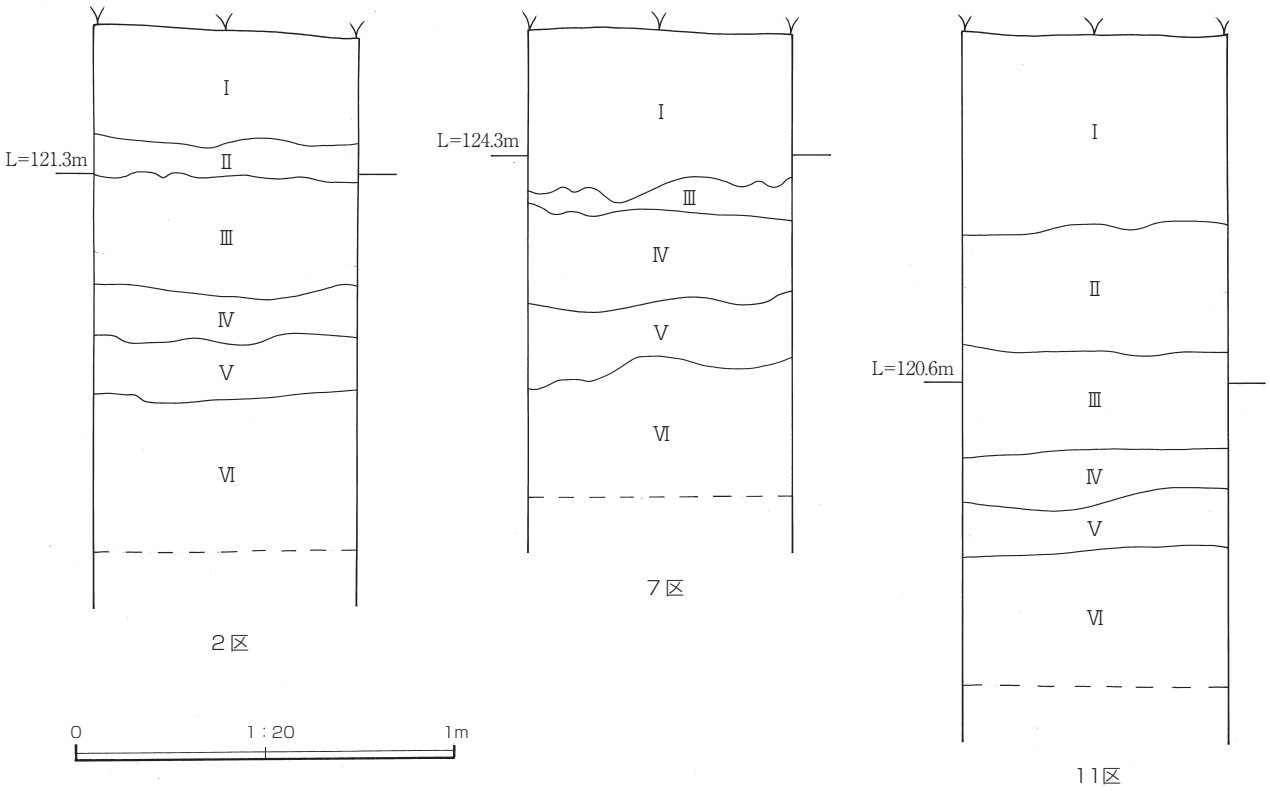



Fig. 6　元総社蒼海遺跡群(13) 2・7～11区全体図

Fig. 7　元総社蒼海遺跡群(13)　4区A－1道路状遺構全体図




本遺跡２区、７区、11区の地層の堆積は、上記のとおりである。

Ⅰ層　現耕作土
Ⅱ層　暗褐色粗砂層（10YR3/3）　As-B 混土層
　　締まり○　粘性×
Ⅲ層　黒褐色細砂層（10YR2/3）　As-C・Hr-FP20%
　　締まり○　粘性○
Ⅳ層　黒褐色微砂層（10YR2/2）　シルト質土、黄橙色軽石５％、白色軽石３％
　　締まり○　粘性○　（総社砂層）
Ⅴ層　暗褐色微砂層（10YR3/4）　シルト質土、黄橙色軽石２％、白色軽石２％
　　締まり○　粘性○　（総社砂層）
Ⅵ層　黄褐色細砂層（10YR5/6）　（総社砂層）
　　締まり◎　粘性△

Fig. 8　基本層序

# V　遺構と遺物

## 1区

### (1)　竪穴住居跡

**H－1号住居跡**（Fig.9・62、PL.1・22）

**位置**　X33・34、Y167～169グリッド　**主軸方向**　N－53°－E　**規模**　東西（2.50）m、南北（4.40）m、壁現高47.5cm。　**面積**　（6.25）㎡　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　東壁南寄りに位置する。主軸方向 N－55°－E。全長126cm、最大幅120cm、焚口部幅28cm。構築材に粘土、川原石を用いる。　**重複**　H－2と重複しており、新旧関係は本遺構→H－2の順である。　**出土遺物**　土師器239点、須恵器86点、灰釉陶器6点、瓦1点。そのうち土師器坏2点・甕2点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物から6世紀後半と考えられる。

**H－2号住居跡**（Fig.9・62、PL.1・22）

**位置**　X33、Y167・168グリッド　**主軸方向**　N－85°－E　**規模**　東西（0.84）m、南北3.44m、壁現高42.5cm。**面積**　（2.73）㎡　**床面**　平坦な床面。　**竈**　東壁南寄りに位置する。主軸方向 N－92°－E。全長94cm、最大幅78cm、焚口部幅50cm。構築材に粘土を用いる。　**重複**　H－1と重複しており、新旧関係はH－1→本遺構の順である。　**出土遺物**　縄文土器1点、土師器68点、須恵器21点。そのうち須恵器坏1点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物、重複関係から9世紀前半と考えられる。

**H－3号住居跡**（Fig.10・62・74、PL.1・22）

**位置**　X33、Y165・166グリッド　**主軸方向**　N－98°－E　**規模**　東西（1.34）m、南北4.04m、壁現高は50.0cm。　**面積**　（5.42）㎡　**床面**　平坦で堅緻な床面。周溝有。　**竈**　東壁南寄りに位置する。主軸方向 N－95°－E。全長90cm、最大幅78cm、焚口部幅34cm。構築材に粘土を用いる。　**重複**　H－6・7、X－1と重複しており、新旧関係はX－1→H－6→H－7→本遺構の順である。　**出土遺物**　土師器481点、須恵器196点、三彩釉陶器3点、緑釉陶器2点、灰釉陶器15点、石類4点、鉄類1点、瓦7点。そのうち須恵器坏1点・高台椀2点、三彩釉陶器小壺1点、緑釉陶器椀1点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物、重複関係から10世紀前半と考えられる。

**H－4号住居跡**（Fig.10・62・63・74、PL.2・22）

**位置**　X33・34、Y164・165グリッド　**主軸方向**　N－85°－E　**規模**　東西3.18m、南北（2.84）m、壁現高28.0cm。　**面積**　（7.99）㎡　**床面**　平坦な床面。　**竈**　東壁南寄りに位置する。主軸方向 N－85°－E。全長94cm、最大幅62cm、焚口部幅26cm。構築材に粘土を用いる。　**重複**　H－7、X－1と重複しており、新旧関係は、X－1→本遺構→H－7の順である。　**出土遺物**　縄文土器1点、土師器283点、須恵器247点、灰釉陶器21点、緑釉陶器5点、鉄類4点、瓦15点。そのうち土師器坏1点・甕1点、須恵器坏3点・高台皿1点、緑釉陶器椀2点、砥石1点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物、重複関係から9世紀後半と考えられる。

**H－5号住居跡**（Fig.10、PL.1）

**位置**　X34、Y164グリッド　**主軸方向**　N－50°－E　**規模**　東西（2.7）m、南北（1.8）m、壁現高は7.5cm。**面積**　（1.88）㎡　**床面**　平坦な床面。　**竈**　不明。　**重複**　X－1と重複しており、新旧関係は、本遺構→X－1の順である。　**出土遺物**　土師器29点、須恵器13点。　**時期**　覆土や出土遺物からHr-FP降下以降から9世紀中葉と考えられる。

**Ｈ－６号住居跡**（Fig.11・63、PL.2・22）

**位置**　Ｘ33、Ｙ165～167グリッド　**主軸方向**　Ｎ－86°－Ｅ　**規模**　東西（1.60）ｍ、南北［4.90］ｍ、壁現高48.0㎝。　**面積**　（6.16）㎡　**床面**　平坦で堅緻な床面。周溝有。　**竈**　東壁南寄りに位置する。主軸方向　Ｎ－90°－Ｅ。全長96㎝、最大幅160㎝、焚口部幅34㎝。構築材に粘土、両袖部に瓦を用いる。　**重複**　Ｈ－３・７、Ｘ－１と重複しており、新旧関係は、Ｘ－１→本遺構→Ｈ－７→Ｈ－３の順である。　**出土遺物**　縄文土器３点、土師器119点、須恵器46点、石類１点、瓦６点。そのうち土師器甕１点、須恵器高台椀１点、灰釉陶器高台皿１点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物、重複関係から９世紀後半と考えられる。

**Ｈ－７号住居跡**（Fig.11・63、PL.1・22・23）

**位置**　Ｘ33・34、Ｙ165グリッド　**主軸方向**　Ｎ－87°－Ｅ　**規模**　東西（2.14）ｍ、南北（3.30）ｍ、壁現高37.5㎝。　**面積**　（2.24）㎡　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　東壁に位置する。主軸方向　Ｎ－90°－Ｅ。全長96㎝、最大幅102㎝、焚口部幅38㎝。構築材に粘土、凝灰岩、瓦を用いる。　**重複**　Ｈ－３・４・６、Ｘ－１と重複しており、新旧関係は、Ｘ－１→Ｈ－４・６→本遺構→Ｈ－３の順である。　**出土遺物**　土師器54点、須恵器46点、石類１点、鉄類２点、瓦１点。そのうち土師器甕１点、須恵器坏１点・甑１点、鉄釜？１点を図示。
**時期**　覆土や出土遺物、重複関係から９世紀後半～10世紀前半と考えられる。

**Ｈ－８号住居跡**　欠番

**Ｈ－９号住居跡**　欠番

**Ｈ－10号住居跡**（Fig.11・63、PL.22）

**位置**　Ｘ34・35、Ｙ167・168グリッド　**主軸方向**　Ｎ－85°－Ｅ　**規模**　東西（0.92）ｍ、南北［3.50］ｍ、壁現高7.5㎝。　**面積**　（2.52）㎡　**床面**　平坦な床面。　**竈**　不明。　**重複**　Ｗ－２と重複しており、新旧関係は、Ｗ－２→本遺構の順である。　**出土遺物**　土師器16点、須恵器12点、灰釉陶器１点。そのうち須恵器高台椀１点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物から10世紀前半と考えられる。

## （2）溝　　跡

**Ｗ－１号溝跡**（Fig.12）

**位置**　Ｘ33、Ｙ164～169グリッド　**主軸方向**　Ｎ－７°－Ｗ　**長さ**　18.56ｍ　**最大幅**　上幅（54.0）㎝、下幅不明。**深さ**（47.5）㎝　**形状等**　不明。　**重複**　Ｈ－１～４・６・７、Ｘ－１と重複しており、新旧関係は本遺構が一番新しい。　**出土遺物**　縄文土器１点、土師器68点、須恵器32点、灰釉陶器７点、石類１点、瓦５点。　**時期**　埋土から As-B 降下以降と考えられる。　**備考**　３区Ｗ－１号溝跡の続きと考えられる。

**Ｗ－２号溝跡**（Fig.12・63、PL.2・23）

**位置**　Ｘ34・35、Ｙ168・169グリッド　**主軸方向**　Ｎ－18°－Ｅ　**長さ**　4.00ｍ　**最大幅**　上幅（470）㎝、下幅（110）㎝　**深さ**　115㎝　**形状等**　Ｕ字形　**重複**　Ｈ－10と重複し、新旧関係は本遺構→Ｈ－10の順である。　**出土遺物**　縄文土器９点、土師器45点、須恵器18点、瓦１点。そのうち土師器高坏１点、円筒埴輪１点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物、重複関係から Hr-FP 降下以降から９世紀後半と考えられる。

## （3） 性格不明遺構

**Ｘ－１号性格不明遺構**（Fig.13・64、PL.23）

**位置**　Ｘ33～35、Ｙ164～167グリッド　**主軸方向**　Ｎ－86°－Ｅ　**規模**　調査区の中央から北側において検出され、南の立ち上がりのみ確認された。全容は不明である。　**重複**　Ｈ－３～７と重複し、新旧関係はＨ－５→本遺構→Ｈ－４・６→Ｈ－７→Ｈ－３の順である。　**出土遺物**　縄文土器９点、土師器346点、須恵器140点、灰釉陶器５点、石類４点、鉄類２点、瓦４点。そのうち須恵器坏１点・高台椀１点・蓋１点を図示。　**時期**　埋土や重複関係からHr-FP降下以降９世紀後半以前と考えられる。　**備考**　本遺構の覆土中からは､馬の歯（門･臼歯）と考えられる骨片が検出されている。また、遺構覆土の上面より流水の痕跡を示す砂層が約１㎝の厚さで堆積していた。

## （4） 土坑・ピット（Fig.12・13、PL.２）

土坑・ピットについては、Tab.４土坑・ピット計測表を参照のこと。遺物は、縄文土器51点・石類２点が出土した。そのうち縄文土器２点を図示した。

## （5） グリッド等出土遺物（Fig.77、PL.32）

遺物は、縄文土器20点・土師器253点・須恵器156点・灰釉陶器13点・石類３点・瓦７点が出土した。そのうち瓦１点を図示した。

# 2区

## （1） 竪穴住居跡

**Ｈ－１号住居跡**（Fig.14、PL.2）

**位置**　Ｘ170・171、Ｙ126・127グリッド　**主軸方向**　Ｎ－91°－Ｅ　**規模**　東西3.88m、南北（4.40）m、壁現高35.0㎝。　**面積**　（15.91）㎡　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　東壁南寄りに位置する。主軸方向 Ｎ－101°－Ｅ。全長104㎝、最大幅78㎝、焚口部幅30㎝。構築材に粘土、凝灰岩を用いる。　**重複**　Ｗ－１と重複しており、新旧関係は、本遺構→Ｗ－１の順である。　**出土遺物**　土師器156点、須恵器60点、灰釉陶器４点、瓦１点、鉄類１点。　**時期**　覆土や出土遺物から10世紀前半と考えられる。

**Ｈ－２号住居跡**（Fig.14・64、PL.3・23）

**位置**　Ｘ165～167、Ｙ126グリッド　**主軸方向**　Ｎ－90°－Ｅ　**規模**　東西（5.80）m、南北（1.8）m、壁現高54.5㎝。　**面積**　（8.26）㎡　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　不明　**重複**　Ｗ－２、Ｄ－１と重複しており、新旧関係は本遺構→Ｗ－２→Ｄ－１の順である。　**出土遺物**　土師器90点、須恵器47点、灰釉陶器４点、瓦１点、石類１点。そのうち土師器坏１点・甕１点、石製紡錘車１点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物から７世紀前半と考えられる。

## （2） 溝　　跡

**Ｗ－１号溝跡**（Fig.14）

**位置**　Ｘ171、Ｙ126グリッド　**主軸方向**　Ｎ－５°－Ｗ　**長さ**　2.2m　**最大幅**　上幅76㎝、下幅60㎝　**深さ**　8.5㎝　**形状等**　Ｕ字形。　**重複**　Ｈ－１と重複しており、新旧関係はＨ－１→本遺構の順である。　**出土遺物**　土師器15点、須恵器４点　**時期**　覆土からAs-B降下以降と考えられる。　**備考**　流水の痕跡無し。

**W－２号溝跡**（Fig.14）

**位置**　X166・167、Y126グリッド　**主軸方向**　N－5°－W　長さ　1.84m　**最大幅**　上幅204cm、下幅74cm　**深さ**　52.0cm　**形状等**　U字形。　**重複**　H－2と重複し、新旧関係はH－2→本遺構の順である。　**時期**　覆土や重複関係から7世紀中葉以降 As-B 降下以前と考えられる。　**備考**　流水の痕跡無し。

### (3)　土坑・ピット（Fig.14）

土坑・ピットについては、Tab.4 土坑・ピット計測表を参照のこと。

### (4)　グリッド等出土遺物

遺物は、縄文土器1点・土師器209点・須恵器101点・瓦1点・灰釉陶器13点・石類3点・鉄類2点・古銭1点が出土した。

## 3区

### (1)　竪穴住居跡

**H－１号住居跡**（Fig.15・64、PL.23）

**位置**　X32・33、Y175・176グリッド　**主軸方向**　不明。　**面積**　(2.86)㎡　**形状等**　不明。　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　不明。　**出土遺物**　土師器22点、須恵器5点。そのうち土師器坏1点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物から9世紀代と考えられる。　**備考**　遺構の大部分が現代の攪乱により壊されている。

### (2)　溝跡

**W－１号溝跡**（Fig.15、PL.3）

**位置**　X33・34、Y175～177グリッド　**主軸方向**　N－3°－W　**長さ**　6.02m　**最大幅**　上幅322cm、下幅152cm　**深さ**　124cm　**形状等**　逆台形。　**出土遺物**　土師器49点・須恵器32点・灰釉陶器2点・石類1点・瓦1点。　**時期**　覆土から As-B 降下以降と考えられる。　**備考**　流水の痕跡有り。

## 4区

### (1)　竪穴住居跡

**Ｊ－１号住居跡**（Fig.16・59・60、PL.3・18・19）

**位置**　X35～37、Y186・188グリッド　**主軸方向**　N－66°－E　**規模**　東西（4.15）m、南北（5.85）m、壁現高50.0cm。　**面積**　(17.79)㎡　**床面**　ほぼ平坦で堅緻。　**炉**　中央や西寄りに地床炉を検出する。長軸方向 N－29°－E。長軸100cm、短軸75cm、深さ7cm。　**重複**　ＪＤ－9と重複しており、新旧関係は本遺構→ＪＤ－9の順である。　**出土遺物**　土師器28点、須恵器10点、瓦3点、縄文土器453点、土偶1点、石製品47点、黒曜石22点。そのうち縄文土器45点、土偶1点、石製品1点を図示。　**時期**　出土遺物から縄文時代前期（諸磯c期）と考えられる。

**Ｊ－２号住居跡**（Fig.17・75、PL.31）

**位置**　X36、Y189・190グリッド　**主軸方向**　N－85°－E　**規模**　東西（0.54）m、南北（2.58）m、壁現高27.0cm。　**面積**　(5.91)㎡　**床面**　ほぼ平坦で堅緻。　**炉**　不明　**出土遺物**　石製品2点。そのうち石器1点を

図示。　**時期**　覆土から縄文時代前期と考えられる。

**Ｊ－３号住居跡**（Fig.17・60、PL.３）

**位置**　Ｘ36・37、Ｙ194～196グリッド　**主軸方向**　Ｎ－84°－Ｅ　**規模**　東西（0.86）m、南北（5.42）m、壁現高48.0cm。　**面積**　（11.69）㎡　**床面**　ほぼ平坦で堅緻。　**炉**　不明　**重複**　ＪＤ－４と重複しており、新旧関係は本遺構→ＪＤ－４の順である。　**出土遺物**　土師器７点、須恵器２点、縄文土器54点、石製品９点、黒曜石６点。そのうち縄文土器３点を図示。　時期は覆土や出土遺物から縄文時代前期（諸磯ｃ期）と考えられる。

**Ｊ－４号住居跡**（Fig.17・61、PL.20）

**位置**　Ｘ37、Ｙ197・198グリッド　**主軸方向**　Ｎ－84°－Ｅ　**規模**　東西（0.63）m、南北（3.40）m、壁現高49.0cm。　**面積**　（7.32）㎡　**床面**　ほぼ平坦で堅緻。　**炉**　不明　**出土遺物**　縄文土器１点、石製品２点。そのうち縄文土器１点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物から縄文時代前期と考えられる。

**Ｈ－１号住居跡**（Fig.18・64、PL.３・４・23・24）

**位置**　Ｘ35・36、Ｙ183～185グリッド　**主軸方向**　Ｎ－65°－Ｅ　**規模**　東西（4.53）m、南北（5.73）m、壁現高22.0cm。　**面積**　（19.65）㎡　**床面**　平坦でやや堅緻な貼り床。　**竈**　東壁中央南寄りに位置する。主軸方向　Ｎ－71°－Ｅ。全長159cm、最大幅54cm、焚口部幅54cm。構築材に粘土、袖部に川原石を用いる。　**出土遺物**　土師器509点、須恵器15点、瓦２点、灰釉陶器１点、縄文土器34点、石製品１点。そのうち土師器坏１点・甕３点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物から７世紀中葉から後半と考えられる。

**Ｈ－２号住居跡**（Fig.19・64、PL.４・24）

**位置**　Ｘ36、Ｙ188グリッド　**主軸方向**　不明　**規模**　不明　**面積**　不明　**床面**　不明　**竈**　焚き口の残骸のみ。袖部に凝灰岩を用いる。　**出土遺物**　土師器６点、須恵器13点、瓦１点、縄文土器３点、黒曜石１点。そのうち土師器坏２点、須恵器壺１点を図示。　**時期**　出土遺物から７世紀後半から８世紀前半と考えられる。

**Ｈ－３号住居跡**（Fig.19・65、PL.４・24）

**位置**　Ｘ36・37、Ｙ189～191グリッド　**主軸方向**　Ｎ－56°－Ｅ　**規模**　東西（4.10）m、南北（5.83）m、壁現高70.0cm。　**面積**　（17.11）㎡　**床面**　やや堅緻な貼り床　**竈**　不明　**出土遺物**　土師器102点、須恵器53点、瓦２点、灰釉陶器２点、縄文土器41点、石製品７点、黒曜石３点。そのうち土師器甕１点、須恵器高台皿１点を図示。　**時期**　覆土および出土遺物から７世紀後半と考えられる。

**Ｈ－４号住居跡**（Fig.20・65、PL.４・５・24）

**位置**　Ｘ36・37、Ｙ191・192グリッド　**主軸方向**　Ｎ－56°－Ｅ　**規模**　東西（2.92）m、南北（2.92）m、壁現高27.0cm。　**面積**　（11.22）㎡　**床面**　堅緻な平坦な床　**竈**　東壁中央南寄りに位置する。主軸方向　Ｎ－47°－Ｅ。全長130cm、最大幅93cm、焚口部幅35cm。構築材に粘土、袖部に凝灰岩を用いる。　**出土遺物**　土師器45点、須恵器２点、縄文土器５点、石製品１点。そのうち土師器坏１点・甕１点を図示。　**時期**　覆土および出土遺物から７世紀後半と考えられる。

**Ｈ－５号住居跡**（Fig.20・65、PL.５・24）

**位置**　Ｘ37・38、Ｙ193・194グリッド　**主軸方向**　Ｎ－65°－Ｅ　**規模**　東西（3.21）m、南北（3.06）m、壁現高

22.0㎝。 **面積** (9.23)㎡ **床面** やや堅緻な貼り床 **竈** 東壁中央南寄りに位置する。主軸方向 N－60°－E。全長60㎝、最大幅81㎝、焚口部幅32㎝。 構築材に粘土を用いる。 **出土遺物** 土師器134点、須恵器13点、石製品２点、鉄製品２点、黒曜石１点。そのうち土師器坏３点、鉄製品２点を図示。**時期** 覆土と出土遺物から７世紀後半と考えられる。

**Ｈ－６号住居跡**（Fig.21・65、PL.５・24）

**位置** X37、Y196・197グリッド **主軸方向** N－82°－E **規模** 東西（0.95）m、南北（3.30）m、壁現高30.0㎝。 **面積** (7.89)㎡ **床面** 平坦な床 **竈** 不明 **出土遺物** 土師器18点、須恵器１点、縄文土器１点。石製品１点、黒曜石１点。そのうち土師器坩１点を図示。 **時期** 覆土および出土遺物から４世紀後半と考えられる。

**Ｈ－７号住居跡**（Fig.21）

**位置** X38、Y196・197グリッド **主軸方向** N－82°－E **規模** 東西（0.35）m、南北（4.63）m、壁現高22.0㎝。 **面積** (10.46)㎡ **床面** 平坦な床面。 **竈** 不明 **出土遺物** 土師器３点、須恵器２点、石製品１点。**時期** 覆土から Hr-FP 降下以降から As-B 降下以前と考えられる。

**Ｈ－８号住居跡**（Fig.21・65、PL.24）

**位置** X38・39、Y203・204グリッド **主軸方向** 不明 **規模** 不明 **面積** 不明 **床面** 平坦な床面。 **竈** 不明 **出土遺物** 土師器24点、須恵器14点、灰釉陶器２点、瓦２点、石製品１点、黒曜石１点。そのうち須恵器高台椀１点を図示。 **時期** 覆土および出土遺物から９世紀代と考えられる。

**Ｈ－９号住居跡**（Fig.21・65）

**位置** X37・38、Y205グリッド **主軸方向** 不明 **規模** 不明 **面積** 不明 **床面** 平坦な床面。 **竈** 不明。**出土遺物** 土師器43点、須恵器82点、灰釉陶器３点、瓦６点、縄文土器１点。そのうち土師器甕１点を図示。**時期** 覆土および出土遺物から９世紀代と考えられる。

**Ｈ－10号住居跡**（Fig.21）

**位置** X38、Y207・208グリッド **主軸方向** 不明 **規模** 不明 **面積** 不明 **床面** 不明 **竈** 位置不明、煙道先端のみ検出。主軸方向 N－72°－E。全長（46)㎝、最大幅（47)㎝、焚口部幅（47)㎝。構築材に粘土を用いる。 **出土遺物** なし。 **時期** 覆土から Hr-FP 降下以降から As-B 降下以前と考えられる。

## (2) 掘立柱建物跡

**Ｂ－１号掘立柱建物跡**（Fig.25）

**位置** X37～39、Y197～200グリッド **主軸方向** N－171°－E **面積** (26.4)㎡ **規模** （長方形）で、規模は東西２間（4.0)m、南北３間（6.8)m を測る。 **柱穴** 円形。直径0.65m 前後、深さ0.5m 前後である。 **時期** 覆土から Hr-FP 降下以降から As-B 降下以前と考えられる。

## (3) 溝跡

**Ｗ－１号溝跡**（Fig.22）

**位置** X37、Y187～189グリッド **主軸方向** N－97°－E、N－153°－E **長さ** 6.4m **最大幅** 上幅92㎝、

下幅65cm。　**深さ**　38.5cm　**形状等**　U字形。　**重複**　5区W－1と重複しており、新旧関係は本遺構→5区W－1の順である。　**出土遺物**　土師器29点、須恵器31点、瓦4点、縄文土器4点、石製品1点。　**時期**　覆土からHr-FP降下以降からAs-B降下以前と考えられる。　**備考**　流水の痕跡無し。

**W－2号溝跡**（Fig.22・65、PL.5・24）

**位置**　X37、Y192～194グリッド　**主軸方向**　N－175°－E、N－100°－E　**長さ**　6.5m　**最大幅**　上幅85cm、下幅58cm　**深さ**　23.0cm　**形状**　U字形。　**重複**　H－5、W－3、JD－7と重複し、新旧関係はJD－7→H－5、W－3→本遺構の順である。　**出土遺物**　土師器4点、須恵器6点、灰釉陶器11点、石製品1点。そのうち灰釉陶器高台椀1点を図示。　**時期**　時期は覆土や重複関係から8世紀以降As-B降下以前と考えられる。**備考**　流水の痕跡無し。

**W－3号溝跡**（Fig.22）

**位置**　X37・38、Y195～198グリッド　**主軸方向**　N－170°－E　**長さ**　16.4m　**最大幅**　上幅115cm、下幅80cm。　**深さ**　13.5cm　**形状**　U字形　**重複**　W－2、B－1と重複し、新旧関係はB－1、W－2→本遺構の順である。**出土遺物**　土師器2点、須恵器8点、瓦1点。　**時期**　覆土からHr-FP降下以降からAs-B降下以前と考えられる。　**備考**　流水の痕跡無し。

**W－4号溝跡**（Fig.22）

**位置**　X37・38、Y199～201グリッド　**主軸方向**　N－175°－E　**長さ**　7.2m　**最大幅**　上幅85cm、下幅44cm　**深さ**　21.5cm　**形状**　U字形　**出土遺物**　土師器6点、須恵器4点、瓦1点。　**時期**　覆土からHr-FP降下以降からAs-B降下以前と考えられる。　**備考**　流水の痕跡無し。

**W－5号溝跡**（Fig.22・76、PL.32）

**位置**　X37、Y196・197グリッド　**主軸方向**　N－169°－E　**長さ**　5.6m　最大幅　上幅95cm、下幅70cm　**深さ**　21.5cm　**形状**　逆台形　**重複**　A－1と重複し、新旧関係はA－1→本遺構の順である。　**出土遺物**　鉄製品1点を図示。　**時期**　覆土と出土遺物からAs-B降下以降と考えられる。　**備考**　流水の痕跡無し。

**W－6号溝跡**（Fig.22）

**位置**　X38、Y207グリッド　**主軸方向**　N－75°－E　**長さ**　2.0m　**最大幅**　上幅70cm、下幅35cm　**深さ**　30cm　**形状**　U字形　**重複**　A－1と重複し、新旧関係はA－1→本遺構の順である。　**出土遺物**　なし　**時期**　覆土や重複関係からAs-B降下以降と考えられる。　**備考**　流水の痕跡無し。

## （4）　道路状遺構

**A－1号道路状遺構**（Fig.65、PL.24）

**位置**　X36～38、Y185～208グリッド　**主軸方向**　N－177°－E　**長さ**　90.0m　**最大幅**　上幅96cm、下幅276cm　**高さ**　5.5cm　**出土遺物**　土師器211、須恵器208点、瓦40点、灰釉陶器11点、縄文土器40点、石製品6点、黒曜石1点。そのうち須恵器蓋1点を図示。　**時期**　覆土と出土遺物からAs-B降下以降と考えられる。

## （5）　土坑・ピット・落ち込み（Fig.23・24・25・61・65、PL.3・4・5・6・24）

土坑・ピットについては、Tab.4土坑・ピット計測表を参照のこと。

## (6) グリッド等出土遺物（Fig.65、PL.24）

縄文土器39点、土師器644点、須恵器357点、瓦66点、灰釉陶器12点、鉄製品１点、石製品６点が出土した。そのうち灰釉陶器高台椀1点、瓦２点を図示。

# 5区

## (1) 竪穴住居跡

### Ｈ－１号住居跡（Fig.26・66・74、PL.６・24）

**位置**　X40・41、Y187・188グリッド　**主軸方向**　N－88°－E　**規模**　東西2.40m、南北3.50m、壁現高28.0㎝。**面積**　(7.35)㎡　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　不明。　**重複**　H－２・６・７、W－１、A－１と重複しており、新旧関係はH－７→H－６→H－２→本遺構→A－１→W－１の順である。　**出土遺物**　縄文土器13点、土師器294点、須恵器296点、灰釉陶器22点、緑釉陶器４点、石類４点、鉄類３点、瓦３点。そのうち土師器甕１点、須恵器高台椀１点・杯１点、緑釉陶器稜椀３点・皿１点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物、重複関係から10世紀前半と考えられる。

### Ｈ－２号住居跡（Fig.26・66、PL.６・24）

**位置**　X40・41、Y188・189グリッド　**主軸方向**　N－82°－E　**規模**　東西（2.72）m、南北［1.62］m、壁現高6.0㎝。　**面積**　［3.76］㎡　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　不明。　**重複**　H－１・６・７と重複しており、新旧関係はH－７→H－６→本遺構→H－１の順である。　**出土遺物**　縄文土器９点、土師器51点、須恵器104点、灰釉陶器10点、石類３点、瓦１点。そのうち須恵器坏１点・高台皿２点、瓦１点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物、重複関係から９世紀後半と考えられる。

### Ｈ－３号住居跡（Fig.27・66、PL.６・25）

**位置**　X39・40、Y188・189グリッド　**主軸方向**　N－95°－E　**規模**　東西3.72m、南北（3.40）m、壁現高は10.0㎝。　**面積**　(12.24)㎡　**床面**　平坦で堅緻な床面。周溝有。　**竈**　東壁南寄りに位置する。主軸方向　N－85°－E。全長［66］㎝、最大幅［74］㎝、焚口部幅［32］㎝。構築材に粘土と凝灰岩を用いる。　**重複**　H－８・10、W－１・２と重複しており、新旧関係はH－10→本遺構→H－８→W－１・２の順である。　**出土遺物**　縄文土器７点、土師器132点、須恵器73点、鉄類１点、瓦１点。そのうち須恵器杯１点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物、重複関係から９世紀中葉から後半と考えられる。

### Ｈ－４号住居跡　欠番

### Ｈ－５号住居跡（Fig.26・66、PL.6・25）

**位置**　X39・40、Y187グリッド　**主軸方向**　N－55°－E　**規模**　東西（2.9）m、南北（1.9）m、壁現高は36.0㎝。　**面積**　(2.62)㎡　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　不明。　**重複**　H－７と重複しており、新旧関係は、本遺構→H－７の順である。　**出土遺物**　土師器５点、石類１点。そのうち土師器杯１点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物から７世紀前半と考えられる。

### Ｈ－６号住居跡（Fig.26、PL.６）

**位置**　X40・41、Y187・188グリッド　**主軸方向**　N－82°－E　**規模**　東西［2.79］m、南北［3.88］m、壁現高0.5㎝。

**面積**　[11.28]㎡　**床面**　平坦で堅緻な床面。周溝有り。　**竈**　不明。　**重複**　H－1・2・7、W－1、A－1と重複しており、新旧関係はH－7→本遺構→H－2→H－1→A－1→W－1の順である。　**出土遺物**　土師器4点、須恵器5点、瓦1点。　**時期**　覆土や出土遺物、重複関係から9世紀後半と考えられる。

**H－7号住居跡**（Fig.26・66、PL.6）

**位置**　X40・41、Y187～189グリッド　**主軸方向**　N－90°－E　**規模**　東西（3.12）m、南北（5.88）m、壁現高35.5cm。　**面積**　（16.72）㎡　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　不明。　**重複**　H－1・2・5・6、W－1、A－1と重複しており、新旧関係はH－5→本遺構→H－6→H－2→H－1→A－1→W－1の順である。　**出土遺物**　土師器1点、須恵器1点、灰釉陶器1点、石類1点。そのうち須恵高台椀1点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物、重複関係から9世紀代と考えられる。

**H－8号住居跡**（Fig.27・66、PL.6・25）

**位置**　X39・40、Y188・189グリッド　**主軸方向**　N－124°－E　**規模**　東西3.80m、南北［3.8］m、壁現高30.0cm。　**面積**　［13.56］㎡　**床面**　平坦な床面。　**竈**　東壁南寄りに位置する。主軸方向 N－110°－E。全長［75］cm、最大幅［74］cm、焚口部幅［41］cm。構築材に粘土と凝灰岩を用いる。　**重複**　H－3・10、W－1・2と重複しており、新旧関係はH－10→H－3→本遺構→W－1・2の順である。　**出土遺物**　縄文土器10点、土師器219点、須恵器136点、灰釉陶器8点、石類3点、瓦4点。そのうち土師器甕1点、須恵器高台椀2点・高台皿1点、灰釉陶器高台椀1点、刀子1点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物、重複関係から9世紀後半から10世紀前半と考えられる。

**H－9号住居跡**（Fig.28、PL.6）

**位置**　X38・39、Y187グリッド　**主軸方向**　N－90°－E　**規模**　東西4.04m、南北（1.06）m、壁現高19.5cm。　**面積**　（3.71）㎡　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　不明。　**重複**　H－11と重複しており、新旧関係はH－11→本遺構の順である。　**出土遺物**　縄文土器9点、土師器71点、須恵器19点、石類1点、瓦2点。そのうち臼玉1点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物から9世紀前半と考えられる。

**H－10号住居跡**（Fig.27、PL.6）

**位置**　X38・39、Y188グリッド　**主軸方向**　N－90°－E　**規模**　東西［3.86］m、南北（3.80）m、壁現高30.0cm。　**面積**　［13.87］㎡　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　不明。　**重複**　H－3・8、W－1・2と重複しており、新旧関係は本遺構→H－3→H－8→W－1・2の順である。　**出土遺物**　土師器7点、鉄類2点。そのうち鉄製紡錘車1点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物、重複関係から9世紀後半と考えられる。

**H－11号住居跡**（Fig.28、PL.6）

**位置**　X38、Y187・188グリッド　**主軸方向**　N－88°－E　**規模**　東西2.78m、南北（2.28）m、壁現高13.5cm。　**面積**　（5.82）㎡　**床面**　平坦な床面。　**竈**　不明。　**重複**　H－9、W－3と重複しており、住居の大部分が消失している。新旧関係は本遺構→H－9→W－3の順である。　**出土遺物**　無し。　**時期**　覆土や重複関係から9世紀以前と考えられる。

## (2) 溝　　跡

**W－１号溝跡**（Fig.28、PL.６）

**位置**　X36～41、Y188グリッド　**主軸方向**　N－89°－W　**長さ**　20.46m　**最大幅**　上幅128.0cm、下幅82.0cm。**深さ**　34.5cm　**形状等**　U字形。　**重複**　H－１・３・６・７・８、W－２、A－１と重複しており、新旧関係は本遺構とW－２が一番新しい。W－２との新旧関係は不明。　**出土遺物**　縄文土器15点、土師器129点、須恵器128点、灰釉陶器７点、石類１点、瓦11点。　**時期**　覆土から As-B 降下以降と考えられる。

**W－２号溝跡**（Fig.28、PL.６）

**位置**　X39、Y188・189グリッド　**主軸方向**　N－６°－E　**長さ**　2.4m　**最大幅**　上幅94cm、下幅62cm　**深さ**　30.0cm　**形状等**　U字形　**重複**　H－３・８・10、W－１と重複しており、新旧関係は本遺構とW－１が最も新しい。W－１との新旧関係は不明。　**出土遺物**　縄文土器３点、土師器29点、須恵器23点、灰釉陶器１点、瓦１点、中世の酸化焔土器１点。　**時期**　覆土から As-B 降下以降と考えられる。

**W－３号溝跡**（Fig.28・66、PL.25）

**位置**　X37・38、Y187・188グリッド　**主軸方向**　N－３°－E　**長さ**　5.4m　**最大幅**　上幅234.0cm、下幅176cm　**深さ**　18.0cm　**形状等**　U字形　**重複**　H－11と重複しており、新旧関係は本遺構が新しい。　**出土遺物**　縄文土器13点、土師器71点、須恵器50点、灰釉陶器１点、石類２点、瓦３点。そのうち須恵器杯１点、長頸瓶１点を図示。　**時期**　覆土、遺物から Fr-FP 降下以降から As-B 降下以前と考えられる。

## (3) 道路状遺構

**A－１号道路状遺構**（Fig.29）

**位置**　X40・41、Y187・188グリッド　**主軸方向**　N－20°－E　**長さ**　2.60m　**最大幅**　170cm。　**重複**　H－１・６・７、W－１と重複し、新旧関係はH－７→H－６→H－１→本遺構→W－１の順である。　**出土遺物**　縄文土器５点、土師器16点、須恵器９点、灰釉陶器３点、石類１点。　**時期**　覆土や重複関係から10世紀～As-B 降下以前と考えられる。

## (4) 土坑・ピット（Fig.29）

土坑・ピットについては、Tab.４土坑・ピット計測表を参照のこと。遺物は、縄文土器２点、土師器８点、須恵器５点が出土した。

## (5) グリッド等出土遺物（Fig.75、PL.32）

遺物は、縄文土器25点、土師器74点、須恵器77点、灰釉陶器３点、鉄類２点、瓦５点が出土した。うち鉄鏃１点を図示。

# 6区

## (1) 竪穴住居跡

**H－1号住居跡**（Fig.30・67・77、PL.７・25）

**位置**　X31・32、Y199・200グリッド　**主軸方向**　N－85°－E　**形状等**　東西（3.13）m、南北（4.65）m、壁現高48.0cm。　**面積**　（18.23）㎡　**床面**　平坦でやや堅緻な貼り床。　**竈**　東壁南寄りに位置する。主軸方向　N－

88°－Ｅ。全長115㎝、最大幅65.5㎝、焚口部幅58㎝。構築材に粘土、袖部に川原石、瓦を用いる。　**重複**　Ｈ－２と重複しており、新旧関係はＨ－２→本遺構の順である。　**出土遺物**　土師器176点、須恵器141点、瓦９点、灰釉陶器６点、縄文土器14点、石製品１点、黒曜石５点、鉄製品１点。そのうち土師器甕１点、須恵器坏１点・須恵器高台椀２点・須恵器羽釜３点・須恵器深鉢１点、瓦３点、鉄製品１点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物から10世紀前半と考えられる。

**Ｈ－２号住居跡**（Fig.30・67・77、PL.７）

**位置**　Ｘ36、Ｙ188・189グリッド　**主軸方向**　Ｎ－85°－Ｅ　**形状等**　東西（0.54）ｍ、南北（2.58）ｍ、壁現高27.0㎝。　**面積**　（5.91）㎡　**床面**　平坦でやや堅緻な貼り床。　**竈**　東壁中央南寄りに位置する。主軸方向 Ｎ－87°－Ｅ。全長90㎝、最大幅82㎝、焚口部幅60㎝。構築材に粘土、袖部に凝灰岩、瓦を用いる。　**重複**　Ｈ－１，３と重複しており、新旧関係はＨ－３→本遺構→Ｈ－１の順である。　**出土遺物**　土師器157点、須恵器51点、瓦４点、縄文土器４点。そのうち土師器甕１点、瓦３点を図示。　**時期**　出土遺物から９世紀後半から10世紀前半と考えられる。

**Ｈ－３号住居跡**（Fig.33・67、PL.７）

**位置**　Ｘ32・33、Ｙ199グリッド　**主軸方向**　Ｎ－91°－Ｅ　**形状等**　東西（4.35）ｍ、南北（1.74）ｍ、壁現高82.0㎝。　**面積**　（10.26）㎡　**床面**　平坦な床　**竈**　不明　**重複**　Ｈ－２と重複しており、新旧関係は本遺構→Ｈ－２の順である。　**出土遺物**　土師器48点、須恵器５点。そのうち土師器甕１点を図示。　**時期**　覆土および出土遺物から８世紀後半から９世紀前半と考えられる。

**Ｈ－４号住居跡**（Fig.31・67、PL.８・25）

**位置**　Ｘ33、Ｙ199･200グリッド　**主軸方向**　Ｎ－81°－Ｅ　**形状等**　東西（3.30）ｍ、南北（3.90）ｍ、壁現高7.0㎝。**面積**　（16.03）㎡　**床面**　やや堅緻な平坦な床　**竈**　東壁中央に位置する。主軸方向 Ｎ－85°－Ｅ。全長110㎝、最大幅95㎝、焚口部幅53㎝。構築材に粘土、袖部に瓦を用いる。　**重複**　Ｈ－５と重複しており、新旧関係はＨ－５→本遺構の順である。　**出土遺物**　土師器265点、須恵器51点、瓦13点、灰釉陶器3点、縄文土器４点、黒曜石２。そのうち土師器坏２点・甕１点、須恵器高台椀１点、瓦を３点図示。　**時期**　時期は覆土および出土遺物から９世紀後半と考えられる。

**Ｈ－５号住居跡**（Fig.31・67、PL.８・25・26）

**位置**　Ｘ32・33、Ｙ199・200グリッド　**主軸方向**　Ｎ－91°－Ｅ　　**形状等**　東西（3.75）ｍ、南北（3.33）ｍ、壁現高25.0㎝。　**面積**　（14.20）㎡　**床面**　やや堅緻な貼り床　**竈**　東壁中央に位置する。主軸方向 Ｎ－85°－Ｅ。全長108㎝、最大幅129㎝、焚口部幅54㎝。構築材に粘土、袖部に瓦を用いる。　**重複**　Ｈ－４と重複しており、新旧関係は本遺構→Ｈ－４の順である。　**出土遺物**　土師器158点、須恵器58点、瓦６点、縄文土器４点、石製品２点。そのうち土師器坏１点・土師器甕１点、須恵器高台皿１点、瓦を１点図示。　**時期**　覆土と出土遺物から９世紀中葉と考えられる。

**Ｈ－６号住居跡**（Fig.32・68、PL.８・26）

**位置**　Ｘ36・37、Ｙ199・200グリッド　**主軸方向**　Ｎ－89°－Ｅ　**形状等**　東西3.76ｍ、南北4.70ｍ、壁現高37.0㎝。　**面積**　16.17㎡　**床面**　やや堅緻な貼り床　**竈**　東壁南寄りに位置する。主軸方向 Ｎ－85°－Ｅ。全長93㎝、最大幅81㎝、焚口部幅60㎝。　構築材に粘土、袖部に凝灰岩、川原石を用いる。　**出土遺物**　土師器352点、

須恵器258点、瓦８点、灰釉陶器６点、緑釉陶器２点。そのうち土師器甕１点、須恵器坏６点･須恵器高台椀３点、須恵器羽釜２点、瓦を１点図示。　**時期**　覆土および出土遺物から10世紀前半と考えられる。

**Ｈ－7号住居跡**（Fig.33・68、PL.7・26）

**位置**　X32・33、Y200グリッド　**主軸方向**　Ｎ－85°－Ｅ　**形状等**　東西（2.80）m、南北（2.00）m、壁現高30.0cm。　**面積**　(8.78)㎡　**床面**　平坦な床面。　**竈**　不明　**出土遺物**　土師器77点、須恵器65点、瓦１点、灰釉陶器２点。そのうち須恵器坏１点・須恵器高台椀１点・須恵器大甕１点を図示。　**時期**　時期は覆土および出土遺物から９世紀中葉から９世紀後半と考えられる。

## (2)　溝跡

**Ｗ－１号溝跡**（Fig.33）

**位置**　X33～35、Y199・200グリッド　**主軸方向**　Ｎ－166°－Ｅ　**長さ**　5.9m　**最大幅**　上幅66cm、下幅42cm　**深さ** 11.0cm　**形状**　Ｕ字形　**出土遺物**　須恵器11点。　**時期**　覆土からHr-FP降下以降からAs-B降下以前と考えられる。　**備考**　流水の痕跡無し。

## (3)　土坑・ピット（Fig.68、PL.26）

土坑・ピットについては、Tab.４土坑・ピット計測表を参照のこと。

## (4)　グリッド等出土遺物

縄文土器15点、土師器230点、須恵器184点、瓦22点、灰釉陶器７点、石製品４点が出土した。

# 7区

## (1)　竪穴住居跡

**Ｈ－１号住居跡**（Fig.34、PL.９）

**位置**　X98・99、Y86グリッド　**主軸方向**　Ｎ－95°－Ｅ　**規模**　東西3.9m、南北（3.2）m、壁現高14.5cm。　**床面**　やや凹凸のある床面。　**面積**　(10.02)㎡　**竈**　東壁南寄りに位置する。主軸方向Ｎ－94°－Ｅ。全長76cm、最大幅66cm、焚口部幅28cm。構築材に粘土、凝灰岩を用いる。　**重複**　Ｗ－１と重複しており、新旧関係は、本遺構→Ｗ－１の順である。　**出土遺物**　縄文土器２点、土師器94点、須恵器32点、瓦６点。　**時期**　覆土や出土遺物から９世紀代と考えられる。

**Ｈ－２号住居跡**（Fig.34・69、PL.９・26）

**位置**　X106・107、Y86・87グリッド　**主軸方向**　Ｎ－91°－Ｅ　**規模**　東西3.72m、南北（1.46）m、壁現高22.5cm。　**面積**　(3.93)㎡　**床面**　平坦な床面。　**竈**　不明。　**重複**　Ｔ－２と重複しており、新旧関係は、Ｔ－２→本遺構の順である。　**出土遺物**　縄文土器１点、土師器110点、須恵器27点、灰釉陶器１点、鉄類１点、瓦１点。そのうち須恵器坏１点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物から８世紀後半と考えられる。

**Ｈ－３号住居跡**（Fig.34・69、PL.26）

**位置**　X98、Y87グリッド　**主軸方向**　不明。　**規模**　不明。　**面積**　(0.59)㎡　**床面**　周溝有。　**竈**　不明。　**出土遺物**　土師器８点、須恵器１点、鉄類１点。そのうち土師坏１点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物から７世

紀後半と考えられる。

**Ｈ－４号住居跡**（Fig.35・69、PL.９・26）

**位置**　X103・104、Y85～87グリッド　**主軸方向**　N－117°－W　**規模**　東西4.50m、南北4.64m、壁現高57cm。**面積**　(18.23)㎡　**床面**　平坦で堅緻な床面。周溝有。　**竈**　西壁中央やや南に位置する。主軸方向 N－108°－W。全長156cm、最大幅70cm、焚口部幅34cm。構築材に粘土を用いる。　**重複**　Ｈ－５と重複しており、新旧関係は、本遺構→Ｈ－５の順である。　**出土遺物**　縄文土器５点、土師器200点、須恵器47点、瓦２点。そのうち土師器坏２点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物から７世紀代と考えられる。

**Ｈ－５号住居跡**（Fig.34・69、PL.９・26）

**位置**　X103・104、Y85・86グリッド　**主軸方向**　N－90°－E　**規模**　東西［3.1］m、南北（1.4）m、壁現高17.0cm。　**面積**　(3.45)㎡　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　東壁南寄りに位置する。主軸方向 N－86°－E。**重複**　Ｈ－４と重複しており、新旧関係は、Ｈ－４→本遺構の順である。　**出土遺物**　土師器36点、須恵器13点、瓦８点。そのうち須恵器高台椀２点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物から９世紀後半と考えられる。

**Ｈ－６号住居跡**（Fig.36、PL.９）

**位置**　X104・105、Y85・86グリッド　**主軸方向**　N－91°－E　**規模**　東西1.66m、南北（2.06）m、壁現高17.5cm。　**面積**　(3.01)㎡　**床面**　平坦な床面。　**竈**　不明。　**出土遺物**　縄文土器２点、土師器149点、須恵器52点、灰釉陶器６点、瓦１点。　**時期**　覆土や出土遺物から９世紀代と考えられる。

**Ｈ－７号住居跡**（Fig.36・69、PL.９・26・27）

**位置**　X105・106、Y85・86グリッド　**主軸方向**　N－95°－E　**規模**　東西3.16m、南北（2.50）m、壁現高31.0cm。　**面積**　(6.76)㎡　**床面**　平坦で堅緻な貼床。　**竈**　東壁に位置する。主軸方向 N－80°－E。全長106cm、最大幅120cm、焚口部幅34cm。構築材に粘土、凝灰岩を用いる。　**重複**　W－２と重複しており、新旧関係は、本遺構→W－２の順である。　**出土遺物**　縄文土器３点、土師器514点、須恵器81点、鉄類３点、瓦２点。そのうち土師器坏２点・甕２点、須恵器坏２点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物から９世紀前半と考えられる。

**Ｈ－８号住居跡**　　欠番

**Ｈ－９号住居跡**（Fig.36・69・70、PL.10・27）

**位置**　X106・107、Y85・86グリッド　**主軸方向**　N－92°－E　**規模**　東西3.38m、南北（3.98）m、壁現高22.5cm。　**面積**　(12.04)㎡　**床面**　平坦で堅緻な貼床。床下土坑有。　**竈**　東壁中央やや南に位置する。主軸方向 N－92°－E。全長118cm、最大幅70cm、焚口部幅42cm。構築材に粘土、袖部に瓦を用いる。　**重複**　Ｈ－18、Ｔ－２と重複しており、新旧関係は、Ｔ－２→本遺構→Ｈ－18の順である。　**出土遺物**　縄文土器10点、土師器663点、須恵器143点、鉄類１点、瓦43点。そのうち土師器坏１点・甕１点、須恵器高台椀１点、瓦２点を図示。**時期**　覆土や出土遺物から８世紀後半と考えられる。

**Ｈ－10号住居跡**（Fig.37・69、PL.10・27）

**位置**　X109・110、Y86グリッド　**主軸方向**　N－92°－E　**規模**　東西3.2m、南北（3.12）m、壁現高7.5cm。**面積**　(9.4)㎡　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　東壁に位置する。主軸方向 N－92°－E。全長86cm、最大幅

111㎝、焚口部幅66㎝。構築材に粘土、袖・壁部に瓦、支脚に川原石を用いる。　**重複**　Ｈ－11と重複しており、新旧関係は、Ｈ－11→本遺構の順である。　**出土遺物**　縄文土器８点、土師器347点、須恵器132点、灰釉陶器２点、鉄類２点、瓦44点。そのうち須恵器坏１点、瓦３点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物から９世紀後半から10世紀前半と考えられる。

**Ｈ－11号住居跡**（Fig.39・69・70、PL.10・27）

**位置**　Ｘ109～111、Ｙ85・86グリッド　**主軸方向**　Ｎ－92°－Ｅ　**規模**　東西［4.26］ｍ、南北（2.10）ｍ、壁現高12.0㎝。　**面積**　（8.36）㎡　**床面**　平坦な床面。　**竈**　東壁に位置する。主軸方向 Ｎ－87°－Ｅ。全長72㎝、最大幅74㎝、焚口部幅46㎝。構築材に粘土、両袖部に凝灰岩、支脚に川原石を用いる。　**重複**　Ｈ－17・19と重複しており、新旧関係は、本遺構→Ｈ－17→Ｈ－19の順である。　**出土遺物**　土師器718点、須恵器105点、灰釉陶器14点、石類２点、鉄類１点、瓦３点。そのうち須恵器坏３点、土製紡錘車１点、臼玉１点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物から９世紀前半と考えられる。

**Ｈ－12号住居跡**（Fig.37・70、PL.11・27）

**位置**　Ｘ112・113、Ｙ86グリッド　**主軸方向**　Ｎ－61°－Ｅ　**規模**　東西（4.96）ｍ、南北（2.74）ｍ、壁現高47.5㎝。　**面積**　（5.97）㎡　**床面**　平坦で堅緻な床面。周溝有。　**竈**　不明。　**重複**　Ｈ－16と重複しており、新旧関係は、本遺構→Ｈ－16の順である。　**出土遺物**　縄文土器５点、土師器103点、須恵器36点、灰釉陶器１点、石類１点、瓦１点。そのうち土師器坏２点、須恵器高台椀１点・蓋１点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物から８世紀前半と考えられる。

**Ｈ－13号住居跡**（Fig.38・70、PL. 11・27）

**位置**　Ｘ114～116、Ｙ85・86グリッド　**主軸方向**　Ｎ－51°－Ｅ　**規模**　東西（5.22）ｍ、南北（3.62）ｍ、壁現高76.0㎝。　**面積**　（10.45）㎡　**床面**　平坦で堅緻な床面。周溝有。　**竈**　東壁に位置する。主軸方向Ｎ－51°－Ｅ。全長130㎝、最大幅（94）㎝、焚口部幅26㎝を測る。構築材に粘土を用いる。　**重複**　Ｗ－３と重複しており、新旧関係は、本遺構→Ｗ－３の順である。　**出土遺物**　縄文土器７点、土師器693点、須恵器89点、灰釉陶器９点、石類３点、鉄類４点、瓦６点。そのうち土師器坏２点、須恵器坏１点、土錘１点、刀子１点、瓦１点を図示。**時期**　覆土や出土遺物から７世紀前半と考えられる。

**Ｈ－14号住居跡**（Fig.14）

**位置**　Ｘ110・111、Ｙ86グリッド　**主軸方向**　Ｎ－80°－Ｅ　**規模**　東西3.10ｍ、南北（1.0）ｍ、壁現高25.0㎝。**面積**　（2.71）㎡　**床面**　平坦な床面。　**竈**　不明。　**出土遺物**　縄文土器２点、土師器114点、須恵器54点、灰釉陶器３点、鉄類１点、瓦３点。　**時期**　覆土や出土遺物から10世紀前半と考えられる。

**Ｈ－15号住居跡**（Fig.38、PL.11）

**位置**　Ｘ115、Ｙ85グリッド　**主軸方向**　Ｎ－55°－Ｅ　**規模**　東西（2.34）ｍ、南北（1.54）ｍ、壁現高64.0㎝。**面積**　（1.82）㎡　**床面**　平坦で堅緻な床面。周溝有。　**竈**　不明。　**出土遺物**　土師器18点、須恵器４点、石類１点。**時期**　覆土や出土遺物から６世紀後半から７世紀代と考えられる。

**Ｈ－16号住居跡**（Fig.38、PL.11）

**位置**　Ｘ111・112、Ｙ86グリッド　**主軸方向**　Ｎ－90°－Ｅ　**規模**　東西2.46ｍ、南北（1.52）ｍ、壁現高39.0㎝。

**面積**　(3.27)㎡　**床面**　平坦な床面。　**竈**　不明。　**重複**　H－12と重複しており、新旧関係は、H -12→本遺構の順である。　**出土遺物**　縄文土器10点、土師器89点、須恵器46点、灰釉陶器2点、瓦12点。　**時期**　覆土や出土遺物から９世紀代と考えられる。

**H－17号住居跡**（Fig.39、PL.11）

**位置**　X110・111、Y85・86グリッド　**主軸方向**　N－51°－E　**規模**　東西（2.70）m、南北（2.42）m、壁現高31.5cm。　**面積**　(8.35)㎡　**床面**　平坦な床面。　**竈**　不明。　**重複**　H－11・19と重複しており、新旧関係は、H－19→本遺構→H－11の順である。　**出土遺物**　土師器10点、鉄類１点。　**時期**　覆土や出土遺物、重複関係から７世紀～９世紀前半と考えられる。

**H－18号住居跡**（Fig.40・70、PL.11・28）

**位置**　X106・107、Y85グリッド　**主軸方向**　N－94°－E　**規模**　東西3.16m、南北（0.72）m、壁現高18.5cm。**面積**　(1.58)㎡　**床面**　平坦な床面。　**竈**　不明。　**重複**　H－９・20と重複しており、新旧関係は、H－20→H－９→本遺構の順である。　**出土遺物**　土師器19点、須恵器５点、鉄類１点。そのうち須恵器坏1点を図示。**時期**　覆土や出土遺物、重複関係から９世紀後半と考えられる。

**H－19号住居跡**（Fig.39・70、PL.11・28）

**位置**　X110・111、Y85・86グリッド　**主軸方向**　N－57°－E　**規模**　東西（5.96）m、南北（4.14）m、壁現高58.5cm。　**面積**　(12.77)㎡　**床面**　平坦な床面。周溝有り。　**竈**　不明。　**重複**　H－11・17と重複しており、新旧関係は、本遺構→H－17→H－11の順である。　**出土遺物**　縄文土器１点、土師器466点、須恵器40点、鉄類３点、瓦２点。そのうち土師器坏４点・甕１点、須恵器坏１点、臼玉１点、金環１点、瓦１点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物、重複関係から８世紀前半と考えられる。

**H－20号住居跡**（Fig.40、PL.12）

**位置**　X107・108、Y85・86グリッド　**主軸方向**　N－93°－E　**規模**　東西（3.72）m、南北（1.30）m、壁現高15.5cm。　**面積**　(3.30)㎡　**床面**　ほぼ平坦な床面。　**竈**　不明。　**重複**　H－18・21・22と重複しており、新旧関係は、H－21→本遺構→H－18→H－22の順である。　**出土遺物**　縄文土器５点、土師器149点、須恵器44点、灰釉陶器２点、瓦２点。　**時期**　覆土や出土遺物、重複関係から９世紀中葉と考えられる。

**H－21号住居跡**（Fig.40、PL.12）

**位置**　X107・108、Y85・86グリッド　**主軸方向**　N－90°－E　**規模**　東西（3.38）m、南北（3.82）m、壁現高17.5cm。　**面積**　(9.28)㎡　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　不明。　**重複**　H－20･22、T－3と重複しており、新旧関係は、T－３→本遺構→H－20→H－22の順である。　**出土遺物**　縄文土器１点、土師器192点、須恵器19点、石類１点。　**時期**　覆土や出土遺物から７世紀代と考えられる。

**H－22号住居跡**（Fig.41・70・71、PL.12・28）

**位置**　X108・109、Y85・86グリッド　**主軸方向**　N－97°－E　**規模**　東西4.20m、南北（5.48）m、壁現高46.0cm。　**面積**　(19.64)㎡　**床面**　平坦で堅緻な貼床。　**竈**　東壁の南北に２箇所検出。北側の竈は、主軸方向N－93°－E。全長74cm、最大幅112cm、焚口部幅40cm。構築材に粘土、両袖部に凝灰岩、壁部・支脚に瓦を用いる。南側の竈は、主軸方向N－100°－E。全長86cm、最大幅118cm、焚口部幅46cm。構築材に粘土を用いる。北

側の竈の方が新しいと考えられる。　**重複**　H－20・21・23と重複しており、新旧関係は、H－23→H－21→H－20→本遺構の順である。　**出土遺物**　縄文土器４点、土師器1,682点、須恵器455点、灰釉陶器18点、石類２点、鉄類１点、瓦60点。そのうち土師器甕１点、須恵器坏３点・高台椀２点・高台皿１点、石製紡錘車１点、瓦２点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物から９世紀後半と考えられる。

**H－23号住居跡**（Fig.40、PL.12）

**位置**　X109・110、Y85・86グリッド　**主軸方向**　N－44°－E　**規模**　東西（3.20）m、南北（3.10）m、壁現高13.5cm。　**面積**　（4.41）㎡　床面　平坦な床面。　**竈**　不明。　**重複**　H－11・22と重複しており、新旧関係は、本遺構→H－11→H－22の順である。　**出土遺物**　土師器10点、須恵器３点　**時期**　覆土や重複関係からHr-FP降下以降から８世紀代と考えられる。

## （2）　竪穴状遺構

**T－１号竪穴状遺構**（Fig.41）

**位置**　X104・105、Y86・87グリッド　**主軸方向**　N－１°－E　**規模**　東西1.44m、南北（2.10）m、壁現高13.0cm。　**面積**　（2.72）㎡　**床面**　平坦な床面。　**重複**　H－４と重複しており、新旧関係はH－４→本遺構の順である。　**出土遺物**　縄文土器４点、土師器39点、須恵器２点。　**時期**　覆土や出土遺物、重複関係から７世紀中葉以降As-B降下以前と考えられる。

**T－２号竪穴状遺構**（Fig.41）

**位置**　X106・107、Y86グリッド　**主軸方向**　N－19°－E　**規模**　東西1.34m、南北（1.80）m、壁現高14.0cm。**面積**　（1.78）㎡　**床面**　平坦な床面。　**重複**　H－２・９と重複しており、新旧関係はH－２→H－９→本遺構の順である。　**出土遺物**　土師器31点、須恵器７点。　**時期**　覆土や出土遺物、重複関係から10世紀前半と考えられる。

**T－３号竪穴状遺構**（Fig.41）

**位置**　X107・108、Y86グリッド　**主軸方向**　N－71°－E　**規模**　東西（1.70）m、南北1.76m、壁現高22.0cm。**面積**　（2.28）㎡　**床面**　平坦な床面。　**重複**　H－21と重複しており、新旧関係は本遺構→H－21の順である。**出土遺物**　縄文土器１点、土師器96点、須恵器6点。　**時期**　覆土や出土遺物、重複関係からHr-FP降下以降から７世紀代と考えられる。

## （3）　溝　　跡

**W－１号溝跡**（Fig.42）

**位置**　X98、Y86・87グリッド　**主軸方向**　N－135°－E　**長さ**　4.06m　**最大幅**　上幅86.0cm、下幅68.0cm。**深さ**　25.5cm　**形状**　U字形　**重複**　H－１と重複しており、新旧関係はH－１→本遺構の順である。　**出土遺物**　縄文土器５点・土師器12点・須恵器８点・鉄類１点・瓦２点。　**時期**　埋土や重複関係からから10世紀以降As-B降下以前と考えられる。　**備考**　流水の痕跡無し。

**W－２号溝跡**（Fig.42）

**位置**　X105・106、Y85～87グリッド　**主軸方向**　N－22°－E　**長さ**　6.34m　**最大幅**　上幅74.0cm、下幅40.0cm　**深さ**　30.0cm　**形状**　U字形。　**重複**　H－７と重複しており、新旧関係はH－７→本遺構の順である。

**出土遺物**　土師器７点･須恵器26点。　**時期**　埋土から As-B 降下以降と考えられる。　**備考**　流水の痕跡無し。

**Ｗ－３号溝跡**（Fig.42）

**位置**　Ｘ115・116、Ｙ85～86グリッド　**主軸方向**　Ｎ－６°－Ｗ　長さ5.14m　**最大幅**　上幅182.0㎝　**深さ**116.0㎝　**形状**　不明。　**重複**　Ｈ－13と重複し、新旧関係はＨ－13→本遺構の順である。　**出土遺物**　縄文土器３点・土師器284点・須恵器62点。　**時期**　埋土から As-B 降下以降と考えられる。　**備考**　流水の痕跡無し。

### （4）　土坑・ピット（Fig.42）

土坑・ピットについては、Tab.４土坑・ピット計測表を参照のこと。遺物は、縄文土器４点・土師器232点・須恵器65点・灰釉陶器３点・鉄類１点・瓦３点が出土した。

### （5）　グリッド等出土遺物（Fig.71、PL.28）

遺物は、縄文土器219点･土師器2,798点･須恵器945点･灰釉陶器23点･石類２点･鉄類１点･瓦194点が出土した。そのうちミニュチア土器１点、土師器坏１点、臼玉１点、環状金具１点、瓦４点を図示した。

## 8区

### （1）　竪穴住居跡

**Ｈ－１号住居跡**（Fig.43・71、PL.12・28・29）

**位置**　Ｘ118・119、Ｙ64～66グリッド　**主軸方向**　Ｎ－91°－Ｅ　**規模**　東西（4.02）m、南北5.74m、壁現高22.5㎝。　**面積**　（15.15）㎡　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　東壁中央やや南に位置する。主軸方向 Ｎ－87°－Ｅ。全長150㎝、最大幅120㎝、焚口部幅60㎝。構築材に粘土、凝灰岩を用いる。　**重複**　Ｗ－１と重複しており、新旧関係は、本遺構→Ｗ－１の順である。　**出土遺物**　土師器192点・須恵器30点・灰釉陶器１点・瓦22点。そのうち土師器坏１点・甕２点を図示。　**時期**　埋土や出土遺物から６世紀後半から７世紀前半と考えられる。

### （2）　溝　　跡

**Ｗ－１号溝跡**（Fig.43、PL.12）

**位置**　Ｘ118、Ｙ63～66グリッド　**主軸方向**　Ｎ－４°－Ｅ　**長さ**　12.46m　**最大幅**　上幅144㎝、下幅124㎝　**深さ**31㎝　**形状**　Ｕ字形。　**重複**　Ｈ－１と重複しており、新旧関係は、Ｈ－１→本遺構の順である。　**出土遺物**縄文土器２点・土師器29点・須恵器20点・灰釉陶器６点・石類１点・瓦12点。　**時期**　埋土から As-B 降下以降と考えられる。　**備考**　流水の痕跡無し。

### （3）　グリッド等出土遺物

遺物は、土師器101点・須恵器42点・灰釉陶器１点・石類１点・瓦22点が出土した。

## 9区

### （1）　竪穴住居跡

**Ｈ－１号住居跡**（Fig.44・71、PL.13・29）

**位置**　Ｘ166・167、Ｙ93・94グリッド　**主軸方向**　Ｎ－23°－Ｗ　**規模**　東西（2.66）m、南北（4.24）m、壁現高

9.0㎝。　**面積**　(7.34)㎡　**床面**　平坦な床面。　**竈**　不明。　**出土遺物**　弥生土器１点、土師器28点、須恵器５点、灰釉陶器１点。そのうち弥生土器甕１点・土師器高坏１点を図示。　**時期**　埋土や出土遺物から５世紀後半と考えられる。

**Ｈ－２号住居跡**　　欠番

**Ｈ－３号住居跡**（Fig.45・71、PL.13・28・29）

**位置**　Ｘ157・158、Ｙ93・94グリッド　**主軸方向**　Ｎ－73°－Ｅ　**規模**　東西（2.66）ｍ、南北［2.50］ｍ、壁現高15.0㎝。　**面積**　(5.73)㎡　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　不明。　**重複**　Ｈ－４・５と重複しており、新旧関係は、Ｈ－５→Ｈ－４→本遺構の順である。　**出土遺物**　土師器38点、須恵器３点。そのうち弥生土器甕１点、土師坏２点を図示。　**時期**　埋土や出土遺物から６世紀後半と考えられる。

**Ｈ－４号住居跡**（Fig.45、PL.13）

**位置**　Ｘ157・158、Ｙ93グリッド　**主軸方向**　Ｎ－76°－Ｅ　**規模**　東西2.08ｍ、南北（3.02）ｍ、壁現高は19㎝を測る。　**面積**　(5.21)㎡　**床面**　全体的に平坦で堅緻な床面。　**竈**　不明。　**重複**　Ｈ－３・５と重複しており、新旧関係は、Ｈ－５→本遺構→Ｈ－３の順である。　**出土遺物**　弥生土器１点、土師器23点、須恵器４点。そのうち弥生土器甕１点を図示。　**時期**　埋土や出土遺物、重複関係から５世紀代から６世紀中葉と考えられる。

**Ｈ－５号住居跡**（Fig.45・71、PL.13・29）

**位置**　Ｘ158・159、Ｙ93・94グリッド　**主軸方向**　Ｎ－71°－Ｅ　**規模**　東西［5.98］ｍ、南北［4.30］ｍ　**面積**［19.69］㎡　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**炉**　中央やや南より検出され、主軸方向Ｎ－88°－Ｅであり、長軸62㎝、短軸48㎝、深さ11㎝。　**重複**　Ｈ－３・４、Ｗ－１と重複しており、新旧関係は、本遺構→Ｈ－４→Ｈ－３→Ｗ－１の順である。　**出土遺物**　土師器11点。そのうち土師器小型器台１点・坏１点を図示。　**時期**　埋土や出土遺物から４世紀後半と考えられる。

**Ｈ－６号住居跡**（Fig.44・71、PL.29）

**位置**　Ｘ165・166、Ｙ94グリッド　**主軸方向**　Ｎ－80°－Ｅ　**規模**　東西［2.90］ｍ、南北（1.40）ｍ、壁現高13.5㎝。　**面積**　(2.48)㎡　**床面**　平坦な床面。　**竈**　西壁に位置する。　**出土遺物**　土師器４点。そのうち土師器坏１点を図示。　**時期**　埋土や出土遺物から６世紀後半から７世紀前半と考えられる。

**Ｈ－７号住居跡**（Fig.44・71、PL.13・29）

**位置**　Ｘ159～161、Ｙ92グリッド　**主軸方向**　Ｎ－77°－Ｅ　**規模**　東西3.62ｍ、南北（1.07）ｍ、壁現高13.5㎝。**面積**　(5.11)㎡　**床面**　平坦な床面。　**竈**　不明。　**重複**　Ｗ－３、Ａ－２と重複しており、新旧関係は、本遺構→Ｗ－３→Ａ－２の順である。　**出土遺物**　土師器13点、須恵器９点、瓦４点。そのうち須恵器坏１点を図示。**時期**　埋土や出土遺物から10世紀後半と考えられる。

## （2）　竪穴状遺構

**Ｔ－１号竪穴状遺構**（Fig.44、PL.13）

**位置**　Ｘ166・167、Ｙ93グリッド　**主軸方向**　Ｎ－96°－Ｅ　**規模**　東西（2.40）ｍ、南北1.64ｍ、壁現高35.5㎝。**面積**　(4.07)㎡　**床面**　平坦な床面。　**重複**　Ａ－１と重複しており、新旧関係は本遺構→Ａ－１の順である。

**出土遺物**　土師器12点、須恵器４点　**時期**　埋土や出土遺物から７世紀代と考えられる。

## (3)　溝　　跡

### Ｗ－１号溝跡

**位置**　Ｘ157、Ｙ92～94グリッド　**主軸方向**　Ｎ－０°－Ｅ　**長さ**　7.58m　**備考**　元総社小見内Ⅲ遺跡において調査済み。

### Ｗ－２号溝跡（Fig.46、PL.13）

**位置**　Ｘ159、Ｙ92～94グリッド　**主軸方向**　Ｎ－１°－Ｅ　**長さ**　7.4m　**最大幅**　上幅74.0cm、下幅46.0cm　**深さ**　40.5cm　**形状等**　Ｕ字形　**重複**　Ｈ－５、Ｗ－３、Ａ－２と重複しており、新旧関係はＨ－５→Ｗ－３→Ａ－２→本遺構の順である。　**出土遺物**　土師器15点・須恵器14点・瓦２点　**時期**　埋土から As-B 降下以降と考えられる。　**備考**　流水の痕跡無し。

### Ｗ－３号溝跡（Fig.46・71・72、PL.13・29）

**位置**　Ｘ157～163、Ｙ92・93グリッド　**主軸方向**　Ｎ－86°－Ｅ　**長さ**　24.72m　**最大幅**　上幅140.0cm、下幅90.0cm　**深さ**　41.5cm　**形状等**　Ｕ字形　**重複**　Ｈ－４・７、Ｗ－１・２・５、Ａ－１・２と重複しており、新旧関係はＨ－４→Ｈ－７・Ｗ－１・５→本遺構→Ａ－１・２→Ｗ－２の順である。　**出土遺物**　縄文土器１点、土師器194点、須恵器176点、灰釉陶器９点、瓦９点。そのうち瓦１点を図示。　**時期**　埋土から As-B 降下以降と考えられる。　**備考**　流水の痕跡無し。

### Ｗ－４号溝跡（Fig.46）

**位置**　Ｘ160～163、Ｙ94グリッド　**主軸方向**　Ｎ－96°－Ｅ　**長さ**　14.4m　**最大幅**　上幅60.0cm、下幅50.0cm　**深さ**　19.5cm　**形状等**　Ｕ字形　**出土遺物**　土師器２点、須恵器２点　**時期**　埋土から As-B 降下以降と考えられる。　**備考**　流水の痕跡無し。

### Ｗ－５号溝跡（Fig.46、PL.13）

**位置**　Ｘ159～161、Ｙ93グリッド　**主軸方向**　Ｎ－100°－Ｅ　**長さ**　10.48m　**最大幅**　上幅142.0cm、下幅100.0cm　**深さ**　17.0cm　**形状等**　Ｕ字形　**重複**　Ｗ－２・３、Ａ－２と重複しており、新旧関係は本遺構→Ｗ－３→Ａ－２→Ｗ－２の順である。　**出土遺物**　土師器１点、須恵器３点　**時期**　埋土から As-B 降下以降と考えられる。　**備考**　流水の痕跡無し。

## (4)　道路状遺構

### Ａ－１号道路状遺構（Fig.47）

**位置**　Ｘ162～167、Ｙ92・93グリッド　**主軸方向**　Ｎ－97°－Ｅ　**長さ**　12.1m　**最大幅**　126cm　**深さ**　16.0cm　**重複**　Ｔ－１・Ｗ－３と重複しており、新旧関係はＴ－１→Ｗ－３→本遺構の順である。　**出土遺物**　土師器55点、須恵器39点、灰釉陶器３点、石類１点、瓦１点　**時期**　埋土から As-B 降下以降と考えられる。

### Ａ－２号道路状遺構（Fig.47、PL.13）

**位置**　Ｘ158～162、Ｙ92・93グリッド　**主軸方向**　Ｎ－101°－Ｅ　**長さ**　(14.6)m　**最大幅**　130.0cm　**深さ**　12.0cm　**重複**　Ｈ－７、Ｗ－２・３・５と重複しており、新旧関係はＨ－７→Ｗ－５→Ｗ－３→本遺構→Ｗ－２

の順である。　**出土遺物**　土師器35点、須恵器31点、灰釉陶器７点、瓦５点　**時期**　埋土から As-B 降下以降と考えられる。

### (5)　土坑・ピット（Fig.46・47・71・72、PL.29）

土坑・ピットについては、Tab.４土坑・ピット計測表を参照のこと。遺物は、縄文土器７点・土師器95点・須恵器46点・灰釉陶器１点・瓦１点が出土した。そのうち須恵器高台椀１点、小型坏１点を図示した。

### (6)　グリッド等出土遺物（Fig.78、PL.33）

遺物は、縄文土器７点・土師器236点・須恵器153点・灰釉陶器４点・瓦16点が出土した。そのうち瓦１点を図示。

## 10区

### (1)　竪穴住居跡

**Ｈ－１号住居跡**（Fig.48・72、PL.14・29）

**位置**　Ｘ157・158、Ｙ128・129グリッド　**主軸方向**　Ｎ－96°－Ｅ　**形状等**　方形と推定される。東西（3.29）m、南北（3.28）m、壁現高30.0㎝。　**面積**　（13.27）㎡　**床面**　平坦で堅緻な貼り床。　**竈**　東壁南に位置する。主軸方向　Ｎ－85°－Ｅ。全長（99）㎝、最大幅（54）㎝、焚口部幅（46）㎝。構築材に粘土、袖部に川原石を用いる。**出土遺物**　土師器70点、須恵器36点、瓦３点、灰釉陶器４点、鉄製品５点、石製品１点。そのうち土師器甕１点、須恵器高台皿１点・須恵器羽釜１点、刀子１点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物から９世紀後半から10世紀前半と考えられる。

**Ｈ－２号住居跡**（Fig.48・72、PL.14・29）

**位置**　Ｘ157・156、Ｙ127グリッド　**主軸方向**　Ｎ－94°－Ｅ　**形状等**　長方形と推定される。東西（2.60）m、南北（0.97）m、壁現高34.0㎝。　**面積**　（8.33）㎡　**床面**　平坦でやや堅緻な貼り床。　**竈**　東壁南に位置する。主軸方向　Ｎ－99°－Ｅ。全長128㎝、最大幅（50）㎝、焚口部幅34㎝。構築材に粘土を、袖部に川原石、凝灰岩を用いる。　**重複**　Ｗ－１と重複しており、新旧関係は本遺構→Ｗ－１の順である。　**出土遺物**　土師器14点、須恵器89点。そのうち須恵器高台椀１点・須恵器羽釜１点を図示。　**時期**　出土遺物から10世紀前半から10世紀後半と考えられる。

**Ｈ－３号住居跡**（Fig.49）

**位置**　Ｘ159、Ｙ127・128グリッド　**主軸方向**　Ｎ－85°－Ｅ　**形状等**　長方形と推定される。東西（2.00）m、南北（0.62）m、壁現高29.0㎝。　**面積**　（4.67）㎡　**床面**　堅緻で平坦な床　**竈**　不明　**出土遺物**　土師器８点、須恵器２点。　**時期**　覆土および出土遺物から８世紀後半から９世紀代と考えられる。

### (2)　溝跡

**Ｗ－１号溝跡**（Fig.49）

**位置**　Ｘ157、Ｙ127・128グリッド　**主軸方向**　Ｎ－166°－Ｅ　**長さ**　2.2m　**最大幅**　上幅50㎝、下幅32㎝　**深さ**　9.0㎝　**形状**　Ｕ字形　**重複**　Ｈ－２と重複しており、新旧関係はＨ－２→本遺構の順である。　**時期**　覆土および重複関係から10世紀後半から As-B 降下以前と考えられる。　**備考**　流水の痕跡無し。

**W－２号溝跡**（Fig.49・72）

**位置**　X159、Y128グリッド　**主軸方向**　N－162°－E　**長さ**　3.5m　**最大幅**　上幅208㎝、下幅60㎝　**深さ**　72㎝　**形状**　逆台形　**出土遺物**　土師器19点、須恵器３点。そのうち土師器甕１点を図示。　**時期**　覆土からHr-FP降下以降から８世紀代と考えられる。　**備考**　流水の痕跡無し。

**W－３号溝跡**（Fig.49）

**位置**　X160・161、Y128グリッド　**主軸方向**　N－176°－E　**長さ**　1.5m　**最大幅**　上幅156㎝、下幅45㎝　**深さ**　39.0㎝　**形状等**　逆台形　**出土遺物**　なし　**時期**　覆土からHr-FP降下以降からAs-B降下以前と考えられる。　**備考**　流水の痕跡無し。

### （3）　土坑（Fig.49）

土坑については、Tab.４土坑・ピット計測表を参照のこと。

## 11区

### （1）　竪穴住居跡

**H－1号住居跡**（Fig.50・72、PL.29）

**位置**　X172、Y138・139グリッド　**主軸方向**　N－100°－E　**規模**　東西（1.58）m、南北2.90m、壁現高19.5㎝。　**面積**　（3.66）㎡　**床面**　平坦な床面。　**竈**　不明。　**重複**　H－２と重複しており、新旧関係は、本遺構→H－２の順である。　**出土遺物**　土師器70点、須恵器21点、灰釉陶器２点、石類１点。そのうち灰釉陶器高台皿１点を図示。　**時期**　埋土や出土遺物から10世紀前半と考えられる。

**H－２号住居跡**（Fig.50、PL.15）

**位置**　X171・172、Y138グリッド　**主軸方向**　N－97°－E　**規模**　東西2.94m、南北3.68m、壁現高25.5㎝。　**面積**　9.86㎡　**床面**　平坦な床面。　**竈**　東壁南寄りに位置する。主軸方向　N－112°－E。全長94㎝、最大幅98㎝、焚口部幅30㎝。構築材に粘土、支脚に川原石を用いる。　**重複**　H－１と重複しており、新旧関係は、H－１→本遺構の順である。　**出土遺物**　土師器104点、須恵器38点、灰釉陶器５点、石類２点、瓦１点。　**時期**　埋土や出土遺物から10世紀中葉と考えられる。

**H－３号住居跡**（Fig.51、PL.15）

**位置**　X170・171、Y138・139グリッド　**主軸方向**　N－90°－E　**規模形状等**　方形と推定される。東西（2.76）m、南北3.90m、壁現高22.5㎝。　**面積**　（10.42）㎡　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　東南隅に位置する。主軸方向　N－111°－E。全長166㎝、最大幅46㎝、焚口部幅24㎝。構築材に粘土、川原石を用いる。　**出土遺物**　土師器42点、須恵器11点、灰釉陶器２点、石類２点、瓦２点。　**時期**　埋土や出土遺物から11世紀代と考えられる。

**H－４号住居跡**（Fig.50、PL.15）

**位置**　X172、Y129・130グリッド　**主軸方向**　N－31°－W　**規模**　東西（1.72）m、南北（2.70）m、壁現高19.0㎝。　**面積**　（2.31）㎡　**床面**　平坦な床面。　**竈**　不明。　**出土遺物**　土師器４点、須恵器１点。　**時期**　埋土や出土遺物からHr-FP降下以降As-B降下以前と考えられる。

**Ｈ－５号住居跡**　欠番

**Ｈ－６号住居跡**（Fig.51・72、PL.15・29・30）

**位置**　Ｘ170、Ｙ130・131グリッド　**主軸方向**　Ｎ－67°－Ｅ　**規模**　東西（1.90）ｍ、南北（3.62）ｍ、壁現高18.0㎝。　**面積**　（2.84）㎡　**床面**　平坦な床面。　**竈**　東壁中央南寄りに位置する。主軸方向 Ｎ－65°－Ｅ。全長86㎝、最大幅92㎝、焚口部幅30㎝。構築材に粘土、川原石を使用している。　**重複**　Ｋ－1と重複しており、新旧関係は、本遺構→Ｋ－１の順である。　**出土遺物**　土師器19点、須恵器３点。そのうち土師甕１点、須恵器坏１点を図示。　**時期**　埋土や出土遺物から８世紀代と考えられる。

**Ｈ－７号住居跡**　欠番

**Ｈ－８号住居跡**（Fig.52、PL.15・16）

**位置**　Ｘ170～172、Ｙ136・137グリッド　**主軸方向**　Ｎ－98°－Ｅ　**規模**　東西4.42m、南北4.12m、壁現高30.0㎝。　**面積**　16.82㎡　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　東壁南隅に近い場所に位置する。主軸方向 Ｎ－128°－Ｅ。全長110㎝、最大幅58㎝、焚口部幅14㎝。構築材に粘土用いる。　**重複**　Ｈ－９・10・20と重複しており、新旧関係は、Ｈ－10→Ｈ－９→Ｈ－20→本遺構の順である。　**出土遺物**　土師器333点、須恵器97点、灰釉陶器25点、石類１点、鉄類２点、瓦26点。　**時期**　埋土や出土遺物から11世紀前半と考えられる。

**Ｈ－９号住居跡**（Fig.52、PL.15・16）

**位置**　Ｘ170～172、Ｙ136・137　**主軸方向**　Ｎ－114°－Ｅ　**規模**　東西［4.14］ｍ、南北［2.66］ｍ、壁現高22.0㎝。　**面積**　［10.95］㎡　**床面**　平坦な床面。　**竈**　東南隅に位置する。主軸方向 Ｎ－122°－Ｅ。全長110㎝、最大幅58㎝、焚口部幅20㎝。構築材に粘土を用いる。　**重複**　Ｈ－８・10と重複しており、新旧関係は、Ｈ－10→本遺構→Ｈ－８の順である。　**出土遺物**　土師器７点、須恵器２点、灰釉陶器１点、瓦１点。　**時期**　埋土や出土遺物から10世紀後半と考えられる。

**Ｈ－10号住居跡**（Fig.52・72、PL.15・16・29）

**位置**　Ｘ171、Ｙ137・138グリッド　**主軸方向**　Ｎ－87°－Ｅ　**規模**　東西（1.68）ｍ、南北（0.70）ｍ、壁現高24㎝。　**面積**　（0.98）㎡　**床面**　平坦な床面。　**竈**　東南隅に位置する。主軸方向 Ｎ－128°－Ｅ。全長86㎝、最大幅40㎝、焚口部幅16㎝。構築材に粘土を用いる。　**重複**　Ｈ－８・９と重複しており、新旧関係は、本遺構→Ｈ－９→Ｈ－８の順である。　**出土遺物**　土師器27点、須恵器６点、瓦２点。そのうち須恵器坏１点を図示。　**時期**　埋土や出土遺物から10世紀前半と考えられる。

**Ｈ－11号住居跡**（Fig.51・72、PL.16・29）

**位置**　Ｘ170、Ｙ134・135グリッド　**主軸方向**　Ｎ－87°－Ｅ　**規模**　東西（0.50）ｍ、南北（3.70）ｍ、壁現高23.5㎝。　**面積**　（1.49）㎡　**床面**　平坦な床面。　**竈**　東南隅に位置する。主軸方向 Ｎ－145°－Ｅ。全長117㎝、最大幅40㎝、焚口部幅32㎝を測る。構築材に粘土を用いる。　**重複**　Ｈ－17と重複しており、新旧関係は、Ｈ－17→本遺構の順である。　**出土遺物**　土師器16点、須恵器５点、灰釉陶器２点。そのうち須恵器小型坏１点を図示。　**時期**　埋土や出土遺物から11世紀以降 As-B 降下以前と考えられる。

**Ｈ－12号住居跡**（Fig.52・73、PL.16・17・30）

**位置**　Ｘ170・171、Ｙ135・136グリッド　**主軸方向**　Ｎ－104°－Ｅ　**規模**　東西3.10m、南北4.24m、壁現高28cm。　**面積**　13.02㎡　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　東壁中央に位置する。主軸方向 Ｎ－102°－Ｅ。全長120cm、最大幅80cm、焚口部幅38cm。構築材に粘土、川原石を用いる。　**重複**　Ｈ－20・21と重複しており、新旧関係は、Ｈ－21→Ｈ－20→本遺構の順である。　**出土遺物**　土師器215点、須恵器77点、灰釉陶器17点、石類１点、鉄類１点、瓦２点。そのうち須恵器坏１点・高台椀１点・甕１点、釘１点を図示。　**時期**　埋土や出土遺物、重複関係から11世紀代から As-B 降下以前と考えられる。

**Ｈ－13号住居跡**　　欠番

**Ｈ－14号住居跡**　　欠番

**Ｈ－15号住居跡**　　欠番

**Ｈ－16号住居跡**（Fig.53、PL.16）

**位置**　Ｘ170～172、Ｙ131・132グリッド　**主軸方向**　Ｎ－95°－Ｅ　**面積**　[22.79]㎡　**規模**　東西［5.44］m、南北［4.04］m、壁現高は10.0cmを測る。　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　東壁に位置する。主軸方向 Ｎ－88°－Ｅ。全長128cm、最大幅72cm、焚口部幅20cm。構築材に粘土を用いる。　**重複**　Ｔ－１と重複しており、新旧関係は、本遺構→Ｔ－１の順である。　**出土遺物**　土師器26点、須恵器３点　**時期**　埋土や出土遺物、重複関係から９世紀代から As-B 降下以前と考えられる。

**Ｈ－17号住居跡**（Fig.51）

**位置**　Ｘ170、Ｙ134グリッド　**竈**　主軸方向 Ｎ－89°－Ｅ。全長［70］cm、最大幅［56］cm、焚口部幅［40］cm。構築材に粘土、瓦を用いる。　**重複**　Ｈ－11と重複しており、新旧関係は、本遺構→Ｈ－11の順である。　**出土遺物**　土師器１点、瓦1点。　**時期**　重複関係や出土遺物から９世紀代から10世紀代と考えられる。　**備考**　竈先端のみの検出のため形状等不明である。

**Ｈ－18号住居跡**（Fig.53・73、PL.16・17・30）

**位置**　Ｘ171・172、Ｙ133～135グリッド　**主軸方向**　Ｎ－92°－Ｅ　**規模**　東西4.30m、南北3.62m、壁現高16.0cm。　**面積**　15.28㎡　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　東南隅に位置する。主軸方向 Ｎ－149°－Ｅ。全長134cm、最大幅50cm、焚口部幅28cm。構築材に粘土を用いる。　**重複**　Ｈ－22と重複しており、新旧関係は、Ｈ－22→本遺構の順である。　**出土遺物**　土師器132点、須恵器30点、灰釉陶器７点、瓦５点。そのうち須恵器坏１点を図示。　**時期**　埋土や出土遺物、重複関係から11世紀代と考えられる。

**Ｈ－19号住居跡**　　欠番

**Ｈ－20号住居跡**（Fig.54・74、PL.17）

**位置**　Ｘ171・172、Ｙ136・137グリッド　**主軸方向**　Ｎ－91°－Ｅ　**規模**　東西（3.56）m、南北2.40m、壁現高35.0cm。　**面積**　(6.09)㎡　**床面**　ほぼ平坦な床面。　**竈**　不明。　**重複**　Ｈ－８・12・21と重複しており、新旧関係は、Ｈ－21→本遺構→Ｈ－12→Ｈ－８の順である。　**出土遺物**　土師器61点、須恵器34点、緑釉陶器１点、

灰釉陶器６点、瓦１点。そのうち緑釉陶器稜椀１点を図示。　**時期**　埋土や出土遺物、重複関係から10世紀後半から11世紀代と考えられる。

**Ｈ－21号住居跡**（Fig.54・73、PL.17・30）

**位置**　Ｘ171・172、Ｙ133・134グリッド　**主軸方向**　Ｎ－106°－Ｅ　**規模**　東西（3.70）ｍ、南北（4.26）ｍ、壁現高28.0㎝。　**面積**　（14.86）㎡　**床面**　平坦な床面。　**竈**　不明。　**重複**　Ｈ－12・20・22と重複しており、新旧関係は、Ｈ－22→本遺構→Ｈ－20→Ｈ－12の順である。　**出土遺物**　土師器82点、須恵器37点、灰釉陶器８点、瓦２点。そのうち須恵器小型坏２点、灰釉陶器高台皿１点を図示。　**時期**　埋土や出土遺物から10世紀後半から11世紀代と考えられる。

**Ｈ－22号住居跡**（Fig.54・73、PL.17・30）

**位置**　Ｘ171・172、Ｙ134・135グリッド　**主軸方向**　Ｎ－105°－Ｅ　**規模**　東西（8.40）ｍ、南北（4.34）ｍ、壁現高26.0㎝。　**面積**　（15.17）㎡　**床面**　平坦な床面。　**竈**　東壁に位置する。主軸方向　Ｎ－120°－Ｅ。全長（116）㎝、最大幅（96）㎝、焚口部幅（42）㎝。構築材に粘土を用いる。　**重複**　Ｈ－18・21と重複しており、新旧関係は、本遺構→Ｈ－21→Ｈ－18の順である。　**出土遺物**　土師器126点、須恵器52点、灰釉陶器７点、石類１点、鉄類１点。そのうち須恵器小型坏３点、鉄製紡錘車１点を図示。　**時期**　埋土や出土遺物、重複関係から10世紀後半から11世紀代と考えられる。

## （2）　竪穴状遺構

**Ｔ－１号竪穴状遺構**（Fig.55、PL.　）

**位置**　Ｘ171、Ｙ131・132グリッド　**主軸方向**　Ｎ－５°－Ｅ　**規模**　東西2.34ｍ、南北2.38ｍ、壁現高16.0㎝。

**面積**　5.31㎡　**床面**　平坦な床面。　**重複**　Ｈ－16と重複しており、新旧関係はＨ－16→本遺構の順である。

**出土遺物**　土師器28点、須恵器９点、灰釉陶器３点、鉄類１点。そのうち釘１点を図示。　**時期**　埋土や出土遺物、重複関係から10世紀代から As-B 降下以前と考えられる。

## （3）　工　房　跡

**Ｋ－１号工房跡**（Fig.55・73・74、PL.17・30）

**位置**　Ｘ170・171、Ｙ129～131グリッド　**主軸方向**　Ｎ－84°－Ｅ　**規模**　東西（5.03）ｍ、南北（5.56）ｍ、壁現高8.0㎝。　**面積**　（30.01）㎡　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**炉**　中央部より７箇所検出。Ｆ1（長軸方向　Ｎ－140°－Ｅ。長軸67㎝、短軸58㎝、深さ６㎝）Ｆ2（長軸方向　Ｎ－89°－Ｅ。長軸40㎝、短軸38㎝、深さ８㎝）Ｆ3（長軸方向　Ｎ－131°－Ｅ。長軸20㎝、短軸18㎝、深さ５㎝）Ｆ4（長軸方向　Ｎ－170°－Ｅ。長軸41㎝、短軸37㎝、深さ７㎝）Ｆ5（長軸方向　Ｎ－135°－Ｅ。長軸50㎝、短軸37㎝、深さ４㎝）Ｆ6（長軸方向　Ｎ－156°－Ｅ。長軸30㎝、短軸25㎝、深さ4㎝）Ｆ7（長軸方向　Ｎ－150°－Ｅ。長軸36㎝、短軸27㎝、深さ４㎝）　**重複**　Ｈ－６と重複しており、新旧関係はＨ－６→本遺構の順である。　**出土遺物**　土師器28点、須恵器９点、緑釉陶器１点、灰釉陶器３点、鉄類１点。そのうち緑釉陶器長頸壺１点、刀子１点を図示した。　**時期**　埋土や出土遺物から９世紀代から As-B 降下以前と考えられる。

## （4）　溝　　跡

**Ｗ－１号溝跡**（Fig.55・73、PL.30）

**位置**　Ｘ171・172、Ｙ140グリッド　**主軸方向**　Ｎ－93°－Ｅ　**形状等**　Ｕ字形。長さ3.76ｍ、深さ29㎝、最大上

幅106cm、最大下幅76cmを測る。**時期**　埋土から As-B 降下以降と考えられる。　**出土遺物**　土師器54点・須恵器31点・瓦10点・石類２点。そのうち須恵器坏１点を図示した。　**備考**　流水の痕跡無し。

## (5)　土坑・ピット（Fig.51・56・57・58・73・74、PL.17・30・31）

土坑・ピットについては、Tab.４土坑・ピット計測表を参照のこと。遺物は、土師器229点・須恵器115点・灰釉陶器31点・鉄類６点、瓦２点が出土した。そのうち須恵器坏１点、高台椀１点、高台皿２点、甕１点、カワラケ15点、砥石１点、鉄鏃１点、馬具１点、釘１点を図示した。

## (6)　グリッド等出土遺物

遺物は、土師器466点・須恵器176点・灰釉陶器29点・石類１点・鉄類２点・瓦28点が出土した。

Tab. 2　竪穴住居跡・竪穴状遺構一覧表

1 区

| 遺構名 | 位　置 | 規　模（m） | | | 面積（㎡） | 主軸方向 | 竈 | | 周溝 | 主な出土遺物 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 東西 | 南北 | 壁現高（cm） | | | 位　置 | 構築材 | | 土師器 | 須恵器 | その他 |
| H－1 | X33・34 Y167～169 | (2.50) | (4.40) | 48 | (6.25) | N－53°－E | 東壁南寄 | 粘土・川原石 | － | 坏・甕 | | |
| H－2 | X33 Y167・168 | (0.84) | 3.44 | 43 | (2.73) | N－85°－E | 東壁南寄 | 粘土 | － | | 坏 | |
| H－3 | X33 Y165・166 | (1.34) | 4.04 | 50 | (5.42) | N－98°－E | 東壁南寄 | 粘土 | ○ | | 坏・高台椀 | 三彩・緑釉 |
| H－4 | X33・34 Y164・165 | 3.18 | (2.84) | 28 | (7.99) | N－85°－E | 東壁南寄 | 粘土 | － | 坏・甕 | 坏・高台皿 | 緑釉・砥石 |
| H－5 | X34 Y164 | (2.70) | (1.80) | 8 | (1.88) | N－50°－E | － | － | － | | | |
| H－6 | X33 Y166・167 | (1.60) | [4.90] | 48 | (6.16) | N－86°－E | 東壁南寄 | 粘土・瓦 | ○ | 甕 | 高台椀 | 灰釉 |
| H－7 | X33・34 Y165 | (2.14) | (3.30) | 38 | (2.24) | N－87°－E | 東壁 | 粘土・凝灰岩 | ○ | 甕 | 坏･甑 | 鉄釜？ |
| H－8 | 欠　番 | | | | | | | | | | | |
| H－9 | 欠　番 | | | | | | | | | | | |
| H－10 | X34・35 Y167・168 | (0.92) | [3.50] | 8 | (2.52) | N－85°－E | － | － | － | | 高台椀 | |

2 区

| 遺構名 | 位　置 | 規　模（m） | | | 面積（㎡） | 主軸方向 | 竈 | | 周溝 | 主な出土遺物 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 東西 | 南北 | 壁現高（cm） | | | 位　置 | 構築材 | | 土師器 | 須恵器 | その他 |
| H－1 | X170・171 Y126・127 | 3.88 | (4.40) | 35 | (15.91) | N－91°－E | 東壁南寄 | 粘土・凝灰岩 | － | | | |
| H－2 | X165～167 Y126 | (5.80) | (1.80) | 55 | (8.26) | N－90°－E | － | － | － | 坏・甕 | | 石製紡錘車 |

3 区

| 遺構名 | 位　置 | 規　模（m） | | | 面積（㎡） | 主軸方向 | 竈 | | 周溝 | 主な出土遺物 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 東西 | 南北 | 壁現高（cm） | | | 位　置 | 構築材 | | 土師器 | 須恵器 | その他 |
| H－1 | X32・33 Y175・176 | (2.80) | (1.52) | 36 | (2.86) | N－87°－E | － | － | － | 坏 | | |

4 区

| 遺構名 | 位　置 | 規　模（m） | | | 面積（㎡） | 主軸方向 | 竈 | | 周溝 | 主な出土遺物 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 東西 | 南北 | 壁現高（cm） | | | 位　置 | 構築材 | | 土師器 | 須恵器 | その他 |
| J－1 | X35～37 Y186～188 | (4.15) | (5.85) | 50 | (17.79) | N－66°－E | － | － | － | | | 縄文土器 土偶 |
| J－2 | X36 Y189・190 | (0.54) | (2.58) | 27 | (5.91) | N－85°－E | － | － | － | | | 縄文土器 |
| J－3 | X36・37 Y194～196 | (0.86) | (5.42) | 48 | (11.69) | N－84°－E | － | － | － | | | 縄文土器 |
| J－4 | X37 Y197・198 | (0.63) | (3.40) | 49 | (7.32) | N－84°－E | － | － | － | | | 縄文土器 |
| H－1 | X35・36 Y183～185 | (4.53) | (5.73) | 22 | (19.65) | N－65°－E | 東壁中央南寄 | 川原石、粘土 | 有 | 坏、甕 | | |
| H－2 | X36 Y188 | － | － | － | － | － | － | － | － | 坏 | 壺 | |
| H－3 | X36・37 Y189～191 | (4.10) | (5.83) | 70 | (17.11) | N－56°－E | － | － | 有 | 坏、甕 | 高台皿 | |
| H－4 | X36・37 Y191・192 | (2.92) | (2.92) | 27 | (11.22) | N －56°－ E | 東壁中央南寄 | 凝灰岩、粘土 | － | 坏、甕 | | |
| H－5 | X37・38 Y193・194 | (3.21) | (3.06) | 22 | (9.23) | N －65°－ E | 東壁中央南寄 | 粘土 | 有 | 坏 | | |
| H－6 | X37 Y196・197 | (0.95) | (3.30) | 30 | (7.89) | N－82°－E | － | － | － | 坩 | | |
| H－7 | X38 Y196・197 | (0.35) | (4.63) | 22 | (10.46) | N－82°－E | － | － | － | | | |
| H－8 | X38・39 Y203・204 | － | － | － | － | － | － | － | － | | 高台椀 | |
| H－9 | X37・38 Y205 | － | － | － | － | － | － | － | － | 甕 | | |
| H－10 | X38 Y207・208 | － | － | － | － | － | － | － | － | | | |

5区

| 遺構名 | 位　置 | 規模（m） | | | 面積（㎡） | 主軸方向 | 竈 | | 周溝 | 主な出土遺物 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 東西 | 南北 | 壁現高（cm） | | | 位　置 | 構築材 | | 土師器 | 須恵器 | その他 |
| H－1 | X40・41<br>Y187・188 | 2.40 | 3.50 | 28.0 | (7.37) | N－88°－E | － | － | － | 甕 | 坏・高台椀 | 緑釉 |
| H－2 | X40・41<br>Y188・189 | (2.72) | [1.62] | 6.0 | [3.76] | N－82°－E | － | － | － | | | 瓦 |
| H－3 | X39・40<br>Y188・189 | 3.72 | (3.40) | 10.0 | (12.24) | N－95°－E | 東壁 | | ○ | | | |
| H－4 | 欠　番 | | | | | | | | | | | |
| H－5 | X39・40<br>Y187 | (2.90) | (1.90) | 36.0 | (2.62) | N－55°－E | － | － | － | | | |
| H－6 | X40・41<br>Y187・188 | [2.79] | [3.88] | 0.5 | [11.28] | N－82°－E | － | － | － | | | |
| H－7 | X40・41<br>Y187～189 | (3.12) | (5.88) | 35.5 | (16.72) | N－90°－E | － | － | － | | | |
| H－8 | X39・40<br>Y188・189 | 3.80 | 3.80 | 30.0 | (13.56) | N －124°－ E | 東壁 | | － | | | 刀子 |
| H－9 | X38・39<br>Y187 | 4.04 | (1.06) | 19.5 | (3.71) | N －90°－ E | － | － | ○ | | | 臼玉 |
| H－10 | X38・39<br>Y188 | (3.86) | (3.80) | 30.0 | [13.87] | N－90°－E | － | － | － | | | 鉄製紡錘車 |
| H－11 | X38<br>Y187・188 | 2.78 | (2.28) | 13.5 | [5.82] | N－88°－E | － | － | － | | | |

6区

| 遺構名 | 位　置 | 規模（m） | | | 面積（㎡） | 主軸方向 | 竈 | | 周溝 | 主な出土遺物 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 東西 | 南北 | 壁現高（cm） | | | 位　置 | 構築材 | | 土師器 | 須恵器 | その他 |
| H－1 | X31・32<br>Y199・200 | (3.13) | (4.63) | 48 | (18.23) | N－85°－E | 東壁南寄り | 川原石<br>瓦、粘土 | － | 甕 | 坏、高台椀<br>羽釜 | |
| H－2 | X32・33<br>Y199・200 | (2.34) | (2.70) | 20 | (9.97) | N－87°－E | 東壁中央南寄 | 凝灰岩<br>瓦、粘土 | － | 甕 | | |
| H－3 | X32・33<br>Y199 | (4.35) | (1.74) | 82 | (10.26) | N－91°－E | | | － | 甕 | | |
| H－4 | X33<br>Y199・200 | (3.30) | (3.90) | 7 | (16.03) | N －81°－ E | 東壁中央 | 瓦、粘土 | － | 坏、甕 | 高台椀 | |
| H－5 | X33・23<br>Y199・200 | (3.75) | (3.33) | 25 | (14.20) | N－91°－E | 東壁中央 | 瓦、粘土 | － | 坏、甕 | 高台皿 | |
| H－6 | X36・37<br>Y199・200 | 3.76 | 4.70 | 37 | 16.17 | N－89°－E | 東壁南寄り | 川原石<br>凝灰岩、粘土 | － | 甕 | 坏、高台椀<br>羽釜 | |
| H－7 | X32・33<br>Y200 | (2.80) | (2.00) | 30 | (8.78) | N－85°－E | | | － | 坏 | 高台椀 | |

7区

| 遺構名 | 位　置 | 規模（m） | | | 面積（㎡） | 主軸方向 | 竈 | | 周溝 | 主な出土遺物 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 東西 | 南北 | 壁現高（cm） | | | 位　置 | 構築材 | | 土師器 | 須恵器 | その他 |
| H－1 | X98・99<br>Y86 | (3.90) | (3.20) | 15 | (10.02) | N－95°－E | 東壁南寄 | 粘土・凝灰岩 | － | | | |
| H－2 | X106・107<br>Y86・87 | 3.72 | (1.46) | 23 | (3.93) | N－91°－E | － | － | － | | 坏 | |
| H－3 | X99<br>Y87 | － | － | － | (0.59) | － | － | － | ○ | 坏 | | |
| H－4 | X103・104<br>Y85～87 | 4.50 | 4.64 | 57 | (18.23) | N －117°－ W | 西壁南寄 | 粘土 | ○ | 坏 | | |
| H－5 | X103・104<br>Y85・86 | [3.10] | (1.40) | 17 | (3.45) | N－90°－E | 東壁 | 粘土 | － | | 高台椀 | |
| H－6 | X104・105<br>Y85・86 | 1.66 | (2.06) | 18 | (3.01) | N－91°－E | － | － | － | | | |
| H－7 | X105・106<br>Y85・86 | 3.16 | (2.50) | 31 | (6.76) | N－95°－E | 東壁 | 粘土・凝灰岩 | － | 坏・甕 | 坏 | |
| H－8 | 欠　番 | | | | | | | | | | | |
| H－9 | X106・107<br>Y85・86 | 3.38 | (3.98) | 23 | (12.04) | N－92°－E | 東壁 | 粘土・瓦 | － | 坏・甕 | 高台椀 | 瓦 |
| H－10 | X109・110<br>Y86 | 3.20 | [3.12] | 8 | [9.40] | N－92°－E | 東壁 | 粘土・瓦 | － | | 坏 | 瓦 |
| H－11 | X109～111<br>Y95・96 | [4.26] | (2.10) | 12 | (8.36) | N－92°－E | 東壁 | 粘土・凝灰岩 | － | | 坏 | 土製紡錘車 |
| H－12 | X112・113<br>Y86 | (4.96) | (2.74) | 53 | (5.97) | N－61°－E | － | － | ○ | 坏 | 高台椀・蓋 | |

| 遺構名 | 位　　置 | 規　模（m） | | | 面積（㎡） | 主軸方向 | 竈 | | 周溝 | 主な出土遺物 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 東西 | 南北 | 壁現高（cm） | | | 位　置 | 構築材 | | 土師器 | 須恵器 | その他 |
| H－13 | X114～116<br>Y85・86 | (5.22) | (3.62) | 76 | (10.45) | N－51°－E | 東壁 | 粘土 | ○ | 坏 | 坏 | 土錘刀子 |
| H－14 | X110・111<br>Y86 | 3.10 | (1.00) | 25 | (2.71) | N－80°－E | － | － | － | | | |
| H－15 | X115<br>Y85 | (2.34) | (1.54) | 64 | (1.82) | N－55°－E | － | － | ○ | | | |
| H－16 | X111・112<br>Y86 | 2.46 | (1.52) | 39 | (3.27) | N－90°－E | － | － | － | | | |
| H－17 | X110・111<br>Y95・96 | (2.70) | (2.42) | 32 | (8.35) | N－51°－E | － | － | － | | | |
| H－18 | X107<br>Y85 | (3.16) | (0.72) | 19 | (1.58) | N－94°－E | － | － | － | | 坏 | |
| H－19 | X110・111<br>Y85・86 | (5.96) | (4.14) | 59 | (12.77) | N－57°－E | － | － | ○ | 坏・甕 | 坏 | 臼玉金環 |
| H－20 | X107・108<br>Y85 | (3.72) | (1.30) | 16 | (3.30) | N－93°－E | － | － | － | | | |
| H－21 | X107・108<br>Y85・86 | (3.38) | 3.82 | 18 | (9.28) | N－90°－E | － | － | － | | | |
| H－22 | X108・109<br>Y85・86 | 4.20 | (5.48) | 46 | (19.64) | N－97°－E | 東壁南北 | 粘土・瓦 | ○ | 甕 | 坏･高台椀<br>皿 | 石製紡錘車 |
| H－23 | X109・110<br>Y85・86 | (3.20) | (3.10) | 14 | (4.41) | N－44°－E | － | － | ○ | | | |
| T－1 | X104・105<br>Y86・87 | 1.44 | (2.10) | 13 | (2.72) | N－1°－E | － | － | － | | | |
| T－2 | X106・107<br>Y86 | 1.34 | (1.80) | 14 | 1.78 | N－19°－E | － | － | － | | | |
| T－3 | X107・108<br>Y86 | 1.70 | 1.76 | 22 | 2.28 | N－71°－E | － | － | － | | | |

8区

| 遺構名 | 位　　置 | 規　模（m） | | | 面積（㎡） | 主軸方向 | 竈 | | 周溝 | 主な出土遺物 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 東西 | 南北 | 壁現高（cm） | | | 位　置 | 構築材 | | 土師器 | 須恵器 | その他 |
| H－1 | X118・119<br>Y64～66 | (4.02) | 5.74 | 23 | (15.15) | N－91°－E | 東壁中央南寄 | 粘土 | － | 坏・甕 | | |

9区

| 遺構名 | 位　　置 | 規　模（m） | | | 面積（㎡） | 主軸方向 | 竈 | | 周溝 | 主な出土遺物 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 東西 | 南北 | 壁現高（cm） | | | 位　置 | 構築材 | | 土師器 | 須恵器 | その他 |
| H－1 | X166・167<br>Y93・94 | 2.66 | 4.24 | 9 | (7.34) | N－23°－W | － | － | － | 高杯 | | 弥生 |
| H－2 | 欠　番 | | | | | | | | | | | |
| H－3 | X157・158<br>Y93・94 | [2.66] | [2.5] | 15 | [5.73] | N－73°－E | － | － | － | 坏 | | |
| H－4 | X157・158<br>Y93 | [2.08] | [3.02] | 19 | [5.21] | N －76°－ E | － | － | － | | | 弥生 |
| H－5 | X158・159<br>Y93・94 | [5.98] | [4.30] | － | [19.69] | N－71°－E | － | － | － | 坏・器台 | | |
| H－6 | X165・166<br>Y94 | [2.9] | (1.40) | 14 | (2.48) | N－80°－E | － | － | － | 坏 | | |
| H－7 | X159～161<br>Y92 | 3.62 | (1.07) | 14 | (5.11) | N－77°－E | － | － | － | | 小型坏 | |
| T－1 | X166・167<br>Y93 | (2.40) | 1.64 | 36 | (4.07) | N－96°－E | － | － | － | | | |

10区

| 遺構名 | 位　　置 | 規　模（m） | | | 面積（㎡） | 主軸方向 | 竈 | | 周溝 | 主な出土遺物 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 東西 | 南北 | 壁現高（cm） | | | 位　置 | 構築材 | | 土師器 | 須恵器 | その他 |
| H－1 | X157・158<br>Y128・129 | (3.29) | (3.28) | 30 | (13.27) | N－96°－E | 東壁南 | 川原石、粘土 | － | 甕 | 高台皿・<br>羽釜 | |
| H－2 | X157・158<br>Y127 | (2.60) | (0.97) | 34 | (8.33) | N－94°－E | 東壁南 | 川原石<br>凝灰岩、粘土 | － | | 高台椀・<br>羽釜 | |
| H－3 | X159<br>Y127・128 | (2.00) | (0.62) | 29 | (4.67) | N－85°－E | | | － | | | |

11区

| 遺構名 | 位　置 | 規　模（m） | | | 面積（㎡） | 主軸方向 | 竈 | | 周溝 | 主な出土遺物 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 東西 | 南北 | 壁現高（cm） | | | 位　置 | 構築材 | | 土師器 | 須恵器 | その他 |
| H－1 | X172<br>Y138・139 | (1.58) | 2.90 | 20 | (3.66) | N－100°－E | － | － | － | | | 灰釉 |
| H－2 | X171・172<br>Y138・139 | 2.94 | 3.68 | 26 | 9.86 | N－97°－E | 東壁南寄 | 粘土・川原石 | － | | | |
| H－3 | X170・171<br>Y138・139 | (2.76) | 3.90 | 23 | (10.42) | N－90°－E | 南東隅 | 粘土・川原石 | － | | | |
| H－4 | X172<br>Y129・130 | (1.72) | (2.70) | 19 | (2.31) | N－31°－W | － | － | － | | | |
| H－5 | 欠　番（K－1） | | | | | | | | | | | |
| H－6 | X170<br>Y130・131 | (1.90) | (3.62) | 18 | (2.84) | N－67°－E | 東壁南寄 | 粘土・川原石 | － | 甕 | 坏 | |
| H－7 | 欠　番（K－1） | | | | | | | | | | | |
| H－8 | X170～172<br>Y136・137 | 4.42 | 4.12 | 30 | 16.82 | N－98°－E | 東壁南寄 | | ○ | | | |
| H－9 | X170～172<br>Y136・137 | [4.14] | [2.66] | 22 | [10.95] | N－114°－E | 南東隅 | | － | | | |
| H－10 | X171<br>Y137・138 | (1.68) | (0.70) | 24 | (0.98) | N－87°－E | 南東隅 | | － | | 坏 | |
| H－11 | X170<br>Y134・135 | (0.50) | (3.70) | 24 | (1.49) | N－87°－E | 南東隅 | | － | | 小型坏 | |
| H－12 | X170・171<br>Y135・136 | 3.10 | 4.24 | 28 | 13.02 | N－104°－E | 東壁 | 粘土・川原石 | － | | 坏・高台椀・甕 | 釘 |
| H－13 | 欠　番 | | | | | | | | | | | |
| H－14 | 欠　番 | | | | | | | | | | | |
| H－15 | 欠　番 | | | | | | | | | | | |
| H－16 | X170～172<br>Y131・132 | [5.44] | [4.04] | 10 | [22.79] | N－95°－E | 東壁 | 粘土 | － | | | |
| H－17 | － | － | － | － | － | － | 東壁 | 粘土・瓦 | － | | | |
| H－18 | X171・172<br>Y134・135 | 4.30 | 3.62 | 16.0 | 15.28 | N－92°－E | 南東隅 | 粘土・川原石 | － | | 坏 | |
| H－19 | 欠　番 | | | | | | | | | | | |
| H－20 | X171・172<br>Y136・137 | (3.56) | (2.40) | | (6.09) | N－91°－E | － | － | － | | | 緑釉 |
| H－21 | X171・172<br>Y133・134 | (3.70) | (4.26) | | (14.86) | N－106°－E | － | － | － | | 小型坏 | 灰釉 |
| H－22 | X171・172<br>Y133・134 | (8.40) | (4.34) | 26.0 | (15.17) | N－105°－E | 東壁 | 粘土 | － | | 小型坏 | 鉄製紡錘車 |
| T－1 | X171<br>Y131・132 | 2.34 | 2.38 | 16.0 | 5.31 | N－5°－E | － | － | － | | | 釘 |
| K－1 | X170・171<br>Y129・130 | (5.03) | (5.56) | 8.0 | (30.01) | N－84°－E | － | － | － | | 小型坏 | 緑釉・刀子 |

Tab. 3　溝跡計測表

1 区

| 遺構名 | 位　　置 | 長さ (m) | 深さ（cm） | | 上幅（cm） | | 下幅（cm） | | 主軸方向 | 断面形 | 時　　期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 最大 | 最小 | 最大 | 最小 | 最大 | 最小 | | | |
| W－1 | X33<br>Y164～169 | 18.56 | (47.5) | (38.0) | (54) | (38) | － | － | N－7°－W | 不明 | As-B 降下後 |
| W－2 | X34・35<br>Y168・169 | 4.0 | 115 | 104.0 | 470 | 230 | 110 | 40 | N－18°－E | U字形 | 古代 |

2 区

| 遺構名 | 位　　置 | 長さ (m) | 深さ（cm） | | 上幅（cm） | | 下幅（cm） | | 主軸方向 | 断面形 | 時　　期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 最大 | 最小 | 最大 | 最小 | 最大 | 最小 | | | |
| W－1 | X171<br>Y126 | 2.20 | 8.5 | 5.0 | 76 | 66 | 60 | 48 | N－5°－W | U字形 | As-B 降下後 |
| W－2 | X166・167<br>Y126 | 1.84 | 52.0 | 47.0 | 204 | 186 | 74 | 70 | N－5°－W | U字形 | 古代 |

3 区

| 遺構名 | 位　　置 | 長さ (m) | 深さ（cm） | | 上幅（cm） | | 下幅（cm） | | 主軸方向 | 断面形 | 時　　期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 最大 | 最小 | 最大 | 最小 | 最大 | 最小 | | | |
| W－1 | X33･34<br>Y175～177 | 6.02 | 102.0 | 98.0 | 322 | 284 | 152 | 124 | N－3°－W | U字形 | As-B 降下後 |

4 区

| 遺構名 | 位　　置 | 長さ (m) | 深さ（cm） | | 上幅（cm） | | 下幅（cm） | | 主軸方向 | 断面形 | 時　　期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 最大 | 最小 | 最大 | 最小 | 最大 | 最小 | | | |
| W－1 | X37<br>Y187～189 | 6.4 | 38.5 | 15.5 | 92.0 | 50.0 | 65.0 | 23.0 | N－97°－E<br>N－153°－E | U字形 | 古代 |
| W－2 | X37<br>Y192～194 | 6.5 | 23.0 | 3.5 | 85.0 | 50.0 | 58.0 | 22.0 | N－175°－E<br>N－100°－E | U字形 | 古代 |
| W－3 | X37・38<br>Y195～198 | 16.4 | 13.5 | 3.0 | 115.0 | 58.0 | 80.0 | 45.0 | N－170°－E | U字形 | 古代 |
| W－4 | X37・38<br>Y199～201 | 7.2 | 15.5 | 5.5 | 85.0 | 60.0 | 44.0 | 20.0 | N－175°－E | U字形 | 古代 |
| W－5 | X37<br>Y196・197 | 5.6 | 21.5 | 16.0 | 95.0 | 68.0 | 70.0 | 50.0 | N－169°－E | 逆台形 | 古代 |
| W－6 | X38<br>Y207 | 2.0 | 30.0 | 20.0 | 70.0 | 38.0 | 35.0 | 20.0 | N－75°－E | U字形 | As-B 降下後 |
| A－1 | X36～ X38<br>Y185～ Y208 | 90.0 | 5.5 | － | 276.0 | 90.0 | － | － | N－177°－E | － | 古代 |

5 区

| 遺構名 | 位　　置 | 長さ (m) | 深さ（cm） | | 上幅（cm） | | 下幅（cm） | | 主軸方向 | 断面形 | 時　　期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 最大 | 最小 | 最大 | 最小 | 最大 | 最小 | | | |
| W－1 | X36～41<br>Y188 | 20.46 | 34.5 | 19.0 | 128.0 | 70.0 | 82.0 | 40.0 | N－89°－E | U字形 | As-B 降下後 |
| W－2 | X39<br>Y188・189 | 2.40 | 30.0 | 25.0 | 94.0 | 74.0 | 62.0 | 48.0 | N－6°－W | U字形 | As-B 降下後 |
| W－3 | X37・38<br>Y187・188 | 5.4 | 18.0 | 2.5 | 234.0 | 140.0 | 176.0 | 84.0 | N－3°－E | U字形 | 古代 |
| A－1 | X40・41<br>Y187・188 | 2.60 | 8.0 | － | 170 | － | － | － | N－20°－W | － | 古代 |

6 区

| 遺構名 | 位　　置 | 長さ (m) | 深さ（cm） | | 上幅（cm） | | 下幅（cm） | | 主軸方向 | 断面形 | 時　　期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 最大 | 最小 | 最大 | 最小 | 最大 | 最小 | | | |
| W－1 | X33～ X35<br>Y199・200 | 5.9 | 11.0 | 5.0 | 66.0 | 45.0 | 42.0 | 24.0 | N－101°－E | U字形 | 古代 |

7 区

| 遺構名 | 位　　置 | 長さ (m) | 深さ（cm） | | 上幅（cm） | | 下幅（cm） | | 主軸方向 | 断面形 | 時　　期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 最大 | 最小 | 最大 | 最小 | 最大 | 最小 | | | |
| W－1 | X98<br>Y86・87 | 4.06 | 25.5 | 22.0 | 86.0 | 54.0 | 68.0 | 40.0 | N－135°－E | U字形 | As-B 降下後 |
| W－2 | X105・106<br>Y85～87 | 6.34 | 30.0 | 26.0 | 74.0 | 58.0 | 40.0 | 20.0 | N－22°－E | U字形 | As-B 降下後 |
| W－3 | X116<br>Y85・86 | (15.7) | 80.0 | 72.0 | 182.0 | 140.0 | 20.0 | 8.0 | N－6°－W | U字形 | As-B 降下後 |

8区

| 遺構名 | 位　　置 | 長さ（m） | 深さ（cm） | | 上幅（cm） | | 下幅（cm） | | 主軸方向 | 断面形 | 時　　期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 最大 | 最小 | 最大 | 最小 | 最大 | 最小 | | | |
| W－1 | X118<br>Y63～66 | (12.46) | 31.0 | 26.0 | 144.0 | 132.0 | 124.0 | 102.0 | N－4°－E | U字形 | As-B 降下後 |

9区

| 遺構名 | 位　　置 | 長さ（m） | 深さ（cm） | | 上幅（cm） | | 下幅（cm） | | 主軸方向 | 断面形 | 時　　期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 最大 | 最小 | 最大 | 最小 | 最大 | 最小 | | | |
| W－1 | X157<br>Y92～94 | 7.6 | － | － | － | － | － | － | N－7°－E | － | － |
| W－2 | X159<br>Y92～94 | 7.4 | 40.5 | 35.5 | 74.0 | 62.0 | 46.0 | 22.0 | N－1°－E | U字形 | As-B 降下後 |
| W－3 | X157～163<br>Y92・93 | 24.7 | 41.5 | 28.0 | 140.0 | 92.0 | 90.0 | 60.0 | N－86°－E | U字形 | 古代 |
| W－4 | X160～163<br>Y94 | 14.4 | 19.5 | 6.5 | 60.0 | 50.0 | 50.0 | 24.0 | N－96°－E | U字形 | As-B 降下後 |
| W－5 | X159～161<br>Y93 | 10.5 | 17.0 | 9.5 | 142.0 | 110.0 | 100.0 | 50.0 | N－100°－E | U字形 | 古代 |
| A－1 | X162～167<br>Y92・93 | 12.1 | 16.0 | － | 126.0 | － | － | － | N－99°－E | － | As-B 降下後 |
| A－2 | X158～162<br>Y92・93 | [14.6] | 12.0 | － | 130.0 | － | － | － | N－103°－E | － | As-B 降下後 |

10区

| 遺構名 | 位　　置 | 長さ（m） | 深さ（cm） | | 上幅（cm） | | 下幅（cm） | | 主軸方向 | 断面形 | 時　　期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 最大 | 最小 | 最大 | 最小 | 最大 | 最小 | | | |
| W－1 | X157<br>Y127・128 | 2.2 | 9.0 | 2.0 | 50.0 | 43.0 | 32.0 | 28.0 | N－166°－E | U字形 | 10世紀後半から<br>As-B 降下以前 |
| W－2 | X159<br>Y128 | 3.5 | 72.0 | 58.5 | 208.0 | 196.0 | 60.0 | 45.0 | N－162°－E | 逆台形 | Hr-FP 降下以降から<br>8世紀代 |
| W－3 | X160・161<br>Y128 | 1.5 | 39.0 | 19.0 | 156.0 | 128.0 | 45.0 | 22.0 | N－176°－E | 逆台形 | 古代 |

11区

| 遺構名 | 位　　置 | 長さ（m） | 深さ（cm） | | 上幅（cm） | | 下幅（cm） | | 主軸方向 | 断面形 | 時　　期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 最大 | 最小 | 最大 | 最小 | 最大 | 最小 | | | |
| W－1 | X171・172<br>Y140 | 3.76 | 29.0 | 24.0 | 106.0 | 60.0 | 76.0 | 34.0 | N－93°－E | U字形 | As-B 降下後 |

Tab. 4　土坑・ピット計測表

1 区

| 遺構名 | 位　　置 | 長軸（m） | 短軸（cm） | 深さ（cm） | 形　状 | 出土遺物 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ＪＤ－１ | X34・35　Y167 | 152 | (102.0) | 33.5 | 楕円形 | 縄49、黒曜石１ | |
| Ｄ－１ | X34　Y166・167 | 228 | 180 | 29.5 | 楕円形 | 縄２ | |
| Ｄ－２ | X33　Y166・167 | 87 | (36) | 19.5 | 楕円形 | | |
| Ｐ－１ | X34　Y166 | 26 | 22 | 16.5 | 円形 | | |
| Ｐ－２ | X34　Y166 | 72 | 26 | 26.5 | 楕円形 | | |
| Ｐ－３ | X34　Y166 | 66 | 42 | 25.5 | 楕円形 | | |
| Ｐ－４ | X34　Y166 | 30 | 30 | 23.0 | 円形 | | |
| Ｐ－５ | X33　Y167 | 70 | 38 | 40.5 | 楕円形 | | |
| Ｐ－６ | X33　Y167 | 40 | 34 | 29.5 | 楕円形 | | |
| Ｐ－７ | X33　Y167 | 48 | 42 | 20.0 | 円形 | | |

2 区

| 遺構名 | 位　　置 | 長軸（m） | 短軸（cm） | 深さ（cm） | 形　状 | 出土遺物 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| Ｄ－１ | X166　Y126 | (112) | 102 | 38 | 楕円形 | | |
| Ｐ－１ | X170　Y126 | 26 | 22 | 16.5 | 円形 | | |
| Ｐ－２ | X171　Y127 | 74 | (46) | 30.0 | 楕円形 | | |

4 区

| 遺構名 | 位　　置 | 長軸（m） | 短軸（cm） | 深さ（cm） | 形　状 | 出土遺物 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ＪＤ－１ | X36　Y180 | 115 | 95 | 56.0 | 円形 | 縄31 | |
| ＪＤ－２ | X36　Y180・181 | 112 | 90 | 44.0 | 円形 | 縄９ | |
| ＪＤ－３ | X37　Y190・191 | 198 | 150 | 50.0 | 円形 | 縄175 | |
| ＪＤ－４ | X37　Y195・196 | 224 | 159 | 55.0 | 楕円形 | 黒曜石３ | |
| ＪＤ－５ | X37　Y188 | 132 | 115 | 63.0 | 円形 | 縄４ | |
| ＪＤ－６ | X36・37　Y188・189 | 142 | 142 | 53.0 | 円形 | 縄57 | |
| ＪＤ－７ | X37　Y194 | 182 | 100 | 47.0 | 楕円形 | 縄９ | |
| ＪＤ－８ | X37　Y198 | 140 | 130 | 15.0 | 円形 | | |
| ＪＤ－９ | X36　Y186 | 200 | 180 | 24.5 | 円形 | | |
| Ｄ－１ | X36　Y185 | 152 | 92 | 29.0 | 長方形 | 縄４、土24、須10 | |
| Ｄ－２ | X36　Y185 | 100 | 86 | 11.0 | 長方形 | 土１、須２ | |
| Ｄ－３ | 欠　番 | | | | | | |
| Ｄ－４ | X36・37　Y185・186 | 290 | 191 | 128.0 | 円形 | 縄８、土４、須３ | 漏斗状 |
| Ｄ－５ | X36・37　Y189 | 260 | 142 | 25.0 | 円形 | | 集石土抗 |
| Ｄ－６ | X37　Y190・191 | 不明 | 不明 | 39.0 | 不明 | 須３ | |
| Ｄ－７ | X37　Y189・190 | 220 | 74 | 18.0 | 楕円形 | 須１ | |
| Ｄ－８ | X38・39　Y201 | 210 | 178 | 31.0 | 楕円形 | 縄２、土４、須４、瓦１ | |
| Ｄ－９ | X37　Y201 | 140 | 120 | 87.0 | 楕円形 | 土１、須１ | |
| Ｄ－10 | X38　Y201 | 86 | 88 | 75.0 | 楕円形 | 土６、須３、瓦１ | |
| Ｄ－11 | X38　Y207 | 210 | 120 | 20.5 | 楕円形 | 土１、須１ | |
| Ｐ－１ | X37　Y188 | 25 | 24 | 30.5 | 円形 | | |
| Ｐ－２ | X37　Y189 | 32 | 26 | 27.0 | 楕円形 | | |
| Ｐ－３ | X36　Y188 | 55 | 36 | 14.5 | 楕円形 | | |
| Ｐ－４ | X36　Y189 | 50 | 44 | 16.5 | 楕円形 | | |
| Ｐ－５ | X37・38　Y194 | 23 | 22 | 14.0 | 円形 | | |
| Ｐ－６ | X37・38　Y194 | 55 | 26 | 33.0 | 楕円形 | | |
| Ｐ－７ | X37　Y194 | 21 | 21 | 28.0 | 円形 | | |
| Ｐ－８ | X37・38　Y194 | 29 | 18 | 27.5 | 楕円形 | | |
| Ｐ－９ | X37　Y194 | 56 | 40 | 28.0 | 楕円形 | | |
| Ｐ－10 | X38　Y195 | 46 | 28 | 25.5 | 楕円形 | | |
| Ｐ－11 | X38　Y195 | 48 | 27 | 24.5 | 楕円形 | | |
| Ｐ－12 | X38　Y195 | 24 | 23 | 24.0 | 円形 | | |
| Ｐ－13 | X37　Y195 | 23 | 23 | 15.0 | 円形 | | |
| Ｐ－14 | X37　Y195 | 25 | 23 | 13.5 | 円形 | | |
| Ｐ－15 | X38　Y195 | 35 | 30 | 33.0 | 円形 | | |
| Ｐ－16 | X37　Y195 | 66 | 58 | 15.5 | 楕円形 | | |
| Ｐ－17 | X38　Y195 | 19 | 17 | 24.0 | 円形 | | |
| Ｐ－18 | X38　Y196 | 20 | 20 | 19.0 | 円形 | | |
| Ｐ－19 | X38　Y196 | 83 | 57 | 22.5 | 楕円形 | | |
| Ｐ－20 | X38　Y198 | 22 | 22 | 10.5 | 円形 | | |

| 遺構名 | 位　　置 | 長軸（m） | 短軸（cm） | 深さ（cm） | 形　状 | 出土遺物 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| P－21 | X38　Y198 | 31 | 25 | 37.0 | 楕円形 | | |
| P－22 | X38　Y198 | 48 | 24 | 25.0 | 楕円形 | | |
| P－23 | X38　Y198・199 | 23 | 13 | 15.5 | 楕円形 | | |
| P－24 | X38　Y199 | 54 | 36 | 31.5 | 楕円形 | | |
| P－25 | X38　Y199 | 49 | 35 | 31.0 | 楕円形 | | |
| P－26 | X38　Y199 | 23 | 23 | 12.0 | 円形 | | |
| P－27 | X38　Y199 | 35 | 27 | 46.0 | 楕円形 | | |
| P－28 | X38　Y199 | 41 | 28 | 19.0 | 楕円形 | | |
| P－29 | X38　Y199 | 58 | 37 | 45.0 | 楕円形 | | |
| P－30 | X38　Y199 | 37 | 35 | 45.0 | 楕円形 | | |
| P－31 | X38　Y200 | 25 | 23 | 25.0 | 円形 | | |
| P－32 | X38　Y200 | 20 | 19 | 19.0 | 円形 | | |
| P－33 | X38　Y200 | 29 | 28 | 32.5 | 円形 | | |
| P－34 | X38　Y200 | 27 | 25 | 29.0 | 円形 | | |
| P－35 | X38　Y200 | 24 | 20 | 31.5 | 円形 | | |
| P－36 | X38　Y200 | 23 | 20 | 7.0 | 円形 | | |
| P－37 | X38　Y200 | 30 | 29 | 31.5 | 円形 | | |
| P－38 | X38　Y201 | 46 | 36 | 33.0 | 楕円形 | | |
| P－39 | X38　Y202 | 40 | 33 | 35.5 | 楕円形 | | |
| P－40 | X38　Y201・202 | 32 | 28 | 11.5 | 楕円形 | | |
| P－41 | X38　Y202 | 34 | 30 | 30.5 | 楕円形 | | |
| P－42 | X38　Y204 | 15 | 15 | 13.0 | 円形 | | |
| P－43 | X37　Y204 | 35 | 30 | 28.0 | 楕円形 | | |
| P－44 | X38　Y205 | 29 | 12 | 17.5 | 楕円形 | | |
| P－45 | X39　Y205 | 52 | 31 | 26.0 | 楕円形 | | |
| P－46 | X38　Y205 | 71 | 55 | 15.0 | 楕円形 | | |
| P－47 | X38　Y206 | 41 | 38 | 11.0 | 円形 | | |
| P－48 | X39　Y208 | 18 | 17 | 15.5 | 円形 | | |

5区

| 遺構名 | 位　　置 | 長軸（m） | 短軸（cm） | 深さ（cm） | 形　状 | 出土遺物 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ＪＤ－1 | X34・35　Y167 | 152 | (102) | 33.5 | 楕円形 | | |
| ＪＤ－2 | X38　Y188 | 108 | 90 | 62.5 | 楕円形 | 縄2 | |
| ＪＤ－3 | X37　Y187 | (90) | 74 | 35.5 | 楕円形 | | |
| ＪＤ－4 | X37　Y187 | 120 | 90 | 42.0 | 楕円形 | | |
| D－1 | X39　Y187・188 | 160 | 78 | 12.0 | 楕円形 | | |
| D－2 | 欠　番 | | | | | | |
| D－3 | X38　Y188 | 226 | [222] | 37.0 | 円形 | 土7、須4、黒曜石2 | |
| D－4 | X39・40　Y188 | 120 | 90 | 24.5 | 楕円形 | | |
| D－5 | 欠　番 | | | | | | |
| D－6 | X39・40　Y188・189 | [126] | (110) | 29.5 | 楕円形 | | |
| P－1 | X38　Y188 | 48 | 42 | 22.5 | 楕円形 | | |
| P－2 | X38　Y188 | 42 | 36 | 35.0 | 楕円形 | | |
| P－3 | X38　Y188 | 34 | 26 | 13.5 | 楕円形 | | |
| P－4 | X38　Y187 | 32 | 30 | 27.0 | 円形 | | |
| P－5 | X38　Y187 | 32 | 20 | 21.0 | 楕円形 | | |
| P－6 | X38　Y187 | 26 | (14) | 22.5 | 楕円形 | | |
| P－7 | X38　Y188 | 32 | 28 | 31.0 | 楕円形 | 土1、須1 | |
| P－8 | X37　Y188 | 38 | 30 | 16.0 | 楕円形 | | |
| P－9 | X37　Y188 | 30 | 20 | 18.0 | 楕円形 | | |
| P－10 | X37　Y188 | 26 | 24 | 16.0 | 円形 | | |
| P－11 | X37　Y188 | 32 | 28 | 20.0 | 楕円形 | | |
| P－12 | X37　Y187 | 28 | 20 | 26.0 | 楕円形 | | |

6区

| 遺構名 | 位　　置 | 長軸（m） | 短軸（cm） | 深さ（cm） | 形　状 | 出土遺物 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| D－1 | X35　Y199・200 | 110 | 90 | 12.0 | 長方形 | 須1 | |

7区

| 遺構名 | 位　　置 | 長軸（m） | 短軸（cm） | 深さ（cm） | 形　状 | 出土遺物 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| D－1 | X110　Y85 | (144) | 120 | 26.5 | 楕円形 | 土51、須5、灰1 | |
| D－2 | X114　Y85・86 | 120 | 98 | 78.0 | 楕円形 | 縄1、土48、須11 | |

| 遺構名 | 位　　置 | 長軸（m） | 短軸（cm） | 深さ（cm） | 形　状 | 出土遺物 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| D－3 | X110　Y85 | 100 | 74 | 6.0 | 楕円形 | 瓦1 | |
| D－4 | X114　Y85・86 | 250 | 180 | 94.5 | 楕円形 | 瓦1 | |
| D－5 | X113　Y85・86 | 120 | 70 | 60.5 | 不整形 | 土25、須7、釘1 | |
| D－6 | X114　Y86 | 130 | 54 | 43.0 | 楕円形 | 土18、須4 | |
| D－7 | X112・113　Y85・86 | 134 | 108 | 40.0 | 楕円形 | 土3、須2 | |
| D－8 | X112　Y85 | 70 | 42 | 41.0 | 長方形 | | |
| D－9 | X107　Y85・86 | 130 | 64 | 46.5 | 楕円形 | 縄1、土3 | |
| D－10 | X113・114　Y86 | 90 | 70 | 28.0 | 楕円形 | 土21、須6 | |
| D－11 | X108・109　Y85 | 170 | (86) | 32.0 | 楕円形 | 土1、須1 | |
| DB－1 | X111　Y85 | 74 | 64 | 76.5 | 楕円形 | | |
| P－1 | X114　Y85 | 68 | 60 | 30.0 | 楕円形 | 土1 | |
| P－2 | X114　Y86 | 78 | 44 | 35.0 | 楕円形 | 土1 | |
| P－3 | X115　Y85 | 50 | 48 | 82.5 | 円形 | 土1 | |

9区

| 遺構名 | 位　　置 | 長軸（m） | 短軸（cm） | 深さ（cm） | 形　状 | 出土遺物 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| JD－1 | X165　Y94 | 176 | 100 | 42.0 | 楕円形 | | |
| JD－2 | X163・164　Y93・94 | 170 | 108 | 44.0 | 楕円形 | 縄7 | |
| JD－3 | X162　Y93 | 190 | 130 | 53.5 | 楕円形 | | |
| JD－4 | X166　Y93 | 120 | 84 | 43.5 | 楕円形 | 土1、須1 | |
| D－1 | X165・166　Y93 | 174 | 106 | 11.0 | 楕円形 | 土5 | |
| D－2 | X165　Y93・94 | 190 | 164 | 17.5 | 楕円形 | 土10、須4 | |
| D－3 | X163・164　Y93・94 | 288 | 174 | 19.0 | 楕円形 | 土1、須4 | |
| D－4 | X162　Y93・94 | 88 | 78 | 36.0 | 楕円形 | 土1 | |
| D－5 | X165・166　Y94 | 170 | 108 | 23.0 | 楕円形 | 土7、須6 | |
| P－1 | X161　Y93 | 72 | 68 | 31.0 | 円形 | 土3 | |
| P－2 | X161・162　Y93 | 48 | 46 | 65.0 | 円形 | | |
| P－3 | X163　Y93 | 30 | 26 | 21.5 | 円形 | | |
| P－4 | X163　Y93 | 30 | 24 | 37.0 | 楕円形 | | |
| P－5 | X163　Y93 | 40 | 30 | 30.0 | 楕円形 | | |
| P－6 | X163　Y93 | 40 | 30 | 44.5 | 楕円形 | 須1 | |
| P－7 | X164　Y93 | 36 | 32 | 18.5 | 円形 | | |
| P－8 | X164　Y93 | 36 | 28 | 26.0 | 楕円形 | | |
| P－9 | X164　Y93 | 34 | 22 | 31.0 | 楕円形 | | |
| P－10 | X164　Y93 | 44 | 38 | 38.0 | 楕円形 | | |
| P－11 | X164　Y93 | 26 | 24 | 28.5 | 円形 | | |
| P－12 | X164　Y93 | 34 | 30 | 26.5 | 楕円形 | 須1 | |
| P－13 | X164　Y93 | 54 | 52 | 39.5 | 円形 | 土2 | |
| P－14 | X164　Y93 | 36 | 24 | 21.5 | 楕円形 | | |
| P－15 | X164　Y93 | 34 | 30 | 26.0 | 楕円形 | | |
| P－16 | X164　Y93 | 24 | 24 | 17.0 | 円形 | | |
| P－17 | X164　Y94 | 28 | 24 | 49.0 | 円形 | | |
| P－18 | X164　Y94 | 22 | 20 | 42.5 | 円形 | | |
| P－19 | X164　Y94 | 30 | 24 | 40.5 | 楕円形 | | |
| P－20 | X164　Y94 | 28 | 24 | 32.0 | 円形 | | |
| P－21 | X164　Y94 | 30 | 30 | 19.5 | 円形 | | |
| P－22 | X164　Y94 | 28 | 28 | 48.5 | 円形 | | |
| P－23 | X164　Y94 | 26 | 22 | 53.0 | 円形 | | |
| P－24 | X164・165　Y94 | 70 | 48 | 42.0 | 楕円形 | | |
| P－25 | X165　Y94 | 22 | 20 | 39.5 | 円形 | | |
| P－26 | X165　Y94 | 30 | 30 | 19.5 | 円形 | | |
| P－27 | X165　Y94 | 40 | 30 | 39.5 | 楕円形 | | |
| P－28 | X165　Y94 | 30 | 24 | 36.5 | 楕円形 | | |
| P－29 | X165　Y94 | 44 | 40 | 32.5 | 円形 | | |
| P－30 | X165　Y94 | 26 | 22 | 19.0 | 円形 | | |
| P－31 | X165　Y94 | 30 | 28 | 18.5 | 円形 | | |
| P－32 | X165　Y94 | 50 | 38 | 27.0 | 楕円形 | | |
| P－33 | X165　Y94 | 42 | 38 | 33.0 | 楕円形 | | |
| P－34 | X165　Y94 | 40 | 36 | 49.5 | 円形 | | |
| P－35 | X165　Y94 | 48 | 42 | 40.5 | 円形 | 土5 | |
| P－36 | X165　Y94 | 40 | 36 | 55.5 | 円形 | 土4 | |

| 遺構名 | 位　　置 | 長軸（m） | 短軸（cm） | 深さ（cm） | 形　状 | 出土遺物 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| P－37 | X165　Y94 | 46 | 40 | 43.0 | 楕円形 | | |
| P－38 | X165　Y94 | 68 | 34 | 51.5 | 楕円形 | 須４ | |
| P－39 | X165　Y94 | 48 | 44 | 44.5 | 円形 | | |
| P－40 | X165　Y94 | 70 | 52 | 41.0 | 楕円形 | 土９、須１ | |
| P－41 | X165　Y94 | 30 | 30 | 24.5 | 円形 | | |
| P－42 | X165　Y94 | 48 | 30 | 32.0 | 楕円形 | | |
| P－43 | X165　Y94 | 30 | 26 | 27.0 | 円形 | | |
| P－44 | X165　Y94 | 30 | 28 | 30.5 | 円形 | | |
| P－45 | X165　Y94 | 58 | 50 | 31.0 | 楕円形 | | |
| P－46 | X165　Y94 | 38 | 30 | 46.5 | 楕円形 | | |
| P－47 | X165　Y94 | 54 | 34 | 51.0 | 楕円形 | | |
| P－48 | X165　Y94 | 36 | 22 | 20.0 | 楕円形 | | |
| P－49 | X165　Y94 | 30 | 30 | 29.5 | 円形 | | |
| P－50 | X165　Y94 | 34 | 28 | 37.5 | 楕円形 | | |
| P－51 | X165　Y94 | 22 | 18 | 15.0 | 円形 | | |
| P－52 | X165　Y94 | 46 | 30 | 21.0 | 楕円形 | | |
| P－53 | X165　Y94 | 48 | 24 | 18.5 | 楕円形 | | |
| P－54 | X166　Y94 | 38 | 38 | 39.0 | 円形 | | |
| P－55 | X166　Y94 | 28 | 26 | 32.0 | 円形 | | |
| P－56 | X165　Y93 | 30 | 30 | 55.0 | 円形 | | |
| P－57 | X166　Y94 | 34 | 22 | 40.5 | 楕円形 | | |
| P－58 | X166　Y94 | 38 | 34 | 49.5 | 円形 | | |
| P－59 | X166　Y94 | 30 | 20 | 47.5 | 楕円形 | | |
| P－60 | X166　Y94 | 66 | 48 | 38.0 | 楕円形 | | |
| P－61 | X166　Y94 | 34 | 30 | 20.5 | 円形 | | |
| P－62 | X160　Y93 | 72 | 42 | 42.0 | 楕円形 | 土３ | |
| P－63 | X161　Y93 | 54 | 40 | 27.0 | 楕円形 | | |

10区

| 遺構名 | 位　　置 | 長軸（m） | 短軸（cm） | 深さ（cm） | 形　状 | 出土遺物 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| D－１ | X158　Y128 | 232 | 220 | 52.0 | 円形 | 土１、須１ | |

11区

| 遺構名 | 位　　置 | 長軸（m） | 短軸（cm） | 深さ（cm） | 形　状 | 出土遺物 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| D－１ | X172　Y130 | 90 | 80 | 25.5 | 楕円形 | | |
| D－２ | X171　Y130 | 72 | 70 | 3.5 | 円形 | | |
| D－３ | X171　Y129 | 60 | 60 | 5.5 | 円形 | | |
| D－４ | X171　Y131 | 76 | 76 | 10.5 | 円形 | | |
| D－５ | X171　Y131 | 90 | 90 | 36.0 | 円形 | 土８、須５、灰１、砥石１ | |
| D－６ | X171　Y131 | 110 | 110 | 41.0 | 円形 | 土６、須２ | |
| D－７ | X171　Y131 | 102 | 94 | 20.0 | 楕円形 | 土４、須８ | |
| D－８ | X170・171　Y136 | 142 | 122 | 58.0 | 楕円形 | 土12、須４、灰４ | |
| D－９ | X171　Y131 | 148 | 130 | 52.5 | 楕円形 | 土３、須５、釘２、鉄滓2 | |
| D－10 | X172　Y133 | 114 | 106 | 26.0 | 楕円形 | | |
| D－11 | X172　Y131 | 136 | 106 | 27.5 | 楕円形 | 土15、須２、灰１ | |
| D－12 | X172　Y131 | 114 | 82 | 32.0 | 楕円形 | | |
| D－13 | X171　Y133 | 86 | 84 | 7.5 | 楕円形 | | |
| D－14 | X170　Y135 | 98 | 88 | 12.0 | 円形 | | |
| D－15 | X171・172　Y130 | 100 | 94 | 45.5 | 円形 | 土１、須５ | |
| D－16 | X171　Y129・130 | 104 | 100 | 19.0 | 円形 | 土３、須２ | |
| D－17 | X172　Y133 | 120 | 60 | 37.0 | 楕円形 | 土４、須２ | |
| D－18 | X170・171　Y129 | 80 | 76 | 20.5 | 円形 | 土６、須５、灰１ | |
| D－19 | X170　Y131 | 118 | 60 | 14.0 | 楕円形 | 土13、須６、灰１ | |
| D－20 | X171　Y130 | 140 | 100 | 30.5 | 楕円形 | | |
| D－21 | X171　Y130 | 88 | 80 | 48.5 | 楕円形 | | |
| D－22 | X171　Y129 | 80 | 80 | 21.0 | 円形 | 土４、須６ | |
| D－23 | X170　Y136・137 | 70 | 32 | 43.0 | 楕円形 | | |
| D－24 | X171・172　Y134 | 88 | 80 | 44.0 | 楕円形 | 土３、須２ | |
| D－25 | X171・172　Y134 | 102 | 90 | 52.0 | 楕円形 | 土３、灰１ | |
| D－26 | X171・172　Y130 | 120 | 110 | 43.5 | 楕円形 | 土２、須１ | |

| 遺構名 | 位　　置 | 長軸（m） | 短軸（cm） | 深さ（cm） | 形　状 | 出土遺物 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| D－27 | X171・172　Y133 | 150 | 140 | 40.0 | 楕円形 | 土44、須21、灰６、馬具１ほか | |
| D－28 | X172　Y134・135 | 110 | 78 | 19.5 | 楕円形 | 土８、灰１ | |
| D－29 | X172　Y134 | 136 | 106 | 47.5 | 楕円形 | 須２ | |
| D－30 | X171・172　Y134 | 180 | 70 | 37.5 | 不整形 | 土10、須２ | |
| D－31 | X171　Y131・132 | 134 | 104 | 35.0 | 楕円形 | | |
| D－32 | X171　Y135 | 180 | 118 | 39.5 | 楕円形 | 土２、須１、瓦１ | |
| D－33 | X171・172　Y134 | 96 | 74 | 44.0 | 楕円形 | | |
| D－34 | X171　Y131・132 | 124 | 122 | | | 土16、須７、灰６ | |
| D－35 | X170・171　Y136 | 110 | 86 | 22.5 | 楕円形 | 土２ | |
| D－36 | X171　Y136 | 100 | 92 | 40.5 | 円形 | 土10、須９ | |
| D－37 | 欠　番 | | | | | | |
| D－38 | X171　Y134・135 | 82 | 70 | 42.0 | 楕円形 | 須７、灰１、鉄１ | |
| D－39 | X171　Y134・135 | 82 | 70 | 50.5 | 楕円形 | | |
| D－40 | X171　Y130 | 110 | 90 | 51.5 | 楕円形 | | |
| D－41 | X170・171　Y129 | 90 | 80 | 24.5 | 楕円形 | | |
| D－42 | X170　Y137・138 | 66 | 62 | 52.0 | 円形 | | |
| D－43 | 欠　番 | | | | | | |
| D－44 | X171　Y136 | 90 | 86 | 39.5 | 円形 | | |
| D－45 | X171　Y136 | 104 | 88 | 40.5 | 楕円形 | | |
| D－46 | X171　Y136・137 | 110 | 92 | 40.0 | 楕円形 | | |
| P－1 | X172　Y129 | 50 | (40) | 16.5 | 円形 | | |
| P－2 | 欠　番 | | | | | | |
| P－3 | X172　Y131 | 42 | 34 | 31.5 | 楕円形 | 土１、須１ | |
| P－4 | X172　Y131 | 40 | 38 | 36.0 | 円形 | | |
| P－5 | X171・172　Y131 | 84 | 56 | 36.5 | 楕円形 | | |
| P－6 | X172　Y131・132 | 28 | 24 | 28.0 | 円形 | 土１ | |
| P－7 | X172　Y131 | 32 | 32 | 34.5 | 楕円形 | | |
| P－8 | X171・172　Y132 | 40 | 38 | 33.5 | 円形 | 土１、須１ | |
| P－9 | X172　Y132 | 44 | 42 | 30.0 | 円形 | 土２ | |
| P－10 | X171・172<br>Y132・133 | 34 | 34 | 32.5 | 円形 | | |
| P－11 | 欠　番 | | | | | | |
| P－12 | X171　Y134 | 60 | 50 | 53.0 | 楕円形 | 土１ | |
| P－13 | X171　Y134 | 36 | 36 | 55.0 | 円形 | 土１、須２、灰２、瓦１ | |
| P－14 | X171　Y133・134 | 48 | 46 | 22.5 | 円形 | 土３、須２、灰２ | |
| P－15 | X171　Y134・135 | 70 | 62 | 49.0 | 楕円形 | 土12 | |
| P－16 | X171　Y134・135 | 70 | 50 | 43.0 | 楕円形 | | |
| P－17 | X171　Y134 | 50 | 42 | 24.5 | 楕円形 | 土１、須１ | |
| P－18 | X171　Y134 | 32 | 28 | 20.5 | 円形 | | |
| P－19 | X171　Y134 | 40 | 38 | 28.0 | 円形 | | |
| P－20 | X171　Y134 | 32 | 28 | 23.5 | 円形 | | |
| P－21 | X171　Y134 | 36 | 30 | 12.0 | 楕円形 | | |
| P－22 | X171　Y134 | 40 | 32 | 15.0 | 楕円形 | | |
| P－23 | X171　Y134 | 32 | 32 | 15.0 | 円形 | | |
| P－24 | X171・172　Y134 | 30 | 26 | 18.0 | 円形 | | |
| P－25 | X171　Y136 | 56 | 52 | 20.5 | 円形 | 土１ | |
| P－26 | X170・171　Y136 | 54 | 48 | 25.5 | 楕円形 | | |
| P－27 | X171　Y134 | 48 | 46 | 10.0 | 円形 | 須7 | |

※　縄…縄文土器、土…土師器、須…須恵器　灰…灰釉陶器

Tab. 5　縄文時代出土土器観察表

1 区

| 番　号 | 出土遺構<br>層　　位 | 器種名 | ①口径　②器高<br>③底径 | ①胎土 ②焼成<br>③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録<br>番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1-縄 1 | ＪＤ－１<br>覆土 | 深鉢 | ①口径　②　－<br>③　－ | ①中粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④破片 | ２本１組の縦位沈線によって区画され、区画内には縄文 LRL が充填される。 | 7 | 加曽利 E3 |
| 1-縄 2 | ＪＤ－１<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②　－<br>③　－ | ①中粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④破片 | 口縁部に微隆起帯２本が横位に巡る。胴部に縄文 RL を施文。 | 1 | 加曽利 E3 |

4 区

| 番　号 | 出土遺構<br>層位 | 器種名 | ①口径　②器高<br>③底径 | ①胎土 ②焼成<br>③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録<br>番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4-縄 1 | Ｊ－１<br>床直 | 深鉢 | ①　－　②(10.3)<br>③(13.3) | ①中粒 ②良好<br>③灰赤 ④底部片 | 半截竹管による斜位の集合沈線が底部まで施文。底部より１cm,６cmの位置にボタン状の粘土を横に三個貼付。 | 15他 | Ⅰ群２類 |
| 4-縄 2 | Ｊ－１<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②(11.5)<br>③　－ | ①中粒 ②良好<br>③にぶい褐 ④胴部片 | 半截竹管による弧線平行沈線を施文、その間に平行するように半截竹管による刺突文を施文。その後棒状粘土を縦に貼付。その間にボタン状粘土を貼付。地文は縄文か。 | 29他 | Ⅰ群２類 |
| 4-縄 3 | Ｊ－１<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②(13.5)<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい橙 ④把手片 | 半截竹管による平行沈線が表裏全面に施文、その後等間隔に二つずつボタン状粘土を貼付。中央部に三日月形の透かし一つ、その外側に小さな三角形の透かしが二つ。波状口縁になる深鉢の把手。 | ６他 | Ⅰ群２類 |
| 4-縄 4 | Ｊ－１<br>炉覆土 | 深鉢 | ①　－　②（4.4）<br>③（9.9） | ①細粒 ②良好<br>③にぶい赤褐 ④底部 | 平底。底部から３cm間での間に、半截竹管を束ねた集合沈線を斜位に左右交互に施す。その上部は4条の横位平行沈線を施文。 | 45 | Ⅰ群３類 |
| 4-縄 5 | Ｊ－１<br>覆土 | 深鉢 | ①[16.2]②（3.8）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③赤褐 ④口縁片 | 口唇部：半截竹管による横位平行沈線を施文後、口縁にそって刺突文の入った棒状の粘土を三条貼付。その後縦位にも短く刺突文の入った棒状の粘土を等間隔に貼付。また耳朶状の粘土を貼付。口縁部：斜位と縦位の集合沈線を施文。 | 36他 | Ⅰ群２類 |
| 4-縄 6 | Ｊ－１<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②(11.9)<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③灰赤 ④口縁片 | 波状口縁か。地文は半截竹管による横位平行沈線。その上から縦位に短く半截竹管による平行沈線を施文。 | 35他 | Ⅰ群３類 |
| 4-縄 7 | Ｊ－１<br>覆土 | 深鉢 | ①[19.6]②（6.4）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい褐 ④口縁片 | 口唇部：半截竹管による矢羽根状の集合沈線を施文し、中央に刺突文の入った耳朶状粘土とボタン状粘土を貼付。口縁部：半截竹管による矢羽根状の集合沈線を施文し、ボタン状粘土を貼付。 |  | Ⅰ群２類 |
| 4-縄 8 | Ｊ－１<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②(17.3)<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい赤褐 ④胴部片 | 全面ＲＬ・ＬＲの羽状縄文を施す。 | 25他 | Ⅰ群２類 |
| 4-縄 9 | Ｊ－１<br>床直 | 深鉢 | ①　－　②（3.7）<br>③（8.7） | ①中粒 ②良好<br>③灰赤 ④底部片 | 平底。底部に半截竹管による平行する三条の平行沈線が1.5cm間隔に施文。 | 11 | Ⅰ群３類 |
| 4-縄10 | Ｊ－１<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（6.4）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい褐 ④口縁片 | 波状口縁か。口縁部から縄文ＲＬを横位と斜位に施す。 |  | Ⅱ群２類 |
| 4-縄11 | Ｊ－１<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（7.2）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい橙 ④口縁片 | 波状口縁で外反。口唇部には半截竹管による４条の横位平行沈線。口縁部から胴部上半は同心円文。 | ８,９他 | Ⅰ群３類 |
| 4-縄12 | Ｊ－１<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（7.2）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい橙 ④口縁片 | 波状口縁で外反。口唇部には半截竹管による４条の横位平行沈線。口縁部から胴部上半は同心円文。 | ８,９他 | Ⅰ群３類11と同一 |
| 4-縄13 | Ｊ－１<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②(11.7)<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい橙 ④口縁片 | 波状口縁で外反。口唇部には半截竹管による４条の横位平行沈線。口縁部から胴部上半は同心円文。 |  | Ⅰ群３類 |
| 4-縄14 | Ｊ－１<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②(11.7)<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい橙 ④胴部片 | 半截竹管による平行沈線を施文の後、同心円文を施文。 | ７他 | Ⅰ群３類 |
| 4-縄15 | Ｊ－１<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②　－<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい橙 ④胴部片 | 胴部上位：半截竹管による３条の横位平行沈線。その間に半截竹管による矢羽根状の施文面が２面あり、中央部が隆起している。胴部中位：半截竹管による斜位平行沈線に同心円文を施文。 | 28他 | Ⅰ群３類 |
| 4-縄16 | Ｊ－１<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（8.5）<br>③　－ | ①粗粒 ②良好<br>③にぶい黄褐 ④胴部片 | 半截竹管による横位の集合沈線を施文。 | 40 | Ⅰ群３類 |
| 4-縄17 | Ｊ－１<br>床直 | 深鉢 | ①　－　②（6.5）<br>③　－ | ①中粒 ②良好<br>③にぶい橙 ④口縁片 | 波状口縁。口唇部：複数の耳朶状粘土を頂点に左右へ口縁が開く。口縁部：木の葉状集合沈線を施文の後、更に横位集合沈線を施文。 | 43 | Ⅰ群２類 |
| 4-縄18 | Ｊ－１<br>床直 | 深鉢 | ①[23.0]②(10.1)<br>③　－ | ①粗粒 ②良好<br>③にぶい赤褐 ④口縁片 | 半截竹管による矢羽根状の平行沈線を施文。その上にボタン状の粘土を貼付。 | １他 | Ⅰ群２類 |
| 4-縄19 | Ｊ－１<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（4.2）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③褐 ④胴部片 | 半截竹管による集合沈線を施文。 |  | Ⅰ群３類 |
| 4-縄20 | Ｊ－１<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（5.2）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい赤褐 ④胴部片 | 口唇部：半截竹管による横位平行沈線を施文後、口縁にそって刺突文の入った棒状の粘土を貼付。口縁部：斜位と縦位の集合沈線を施文後、縦位に刺突文の入った棒状の粘土を貼付。 | 37 | Ⅰ群２類 |
| 4-縄21 | Ｊ－１<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（5.0）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄褐 ④口縁片 | 口唇部：凹凸文と耳朶状粘土を貼付。口縁部：縦位の集合沈線を施文。 |  | Ⅰ群２類 |
| 4-縄22 | Ｊ－１<br>床直 | 深鉢 | ①　－　②（6.1）<br>③　－ | ①中粒 ②良好<br>③橙 ④胴部片 | 半截竹管による連続刺突による沈線文を施文。 | 70 | Ⅰ群４類 |
| 4-縄23 | Ｊ－１<br>床直 | 深鉢 | ①　－　②（4.0）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい赤褐 ④底部片 | 斜位の平行集合沈線を施文後、ボタン状の粘土を横に三個貼付。 | 15 | Ⅰ群２類 |
| 4-縄24 | Ｊ－１<br>床直 | 深鉢 | ①　－　②（4.5）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④胴部片 | 横位の集合沈線を施文後、半截竹管による連続刺突による結節浮線文を弧線状に施文。 | 62 | Ⅰ群４類 |
| 4-縄25 | Ｊ－１<br>床直 | 深鉢 | ①　－　②（6.2）<br>③　－ | ①中粒 ②良好<br>③にぶい褐 ④口縁片 | 口唇部:半截竹管による横位平行沈線を施文後、耳朶状粘土を貼付。口縁部：斜位と縦位の集合沈線を施文。 | 54 | Ⅰ群２類 |
| 4-縄26 | Ｊ－１<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（4.9）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい褐 ④口縁片 | 口唇部、口縁部共に凹凸文を施文。 | 24 | Ⅰ群６類 |

| 番　号 | 出土遺構<br>層位 | 器種名 | ①口径　②器高<br>③底径 | ①胎土 ②焼成<br>③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録<br>番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4-縄27 | J－1<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（4.2）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③褐灰 ④口縁片 | 口唇部、口縁部共に凹凸文を施文。 | | Ⅰ群６類 |
| 4-縄28 | J－1<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（5.2）<br>③　－ | ①中粒 ②良好<br>③にぶい褐 ④口縁片 | 口縁部：斜位の集合沈線を施文後、耳朶状粘土とボタン状の粘土を交互に貼付。口縁部：縦位の集合沈線を施文。 | | Ⅰ群２類 |
| 4-縄29 | J－1<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（4.3）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④胴部片 | 半截竹管による集合沈線を施文後、縦位の棒状粘土を貼付。地文は縄文を施文。 | | Ⅰ群２類 |
| 4-縄30 | J－1<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（4.3）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③明赤褐 ④口縁片 | 口縁部：半截竹管による横位の集合沈線を施文後、円形刺突文のあるボタン状の粘土を施文。 | | Ⅰ群２類 |
| 4-縄31 | J－1<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（4.2）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい橙 ④口縁片 | 口唇部：半截竹管による横位と斜位の平行集合沈線を施文。補修孔有り。 | | Ⅰ群３類 |
| 4-縄32 | J－1<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（4.7）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③灰黄褐 ④胴部片 | 半截竹管による弧線平行沈線を施文、その間に平行するように半截竹管による刺突文を施文。その後棒状粘土を縦に貼付。その間にボタン状粘土を貼付。 | | Ⅰ群２類 |
| 4-縄33 | J－1<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（5.0）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③灰黄褐 ④口縁片 | 口唇部：矢羽根状集合沈線を施文。その後貝殻状貼付文と耳朶状粘土を貼付。口縁部:半截竹管による横位の平行集合沈線を施文後、縦位の棒状粘土とボタン状の粘土を交互に貼付。 | | Ⅰ群２類 |
| 4-縄34 | J－1<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（2.7）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③黒褐 ④口縁片 | 内傾する口唇部に半截竹管による横位矢羽根状集合沈線を施文。その後二重の耳朶状の粘土を貼付。 | | Ⅰ群２類 |
| 4-縄35 | J－1<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（2.9）<br>③　－ | ①中粒 ②良好<br>③橙 ④口縁片 | 内傾する口唇部に半截竹管による矢羽根状の集合沈線を施文。その後、中央に刺突文の入った縦位と横位の棒状粘土を交互に貼付し、縦位の棒状粘土の間にボタン状粘土を貼付。口縁部：半截竹管による横位の集合沈線を施文し、縦位の棒状粘土を貼付。 | | Ⅰ群２類 |
| 4-縄36 | J－1<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（4.0）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④口縁片 | 内傾する口唇部に半截竹管による集合沈線を施文。その後中央に刺突文のあるボタン状粘土と半截竹管による沈線の入った縦位の棒状粘土を貼付。 | | Ⅰ群２類 |
| 4-縄37 | J－1<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（3.1）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③明赤褐 ④胴部片 | 半截竹管による弧線平行沈線を施文、その間に平行するように半截竹管による刺突文を施文。その後棒状粘土を縦に貼付。 | | Ⅰ群２類 |
| 4-縄38 | J－1<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（2.0）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④口縁片 | 半截竹管による集合沈線を施文後、爪形文を沈線と平行に施文。 | | Ⅰ群５類 |
| 4-縄39 | J－1<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（2.6）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄褐 ④口縁片 | 口唇部：斜位の平行集合沈線を施文後、口縁に平行な逆三角形の棒状粘土を貼付。 | | Ⅰ群２類 |
| 4-縄40 | J－1<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（2.4）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④底部片 | 集合沈線を施文後、半截竹管による連続刺突による結節浮線文を弧線状に施文。 | | Ⅰ群４類 |
| 4-縄41 | J－1<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（2.7）<br>③　－ | ①粗粒 ②良好<br>③灰黄褐 ④口縁片 | 半截竹管による横位の平行集合沈線を施文後、中央に半截竹管による刺突文のあるボタン状粘土を貼付。 | | Ⅰ群２類 |
| 4-縄42 | J－1<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（2.4）<br>③　－ | ①粗粒 ②良好<br>③橙 ④口縁片 | 口唇部：半截竹管による集合沈線を施文。その後縦位と横位の棒状粘土を貼付。 | | Ⅰ群２類 |
| 4-縄43 | J－1<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（3.0）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい赤褐 ④胴部片 | 半截竹管による矢羽根状集合沈線を施文。その後ボタン状粘土を貼付する。 | | Ⅰ群２類 |
| 4-縄44 | J－1<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（2.8）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③灰黄褐 ④口縁片 | 口唇部：半截竹管による平行沈線、沈線内に刺突文を施文。地文はＲＬ縄文か。 | | Ⅰ群４類 |
| 4-縄45 | J－1<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（2.7）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③灰赤 ④胴部片 | 平行集合沈線を施文後、ボタン状粘土を貼付。 | | Ⅰ群２類 |
| 4-縄46 | J－3<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（2.7）<br>③　－ | ①中粒 ②良好<br>③灰褐 ④胴部片 | 半截竹管による縦位の平行沈線を施文。一部菱形文あり。 | | Ⅰ群３類 |
| 4-縄47 | J－3<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②(21.3)<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい赤褐 ④胴部片 | 半截竹管による矢羽根状の平行沈線を施文後に、縦位の平行沈線を施文。 | | Ⅰ群３類 |
| 4-縄48 | J－3<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（8.8）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい赤褐 ④底部片 | 平底。半截竹管による縦位の平行沈線を施文。その後にボタン状粘土を貼付。 | | Ⅰ群２類 |
| 4-縄49 | J－4<br>床直 | 深鉢 | ①　－　②（7.4）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい赤褐 ④口縁片 | 口唇部から口縁部にかけて半截竹管による横位の平行沈線、一部同心円文を施文。 | 3 | Ⅰ群３類 |
| 4-縄50 | JD－1<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②(21.3)<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい赤褐 ④胴部片 | 口縁部：半截竹管による２条の横位平行沈線２本間に、上下から２条の弧線平行沈線を施文。胴部上位：やや膨らむ、半截竹管による４条の横位の平行沈線が４～５cm間隔に施文。胴部上位の平行沈線の間に、両方向から斜位の平行沈線と渦巻状の文様を施文する。 | 2 他 | Ⅰ群３類 |
| 4-縄51 | JD－3<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（4.5）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄褐 ④口縁片 | 内傾する口唇部に半截竹管による横位矢羽根状集合沈線を施文。その後耳朶状の粘土を貼付し、その間にボタン状の粘土を貼付する部分と口縁部に添って３条の刺突文のある棒状粘土を貼付。口縁部：横位の集合沈線を施文する。 | 13, 17 | Ⅰ群２類 |
| 4-縄52 | JD－3<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（2.8）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄褐 ④口縁片 | 内傾する口唇部に半截竹管による横位矢羽根状集合沈線を施文。その後耳朶状の粘土を貼付し、その間にボタン状の粘土を貼付する部分と口縁部に添って３条の刺突文のある棒状粘土を貼付。口縁部：横位の集合沈線を施文する。 | 22 | Ⅰ群２類54と同一か |
| 4-縄53 | JD－3<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（3.6）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄褐 ④口縁片 | 内傾する口唇部に半截竹管による横位矢羽根状集合沈線を施文。その後棒状粘土を縦と横に貼付。その間にボタン状の粘土を貼付。 | 11 | Ⅰ群２類 |
| 4-縄54 | JD－3<br>床直 | 深鉢 | ①　－　②（6.7）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄褐 ④口縁片 | 内傾する口唇部に半截竹管による横位矢羽根状集合沈線を施文。その後棒状粘土を縦と横に貼付。その間にボタン状の粘土を貼付。口縁部：横位の集合沈線を施文する。 | 21 | Ⅰ群２類57と同一か |
| 4-縄55 | JD－3<br>床直 | 深鉢 | ①　－　②（3.3）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄褐 ④口縁片 | 内傾する口唇部に半截竹管による横位矢羽根状集合沈線を施文。その後棒状粘土を縦と横に貼付。その間にボタン状の粘土を貼付。 | 1 他 | Ⅰ群２類57と同一か |

| 番　号 | 出土遺構<br>層位 | 器種名 | ①口径　②器高<br>③底径 | ①胎土 ②焼成<br>③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録<br>番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4-縄56 | ＪＤ－３<br>床直 | 深鉢 | ①　－　②（3.4）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④口縁片 | 内傾する口唇部に半截竹管による矢羽根状集合沈線を施文。その後刺突文のある棒状粘土を縦に貼付。その間を貝殻状の粘土を施文。 | 38 | Ⅰ群２類 |
| 4-縄57 | ＪＤ－３<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（3.5）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄褐 ④口縁片 | 内傾する口唇部に半截竹管による横位矢羽根状集合沈線を施文。その後棒状粘土を縦に貼付。その間にボタン状の粘土を貼付。 | | Ⅰ群２類 |
| 4-縄58 | ＪＤ－３<br>床直 | 深鉢 | ①　－　②（2.9）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄褐 ④口縁片 | 内傾する口唇部に半截竹管による横位矢羽根状集合沈線を施文。その後二重の耳朶状の粘土を貼付。その間にボタン状の粘土を貼付。 | 32 | Ⅰ群２類 |
| 4-縄59 | ＪＤ－３<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（3.6）<br>③　－ | ①中粒 ②良好<br>③赤灰 ④口縁片 | 口唇部：欠損。口縁部：半截竹管による横位の平行沈線後、斜位の集合沈線を施文。凹形状の棒状粘土を貼付。 | | Ⅰ群２類 |
| 4-縄60 | ＪＤ－３<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（3.4）<br>③　－ | ①粗粒 ②良好<br>③にぶい黄褐 ④口縁片 | 内傾する口唇部に半截竹管による斜行沈線を施文後、棒状粘土を貼付。その間にボタン状の粘土を貼付。口縁部：半截竹管による横位の集合平行沈線を施文。更にボタン状粘土を貼付。 | | Ⅰ群２類 |
| 4-縄61 | ＪＤ－３<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（3.5）<br>③(10.8) | ①中粒 ②良好<br>③にぶい橙 ④底部片 | 平底。底部に平行する半截竹管による横位の集合平行沈線を施文。 | | Ⅰ群３類 |
| 4-縄62 | ＪＤ－３<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（6.0）<br>③　－ | ①中粒 ②良好<br>③にぶい橙 ④口縁片 | 波状口縁。口唇部：半截竹管による横位の平行沈線、その下位に斜位の沈線を施文後、口唇部に凹凸文施文。次に棒状粘土を貼付し、その間にボタン状粘土を貼付する。口縁部から胴部へ半截竹管による縦位の集合平行沈線を施文。 | | Ⅰ群２類 |
| 4-縄63 | ＪＤ－３<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（7.0）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④胴部片 | 湾曲する胴部。Ｌ縄文を施文だが不鮮明。 | 9 | Ⅱ群１類 |
| 4-縄64 | ＪＤ－４<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②(24.9)<br>③　－ | ①粗粒 ②良好<br>③にぶい褐 ④胴部片 | 半截竹管による縦位の平行沈線を施文。中央部は不鮮明。 | 1 | Ⅰ群３類 |
| 4-縄65 | ＪＤ－４<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（9.1）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい褐 ④胴部片 | 半截竹管による縦位と斜位の平行集合沈線を施文。内面にもわずかに沈線有り。 | 2 | Ⅰ群３類 |
| 4-縄66 | ＪＤ－４<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（3.7）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③褐灰 ④口縁片 | 口唇部上部に半截竹管による斜位の平行沈線。その下部に横位の平行沈線を施文後、耳たぶ状・ボタン状粘土を貼付。 | | Ⅰ群２類 |
| 4-縄67 | ＪＤ－６<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（7.0）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい橙 ④胴部片 | 地文にＬＲ縄文。半截竹管による４条の横位平行沈線が等間隔に施文。その間に一部弧線平行沈線を施文。 | １他 | Ⅰ群１類 |
| 4-縄68 | ＪＤ－６<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②(19.2)<br>③　－ | ①中粒 ②良好<br>③灰黄褐 ④胴部片 | 地文にＬＲ縄文。半截竹管による４条の横位平行沈線が等間隔に施文。その間に縄文を施文。 | ６他 | Ⅰ群１類 |
| 4-縄69 | ＪＤ－８<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②(10.2)<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③灰黄褐 ④口縁片 | 内傾する口唇部に半截竹管による矢羽根状集合沈線を施文。耳朶状の粘土と縦位の棒状粘土、大小のボタン状粘土を貼付。口縁部：半截竹管による矢羽根状集合沈線を施文後、ボタン状粘土を縦横４cm毎に貼付。 | ５他 | Ⅰ群２類 |
| 4-縄70 | ＪＤ－８<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（9.6）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③灰黄褐 ④口縁片 | 内傾する口唇部に半截竹管による矢羽根状集合沈線を施文。耳朶状の粘土と縦位の棒状粘土、大小のボタン状粘土を貼付。口縁部：半截竹管による矢羽根状集合沈線を施文後、ボタン状粘土を貼付。 | ３他 | Ⅰ群２類73と同一か |

7区

| 番　号 | 出土遺構<br>層位 | 器種名 | ①口径　②器高<br>③底径 | ①胎土 ②焼成<br>③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録<br>番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 7-縄１ | Ｈ－12<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②　－<br>③　－ | ①中粒 ②良好<br>③褐灰 ④破片 | 口縁部に突起有り。沈線により区画文を施し、その区画内に縄文ＲＬを施文。 | | 加曽利Ｅ4 |
| 7-縄２ | 全体覆土 | 深鉢 | ①　－　②　－<br>③　－ | ①粗粒 ②良好<br>③橙 ④破片 | 横位沈線により、口縁部無文帯が形成される。胴部には縦位沈線により文様を構成。縄文Ｒが充填される。 | | 加曽利Ｅ3 |
| 7-縄３ | 全体覆土 | 深鉢 | ①　－　②　－<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④破片 | 微隆起帯と凹線により口縁部無文帯が構成される。縄文ＲＬを横位と縦位に施文して羽状構成をとる。凹線により一部消失。 | | 加曽利Ｅ3 |
| 7-縄４ | 全体覆土 | 深鉢 | ①　－　②　－<br>③　－ | ①中粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④破片 | 口縁部に沈線を巡らし、無文帯を形成。その下に縄文ＲＬを施文。 | | 加曽利Ｅ3 |
| 7-縄５ | 全体覆土 | 深鉢 | ①　－　②　－<br>③　－ | ①中粒 ②良好<br>③浅黄 ④破片 | 隆起帯により口縁部文様帯を形成し、文様帯には沈線による楕円形区画が施される。隆起上には縄文ＲＬが施文され、数単位の突起が付けられる。 | | 加曽利Ｅ4 |
| 7-縄６ | 全体覆土 | 深鉢 | ①　－　②　－<br>③　－ | ①中粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④破片 | 沈線により文様構成。口縁部無文帯が形成される。胴部に沈線によるＯ状の文様区画。０段多条縄文は横位と縦位に施文され羽状構成をとる。 | | 加曽利Ｅ4 |

9区

| 番　号 | 出土遺構<br>層位 | 器種名 | ①口径　②器高<br>③底径 | ①胎土 ②焼成<br>③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録<br>番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9-縄１ | ＪＤ－２<br>覆土 | 深鉢 | ①　－　②（9.2）<br>③　－ | ①中粒 ②良好<br>③にぶい赤褐 ④2/5 | 縄文ＲＬが施文され、半截竹管による横位の平行沈線が巡る。 | ２ほか | 諸磯ｂ |

注　① 層位は「床直」：床面より10cm以内の層位からの検出、「覆土」：床面より10cmを超える層位からの検出とした。
② 口径・器高・底径の単位はcmである。現存値を（　）、復元値を［　］で示した。
③ 胎土は、細粒（0.9mm以下）、中粒（1.0～1.9mm）、粗粒（2.0mm以上）とし、特徴的な鉱物が入る場合に鉱物名を記載した。
④ 焼成は、極良・良好・不良の三段階とした。
⑤ 色調は、土器外面で観察し、色名は新版標準土色帳（小山・竹原1976）によった。
⑥ 備考には、Ⅵまとめでの分類に基づいて記してある。分類については P.71「縄文時代の遺構と遺物について」を参照。

## Tab. 6　弥生時代出土土器観察表

### 9 区

| 番　号 | 出土遺構<br>層　　位 | 器種名 | ①口径　②器高<br>③底径 | ①胎土 ②焼成<br>③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録<br>番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9-弥 1 | H－ 1<br>床直 | 甕 | ①　－　②　－<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④破片 | 文様：６状１単位の簾状文の下に６条１単位の波状文。 | | 弥生後期<br>樽式 |
| 9-弥 2 | H－ 4<br>床直 | 甕 | ①　－　②　－<br>③　－ | ①中粒 ②良好<br>③にぶい橙 ④破片 | 文様：４条１単位の波状紋、等間隔に櫛を止めて波を描く。 | | 弥生中期後半<br>竜見町式か？ |

注　① 層位は「床直」：床面より10cm以内の層位からの検出、「覆土」：床面より10cmを超える層位からの検出とした。
　　② 口径・器高・底径の単位はcmである。現存値を（　）、復元値を［　］で示した。
　　③ 胎土は、細粒（0.9mm以下）、中粒（1.0～1.9mm）、粗粒（2.0mm以上）とし、特徴的な鉱物が入る場合に鉱物名を記載した。
　　④ 焼成は、極良・良好・不良の三段階とした。
　　⑤ 色調は、土器外面で観察し、色名は新版標準土色帳（小山・竹原1976）によった。

## Tab. 7　古墳・奈良・平安時代出土土器観察表

### 1 区

| 番　号 | 出土遺構<br>層　　位 | 器種名 | ①口径　②器高<br>③底径 | ①胎土 ②焼成<br>③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録<br>番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1-1 | H－ 1<br>床直 | 土師器<br>坏 | ①［13.2］②　4.4<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③黒褐 ④1/4 | 口縁部：直立、内・外面横撫で。交換点に稜有。底部：浅い丸底、内面撫で、外面篦削り。 | 18 | |
| 1-2 | H－ 1<br>床直 | 土師器<br>坏 | ① 12.2　②　4.0<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③暗赤褐 ④4/5 | 口縁部：やや内傾気味、内・外面撫で。交換点に稜有。底部：浅い丸底、内面撫で、外面篦削り。 | 20 | |
| 1-3 | H－ 1<br>床直 | 土師器<br>甕 | ① 13.3　②(17.2)<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい橙 ④3/5 | 口縁部：直立から外反、内・外面撫で。胴部：中位が膨らみ、器最大径、内面撫で、外面斜位の篦削り。 | 22ほか | |
| 1-4 | H－ 1<br>床直 | 土師器<br>甕 | ①　－　②(20.6)<br>③　5.3 | ①細粒 ②良好<br>③にぶい赤褐 ④2/5 | 口縁部：欠損。胴部：中位が膨らみ器最大径。内面撫で。外面縦篦削り。底部：平底。内面撫で。外面篦削り。 | 23ほか | |
| 1-5 | H－ 2<br>床直 | 須恵器<br>坏 | ①［13.6］②　3.5<br>③　6.8 | ①細粒 ②良好<br>③灰白 ④2/3 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾から口縁端部やや外反、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 6 | |
| 1-6 | H－ 3<br>覆土 | 須恵器<br>坏 | ①［13.0］②　4.5<br>③　5.3 | ①細粒 ②良好<br>③灰白 ④2/5 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾からやや外反、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 76ほか | |
| 1-7 | H－ 3<br>床直 | 須恵器<br>高台椀 | ①［14.4］②　5.9<br>③　6.7 | ①細粒 ②良好<br>③灰黄褐 ④1/2 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り後付け高台。 | 117ほか | 酸化焔焼成 |
| 1-8 | H－ 3<br>床直 | 須恵器<br>高台椀 | ①［16.6］②　6.1<br>③［7.0］ | ①細粒 ②良好<br>③灰 ④2/5 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾から外反、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り後、付け高台、篦撫で。 | 119ほか | |
| 1-9 | H－ 4<br>床直 | 土師器<br>坏 | ①［12.0］②　3.6<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④1/5 | 口縁・体部：外傾、外面撫で、指圧痕有り、内面撫で。底部：内面撫で、外面篦削り。 | 18ほか | |
| 1-10 | H－ 4<br>床直 | 須恵器<br>坏 | ① 12.8　②　4.2<br>③　5.9 | ①細粒 ②良好<br>③灰 ④3/4 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾から口縁端部やや外反、内・外面撫で。底部：内面撫で。外面回転糸切り。 | 17 | |
| 1-11 | H－ 4<br>床直 | 須恵器<br>坏 | ①［13.0］②　5.2<br>③　4.5 | ①細粒 ②良好<br>③灰白 ④2/5 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾から口縁端部やや外反、内・外面撫で。底部：内面撫で。外面回転糸切り。 | 37 | |
| 1-12 | H－ 4<br>埋土 | 須恵器<br>坏 | ①［12.5］②　3.0<br>③　7.2 | ①細粒 ②良好<br>③灰 ④1/2 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | X34<br>Y1654 | |
| 1-13 | H－ 4<br>床直 | 須恵器<br>高台皿 | ①［12.7］②　2.8<br>③［6.4］ | ①細粒 ②良好<br>③灰 ④1/2 | 轆轤整形。口縁・体部：大きく外傾、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り後、断面三角形の高台を取り付け。 | 75 | |
| 1-14 | H－ 4<br>竈 | 土師器<br>甕 | ①［19.6］②(15.5)<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい赤褐 ④1/3 | 口縁部：直立気味からやや外反、内・外面撫で。胴部：内面撫で、外面斜位の篦削り。底部：欠損。 | 77ほか | |
| 1-15 | H－ 6<br>竈 | 須恵器<br>高台椀 | ① 14.3　②　4.7<br>③　5.1 | ①細粒 ②良好<br>③灰黄 ④ほぼ完形 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾から口縁端部やや外反、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り後、付け高台。高台欠損。 | 2 | |
| 1-16 | H－ 6<br>覆土 | 灰釉高<br>台皿 | ① 16.2　②　3.2<br>③　8.1 | ①細粒 ②良好<br>③灰白 ④2/3 | 轆轤整形。口縁・体部：大きく外傾、口縁端部やや外反、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り後、篦撫で、付け高台。釉はつけがけ。 | 17 | |
| 1-17 | H－ 6<br>床直 | 土師器<br>甕 | ①［18.0］②(8.7)<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③暗赤褐 ④1/5 | 口縁部：直立から外傾、内・外面撫で。胴部：やや膨らみをもつ、内・外面斜位の篦削り。胴部中位以下欠損。 | 7 ほか | |
| 1-18 | H－ 7<br>覆土 | 須恵器<br>坏 | ①［14.7］②　3.7<br>③［7.2］ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④1/2 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾から口縁端部やや外反、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 2 | 酸化焔焼成 |
| 1-19 | H－ 7<br>竈 | 土師器<br>甕 | ①［20.4］②(19.4)<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④1/4 | 口縁部：直立から外傾、内・外面撫で。胴部：上位に膨らみをもつ、内面斜位の篦削り、外面上位斜位の篦削り、外面下位縦の篦削り。底部欠損。 | 9 ほか | |
| 1-20 | H－ 7<br>竈 | 須恵器<br>甑 | ①［30.8］②(16.5)<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④1/5 | 口縁・胴部：やや外傾、内・外面撫で。鍔部は三角形状で水平に張り出す。鍔部貼付。底部欠損。 | 7 | 酸化焔焼成 |
| 1-21 | H－10<br>床直 | 須恵器<br>高台椀 | ① 15.3　②　5.5<br>③　7.4 | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄褐 ④3/4 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾から口縁端部やや外反、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り後、付け高台。 | W-23 | 酸化焔焼成 |
| 1-22 | W－ 2<br>覆土 | 円筒埴<br>輪 | ①［21.4］②(23.3)<br>③　－ | ①中粒 ②良好<br>③橙 ④1/4 | 外面：縦ハケ削り、突帯貼付、口縁部横撫で。内面：口縁部横撫で、胴部縦ハケ。基底部：欠損 | 1 ほか | |
| 1-23 | W－ 2<br>覆土 | 土師器<br>高坏 | ①　－　②(10.4)<br>③ 13.1 | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④脚部のみ | 脚部：上位内反、内面輪積み痕有、撫で、外面縦篦削り。下位内傾、内・外面撫で。 | 2 | |
| 1-24 | X－ 1<br>覆土 | 須恵器<br>坏 | ①［13.5］②　3.6<br>③　6.2 | ①細粒 ②良好<br>③灰 ④2/3 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾から口縁端部やや外反、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | X34<br>Y1662 | 酸化焔焼成 |

| 番　号 | 出土遺構<br>層　　位 | 器種名 | ①口径　②器高<br>③底径 | ①胎土 ②焼成<br>③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録<br>番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1-25 | X－1<br>覆土 | 須恵器<br>高台椀 | ①[15.6] ②　7.4<br>③[10.6] | ①細粒 ②良好<br>③灰 ④１/3 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾、内面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り後、付け高台。高台のつくりが粗雑。 | X34<br>Y1665<br>ほか | |
| 1-26 | X－1<br>覆土 | 須恵器<br>蓋 | ① 19.6 ②　3.7<br>③ 5.7（摘み） | ①細粒 ②良好<br>③灰 ④3/4 | 轆轤整形。天井部：水平から緩やかに傾斜し端部垂下、外面回転篦削り。回転糸切り後、小さい環状の摘みを付けている。内面撫で。端部：内・外面撫で、返り無し。 | X34<br>Y1663<br>ほか | |

## 2 区

| 番　号 | 出土遺構<br>層　　位 | 器種名 | ①口径　②器高<br>③底径 | ①胎土 ②焼成<br>③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録<br>番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2-1 | H－2<br>床直 | 土師器<br>坏 | ①[12.4] ②（3.5）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④1/5 | 口縁・体部：外傾、内・外面撫で。交換点に稜有。底部：浅い丸底、内面撫で、外面篦削り。 | 1 | |
| 2-2 | H－2<br>床直 | 土師器<br>小型甕 | ① 15.2 ②(15.8)<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい褐 ④1/2 | 口縁部：器最大径、外反、内・外面撫で。胴部：内面撫で、外面篦削り。底部：欠損。 | 5 | |

## 3 区

| 番　号 | 出土遺構<br>層　　位 | 器種名 | ①口径　②器高<br>③底径 | ①胎土 ②焼成<br>③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録<br>番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3-1 | H－1<br>床直 | 土師器<br>坏 | ① 12.7 ②　3.3<br>③　7.5 | ①細粒 ②良好<br>③にぶい赤褐 ④3/4 | 口縁部:やや外反、内･外面撫で。体部:外傾、外面指圧痕有、撫で、内面撫で。底部：ほぼ平底、内面撫で、外面篦削り。煤付着。 | 2ほか | |

## 4 区

| 番　号 | 出土遺構<br>層　　位 | 器種名 | ①口径　②器高<br>③底径 | ①胎土 ②焼成<br>③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録<br>番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4-1 | H－1<br>床直 | 土師器<br>坏 | ①[12.4] ②　5.7<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④2/3 | 口縁と底部の境に稜を有する。口縁部:やや外傾、内･外面横撫で。底部：丸底、内面撫で、外面篦削り。 | 71他 | |
| 4-2 | H－1<br>床直 | 土師器<br>甕 | ①　－　②(12.4)<br>③　6.6 | ①粗粒 ②良好<br>③明赤橙 ④1/3 | 口縁部:欠損。胴部:上部欠損。ほぼ中央部で器最大径、内面撫で、外面篦削り。底部：径6.6mm の平底。 | 20他 | |
| 4-3 | H－1<br>床直 | 土師器<br>甕 | ①(20.1) ②(20.5)<br>③　－ | ①粗粒 ②良好<br>③にぶい赤橙 ④1/3 | 口縁部：外反、内・外面横撫で、外面に指圧痕有り。胴部：上半部内面撫で、外面篦削り。中央部～底部：欠損。 | 36他 | |
| 4-4 | H－1<br>床直 | 土師器<br>甕 | ①　－　②(29.5)<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③褐灰 ④2/3 | 口縁部：欠損。胴部：中央部やや上で器最大径、内面撫で、外面篦削り。底部：底径4.0cm の平底。 | 64他 | |
| 4-5 | H－2<br>竈内 | 土師器<br>坏 | ①[12.4] ②　3.3<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい橙 ④1/3 | 口縁と底部の境に稜を有する。口縁部:ほぼ直立、内･外面横撫で。底部：平底に近い、内面撫で、外面篦削り。 | カマド4 | |
| 4-6 | H－2<br>竈内 | 土師器<br>坏 | ①[12.6] ②　3.9<br>③　－ | ①中粒 ②良好<br>③橙 ④3/4 | 口縁と底部の境に稜を有する。口縁部:ほぼ直立、内･外面横撫で。底部：やや丸底、内面撫で、外面篦削り。 | カマド5 | |
| 4-7 | H－2<br>竈内 | 須恵器<br>壺 | ① [6.8] ②(11.5)<br>③　－ | ①粗粒 ②良好<br>③オリーブ黒 ④3/4 | 轆轤整形。内外面：轆轤撫で。口縁部：欠損。轆轤整形。頸部：４条の波状文。体部：上部に4条の波状文。 | カマド2 | |
| 4-8 | H－3<br>覆土 | 土師器<br>甕 | ①[12.8] ②（5.8）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④口縁破片 | 口縁部：短く直立しやや外反、内・外面横撫で、外面直立部の上下に工具痕有。胴部上位:内面撫で、外面篦削り。胴・底部:欠損。 | 3 | |
| 4-9 | H－3<br>覆土 | 須恵器<br>高台皿 | ① 12.4 ②　2.6<br>③　5.2 | ①中粒 ②良好<br>③灰白 ④ほぼ完形 | 轆轤整形。口縁・体部：大きく外傾、内・外面轆轤撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り後付け高台。 | 6 | |
| 4-10 | H－4<br>床直 | 土師器<br>坏 | ①[14.3] ②　5.2<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④1/2 | 口縁と底部の境に稜を有する。口縁部：外傾、内・外面横撫で。底部：丸底、内面撫で、外面篦削り。 | 1 | |
| 4-11 | H－4<br>床直 | 土師器<br>甕 | ①[13.5] ②（7.4）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③褐灰 ④1/5 | 口縁部:短く直立しやや外反､内･外面横撫で。胴部上位:内面撫で、外面篦削り。胴・底部：欠損。 | 3 | |
| 4-12 | H－5<br>床直 | 土師器<br>坏 | ① 11.8 ②　4.3<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④ほぼ完形 | 口縁と底部の境に稜を有する。口縁部：外傾、口縁端部やや外反、内・外面横撫で。底部：丸底、内面撫で、外面篦削り。 | 3 | |
| 4-13 | H－5<br>床直 | 土師器<br>坏 | ① 11.8 ②　3.2<br>③　－ | ①中粒 ②良好<br>③橙 ④3/4 | 口縁と底部の境に稜を有する。口縁部：直立、内・外面横撫で。底部：丸底、内面撫で、外面篦削り。 | 11 | |
| 4-14 | H－5<br>貯蔵穴 | 土師器<br>坏 | ① 11.4 ②　3.3<br>③　－ | ①中粒 ②良好<br>③橙 ④完形 | 口縁部：短く直立、内面横撫で、外面横撫で篦削り。底部：丸底、内面撫で、外面篦削り。 | 12 | |
| 4-15 | H－6<br>床直 | 土師器<br>坩 | ①[15.5] ②　6.1<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③赤褐 ④1/4 | 口縁部:外傾､内･外面磨き。体部下位:やや膨らむ。底部:2/3欠損。 | | |
| 4-16 | H－8<br>覆土 | 須恵器<br>高台椀 | ①[17.8] ②　7.2<br>③　7.0 | ①粗粒 ②良好<br>③灰黄 ④1/2 | 轆轤整形。口縁･体部:やや丸みをもちながら外傾､口縁部やや外反。内・外面轆轤撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り後付け高台。 | グリッド | |
| 4-17 | H－9<br>覆土 | 土師器<br>甕 | ①[21.1] ②（8.5）<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④口縁破片 | 口縁部：ほぼ直立から外傾、外面横撫で指圧痕有り、内面横撫で。胴部上位：内面撫で、外面篦削り。 | | |
| 4-18 | D－6<br>覆土 | 横瓶須<br>恵器 | ①　－　②(26.7)<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③灰 ④1/3 | 轆轤整形。口縁部：欠損。内・外面：轆轤撫で。内面には波状紋が巡り、外面には沈線が縦横に巡る。底部：1/2欠損。 | | |
| 4-19 | W－2<br>覆土 | 灰釉高<br>台椀 | ① 16.5 ②　5.5<br>③　8.0 | ①細粒 ②良好<br>③灰白 ④3/4 | 轆轤整形。口縁・体部：僅かな丸みをもって口縁部外反、内・外面轆轤撫で。底部：内面撫で。高台部：断面四角形のやや高い高台を付す。釉薬は漬けがけ。 | | |
| 4-20 | A－1<br>覆土 | 須恵器<br>蓋 | ① 11.6 ②　2.2<br>③　－ | ①粗粒 ②良好<br>③にぶい橙 ④4/5 | 轆轤整形。天井部：短く水平から外傾、外面回転篦削り、端部内・外面撫で、返り有り。摘み：ボタン状摘み。 | | 酸化焔焼成 |
| 4-21 | 表採覆土 | 灰釉高<br>台椀 | ①(15.1) ②　5.1<br>③　8.1 | ①粗粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④2/3 | 轆轤整形。口縁・体部：僅かな丸みをもって外傾、内・外面轆轤撫で。底部:内面撫で。高台部:断面三角形のやや高い高台を付す。釉薬は漬けがけ。 | | |

5区

| 番　号 | 出土遺構<br>層　　位 | 器種名 | ①口径　②器高<br>③底径 | ①胎土 ②焼成<br>③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録<br>番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5-1 | H－1<br>覆土 | 須恵器<br>杯 | ①[14.2] ② 3.4<br>③ [8.0] | ①細粒 ②良好<br>③灰白 ④1/2 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾からやや外反、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 6ほか | |
| 5-2 | H－1<br>覆土 | 須恵器<br>高台椀 | ①[15.5] ② 4.9<br>③ 6.3 | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④1/2 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り後、付け高台。 | 49ほか | 酸化焔焼成 |
| 5-3 | H－1<br>覆土 | 土師器<br>小型甕 | ①[11.7] ② (8.2)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③にぶい赤褐 ④1/4 | 口縁部:直立から外反、内・外面撫で。体部:丸みを持つ。内面撫で、外面横位の篦削り。底部欠損。 | 38 | |
| 5-4 | H－2<br>床直 | 須恵器<br>杯 | ①[13.2] ② 3.8<br>③ 5.8 | ①細粒 ②良好<br>③灰白 ④1/3 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り後。 | 39ほか | |
| 5-5 | H－2<br>覆土 | 須恵器<br>高台皿 | ① 13.2 ② 3.2<br>③ 6.2 | ①細粒 ②良好<br>③灰白 ④4/5 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾からやや外反、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り後、付け高台、撫で。 | 32 | 酸化焔焼成 |
| 5-6 | H－2<br>$P_2$ | 須恵器<br>高台皿 | ①[14.0] ② 3.0<br>③ 7.6 | ①細粒 ②良好<br>③灰白 ④1/2 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り後、付け高台、撫で。 | 44ほか | |
| 5-7 | H－3<br>覆土 | 須恵器 | ① － ② －<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③灰白 ④2破片 | 轆轤整形。内・外面撫で。墨書文字有、文字不明。 | | 墨書土器 |
| 5-8 | H－5<br>床直 | 土師器<br>杯 | ① 14.0 ② 4.6<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③極暗褐 ④ほぼ完形 | 口縁・体部：外傾、内・外面撫で、交換点に稜有。底部：浅い丸底、内面撫で、外面篦削り。 | 2ほか | |
| 5-9 | H－7<br>床直 | 須恵器<br>高台椀 | ① 14.1 ② 4.9<br>③ 6.3 | ①細粒 ②良好<br>③褐灰 ④ほぼ完形 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾から外反、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り後、付け高台、撫で。 | X40Y188<br>23 | |
| 5-10 | H－8<br>竈 | 須恵器<br>高台椀 | ①[12.6] ② [5.9]<br>③ [7.4] | ①細粒 ②良好<br>③にぶい褐 ④1/3 | 轆轤整形。口縁部:外反、内・外面撫で。体部:膨らみを持つ、内面・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り後、付け高台。 | H－3<br>14 | 酸化焔焼成 |
| 5-11 | H－8<br>覆土 | 須恵器<br>高台椀 | ①[15.2] ② 5.2<br>③ [7.1] | ①細粒 ②良好<br>③灰 ④1/3 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾から外反、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り後、付け高台。 | 6 | |
| 5-12 | H－8<br>竈 | 須恵器<br>高台椀 | ① 15.6 ② 5.0<br>③ 8.5 | ①細粒 ②良好<br>③灰 ④3/4 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾からやや外反、内・外面撫で。底部：回転糸切り後、付け高台、高台に指圧痕有り。 | 62 | |
| 5-13 | H－8<br>床直 | 灰釉高<br>台椀 | ① 16.6 ② 5.6<br>③ 8.3 | ①細粒 ②良好<br>③灰白 ④1/3 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾から口縁端部外傾、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転篦削り後、付け高台。釉はつけがけ。 | 21ほか | |
| 5-14 | H－8<br>床直 | 須恵器<br>高台皿 | ① 14.4 ② 2.6<br>③ 6.6 | ①細粒 ②良好<br>③灰白 ④4/5 | 轆轤整形。口縁・体部:大きく外傾、内・外面撫で。底部:内面撫で、外面回転糸切り後、付け高台、撫で。 | H－3<br>No.8 | |
| 5-15 | H－8<br>床直 | 土師器<br>甕 | ①[19.6] ②(13.8)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④1/6 | 口縁部：直立気味から外傾、内・外面撫で。指圧痕があり、歪んでいる。体部：上位に膨らみを持ち器最大径、内・外面上位横位の篦削り、下位斜位の篦削り。胴部中位以下欠損。 | 24ほか | |
| 5-16 | W－3<br>覆土 | 須恵器<br>杯 | ① 12.4 ② 3.6<br>③ 6.3 | ①細粒 ②良好<br>③褐灰 ④3/4 | 轆轤整形。口縁・体部：やや膨らみを持って外傾、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 5ほか | |
| 5-17 | W－3<br>覆土 | 須恵器<br>長頸瓶 | ① － ②(12.1)<br>③ 8.1 | ①細粒 ②良好<br>③灰 ④2/3 | 轆轤整形。口縁部欠損。胴部：上位に膨らみをもち器最大径、外傾から内反、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面篦削り。 | 5ほか | |

6区

| 番　号 | 出土遺構<br>層　　位 | 器種名 | ①口径　②器高<br>③底径 | ①胎土 ②焼成<br>③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録<br>番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6-1 | H－1<br>床直 | 土師器<br>甕 | ①[13.7] ② (9.2)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③にぶい橙 ④1/6 | 口縁部：大きく外傾、内・外面横撫で。胴部上位：内外面横撫で。胴部中位～底部：欠損。 | 33 | |
| 6-2 | H－1<br>竈内 | 須恵器<br>坏 | ① 11.1 ② 3.2<br>③ 5.9 | ①細粒 ②良好<br>③褐灰 ④完形 | 轆轤整形。口縁・体部:外傾から口縁部やや外反、内・外面轆轤撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | カマド3 | |
| 6-3 | H－1<br>竈内 | 須恵器<br>高台椀 | ①[13.0] ② 4.7<br>③ 3.8 | ①粗粒 ②良好<br>③灰白 ④1/4 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾から口縁端部外反、内・外面轆轤撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り後付け高台。 | カマド11<br>他 | 酸化焔焼成 |
| 6-4 | H－1<br>床直 | 須恵器<br>羽釜 | ①[22.8] ② (9.7)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③灰褐 ④口縁破片 | 轆轤整形。口縁部：内傾、内外面撫で。鍔部：断面三角形状でほぼ水平に付く。胴部・底部：欠損。 | 18 | |
| 6-5 | H－1<br>床直 | 須恵器<br>羽釜 | ①[22.0] ② (7.8)<br>③ － | ①粗粒 ②良好<br>③にぶい橙 ④口縁破片 | 轆轤整形。口縁部：内傾、内外面撫で。鍔部：断面三角形状でほぼ水平に付く。胴部・底部：欠損。 | 35 | |
| 6-6 | H－1<br>竈内 | 須恵器<br>羽釜 | ①[24.0] ② (8.9)<br>③ － | ①細粒②良好<br>③にぶい橙 ④口縁破片 | 轆轤整形。口縁部：内傾、内外面撫で。鍔部：断面三角形状でほぼ水平に付く。胴部・底部：欠損。 | カマド6<br>他 | |
| 6-7 | H－1<br>竈内 | 須恵器<br>深鉢 | ①[24.0] ② (8.7)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③灰白 ④口縁破片 | 轆轤整形：口縁部：直立、内・外面轆轤撫で。胴部・底部：欠損。 | カマド15<br>他 | |
| 6-8 | H－1<br>床直 | 灰釉高<br>台椀 | ① 16.0 ② (5.2)<br>③ 7.6 | ①細粒 ②良好<br>③灰白 ④1/3 | 轆轤整形：口縁・体部：僅かな丸みをもって口縁部やや外反、内・外面轆轤撫で。底部：内面撫で、高台部：断面三角形の低い高台を付す。釉薬は漬けがけ。 | 38他 | |
| 6-9 | H－2<br>竈内 | 土師器<br>甕 | ①[16.6] ② (4.5)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④破片 | 口縁部：大きく外傾、内・外面横撫で。胴部・底部：欠損。 | | |
| 6-10 | H－3<br>覆土 | 土師器<br>甕 | ①[20.0] ② (7.1)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③にぶい橙 ④破片 | 口縁部：直立から外傾、内・外面横撫で。胴部上位：内面撫で、外面篦削り。底部：欠損。 | | |
| 6-11 | H－4<br>覆土 | 土師器<br>坏 | ① 12.6 ② 3.6<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③にぶい赤褐 ④3/4 | 口縁部：短く外傾。体部：膨らみながら外傾。内面横撫で、指圧痕有り・外面横撫で、篦削り。底部:平底、内面撫で、外面篦削り。 | H-5-18 | |
| 6-12 | H－4<br>覆土 | 土師器<br>坏 | ① 12.0 ② 3.5<br>③ 8.3 | ①細粒 ②良好<br>③明赤褐 ④完形 | 口縁部:短く外傾。内面横撫で・外面横撫で、篦削り。底部:平底、内面撫で、外面篦削り。 | H-5-36<br>他 | |
| 6-13 | H－4<br>覆土 | 土師器<br>甕 | ①[18.4] ② (8.1)<br>③ － | ①粗粒 ②良好<br>③橙 ④1/4 | 口縁部：直立から大きく外傾、内・外面横撫で。胴部上位：やや膨らみ内面撫で、外面篦削り。底部：欠損。 | H-5-23<br>他 | |
| 6-14 | H－4<br>覆土 | 須恵器<br>高台椀 | ① 14.6 ② 5.9<br>③ 6.0 | ①粗粒 ②良好<br>③灰黄 ④3/4 | 轆轤整形。口縁・体部:外傾から口縁端部外反、内・外面轆轤撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り後付け高台。 | H-5-21<br>他 | 酸化焔焼成 |

| 番　号 | 出土遺構<br>層　　位 | 器種名 | ①口径　②器高<br>③底径 | ①胎土 ②焼成<br>③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録<br>番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6-15 | H－5<br>床直 | 土師器<br>坏 | ①[11.8] ② 3.4<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③にぶい橙 ④1/2 | 口縁部：短く外傾。体部：外傾。内面横撫で・外面横撫で、篦削り。底部：平底、内面撫で、外面篦削り。 | 34 | |
| 6-16 | H－5<br>床直 | 土師器<br>甕 | ①[16.7] ②（7.7）<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④1/4 | 口縁部：直立から大きく外傾。内外面撫で。胴部上位：内面撫で、外面横篦削り。底部：欠損。 | 25他 | |
| 6-17 | H－5<br>床直 | 須恵器<br>高台皿 | ① 11.9 ② 2.8<br>③ 5.7 | ①細粒 ②良好<br>③灰白 ④完形 | 轆轤整形。口縁・体部：大きく外傾、内・外面轆轤撫で。底部：回転糸切り後付け高台。 | 4 | |
| 6-18 | H－6<br>床直 | 土師器<br>台付甕 | ①[11.4] ②(15.0)<br>③ － | ①中粒 ②良好<br>③にぶい橙 ④1/2 | 口縁部：短く直立から外傾、内・外面撫で。胴部：中位やや上に器最大径、内面撫で、外面篦削り。台部：欠損。 | 39 | |
| 6-19 | H－6<br>床直 | 須恵器<br>坏 | ①[12.7] ② 3.5<br>③ 6.0 | ①粗粒 ②良好<br>③黄灰 ④1/2 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾から口縁部やや外反、内・外面轆轤撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 22 | 燻し焼成 |
| 6-20 | H－6<br>床直 | 須恵器<br>坏 | ① 13.7 ② 4.0<br>③ 4.8 | ①粗粒 ②良好<br>③浅黄 ④3/4 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾から口縁部外反、内・外面轆轤撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 51 | |
| 6-21 | H－6<br>覆土 | 須恵器<br>坏 | ① 11.6 ② 3.7<br>③ 5.8 | ①粗粒 ②良好<br>③灰黄 ④3/4 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾から口縁部やや外反、内・外面轆轤撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 1 | 酸化焔焼成 |
| 6-22 | H－6<br>床直 | 須恵器<br>坏 | ① 13.4 ② 5.1<br>③ 7.0 | ①細粒 ②良好<br>③浅黄 ④ほぼ完形 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾から口縁部外反、内・外面轆轤撫で。口縁部に煤付着。底部：内面撫で、外面回転糸切り後篦削り。 | 46 | 酸化焔焼成 |
| 6-23 | H－6<br>貯蔵穴 | 須恵器<br>坏 | ① 13.1 ② 4.6<br>③ 6.6 | ①細粒 ②良好<br>③灰白 ④完形 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾から口縁部外反、内・外面轆轤撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。内面底部から体部と外面体部に燻し焼成有。 | 48 | 酸化焔焼成 |
| 6-24 | H－6<br>床直 | 須恵器<br>坏 | ① 12.3 ② 4.4<br>③ 3.0 | ①粗粒 ②良好 ③にぶい黄橙 ④ほぼ完形 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾から口縁部外反、内・外面轆轤撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 52他 | 酸化焔焼成 |
| 6-25 | H－6<br>覆土 | 須恵器<br>高台椀 | ①[16.0] ②［5.5］<br>③ 5.8 | ①粗粒 ②良好<br>③灰 ④1/2 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾から口縁部外反、内・外面轆轤撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り後付け高台。高台は欠損。 | 2 | 内部に煤付着 |
| 6-26 | H－6<br>床直 | 須恵器<br>高台椀 | ①[13.8] ② 4.7<br>③ 4.8 | ①粗粒 ②良好<br>③にぶい褐 ④1/2 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾から口縁部外反、内・外面轆轤撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り後付け高台。高台の中心が若干底部とずれている。 | 59 | 酸化焔焼成 |
| 6-27 | H－6<br>床直 | 須恵器<br>高台椀 | ①[14.0] ② 5.1<br>③ 6.4 | ①粗粒 ②良好<br>③にぶい橙 ④1/2 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾、内・外面轆轤撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り後付け高台。 | カマド11 | 酸化焔焼成 |
| 6-28 | H－6<br>床直 | 須恵器<br>羽釜 | ①[18.9] ②（7.5）<br>③ － | ①粗粒 ②良好 ③にぶい黄橙 ④口縁破片 | 轆轤整形。口縁部：内傾、内外面撫で。鍔部：断面三角形状でほぼ水平に付く。胴部・底部：欠損。 | 54 | |
| 6-29 | H－6<br>竈内 | 須恵器<br>羽釜 | ①[20.2] ②（5.7）<br>③ － | ①粗粒 ②良好③ にぶい黄橙 ④口縁破片 | 轆轤整形。口縁部：内傾、内外面撫で。鍔部：断面三角形状でほぼ水平に付く。胴部・底部：欠損。 | | |
| 6-30 | H－7<br>覆土 | 須恵器<br>坏 | ①[11.9] ② 3.5<br>③ 5.4 | ①中粒 ②良好<br>③灰褐 ④1/3 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾から口縁部外反、内・外面轆轤撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | | 酸化焔焼成 |
| 6-31 | H－7<br>床直 | 須恵器<br>高台椀 | ①[13.2] ② 4.3<br>③ 5.0 | ①粗粒 ②良好<br>③褐灰 ④1/2 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾から口縁部外反、内・外面轆轤撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り後付け高台。 | 25他 | 酸化焔焼成 |
| 6-32 | H－7<br>床直 | 須恵器<br>大甕 | ① － ②(13.8)<br>③[14.6] | ①細粒 ②良好<br>③灰黄褐 ④1/4 | 轆轤整形。口縁：欠損。胴部：内・外面轆轤撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 2 他 | |
| 6-33 | D－1<br>床直 | 須恵器<br>坏 | ①[13.4] ② 5.0<br>③ 6.0 | ①粗粒 ②良好<br>③灰白 ④3/4 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾から口縁部やや外反、内・外面轆轤撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 1 | 酸化焔焼成 |

7 区

| 番　号 | 出土遺構<br>層　　位 | 器種名 | ①口径　②器高<br>③底径 | ①胎土 ②焼成<br>③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録<br>番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 7-1 | H－2<br>床直 | 須恵器<br>坏 | ① 11.8 ② 3.7<br>③ 7.2 | ①細粒 ②良好<br>③灰白 ④3/4 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り後、外周を篦調整。 | 7 | |
| 7-2 | H－3<br>床直 | 土師器<br>坏 | ① 11.9 ② 3.5<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④完形 | 口縁・体部：内傾気味、内・外面横撫で。底部：浅い丸底、内面撫で、外面篦削り。 | 1 | 煤付着 |
| 7-3 | H－4<br>覆土 | 土師器<br>坏 | ① 11.2 ② 3.1<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④完形 | 口縁・体部：短く外傾、内面撫で外面篦削り、交換点に稜有。底部：浅い丸底、内面撫で、外面篦削り。 | 4 | |
| 7-4 | H－4<br>覆土 | 土師器<br>坏 | ① 12.5 ② 4.0<br>③ 9.6 | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④ほぼ完形 | 口縁部：外傾からやや内傾、内・外面撫で。体部：内面撫で、外面篦削り。底部：平底、内面撫で、外面篦削り。 | 5 | |
| 7-5 | H－5<br>床直 | 須恵器<br>高台椀 | ① 12.5 ② 4.8<br>③ 5.8 | ①細粒 ②良好<br>③褐灰 ④2/3 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾から口縁端部やや外反、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り後、付け高台。 | 10 | |
| 7-6 | H－5<br>床直 | 須恵器<br>高台椀 | ① 14.5 ② 5.0<br>③ 7.3 | ①細粒 ②良好<br>③灰 ④完形 | 轆轤整形。口縁部：外反、内・外面撫で。体部：膨らみをもち外反、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り後、付け高台。 | 18 | |
| 7-7 | H－7<br>床直 | 土師器<br>坏 | ① 12.5 ② 4.0<br>③ 9.1 | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④ほぼ完形 | 口縁部：やや外反、内・外面撫で。体部：外傾、内面撫で、外面篦削り。底部：ほぼ平底、内面撫で、外面篦削り。 | 10 | |
| 7-8 | H－7<br>床直 | 土師器<br>坏 | ① 11.6 ② 2.6<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④2/3 | 口縁・体部：外傾から口縁端部内傾、内・外面撫で。底部：ほぼ平底、内面撫で、外面篦削り。 | 19ほか | |
| 7-9 | H－7<br>床直 | 須恵器<br>坏 | ① 12.0 ② 3.5<br>③ 7.0 | ①細粒 ②良好<br>③灰 ④ほぼ完形 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り後、篦調整。 | 9 | |
| 7-10 | H－7<br>床直 | 須恵器<br>坏 | ① 12.2 ② 3.6<br>③ 7.0 | ①細粒 ②良好<br>③灰 ④3/4 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 18ほか | |
| 7-11 | H－7<br>床直 | 土師器<br>甕 | ① 21.6 ②(17.4)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④3/5 | 口縁部：器最大径、直立気味から外反、内・外面撫で。胴部：上位に膨らみをもつ、内面撫で、外面斜位の篦削り。胴部下位・底部欠損。 | 7 ほか | |
| 7-12 | H－7<br>床直 | 土師器<br>甕 | ①[21.0] ②[27.8]<br>③［5.0］ | ①細粒 ②良好<br>③黒褐 ④4/5 | 口縁部：直立気味から外反、内・外面撫で。胴部：上位に膨らみをもち器最大径。内面撫で、外面斜位の篦削り。底部欠損。 | 8 ほか | |

| 番　号 | 出土遺構<br>層　　位 | 器種名 | ①口径　②器高<br>③底径 | ①胎土 ②焼成<br>③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録<br>番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 7-13 | H－9<br>竈 | 土師器<br>坏 | ①[13.3] ② 3.3<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③灰赤 ④1/3 | 口縁・体部：直立気味、内・外面撫で。底部：浅い丸底、内面撫で、外面篦削り。 | | |
| 7-14 | H－9<br>貯蔵穴 | 須恵器<br>高台椀 | ① 12.4 ② 5.0<br>③8.4 | ①細粒 ②良好<br>③黄灰色 ④完形 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転篦削り後付け高台。 | 79 | |
| 7-15 | H－9<br>床直 | 土師器<br>甕 | ①[19.8] ② 30.5<br>③ 5.0 | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④ほぼ完形 | 口縁部：外反、内・外面撫で。胴部：上位に膨らみをもち器最大径、内面撫で、外面上位横位の篦削り、下位斜位の篦削り。底部：平底、内面撫で、外面篦削り。 | 77ほか | 埋設土器 |
| 7-16 | H－10<br>床直 | 須恵器<br>坏 | ① 12.2 ② 3.4<br>③5.7 | ①細粒 ②良好<br>③黄灰 ④完形 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾から口縁端部やや外反、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 38 | |
| 7-17 | H－11<br>床直 | 須恵器<br>坏 | ①[13.4] ② 3.7<br>③ [7.3] | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄褐 ④2/5 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾から口縁端部やや外反、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 21ほか | |
| 7-18 | H－11<br>竈 | 須恵器<br>坏 | ①[13.0] ② 3.7<br>③ 7.9 | ①細粒 ②良好<br>③灰黄 ④2/3 | 轆轤整形。口縁部：外傾、内・外面撫で。体部：膨らみをもって外傾、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り後撫で。 | 25ほか | 酸化焔焼成 |
| 7-19 | H－11<br>床直 | 須恵器<br>坏 | ①[13.0] ② 4.0<br>③ 7.2 | ①細粒 ②良好<br>③灰白 ④2/5 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 40 | |
| 7-20 | H－12<br>床直 | 土師器<br>坏 | ① 14.6 ② 4.5<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④ほぼ完形 | 口縁・体部：直立からやや内傾、内・外面撫で。底部：浅い丸底、内面撫で、外面篦削り。 | 6 | |
| 7-21 | H－12<br>床直 | 土師器<br>坏 | ① 12.0 ② 3.6<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④完形 | 口縁部：短く内傾、内・外面撫で。底部：浅い丸底、内面撫で、外面篦削り。 | 7 | |
| 7-22 | H－12<br>覆土 | 須恵器<br>高台椀 | ①[16.0] ② 3.8<br>③ 11.3 | ①細粒 ②良好<br>③灰白 ④2/5 | 口縁・体部：外傾から口縁端部直立気味、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転篦削り、付け高台。 | 4ほか | |
| 7-23 | H－12<br>床直 | 須恵器<br>蓋 | ① 19.4 ② 1.5<br>③ 6.5（摘み） | ①細粒 ②良好<br>③灰白 ④ほぼ完形 | 轆轤整形。天井部：中心のくぼみから高くなり、緩い傾斜で下がっていく。外面回転糸切り、篦調整後、小さい環状の摘みを付けている、内面撫で。端部：内・外面撫で、短い返り有。自然釉。 | 8 | |
| 7-24 | H－13<br>覆土 | 土師器<br>坏 | ①[12.0] ② 4.2<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④口縁一部欠損 | 口縁・体部：やや外傾、内面撫で、外面篦削り。交換点に稜有。底部：浅い丸底、内面撫で、外面篦削り。全体の形状が楕円に歪む。 | 54 | |
| 7-25 | H－13<br>覆土 | 土師器<br>坏 | ① 13.3 ② [3.2]<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③明赤褐 ④1/2 | 口縁部：短く内傾、内・外面撫で。底部：浅い丸底、内面撫で、外面篦削り。 | 20ほか | |
| 7-26 | H－13<br>覆土 | 須恵器<br>坏 | ①[13.9] ② 3.6<br>③ 7.1 | ①細粒 ②良好<br>③黄灰 ④2/5 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾、ゆがみ有、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 34ほか | |
| 7-27 | H－18<br>床直 | 須恵器<br>坏 | ① 12.2 ② 3.7<br>③ 6.7 | ①細粒 ②良好 ③灰<br>④口縁・体部一部欠 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾から口縁端部やや外反、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 3 | |
| 7-28 | H－19<br>床直 | 土師器<br>坏 | ① 13.5 ② 4.7<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④3/4 | 口縁・体部：短く内傾、内・外面撫で。底部：丸底、内面撫で、外面篦削り。 | 53ほか | |
| 7-29 | H－19<br>床直 | 土師器<br>坏 | ① 10.2 ② 4.0<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③橙色 ④完形 | 口縁・体部：直立気味、内・外面撫で。底部：浅い丸底、内面撫で、外面篦削り。 | 56 | |
| 7-30 | H－19<br>床直 | 土師器<br>坏 | ① 10.7 ② 3.8<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④ほぼ完形 | 口縁・体部：短く内傾、内・外面撫で。底部：丸底、内面撫で、外面篦削り。 | 57 | |
| 7-31 | H－19<br>床直 | 土師器<br>坏 | ①[14.7] ② [4.2]<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④2/5 | 口縁・体部：直立、内・外面撫で。底部：浅い丸底、内面撫で、外面篦削り。 | 38ほか | |
| 7-32 | H－19<br>床直 | 須恵器<br>坏 | ① 10.3 ② 2.2<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③灰黄 ④口縁一部欠 | 轆轤整形。口縁：外傾からやや外反、内・外面撫で。底部：浅い丸底、内面撫で、外面回転篦削り。 | 55 | |
| 7-33 | H－19<br>床直 | 土師器<br>甕 | ① 22.3 ② (8.1)<br>③ － | ①細粒 ②良好 ③にぶい橙 ④ほぼ口縁のみ | 口縁：やや外反、内・外面撫で。胴部：内面撫で、外面斜位の篦削り。胴部大部分、底部欠損。 | 44 | |
| 7-34 | H－22<br>床直 | 須恵器<br>坏 | ① 12.8 ② 3.5<br>③ 7.5 | ①細粒 ②良好<br>③灰色 ④1/2 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾からやや外反、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 53 | |
| 7-35 | H－22<br>覆土 | 須恵器<br>坏 | ①[12.8] ② 3.2<br>③ [7.6] | ①細粒 ②良好<br>③灰 ④1/2 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 77 | |
| 7-36 | H－22<br>床直 | 須恵器<br>坏 | ①[13.2] ② 2.9<br>③ [7.8] | ①細粒 ②良好<br>③灰 ④2/5 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 157 | |
| 7-37 | H－22<br>床直 | 須恵器<br>高台椀 | ① 17.6 ② (6.7)<br>③ (8.2) | ①細粒 ②良好<br>③褐灰 ④ほぼ完形 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾からやや外反、内・外面撫で、楕円に歪む。底部：内面撫で、外面回転糸切り後、付け高台。高台一部欠損。 | 181<br>ほか | 漆付着 |
| 7-38 | H－22<br>床直 | 須恵器<br>高台椀 | ①[14.6] ② 4.9<br>③ [7.1] | ①細粒 ②良好<br>③黄灰 ④1/2 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り後、付け高台。 | 139 | |
| 7-39 | H－22<br>覆土 | 須恵器<br>高台皿 | ①[12.4] ② 2.8<br>③ 7.5 | ①細粒 ②良好<br>③灰 ④1/3 | 轆轤整形。口縁・体部：大きく外傾、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り後、付け高台。 | 8 | 自然釉付着 |
| 7-40 | H－22<br>床直 | 土師器<br>甕 | ①[23.4] ②(13.5)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③明赤褐 ④1/6 | 口縁：直立から外傾、内・外面撫で。胴部：上位に膨らみをもち、内面撫で、外面斜位の篦削り。指圧痕有り。中位以下欠損。 | 190<br>ほか | |
| 7-41 | X100<br>Y86 | ミニュチア | ① 3.5 ② 2.9<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④完形 | 口縁・体部：撫で。篦削りで窪みを作る。 | 1 | |
| 7-42 | X103<br>Y86 | 土師器<br>坏 | ① 12.4 ② 3.7<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④ほぼ完形 | 口縁・体部：直立、内・外面撫で。底部：浅い丸底、内面撫で、外面篦削り。 | | H－4か |

8区

| 番　号 | 出土遺構<br>層　　位 | 器種名 | ①口径　②器高<br>③底径 | ①胎土 ②焼成<br>③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録<br>番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 8-1 | H－1<br>貯蔵穴 | 土師器<br>坏 | ① 14.5 ② 4.2<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③にぶい赤褐 ④2/5 | 口縁・体部：外傾、内・外面撫で。交換点に稜有。底部：丸底、内面撫で、外面篦削り。 | 19ほか | |

| 番　号 | 出土遺構<br>層　　位 | 器種名 | ①口径　②器高<br>③底径 | ①胎土 ②焼成<br>③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録<br>番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 8-2 | H－1<br>床直 | 土師器<br>甕 | ①[21.8] ② 37.2<br>③ [2.8] | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④2/5 | 口縁部：器最大径、外反、内・外面撫で。胴部：内面煤付着、撫で、外面煤付着、縦位の篦削り。底部：内面撫で、外面篦削り。 | 15ほか | |
| 8-3 | H－1<br>床直 | 土師器<br>甕 | ① 18.4 ② (6.8)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③浅黄橙 ④口縁部のみ | 口縁部：外反、内・外面撫で。胴部上位：内面撫で、外面縦位の篦削り。胴部中位以下欠損。 | 16 | |

9区

| 番　号 | 出土遺構<br>層　　位 | 器種名 | ①口径　②器高<br>③底径 | ①胎土 ②焼成<br>③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録<br>番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9-1 | H－1<br>床直 | 土師器<br>高坏 | ① － ② (8.2)<br>③[11.1] | ①細粒 ②良好 ③にぶい黄橙 ④脚部のみ | 脚部：下位に向けて膨らみを持つ、外面縦位篦削り。底部：内・外面撫で。 | 2 | |
| 9-2 | H－3<br>覆土 | 土師器<br>坏 | ① 11.5 ② 3.9<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④4/5 | 口縁・体部：外傾、内・外面撫で、交換点に稜有。底部：浅い丸底、内面撫で、外面篦削り。 | 2ほか | |
| 9-3 | H－3<br>覆土 | 土師器<br>坏 | ① 11.8 ② 4.2<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④ほぼ完形 | 口縁・体部：外傾から口縁端部外反、内・外面撫で。交換点に稜有。底部：浅い丸底、内面撫で、外面篦削り。 | 3 | |
| 9-4 | H－5<br>覆土 | 土師器<br>坏 | ①[13.4] ② 4.6<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④1/4 | 口縁・体部：外傾、内・外面撫で。交換点に稜有。稜の張り出しが弱い。底部：浅い丸底、内面撫で、外面篦削り。 | 3 | |
| 9-5 | H－5<br>P2 | 土師器<br>小型器台 | ① [6.9] ② 6.1<br>③ 10.0 | ①細粒 ②良好 ③橙<br>④杯部1/4、脚部完形 | 杯部：外傾からやや外反、内・外面篦削り。脚部：３方向３孔、篦削り。 | 1 | |
| 9-6 | H－6<br>床直 | 土師器<br>坏 | ①[12.7] ② [3.5]<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④1/5 | 口縁・体部：外傾、内・外面撫で。交換点に稜有。底部：浅い丸底、内面撫で、外面篦削り。 | | |
| 9-7 | H－7<br>床直 | 須恵器<br>杯 | ①[10.7] ② 2.1<br>③ 5.6 | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④1/2 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 1 | 酸化焔焼成 |
| 9-8 | W－3<br>覆土 | 土師器<br>坏 | ①[13.0] ② 2.8<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③明赤褐 ④1/2 | 口縁・体部：ほぼ直立、内・外面撫で。底部：浅い丸底、内面撫で、外面篦削り。墨書文字「弓」有。 | 1 | 墨書土器 |
| 9-9 | W－3<br>覆土 | 須恵器<br>高台椀 | ①[15.3] ② 5.0<br>③ [5.9] | ①細粒 ②良好<br>③灰白 ④1/3 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾から口縁端部外反、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 37ほか | |
| 9-10 | W－3<br>覆土 | 須恵器<br>高台椀 | ①[14.2] ② 5.4<br>③ 6.1 | ①細粒 ②良好<br>③浅黄 ④3/5 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾から口縁端部やや外反、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り後、付け高台、篦調整。<br>墨書文字有、文字不明。 | 51ほか | 墨書土器 |
| 9-11 | D－3<br>床直 | 須恵器<br>杯 | ①[14.5] ② 4.3<br>③ [7.2] | ①細粒 ②良好<br>③にぶい橙 ④1/2 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾から口縁端部やや外反、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り未調整。 | X164<br>Y941 | 酸化焔焼成 |
| 9-12 | P－1<br>床直 | 須恵器<br>小皿 | ① 9.0 ② 1.5<br>③ 5.0 | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④ほぼ完形 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 1 | 酸化焔焼成 |

10区

| 番　号 | 出土遺構<br>層位 | 器種名 | ①口径　②器高<br>③底径 | ①胎土 ②焼成<br>③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録<br>番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 10-1 | H－1<br>床直 | 土師器<br>台付甕 | ① － ② [4.7]<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③にぶい橙 ④1/4 | 口縁・胴部：欠損。底部：内面撫で、外面篦削り。台部：外傾から外反、内・外面撫で。 | 8 | |
| 10-2 | H－1<br>床直 | 須恵器<br>高台皿 | ① 10.1 ② 2.0<br>③5.2 | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④3/4 | 轆轤整形。口縁・体部：大きく外傾、内・外面撫で。底部：回転糸切り後付け高台。 | 7 他 | 酸化焔焼成 |
| 10-3 | H－1<br>竈内 | 須恵器<br>羽釜 | ①[29.1] ② (9.3)<br>③ － | ①中粒 ②良好<br>③橙 ④口縁破片 | 轆轤整形。口縁部：やや内傾、内・外面撫で。鍔部：断面三角形状でほぼに付く。胴部：やや膨らみ内面撫で、外面上位撫で、下位篦削り。 | カマド5<br>他 | |
| 10-4 | H－2<br>床直 | 須恵器<br>高台椀 | ① 11.0 ② 4.7<br>③6.1 | ①細粒 ②良好<br>③にぶい褐 ④ほぼ完形 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾から口縁端部外反、内・外面轆轤撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り後付け高台。 | 1 | 酸化焔焼成 |
| 10-5 | H－2<br>竈内 | 須恵器<br>羽釜 | ① 23.4 ②(30.3)<br>③ － | ①粗粒 ②良好<br>③橙 ④1/3 | 轆轤整形。口縁部：内傾、内・外面撫で。鍔部：断面三角形状でほぼ水平に付く。胴部上位：内面撫で、外面篦削り。中央部から底部：欠損。 | カマド4<br>他 | |
| 10-6 | W－2<br>覆土 | 土師器<br>甕 | ①[16.7] ② [7.1]<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③にぶい橙 ④口縁破片 | 口縁部：大きく外反、内面撫で、外面撫で一部工具による削り跡有り。胴部上位：内面撫で、外面斜め篦削り。底部：欠損。 | | |

11区

| 番　号 | 出土遺構<br>層　　位 | 器種名 | ①口径　②器高<br>③底径 | ①胎土 ②焼成<br>③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録<br>番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 11-1 | H－1<br>覆土 | 灰釉高<br>台皿 | ①[12.6] ② [2.9]<br>③ 6.7 | ①細粒 ②良好<br>③灰白 ④1/2 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾からやや外反、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転篦削り後、付け高台、。漬けがけ施釉。 | 6 | |
| 11-2 | H－6<br>床直 | 須恵器<br>杯 | ① 9.9 ② 4.1<br>③ 7.5 | ①細粒 ②良好<br>③褐灰 ④ほぼ完形 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転篦削り。 | 1 | |
| 11-3 | H－6<br>床直 | 土師器<br>甕 | ①[22.0] ②(11.5)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④1/6 | 口縁部：器最大径、大きく外傾、内・外面撫で。胴部：内面撫で、外面斜位の篦削り。中位以下欠損。 | 3 | |
| 11-4 | H－10<br>床直 | 須恵器<br>坏 | ①[12.8] ② 3.6<br>③ [7.0] | ①細粒 ②良好<br>③灰褐 ④1/2 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾からやや外反、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 2ほか | 酸化焔焼成 |
| 11-5 | H－11<br>床直 | 須恵器<br>小型坏 | ①[10.4] ② 2.1<br>③ [6.6] | ①細粒 ②良好<br>③浅黄橙 ④1/4 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 2 | 酸化焔焼成 |
| 11-6 | H－12<br>床直 | 須恵器<br>坏 | ① 14.8 ② 3.3<br>③ 7.5 | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④3/4 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 33ほか | 酸化焔焼成 |
| 11-7 | H－12<br>床直 | 須恵器<br>高台椀 | ① 13.0 ② 5.2<br>③6.1 | ①細粒 ②良好 ③にぶい黄褐 ④ほぼ完形 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾から口縁端部やや外反、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り後、付け高台。 | 13ほか | 酸化焔焼成 |

| 番　号 | 出土遺構<br>層　　位 | 器種名 | ①口径　②器高<br>③底径 | ①胎土 ②焼成<br>③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録<br>番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 11-8 | H－12<br>床直 | 須恵器<br>甕 | ① 25.5　②(19.2)<br>③　－ | ①細粒 ②良好<br>③灰 ④2/5 | 轆轤整形。口縁部：外反、内・外面撫で。胴部：内・外面撫で。胴部中位以下欠損。 | 22ほか | |
| 11-9 | H－18<br>床直 | 須恵器<br>杯 | ①[14.6] ②　4.5<br>③[6.4] | ①細粒 ②良好<br>③暗赤褐 ④1/5 | 轆轤整形。口縁：外傾、内・外面撫で。体部：外傾、膨らみをもつ、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 1 | 酸化焔焼成 |
| 11-10 | H－21<br>覆土 | 灰釉高<br>台皿 | ①[11.3] ②　2.4<br>③ [7.2] | ①細粒 ②良好<br>③灰白 ④1/4 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。釉はつけがけ。 | | 朱付着 |
| 11-11 | H－21<br>床直 | 須恵器<br>小型坏 | ① [9.6] ②　1.7<br>③　5.2 | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④2/3 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾、内・外面撫で。底部・内面撫で、外面回転糸切り。 | 1 | 酸化焔焼成 |
| 11-12 | H－21<br>床直 | 須恵器<br>小型坏 | ① [8.2] ②　1.6<br>③[5.4] | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④1/2 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾からやや外反、内・外面撫で。底部・内面撫で、外面回転糸切り。 | 4ほか | 酸化焔焼成 |
| 11-13 | H－22<br>床直 | 須恵器<br>小型坏 | ① [9.4] ②　1.8<br>③　4.5 | ①細粒 ②良好<br>③浅黄橙 ④2/3 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾から外反、内・外面撫で。底部・内面撫で、外面回転糸切り。 | 7 | 酸化焔焼成 |
| 11-14 | H－22<br>床直 | 須恵器<br>小型坏 | ① 10.3　②　2.2<br>③　6.0 | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④4/5 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾、内・外面撫で。底部・内面撫で、外面回転糸切り。 | 11 | 酸化焔焼成 |
| 11-15 | H－22<br>床直 | 須恵器<br>小型坏 | ①　8.4　②　1.9<br>③　5.4 | ①中粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④完形 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾、内・外面撫で。底部・内面撫で、外面回転糸切り。 | 16 | 酸化焔焼成 |
| 11-16 | K－1<br>床直 | 須恵器<br>小型坏 | ①　9.2　②　2.3<br>③　5.4 | ①細粒 ②良好<br>③にぶい橙 ④1/2 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾、内・外面撫で。底部・内面撫で、外面回転糸切り。 | H－7<br>－1 | 酸化焔焼成 |
| 11-17 | W－1<br>床直 | 須恵器<br>杯 | ①[11.3] ②　3.7<br>③ [5.8] | ①細粒 ②良好<br>③黄灰 ④1/6 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾からやや外反、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | | |
| 11-18 | D－9<br>覆土 | 須恵器<br>坏 | ①[12.4] ②　3.5<br>③[4.6] | ①細粒 ②良好<br>③灰白 ④1/4 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾からやや外反、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 7 | |
| 11-19 | D－9<br>覆土 | 須恵器<br>小型坏 | ① [9.8] ②　1.8<br>③　5.0 | ①細粒 ②良好<br>③浅黄橙色 ④2/3 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾からやや外反、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 8 | 酸化焔焼成 |
| 11-20 | D－18<br>覆土 | 須恵器<br>小型坏 | ①　9.2　②　2.0<br>③　4.7 | ①細粒 ②良好<br>③灰黄褐 ④完形 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り | 1 | 酸化焔焼成<br>朱付着 |
| 11-21 | D－18<br>覆土 | 須恵器<br>小型坏 | ① [9.0] ②　1.7<br>③ [4.0] | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④1/3 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | | 酸化焔焼成 |
| 11-22 | D－22<br>覆土 | 須恵器<br>台付小皿 | ① 10.2　②　3.4<br>③　5.6 | ①細粒 ②良好<br>③灰黄褐 ④4/5 | 轆轤整形。口縁・体部大きく：外傾、内・外面撫で。底部：回転篦削り後、やや長めの付け高台。 | | 酸化焔焼成 |
| 11-23 | D－27<br>覆土 | 須恵器<br>高台椀 | ① 11.5　②　4.5<br>③　5.9 | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④完形 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り後、付け高台。 | 5 | 酸化焔焼成 |
| 11-24 | D－27<br>覆土 | 須恵器<br>高台皿 | ①[12.4] ②　3.0<br>③ [6.6] | ①細粒 ②良好<br>③灰白 ④1/3 | 轆轤整形。口縁・体部：大きく外傾から外反、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転篦削り後、付け高台。 | 6 | |
| 11-25 | D－27<br>覆土 | 須恵器<br>小型坏 | ①　8.6　②　2.6<br>③　5.0 | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④ほぼ完形 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 2 | 酸化焔焼成 |
| 11-26 | D－27<br>覆土 | 須恵器<br>坏 | ①　9.6　②　3.5<br>③　4.3 | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④完形 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾から外反、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 3 | 酸化焔焼成 |
| 11-27 | D－29<br>覆土 | 須恵器<br>小型坏 | ① [9.6] ②　2.3<br>③　6.0 | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④2/5 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 1 | 酸化焔焼成 |
| 11-28 | D－29<br>覆土 | 須恵器<br>小型坏 | ① [9.6] ②　2.4<br>③ [5.4] | ①細粒 ②良好<br>③にぶい橙色 ④1/3 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾からやや外反、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | | 酸化焔焼成 |
| 11-29 | P－13<br>覆土 | 須恵器<br>小型坏 | ① [9.4] ②　2.2<br>③　5.0 | ①細粒 ②良好<br>③浅黄橙 ④1/2 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 3 | 酸化焔焼成 |
| 11-30 | P－15<br>覆土 | 須恵器<br>甕 | ① 18.2　② 28.2<br>③ 11.0 | ①細粒 ②良好<br>③褐灰 ④ほぼ完形 | 轆轤整形。口縁部：外反、内・外面撫で。胴部：上位に膨らみ、器最大径、内面撫で、外面上位撫で、下位斜位の篦削り。底部：平底、内面撫で、外面篦削り。 | 1 | 酸化焔焼成 |
| 11-31 | P－27<br>覆土 | 須恵器<br>小型坏 | ①　9.6　②　2.0<br>③　5.2 | ①細粒 ②良好<br>③明赤褐 ④完形 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾から外反、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 1 | 酸化焔焼成 |
| 11-32 | P－27<br>覆土 | 須恵器<br>小型坏 | ① 10.0　②　2.4<br>③　4.8 | ①細粒 ②良好<br>③明赤褐 ④完形 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾からやや外反、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 2 | 酸化焔焼成 |
| 11-33 | P－27<br>覆土 | 須恵器<br>小型坏 | ①　9.6　②　1.8<br>③　5.2 | ①細粒 ②良好<br>③明赤褐 ④完形 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 3 | 酸化焔焼成 |
| 11-34 | P－27<br>覆土 | 須恵器<br>小型坏 | ①　9.4　②　2.1<br>③　4.7 | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④4/5 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 4 | 酸化焔焼成 |
| 11-35 | P－27<br>覆土 | 須恵器<br>小型坏 | ①　9.4　②　1.9<br>③　5.2 | ①細粒 ②良好<br>③明赤褐 ④完形 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 5 | 酸化焔焼成 |
| 11-36 | P－27<br>覆土 | 須恵器<br>小型坏 | ①　9.5　②　1.9<br>③　4.8 | ①細粒 ②良好<br>③明赤褐 ④ほぼ完形 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 6 | 酸化焔焼成 |
| 11-37 | P－27<br>覆土 | 須恵器<br>小型坏 | ①　9.5　②　2.1<br>③　5.6 | ①細粒 ②良好<br>③明赤褐 ④完形 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 8 | 酸化焔焼成 |

注　① 層位は「床直」：床面より10cm以内の層位からの検出、「覆土」：床面より10cmを超える層位からの検出とした。
② 口径・器高・底径の単位はcmである。現存値を（　）、復元値を［　］で示した。
③ 胎土は、細粒（0.9mm以下）、中粒（1.0～1.9mm）、粗粒（2.0mm以上）とし、特徴的な鉱物が入る場合に鉱物名を記載した。
④ 焼成は、極良・良好・不良の三段階とした。
⑤ 色調は、土器外面で観察し、色名は新版標準土色帳（小山・竹原1976）によった。

Tab. 8　三彩・緑釉陶器観察表

1区

| 番　号 | 出土遺構<br>層　　位 | 器種名 | ①口径　②器高<br>③底径 | ①胎土 ②焼成<br>③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録<br>番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1-緑1 | H－3<br>覆土 | 緑釉<br>椀 | ①　－　②　－<br>③　－ | ①緻密 ②良好<br>③オリーブ灰色 ④破片 | 轆轤整形。素地は灰白。器内・外面ともに緑釉が施されている。 | | |
| 1-緑2 | H－3<br>覆土 | 三彩<br>小壺 | ①　－　②　－<br>③　5.5 | ①緻密 ②良好<br>③灰白 ④破片 | 轆轤整形。白釉素地は灰白、緑釉は淡い緑、褐釉はこげ茶だが一部釉が剥離。高台は断面四角形の付け高台。 | | |
| 1-緑3 | H－4<br>覆土 | 緑釉<br>椀 | ①　－　②（2.2）<br>③　8.5 | ①緻密 ②良好<br>③浅黄 ④底部破片 | 轆轤整形。素地は浅黄橙。やや軟質。高台は断面四角形の付け高台。 | 1 | |
| 1-緑4 | H－4<br>床直 | 緑釉<br>稜椀 | ①[17.0] ②　4.7<br>③　9.0 | ①緻密 ②良好<br>③灰オリーブ ④2/5 | 轆轤整形。素地はにぶい黄。口縁部やや外反。体部中位に稜を有する。底部は撫で調整。高台は断面四角形の付け高台。内外側底部に三又トチン痕有り。 | 31 | |

5区

| 番　号 | 出土遺構<br>層　　位 | 器種名 | ①口径　②器高<br>③底径 | ①胎土 ②焼成<br>③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録<br>番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5-緑1 | H－1<br>覆土 | 緑釉<br>稜椀 | ①[16.0] ②　5.5<br>③ [7.4] | ①緻密 ②良好<br>③オリーブ灰色 ④1/6 | 轆轤整形。素地は灰白。口縁部やや外反。体部中位に稜を有する。底部は撫で調整。高台は断面三角形の付け高台。口縁部内面に箆書きの陰刻花文有り。 | 20ほか | |
| 5-緑2 | H－1<br>覆土 | 緑釉<br>稜椀 | ①[16.0] ②（4.4）<br>③　－ | ①緻密 ②良好<br>③灰オリーブ ④1/5 | 轆轤整形。素地は灰黄褐。口縁部やや外反。体部中位に稜を有する。口縁部内面に箆書きの陰刻花文有り。焼け爛れて、ところどころ緑釉が解け落ちている。断面に煤付着。 | 52 | |
| 5-緑3 | H－1<br>覆土 | 緑釉<br>皿 | ①　－　②　－<br>③　－ | ①緻密 ②良好<br>③オリーブ灰 ④破片 | 轆轤整形。内・外面ともに緑釉が施されている。 | 62 | |
| 5-緑4 | H－1<br>覆土 | 緑釉<br>稜椀 | ①　－　②　－<br>③　－ | ①緻密 ②良好<br>③オリーブ灰 ④破片 | 轆轤整形。素地は灰白。口縁部やや外反。体部中位に稜を有する。口縁部内面に箆書きの陰刻花文有り。 | 102 | |

11区

| 番　号 | 出土遺構<br>層　　位 | 器種名 | ①口径　②器高<br>③底径 | ①胎土 ②焼成<br>③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録<br>番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 11-緑1 | H－20<br>覆土 | 緑釉<br>稜椀 | ①　－　②　－<br>③　－ | ①緻密 ②良好<br>③オリーブ灰 ④破片 | 轆轤整形。内・外面もとに緑釉が施されている。 | | |
| 11-緑2 | K－1<br>床直 | 緑釉<br>長頸壺 | ①　－　②　－<br>③　－ | ①緻密 ②良好<br>③オリーブ灰 ④破片 | 轆轤整形。素地は淡黄。素地に近い色調の部分が多い。やや軟質。 | H－5<br>1 | |

注　① 層位は「床直」：床面より10cm以内の層位からの検出、「覆土」：床面より10cmを超える層位からの検出とした。
② 口径・器高・底径の単位はcmである。現存値を（　）、復元値を［　］で示した。
③ 胎土は、細粒（0.9mm以下）、中粒（1.0～1.9mm）、粗粒（2.0mm以上）とし、特徴的な鉱物が入る場合に鉱物名を記載した。
④ 焼成は、極良・良好・不良の三段階とした。
⑤ 色調は、土器外面で観察し、色名は新版標準土色帳（小山・竹原1976）によった。

Tab. 9　石器・石製品・土製品観察表

1区

| 番　号 | 出土遺構／層位 | 器種名 | 最大長 | 最大幅 | 最大厚 | 重　さ | 石　材 | 遺存度 | 登録番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1-石1 | H－4　床直 | 砥　　石 | (5.1) | 2.3 | 1.8 | 30.8 | 凝 灰 岩 | 1/2 | | 4面使用 |

2区

| 番　号 | 出土遺構／層位 | 器種名 | 最大長 | 最大幅 | 最大厚 | 重　さ | 石　材 | 遺存度 | 登録番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2-石1 | H－2　床直 | 石製紡錘車 | 4.3 | 4.3 | 2.4 | 64.0 | 滑　　石 | 完形 | 4 | 放射状の刻み有り |

4区

| 番　号 | 出土遺構／層位 | 器種名 | 最大長 | 最大幅 | 最大厚 | 重　さ | 石　材 | 遺存度 | 登録番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4-石1 | J－1　床直 | 打製石斧 | 6.0 | 4.0 | 0.9 | 26.2 | 黒色頁岩 | 完形 | 63 | |
| 4-石2 | J－2　床直 | 凸刃削器 | 5.1 | 3.9 | 1.0 | 20.8 | チャート | 完形 | 2 | |
| 4-石3 | J－1　床直 | 土　　偶 | 5.8 | 3.8 | 1.3 | 18 | | 完形 | 48 | 板状土偶 |
| 4-石4 | X39Y202　覆土 | 土　　錘 | 4.6 | 1.5 | 1.3 | 8.7 | | 完形 | | |

5区

| 番　号 | 出土遺構／層位 | 器種名 | 最大長 | 最大幅 | 最大厚 | 重　さ | 石　材 | 遺存度 | 登録番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5-石1 | H－9　覆土 | 臼　　玉 | 1 | 1.2 | 0.4 | 0.5 | 滑　　石 | 完形 | 3 | |

7区

| 番　号 | 出土遺構／層位 | 器種名 | 最大長 | 最大幅 | 最大厚 | 重　さ | 石　材 | 遺存度 | 登録番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 7-石1 | H－11 床直 | 土製紡錘車 | 5.8 | 3.5 | 1.8 | 35.6 | | 1/2 | 20 | |
| 7-石2 | H－11 覆土 | 臼　　玉 | 2.1 | 2 | 0.7 | 4.6 | 滑　　石 | 完形 | 1 | |
| 7-石3 | H－13 床直 | 土　　錘 | 7.2 | 2.3 | 2.3 | 29.6 | | 2/3 | 53 | |
| 7-石4 | H－19 床直 | 臼　　玉 | 0.9 | 0.9 | 0.4 | 0.5 | 滑　　石 | 完形 | 37 | |
| 7-石5 | H－22 覆土 | 石製紡錘車 | 4.9 | 4.8 | 1.8 | 59.5 | 凝 灰 岩 | 完形 | 46 | |
| 7-石6 | 全体覆土 | 臼　　玉 | 0.9 | 1 | 0.4 | 0.6 | 滑　　石 | 完形 | | |

11区

| 番　号 | 出土遺構／層位 | 器種名 | 最大長 | 最大幅 | 最大厚 | 重　さ | 石　材 | 遺存度 | 登録番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 11-石1 | D－17 覆土 | 砥　　石 | (5.1) | 4.3 | 1.5 | 41.6 | 凝 灰 岩 | 2/5 | 20 | 2面使用 |

注　① 層位は「床直」：床面より10cm以内の層位からの検出、「覆土」：床面より10cmを超える層位からの検出とした。
　　② 最大長・最大幅・最大厚の単位はcmであり、重さの単位はgである。現存値を（　）で示した。

Tab.10　鉄器・鉄製品観察表

1区

| 番　号 | 出土遺構／層位 | 器種名 | 最大長 | 最大幅 | 最大厚 | 重　さ | 遺存度 | 登録番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1-鉄1 | H－7 床直 | 釜？ | (8.3) | (11.4) | (5.2) | 400 | 不明 | | |

4区

| 番　号 | 出土遺構／層位 | 器種名 | 最大長 | 最大幅 | 最大厚 | 重　さ | 遺存度 | 登録番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4-鉄1 | H－5 床直 | 金　環 | 1.3 | 1.3 | 0.2 | 0.6 | 完形 | 13 | |
| 4-鉄2 | H－5 覆土 | 釘 | 6.3 | 0.5 | 0.3 | 3.9 | 2/3 | | |
| 4-鉄3 | W－5 床直 | 釘 | 10.2 | 1.5 | 0.8 | 17.8 | 4/5 | 1 | |

5区

| 番　号 | 出土遺構／層位 | 器種名 | 最大長 | 最大幅 | 最大厚 | 重　さ | 遺存度 | 登録番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5-鉄1 | H－8 床直 | 刀子 | 9.6 | 0.9 | 0.2 | 7.8 | ほぼ完形 | | |
| 5-鉄2 | H－10 覆土 | 紡錘車 | 6.1 | 6.4 | 0.2 | 24.6 | 4/5 | | |
| 5-鉄3 | X39Y188 覆土 | 鉄鏃 | (8.8) | 1.8 | 0.4 | 13.8 | 4/5 | | |

6区

| 番　号 | 出土遺構／層位 | 器種名 | 最大長 | 最大幅 | 最大厚 | 重　さ | 遺存度 | 登録番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6-鉄1 | H－1 覆土 | 釘 | 8.8 | 0.8 | 0.5 | 11 | 2/3 | | |
| 6-鉄2 | H－7 床直 | 刀子 | 9.8 | 1.2 | 0.4 | 11 | 2/3 | | |

7区

| 番　号 | 出土遺構／層位 | 器種名 | 最大長 | 最大幅 | 最大厚 | 重　さ | 遺存度 | 登録番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 7-鉄1 | H－13 床直 | 刀子 | 19.9 | 1.0 | 0.2 | 26.0 | 完形 | | |
| 7-鉄2 | H－19 床直 | 金環 | 1.4 | 1.6 | 0.4 | 1.1 | 完形 | | |
| 7-鉄3 | 全体覆土 | 環状金具 | 5.7 | 5.6 | 1.1 | 69.0 | 完形 | | |

10区

| 番　号 | 出土遺構／層位 | 器種名 | 最大長 | 最大幅 | 最大厚 | 重　さ | 遺存度 | 登録番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 10-鉄1 | H－1 床直 | 刀子 | 13.3 | 2.0 | 0.6 | 41.8 | 4/5 | 19 | |

11区

| 番　号 | 出土遺構／層位 | 器種名 | 最大長 | 最大幅 | 最大厚 | 重　さ | 遺存度 | 登録番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 11-鉄1 | H－12 床直 | 釘 | 10.4 | 0.6 | 0.6 | 11.6 | ほぼ完形 | | |
| 11-鉄2 | H－22 覆土 | 紡錘車 | 6.4 | 6.5 | 0.2 | 32.2 | 4/5 | | |
| 11-鉄3 | T－1 覆土 | 釘 | 7.9 | 0.6 | 0.6 | 5.5 | ほぼ完形 | | |
| 11-鉄4 | K－1 床直 | 刀子 | [14.3] | 1.3 | 0.2 | 10.2 | 2/3 | | |
| 11-鉄5 | D－25 覆土 | 鉄鏃 | 6.0 | (2.6) | 0.4 | 17.2 | 4/5 | | |
| 11-鉄6 | D－27 覆土 | 馬具 | 8.1 | 15.1 | － | 200.0 | ほぼ完形 | | |
| 11-鉄7 | D－38 覆土 | 釘 | 7.2 | 1.2 | 0.6 | 24.4 | 完形 | | |

注　① 層位は「床直」：床面より10cm以内の層位からの検出、「覆土」：床面より10cmを超える層位からの検出とした。
　　② 最大長・最大幅・最大厚の単位はcmであり、重さの単位はgである。現存値を（　）で示した。

Tab.11　瓦観察表

1 区

| 番　号 | 出土遺構<br>層　　位 | 器種名 | ①長さ<br>②厚さ | ①胎土 ②焼成<br>③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録<br>番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1-瓦 1 | X34<br>Y167 | 鬼瓦 | ①　－<br>②　2.8 | ①細粒 ②良好<br>③灰黄 ④破片 | 上野国分寺鬼瓦のＡと同笵。鬼面に向かって左頬部分に当たる。縦に界線があり、その左は唐草紋帯となる。界線の右側には頬の表現と思われる突起と唇部との界線がある。 | 7 | |

4 区

| 番　号 | 出土遺構<br>層　　位 | 器種名 | ①長さ<br>②厚さ | ①胎土 ②焼成<br>③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録<br>番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4-瓦 1 | X38Y204<br>覆土 | 平瓦 | ①(17.6)<br>②　2.4 | ①粗粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④破片 | 一枚作り。凹面：布目有。凸面：撫で。箆書き文字「大千」有。側面：面取１回。同様な箆書き文字瓦は上野国分寺でも９例出土 | | 箆書き文字 |
| 4-瓦 2 | 全体覆土 | 平瓦 | ①（8.8）<br>②　2.2 | ①細粒 ②良好<br>③灰 ④破片 | 一枚作り。凹面：布目有。凸面：撫で。叩き目文字有、文字不明。側面：面取２回。調整痕らしきもの有り。 | | 叩き目文字 |

5 区

| 番　号 | 出土遺構<br>層　　位 | 器種名 | ①長さ<br>②厚さ | ①胎土 ②焼成<br>③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録<br>番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5-瓦 1 | Ｈ－２<br>覆土 | 軒丸瓦 | ①[17.1]<br>②　2.6 | ①細粒 ②良好<br>②灰 ④瓦当のみ | 単弁５弁。蓮弁は子葉のある二重弁。蓮弁はレリーフ状に表現される。二つの蓮弁の先端に笵キズがある。周縁は素紋であるが、笵の端を写し取ったと思われる圧痕が残る。胎土には白色粘土が混ぜらている。横置き形一本作りされた軒丸瓦で瓦当側面は撫で。裏面には無絞りの布目痕が残る。上野国分寺市出土軒丸瓦Ｂ201c にあたる。 | 34 | 国分寺創建期<br>（Ⅱ－３期） |

6 区

| 番　号 | 出土遺構<br>層　　位 | 器種名 | ①長さ<br>②厚さ | ①胎土 ②焼成<br>③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録<br>番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6-瓦 1 | Ｈ－１<br>竈内 | 平瓦 | ①(10.5)<br>②　2.4 | ①粗粒 ②良好<br>③褐灰 ④破片 | 一枚作り。凹面:布目有り。凸面:撫で。側面:面取2回。竈構築材に使用。 | カマド７ | |
| 6-瓦 2 | Ｈ－１<br>竈内 | 平瓦 | ①(23.5)<br>②　2.9 | ①粗粒 ②良好<br>③にぶい褐 ④破片 | 一枚作り。凹面：布目擦り消し。凸面：撫で。側面：面取１回。 | 19, 32 | |
| 6-瓦 3 | Ｈ－１<br>竈内 | 平瓦 | ①(14.7)<br>②　2.3 | ①粗粒 ②良好<br>③褐灰 ④破片 | 一枚作り。凹面：布目擦り消し。凸面：撫で。側面：面取１回。 | 31 | |
| 6-瓦 4 | Ｈ－２<br>竈内 | 丸瓦 | ①(23.6)<br>②　2.3 | ①細粒 ②良好<br>③褐灰 ④破片 | 行基式。凸面:撫で、格子状叩き目有り。凹面:布目有。側面:面取り２回。竈構築材に使用。 | カマド１ | |
| 6-瓦 5 | Ｈ－２<br>竈内 | 丸瓦 | ①(27.0)<br>②　2.4 | ①粗粒 ②良好<br>③褐灰 ④破片 | 玉縁式か。凸面：撫で。叩き目有り。凹面：布目有、模骨痕有。側面：面取り３回。竈構築材に使用。 | カマド３ | |
| 6-瓦 6 | Ｈ－２<br>竈内 | 平瓦 | ①(23.5)<br>②　2.3 | ①粗粒 ②良好<br>③にぶい橙 ④破片 | 一枚作り。凹面：布目有。凸面：撫で。側面：面取１回。竈の構築材として使用。 | カマド２ | |
| 6-瓦 7 | Ｈ－４<br>竈内 | 丸瓦 | ①(23.5)<br>②　2.2 | ①中粒 ②良好<br>③褐灰 ④1/2 | 行基式。凸面：撫で。凹面：布目有、模骨痕有り。側面：面取り２回。 | ５他 | |
| 6-瓦 8 | Ｈ－４<br>竈内 | 丸瓦 | ① 41.6<br>②　2.3 | ①粗粒 ②良好<br>③灰 ④4/5 | 行基式。凸面：撫で。凹面：布目有、箆状工具による縦方向の沈線１本が側面近くに有り。側面：面取り２回。 | ４他 | |
| 6-瓦 9 | Ｈ－４<br>竈内 | 平瓦 | ①(11.0)<br>②　2.2 | ①中粒 ②良好<br>③灰黄褐 ④破片 | 一枚作り。凹面:布目擦り消し。凸面:撫で、叩き目有り。側面:面取２回。 | 1 | |
| 6-瓦10 | Ｈ－５<br>竈内 | 平瓦 | ①(15.0)<br>②　1.6 | ①粗粒 ②良好<br>③黄灰 ④破片 | 一枚作り。凹面：布目有、箆状工具での縦方向の沈線１カ所有り。凸面：撫で。側面：不明。カマドの構築材として使用。 | | |
| 6-瓦11 | Ｈ－６<br>竈内 | 平瓦 | ①(17.5)<br>②　1.9 | ①粗粒 ②良好<br>③にぶい褐 ④破片 | 一枚作り。凹面：布目擦り消し。凸面：撫で。側面：不明。 | 17 | |

7 区

| 番　号 | 出土遺構<br>層　　位 | 器種名 | ①長さ<br>②厚さ | ①胎土 ②焼成<br>③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録<br>番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 7-瓦 1 | Ｈ－９竈 | 軒丸瓦 | ①[18.8]<br>②　1.8 | ①細粒 ②良好<br>③灰黄 ④瓦当破片 | 子葉のある二重連弁。文様を隆起線によってあらわす。界線1本。周縁は無文で削りないし撫で、笵による圧痕有り。瓦当裏面：布目有り。下位に凸帯有り。瓦当側面：撫で。無絞り一本作り。上野国分寺軒丸瓦B102a と同笵。 | 58 | 国分寺創建期<br>（Ⅱ－３期） |
| 7-瓦 2 | Ｈ－９竈 | 軒丸瓦 | ① 33.0<br>② 2.7 | ①中粒 ②良好<br>③青黒 ④2/3 | 瓦当面が欠損し、丸瓦部分が残る。玉縁式丸瓦。凸面：撫で。凹面：布目有り。広端撫で。側面：面取り２回。瓦当面への差込部があり。印籠づけ。 | 85ほか | |
| 7-瓦 3 | Ｈ－10竈 | 平瓦 | ①(13.2)<br>②　2.4 | ①中粒 ②良好<br>③にぶい赤褐 ④1/5 | 凹面：布目あり。模骨痕が見られないので一枚作りされた瓦と思われる。箆書き文字「止」？が凹面端部の中央よりやや右寄りに有り。凸面:撫で。側面：面取り1回。 | 78 | 箆書き文字 |
| 7-瓦 4 | Ｈ－10竈 | 軒平瓦 | ①(12.5)<br>②　4.6 | ①細粒 ②良好<br>③褐 ④1/5 | 三重孤文。桶巻作り。凹面：布目、模骨痕を残す段顎の瓦。顎部：正格子の叩具痕が残る。 | 43 | 上植木廃寺と同種か |
| 7-瓦 5 | Ｈ－10竈 | 軒平瓦 | ①(23.3)<br>②　2.5 | ①中粒 ②良好<br>③灰 ④1/2 | 桶巻き造り。歪な三重弧文。分割後に施文。凹面:布目有り。模骨痕有り。左側面に粘土の合わせ目有り。凸面：撫で。側面：面取り２回。 | 34 | |
| 7-瓦 6 | Ｈ－13竈 | 軒丸瓦 | ① 16.9<br>②　2.1 | ①細粒 ②良好<br>③灰 ④2/5 | 単弁８弁、()　形の蓮弁。別作りされた丸瓦を瓦当に印籠付け。瓦当側面:撫で。瓦当裏面面：布目有り。撫で。上野国分寺軒丸瓦 E103と同笵。 | 31 | 国分寺創建期<br>（Ⅱ－２期） |
| 7-瓦 7 | Ｈ－19竈 | 軒丸瓦 | ①[18.4]<br>②　2.6 | ①細粒 ②良好<br>③灰白 ④瓦当1/2のみ | 単弁８弁、()形の方向が不規則な蓮弁を持つ。印籠付け。凸面:撫で。凹面:撫で、削り。上野国分寺軒丸瓦 E103と同笵。 | 19 | 国分寺創建期<br>（Ⅱ－２期） |

| 番　号 | 出土遺構<br>層　　位 | 器種名 | ①長さ<br>②厚さ | ①胎土 ②焼成<br>③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録<br>番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 7-瓦 8 | H－22竈 | 平瓦 | ① 37.3<br>② 25.0<br>② 2.1 | ①中粒 ②良好<br>③灰 ④4/5 | 一枚作り。凹面：布目有り。広端・狭端撫で。凸面：縄叩き、糸切り条痕有り。側面：面取り 1 回。 | 217 | |
| 7-瓦 9 | H－22竈 | 平瓦 | ① (7.8)<br>② 2.3 | ①中粒 ②良好<br>③灰黄 ④破片 | 一枚作り。凹面:布目有り。凸面:撫で。文字と思われる箆書きの線有り。側面：面取り 2 回。 | 114 | 箆書き文字 |
| 7-瓦10 | X109<br>Y85 | 丸瓦 | ①(15.8)<br>② 3.0 | ①細粒 ②良好<br>③灰 ④2/5 | 凸面：撫で。凹面：布目有り。広端撫で。指撫で痕有り。粘土紐積み上げ技法か。側面：面取り 2 回。 | | |
| 7-瓦11 | 全体覆土 | 軒丸瓦 | ①[16.0]<br>② 1.5 | ①細粒②良好<br>③青灰④瓦当1/4のみ | 子葉のある二重弁を持つ。文様を隆線によってあらわす。凹面:布目有り。下位に凸帯有り。凸面：撫で。無絞り一木作。上野国分寺軒丸瓦 B201と同笵。 | | 国分寺創建期<br>（Ⅱ－３期） |
| 7-瓦12 | 全体覆土 | 平瓦 | ①(11.1)<br>② 20.4 | ①細粒②良好<br>③灰④1/6 | 一枚作り。凹面:布目有り。凸面:撫で。文字「千」有り。側面:面取り3回。 | | 箆書き文字 |
| 7-瓦13 | 全体覆土 | 遊具 | ① 6.3<br>② 1.8 | ①細粒②良好<br>③灰黄④完形 | 平瓦を丸く切り抜いたもの。凹面：布目有り。撫で。凸面：撫で。 | | 転用 |

9 区

| 番　号 | 出土遺構<br>層　　位 | 器種名 | ①長さ<br>②厚さ | ①胎土 ②焼成<br>③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録<br>番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9-瓦 1 | W－３ | 軒丸瓦 | ① 17.2<br>② 1.5 | ①細粒 ②良好<br>③オリーブ灰 ④2/5 | 子葉のある二重弁。文様を隆起線によってあらわす。蓮弁は丸みが少なく直線的で、方向がやや不規則。瓦当裏面：無絞り布目。丸瓦部凹面：布目有り。指撫。凸面：撫で。布に斜位の編みこみ有り。国分寺軒丸瓦 B101と同笵。 | 30 | 国分寺創建期<br>（Ⅱ－３期） |
| 9-瓦 2 | 全体覆土 | 軒丸瓦 | ①[16.0]<br>② 1.5 | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④1/8 | 子葉のある二重弁を持つ。文様を隆起線によってあらわす。隆起線が高く鋭い。凸面：撫で。凹面：布目有り。丸瓦部欠損。上野国分寺軒丸瓦 B205と同笵。 | | 国分寺創建期<br>（Ⅱ－３期） |

注　① 層位は「床直」：床面より10cm以内の層位からの検出、「覆土」：床面より10cmを超える層位からの検出とした。
　　竈内の検出については「竈内」と記載した。
　　② 長さ・厚さの単位はcmである。現存値を（　）、復元値を［　］で示した。
　　軒丸瓦は①長さに直径を記入し、②は朱文を除いた中房の厚さを記入した。
　　③ 胎土は、細粒（0.9mm以下）、中粒（1.0～1.9mm）、粗粒（2.0mm以上）とし、特徴的な鉱物が入る場合に鉱物名を記載した。
　　④ 焼成は、極良・良好・不良の三段階とした。
　　⑤ 備考での時期区分については、高井佳弘 「上野国における一本木造り軒丸瓦の導入と展開」（財）群馬県埋蔵文化財調査事業団 研究紀要 22 2004 によった。
　　⑥ 7-瓦8は遺存度が高かったため、①長軸②短軸③厚さとした。

# Ⅶ　まとめ

本遺跡は元総社町の西部、上野国府推定域（木津1998）の周辺に位置する。なお、調査区が元総社蒼海遺跡群の区域内に点在するので、染谷川左岸地域を１・３～６区、牛池川右岸地域を７～９区、推定国府域北側近隣地域を２・10・11区とした。１・３～６区では竪穴住居跡40軒、溝跡13条、土坑31基を検出した。７～９区では竪穴住居跡29軒、竪穴状遺構４軒、溝跡９条、土坑21基を検出した。２・10・11区では竪穴住居跡20軒、竪穴状遺構１軒、溝跡６条、土坑47基を検出した

本遺跡では、縄文時代前期から中世にわたる資料が得られた。ここでは、今回の調査で明らかになった遺構と遺物について概観していきたい。なお、時期区分については元総社蒼海遺跡群で従来より用いられている時期区分、Ⅰ期（～7世紀前半：律令期以前）、Ⅱ期（７世紀～10世紀初頭：律令期）、Ⅲ期（10世紀前半～：律令期以後）に従いたい。

## 1　竪穴住居跡の分布について

本遺跡の調査区はいずれも調査面積が狭く、検出した遺構も限定的であるため、それぞれの調査区内だけで集落跡を概観することは難しい。そのためここでは、染谷川左岸地域、牛池川右岸地域、推定国府域北側近隣地域の３地域ごとに大まかな解説を行い、その後まとめとして時期･地域ごとの竪穴住居の分布を概観していきたい。なお、縄文遺構・遺物については本章２で解説しているため、ここでの解説は行わない。

### (1) 染谷川左岸地域

本地域ではⅠ期の住居を７軒（うち4軒が縄文住居）、Ⅱ期の住居を25軒、Ⅲ期の住居を５軒、Hr-FP 降下以後から As-B 降下以前までの住居を２軒検出した。

各調査区の大まかな特徴は以下のとおりである。

１区や５区では近い時期の住居重複が多く、短い期間で同一の地点に複数回、住居を建築していた様子がうかがえる。また、１区Ｈ－３、４号住居と５区Ｈ－１号住居からは緑釉陶器が、1区Ｈ－３号住居からは三彩陶器が出土した。昨年度調査した元総社蒼海遺跡群(8) Ａ区からも緑釉陶器が多数出土しており、本地域周辺には、国府関連施設の存在が想定される。これら三彩・緑釉陶器については本章3で記した。

３区は溝や、現代の攪乱により住居を1軒検出するにとどまった。溝や、攪乱の重複、調査区の狭さから住居全体を把握するにはいたらなかった。

４区からは縄文時代前期の住居が4軒検出された。そのうちＪ－１号住居からは完形の板状土偶が出土した。また染谷川左岸地域において、１区、５区の住居密度が高かったのに対し、4区、6区は住居の密度が低くなっており、近い距離にありながら、なぜ住居密度に極端な差があらわれるのか気になるところである。

### (2) 牛池川右岸地域

本地域ではⅠ期の住居を11軒、Ⅱ期の住居を17軒、Ⅲ期の住居を１軒検出した。

各調査区の大まかな特徴は以下のとおりである。

７区では狭い調査区の中に多数の住居が重なって存在しており、一つの調査区からの住居検出数では最多となる22軒の住居を検出した。特徴のある住居も多く、壁に張り出しを持つＨ－８号住居や、竈の構築材に多くの瓦を使用していたＨ－９・10・22号住居、埋設土器が設置されていたＨ－９号住居、竈の作り替えが行われたＨ－22号住居などが挙げられる。また、竈に使用されていたように、本調査区では、国分二寺などから持ち込まれ、

２次利用されたと思われる瓦を多く検出した。瓦にも特徴的なものが多く、13点を図示した。特に軒丸瓦が多く、軒丸瓦に関しては本章５に記した。

８・９区は牛池川沿いに位置する。８区は半分ほどの面積で現代の攪乱を受けており、住居は1件を検出するにとどまった。住居の時期は出土遺物などから６世紀後半と考えられ、９区と併せてⅠ期の遺構・遺物が検出の中心となった調査区であり、本遺跡の中では比較的古い時期の区域である。９区からは４世紀後半から７世紀前半のⅡ期以前の住居を中心に検出した。

### (3) 推定国府域北側近隣地域

本地域ではⅠ期の住居を1軒、Ⅱ期の住居を５軒、Ⅲ期の住居を14軒、Hr-FP 降下後から As-B 降下以前までの住居を1軒検出した。

各調査区の大まかな特徴は以下のとおりである。

２区の調査は非常に狭い範囲であったため、２軒の住居を検出するにとどまり、住居の全容はつかめていない。

10区・11区は本遺跡の中で最も推定国府域に近い調査区である。10区で検出した住居３軒のうち２軒からは須恵器羽釜が出土し、上野国府衰退期前後に存在していた住居であることをうかがわせる。11区からも、羽釜や小型坏など酸化焔焼成須恵器が大量に出土している。また、竈を南東隅にもつ住居を４軒検出し、11区から検出した多くの住居がⅢ期にあたるという判定根拠の一つとなっている。Ⅲ期の住居が複数検出されたのは本遺跡で10・11区のみである。住居の重複が非常に多く、Ⅱ期末からⅢ期初頭にかけて頻繁に住居が建築された様子がうかがえる。また、11区では焼土化した床面をもつ住居や、鍛冶工房に関連すると思われる鉄製品や小型坏が出土した土坑、工房と思われる遺構などを検出した。隣接する元総社蒼海遺跡群(6) や (8) と同様に、一般集落を伴う鍛冶工房が存在したことを感じさせる。なお、工房については本章4に記す。

### (4) まとめ

地域ごとに調査面積が異なることから、比較のために100㎡あたりの住居件数を計算し、時期別に分類する。本書「Ⅴ章 遺物と遺構」では、住居の時期を世紀ごとに前半・中葉・後半としたが、ここでは、分析や、理解のしやすさから中葉と判定したものは前半・後半のどちらかへ編入して、前半・後半の２分類のみで分析する。なお、Hr-FP 降下以後から As-B 降下以前までと判定した詳しい時期判定が不能であった住居は分析対象としない。以上のような条件の下、次項の表１を作成した。

表１　時期ごとの３地区竪穴住居検出数と密度

| 調査地域 | | 調査面積（㎡） | 時期別検出数と密度（軒／100㎡） | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 地域分類 | 調査区名 | | 4 世紀 | | | | 5 世紀 | | | |
| | | | 前　期 | | 後　期 | | 前　期 | | 後　期 | |
| | | | 検出数 | 密　度 | 検出数 | 密　度 | 検出数 | 密　度 | 検出数 | 密　度 |
| 染谷川左岸 | 1・3・4・5・6 | 1164 | 0 | 0 | 1 | 0.1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 牛池川右岸 | 7・8・9 | 951 | 0 | 0 | 1 | 0.1 | 0 | 0 | 2 | 0.2 |
| 国府域北側近隣 | 2・10・11 | 731 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

| 調査地域 | | 調査面積（㎡） | 時期別検出数と密度（軒／100㎡） | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 地域分類 | 調査区名 | | 6 世紀 | | | | 7 世紀 | | | |
| | | | 前　期 | | 後　期 | | 前　期 | | 後　期 | |
| | | | 検出数 | 密　度 | 検出数 | 密　度 | 検出数 | 密　度 | 検出数 | 密　度 |
| 染谷川左岸 | 1・3・4・5・6 | 1164 | 0 | 0 | 1 | 0.1 | 1 | 0.1 | 5 | 0.4 |
| 牛池川右岸 | 7・8・9 | 951 | 0 | 0 | 4 | 0.4 | 4 | 0.4 | 1 | 0.1 |
| 国府域北側近隣 | 2・10・11 | 731 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0.1 | 0 | 0 |

| 調査地域 | | 調査面積（㎡） | 時期別検出数と密度（軒／100㎡） | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 地域分類 | 調査区名 | | 8 世紀 | | | | 9 世紀 | | | |
| | | | 前　期 | | 後　期 | | 前　期 | | 後　期 | |
| | | | 検出数 | 密　度 | 検出数 | 密　度 | 検出数 | 密　度 | 検出数 | 密　度 |
| 染谷川左岸 | 1・3・4・5・6 | 1164 | 0 | 0 | 1 | 0.1 | 6 | 0.6 | 12 | 1.0 |
| 牛池川右岸 | 7・8・9 | 951 | 3 | 0.3 | 2 | 0.2 | 6 | 0.6 | 4 | 0.4 |
| 国府域北側近隣 | 2・10・11 | 731 | 1 | 0.1 | 1 | 0.1 | 2 | 0.3 | 1 | 0.1 |

| 調査地域 | | 調査面積（㎡） | 時期別検出数と密度（軒／100㎡） | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 地域分類 | 調査区名 | | 10世紀 | | | | 11世紀 | | | |
| | | | 前　期 | | 後　期 | | 前　期 | | 後　期 | |
| | | | 検出数 | 密　度 | 検出数 | 密　度 | 検出数 | 密　度 | 検出数 | 密　度 |
| 染谷川左岸 | 1・3・4・5・6 | 1164 | 5 | 0.4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 牛池川右岸 | 7・8・9 | 951 | 1 | 0.1 | 1 | 0.1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 国府域北側近隣 | 2・10・11 | 731 | 4 | 0.5 | 5 | 0.7 | 4 | 0.5 | 1 | 0.1 |

また、表１の住居密度の数値をグラフにすると以下表２のようになる。

表２　時期ごとの３地域の住居密度

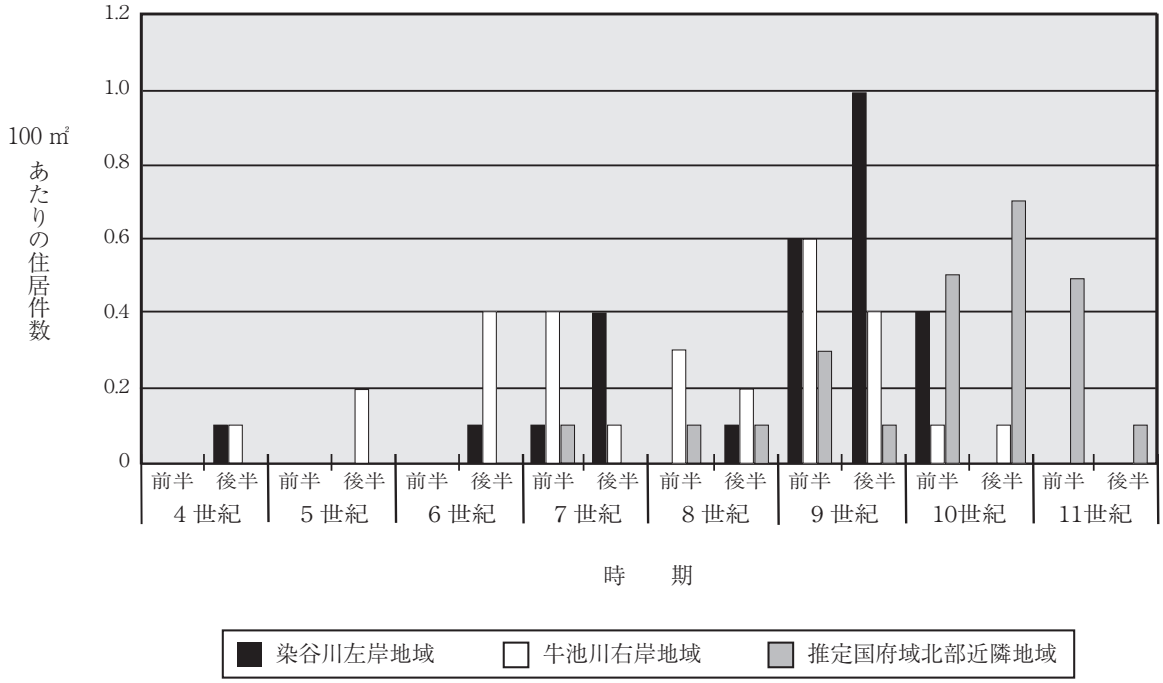


表１、２の分析から、３地域の時期ごとの分布は以下のとおりである。

染谷川左岸地域ではⅡ期に住居が集中しており、特に９世紀後半に住居数のピークを迎えている。

牛池川右岸地域は、Ⅱ期の住居密度が高いということでは染谷川左岸地域と共通であるが、Ⅱ期以前の住居密度もある程度高く、４世紀から10世紀まで集落が存在している。牛池川右岸沿いに位置する８・９区に対し、牛池川左岸には元総社北川遺跡や、元総社蒼海遺跡群(19) などで検出された田畠、集落が広がり、８・９区の住居の時期と一致する。また地理的に隣接していることから、牛池川周辺の低地帯でⅡ期以前から耕作を行っていた人々の集落であった可能性がある。

推定国府域北側近隣地域は10世紀後半に住居密度のピークを迎えている。Ⅲ期に住居密度のピークがくるという意味で、他の２地区と異なっている。本地域で住居密度のピークを迎えるⅢ期は上野国府の衰退・廃絶期である。このことから、元総社蒼海遺跡群(6) 報告書などで指摘されている国府近隣の土地利用に関する規制があったのではないかという分析、そして国府の衰退・廃絶により、本地域での国府による土地利用規制が弱まり、居住者が流入し、住居が造られたのではないかという分析を裏付ける結果が得られた。

以上のように、３地域は時期ごとの住居密度に明確な変化が認められ、当時の人々の居住区が変化していることを感じさせる。

しかし、最初にも述べたが、本遺跡での調査は狭い調査区での限定的なものであり、集落に対して結論を出すには、判断材料が足りないといわざるを得ない。

## ２　縄文時代の遺構と遺物について

本遺跡４区の調査では、諸磯ｃ式土器を伴う縄文時代前期後半と考えられる住居跡４軒と土坑を９基を検出した。いずれも調査区の中央部に集中し、南部には全く検出されていない。また住居跡は調査区の都合上、完全な形で検出された遺構はない。その中でも比較的完掘に近いＪ－１住居跡からは比較的多くの縄文土器が出土した。そのＪ－１住居跡からは、遺物は上層から床面にかけて土器片が出土し、多くは諸磯ｃ式の深鉢片であった。その中には透かし孔の入った深鉢の把手も出土した。なお埋設土器は検出されていない。また住居南側のほぼ床面からは板状土偶が完形で出土した。住居中央付近からはやや床面下から炉跡が検出されている。ここでは、Ｊ－１住居跡から出土した土偶と４区全体から出土した縄文土器について記したい。

Ｊ－１住居跡から出土した土偶は、板状土偶であり、分銅形（ヴァイオリン形）を基本としており、短い腕部は付くが、脚部は作られていない。また、貼り付けにより乳房を表現している。県内では安中市中野谷松原遺跡や新里村城遺跡、吉井町黒熊第５遺跡などで同様な土偶が出土している。それらの土偶はいずれも頭部を欠損するなど、本遺跡の土偶のように完形で出土する例は大変珍しい。県内における板状土偶の出土例は、いずれも諸磯ｂ期であるとみられている。本遺跡の土偶が出土したＪ－１住居跡は主に諸磯ｃ式土器が多く出土している。しかし同時に諸磯ｂ式土器も出土しているので、Ｊ－１住居跡は他の遺跡とほぼ同時期である諸磯ｂ式期の遺構であったと考えられる。

このような分銅形の板状土偶は、胴体の表現を第一の要素として、顔面の表現がまだ抽象の域を出ないもので、初期土偶として位置づけられている。他の遺跡では欠損品が多いなか、本遺跡の土偶が完形で出土したことは、様々な解釈がある土偶の作成意図を考えていく上でとても興味深い。

次に４区から出土した縄文土器類を文様構成と施文法を中心にして以下のように分類を試みた。

Ⅰ群　諸磯式土器

１類　地文に縄文を有し、平行沈線を施す。　　ＪＤ－６（4－縄67, 68）

２類　多条の平行沈線、棒状・ボタン状・耳たぶ状粘土を貼付したもの

Ｊ－１（４－縄１～３，５，７, 17, 18, 20, 21, 23, 25, 28～30, 32～37, 39, 41～43, 45）Ｊ－３（４－縄48)、

ＪＤ－３（４－縄51～60, 62)、ＪＤ－４（４－縄66)、ＪＤ－８（４－縄69, 70）

３類　多条の平行沈線のみ

Ｊ－１（4－縄４，６，９，11～16, 19, 31)、Ｊ－３（4－縄46, 47)、Ｊ－４（4－縄49）

ＪＤ－１（4－縄50)、ＪＤ－４（4－縄61, 64, 65）

４類　多条の平行沈線を施文後、半截竹管の連続刺突による結節浮線文を施す。Ｊ－１(4－縄22, 24, 40, 44）

５類　半截竹管による爪形文　　Ｊ－１（4－縄38）

６類　口縁部に凹凸文を施す。　Ｊ－１（4－縄26, 27）

Ⅱ群　前期後半に属する縄文施文土器

１類　複節、単節、無節の縄文による斜行縄文を施す。Ｊ－１（4-縄10)、ＪＤ－３（4-縄63）

２類　複節、単節、無節の縄文による羽状縄文を施す。Ｊ－１（4-縄８）

この分類から、口縁が平縁、「く」の字形に内折、口縁に沿って多数の耳たぶ状突起やボタン状貼付文が発達する諸磯ｃ期の特徴をもつ土器が多い。これは本遺跡の特徴といえよう。

周辺遺跡で縄文時代前期後半の遺物が出土する遺跡は、本遺跡より北に位置する元総社蒼海群(3)、(4)、元総社小見Ⅴ、Ⅵ遺跡、西及び北西に位置する上野国分僧寺・尼寺中間地域Ｚ・Ａ・Ｂ区がある。一方、本遺跡の東及び南側の遺跡からは、この時代の遺物は検出されていない。本遺跡を含めこれらの遺跡は西に染谷川、東に牛池川に挟まれた台地上の陽当たりの良い土地の一画である。この周辺には縄文時代前期後半の小規模な集落があったと考えられる。中期以降の遺物が東及び南側にも存在するので、この地で当時どのような集落形成が成されていたかについては、今後の調査に期待する所が大きい。

## 3　奈良三彩・緑釉陶器について

### (1) 奈良三彩陶

染谷川左岸台地上の１区Ｈ－３号住居跡から奈良三彩小壺が出土した。この小壺は、高台から胴部最下位にかけての小片３点である。小片であるため口径、器高は不明であるが、外部に踏んばる高台を貼付し底径5.5cm を測る。胎土は、灰白色を呈し、白釉は淡黄色でやや緑がかっている。緑釉は淡い緑色、褐釉は一部釉の剥落が見られるが、こげ茶色を呈している。内面は、透明感のない淡黄色の釉が施されている。製作時期は、８世紀中葉から後半と推定される。

### (2) 緑釉陶器

本遺跡地からは、１区Ｈ－３号住居跡２点・Ｈ－４号住居跡３点、５区Ｈ－１号住居跡６点、11区Ｈ－20号住居跡、Ｋ－１号工房跡各１点、計13点の緑釉陶器が出土した。１・５区は染谷川左岸台地上に位置し、昨年度、本調査区の南側の発掘調査を実施し、落ち込み状の遺構から13点、その周辺の住居跡等から24点におよぶ緑釉陶器が出土した「元総社蒼海遺跡群(8)」の北側に約300m（1区）と約200m（5区）離れた場所にある。11区は推定国府域北側に近接する。

１区Ｈ－３・４号住居跡から出土した緑釉陶器は稜椀の口縁部小片と底部破片である。５区Ｈ－１号住居跡から出土した緑釉陶器のうち４点は、口縁部に明瞭な箆書の四弁花文を主とする陰刻文様を有する稜椀であり、残りの１点は皿の底部破片と考えられる。11区Ｈ－20号住居跡から出土した緑釉陶器は稜椀破片、Ｋ－11号工房跡から出土した緑釉陶器は長頸壺破片と考えられる。

今回出土した緑釉陶器の製作時期、生産地については、群馬県埋蔵文化財調査事業団の神谷佳明氏によれば、昨年度「元総社蒼海遺跡群(8)」で出土した緑釉陶器と同種であることから９世紀後半から10世紀前半、生産地は尾張、東濃など東海地方産と考えられるとのことであった。

### (3) まとめ

奈良三彩･緑釉陶器の多くは、官衙跡、祭祀跡、神社跡、古窯跡などの特殊な遺跡から発見される例が多い。今回、本遺跡地において奈良三彩・緑釉陶器が出土した遺構は、11区を除けば本地域における一般的な9世紀後半から10世紀前半にかけての竪穴住居跡である。本遺跡地の周辺で三彩・緑釉陶器が多く出土した遺跡を見てみると、山王廃寺跡、上野国分寺跡（寺院）、上野国分僧寺･尼寺中間地域（住居跡）、国分境遺跡（住居跡･溝）、「清里･陣馬遺跡」（溝跡）、「清里・長久保遺跡」（土壙墓）、「天神遺跡」（住居）、「天神Ⅱ遺跡」（不明）、「元総社明神遺跡Ⅳ」（住居）、「元総社明神遺跡Ⅷ」（溝）、「元総社明神遺跡Ⅸ」（トレンチ）、「元総社明神遺跡Ⅻ」（掘立柱建物）、「鳥羽遺跡」（廃棄住居）「元総社小見Ⅲ遺跡」（土壙墓）「元総社弥勒遺跡」（不明）となり一般的な住居跡から出土する例が少ないことが窺える。

それでは何故元総社蒼海遺跡群において奈良三彩･緑釉陶器が一般的な竪穴住居跡から出土するのであろうか。まず、奈良三彩については、１区Ｈ－３号住居跡の年代が10世紀前半代と推定され、その製作時期と100年以上の年代差がみられる。奈良三彩が造東大寺司に所属する官営工房で独占的に生産されていたことを考えると、伝世品として一般庶民が所有していたことは考え難い。緑釉陶器についても都市的食器として流通していた可能性が論じられているが、現時点においての元総社蒼海遺跡群での住居跡からの出土数を考えると日常食器としての使用は考え難い。また、元総社蒼海遺跡群における出土例も圧倒的に染谷川左岸台地周辺部に集中し、その他の場所でまとまって出土することは少ない。例えば、元総社蒼海遺跡群(8) の落ち込み状遺構の性格について、国府と密接に関連を持つ有力層が緑釉陶器を入手し、儀礼・饗宴の場で使用した跡に廃棄した場所であるとの考えを示しているが、今回検出された住居跡が廃棄場所であった可能性は、遺物の出土状況から見て極めて低いと考えられる。現時点において言えるのは、これらの三彩・緑釉陶器が国府、国分二寺の衰退と関連する可能性があるということであろう。

## 4　工房跡について

本遺跡11区は推定国府域の北側に近接している。調査区内の遺構の検出状況をみると10世紀前半から11世紀代を中心とする竪穴住居跡と多数の土坑が検出された。そのような中でＫ－１号工房跡は、調査区の北端部より検出された。Ｋ－１号工房跡は、遺構確認面からの掘り込みが非常に浅く、遺物の出土も少なかったため、時期の特定は困難であるが、重複関係や覆土の状況から９世紀以降 As-B 降下以前のものと考えられる。なお、床面より緑釉陶器長頸壺破片、刀子が各１点検出されている。Ｋ－１号工房跡の床面は非常に堅緻で、被熱により焼土化した炉跡が7箇所確認され、その周囲には灰が検出された。炉跡の長軸は、最小のもので20cm 最大のもので67cm を測る。このＫ－１号工房跡範囲からは多数の土坑が検出されているが、工房に伴うと考えられる土坑は検出されなかった。ただし、$P_2$の覆土からは、多量の灰、焼土が検出された。

この他に11区からは、被熱により焼土化した炉様部分をもつ住居跡が2軒（Ｈ－16・18号住居跡）と工房に関連すると推定される土坑（Ｄ－９・27号土坑）が検出されている。

Ｈ－16号住居跡は、Ｋ－１号工房跡同様に遺構確認面からの掘り込みが非常に浅く、床の堅緻面と竈の位置を基に遺構範囲を推定したが、他の住居跡に比べて面積が大きく、竈の煙道部も長いという特徴がある。焼土化した炉様部分は、遺構のほぼ中央に位置し、焼土範囲の長軸は26cm、短軸24cm、深さ３cm を測る。本住居跡も出土遺物が少なく時期の特定は困難であるが、重複関係や覆土の状況から９世紀以降 As-B 降下以前のものと考えられる。

Ｈ－18号住居跡は、非常に堅緻な貼床面の中央部分に焼土化した炉様部分を検出し、その規模は長軸75cm、短軸69cm、深さ８cm を測る。時期は覆土や出土遺物、重複関係から10世紀後半から11世紀代と考えられる。本住居跡範囲からも多数の土坑が検出されたが、北東隅のＤ－25号土坑、竈の北側Ｄ－29号土坑覆土からは、多量

の灰、焼土が検出されている。また、北西隅Ｐ－27号ピットにおいては7枚のカワラケが折り重なるように出土しており、何らかの祭祀的行為により設置されていた可能性も考えられる。なお、本遺構の存する調査区中央部分からは、炭化材が遺構覆土より多量に検出されている。

Ｄ－９号土坑は、Ｋ－１工房跡のすぐ南側に位置し、鉄滓や釘等が出土した。また、Ｄ－27号土坑は、Ｈ－16号住居跡とＨ－18号住居跡の間に位置し、覆土上層に多量の炭化物を含む。土坑内からは馬具(轡)、須恵器高台椀・高台皿・小型坏、鉄滓、羽口、鍛造剥片等が検出され、鍛冶工房との関連が推定される土坑である。

今回検出したＫ－１号工房跡からは、遺物の出土が少ないため何を加工していたかは不明であるが、炉跡が７箇所も検出されたことやＤ－９・27号土坑の出土遺物等から工人や農家集落に伴う鍛冶工房であった可能性が考えられる。また、Ｈ－16・18号住居跡についても床に炉様部分が検出されるなど他の住居跡と異なる特徴があることから、鍛冶工房との関連性が窺える。

## 5　瓦について

本遺跡からは、上野国分尼寺あるいは国分寺の瓦葺建物破損後、転用目的で持ち出されて竪穴住居構築などに利用されたと思われる瓦が多数出土した。特に軒丸瓦に特長的なものが多かったことから、ここでは図示した軒丸瓦について Tab.11瓦観察表の区分・番号に基づき記述する。瓦の観察に関しては、軒丸瓦や、文字瓦を中心に群馬県埋蔵文化財調査事業団主任調査研究員高井佳弘氏にご教授をいただいた。

### (1) 軒丸瓦

5－瓦１　軒丸瓦は、上野国分寺出土軒丸瓦 B201と同笵である。『史跡上野国分寺跡』報告書では、「一弁だけ笵キズが存在し、同笵判定の際のよい根拠となっている」、とあるが、本遺跡から出土したものは二弁にそれぞれ笵キズをもっている。これは、『史跡上野国分寺跡』報告書に掲載されている軒丸瓦よりも新しい時期のものであるため、笵が劣化し、笵キズが増えたものと考えられる。『史跡上野国分寺跡』報告書では、B201軒丸瓦をａ・ｂ・ｃの三種に分類しているが、この軒丸瓦は、瓦当裏面に無絞り布目が有り、下半に凸帯が無く撫でを施していることから、B201c にあたる。一本作り技法で作られている。国分寺創建期初頭のものより、周縁の幅が広く、国分寺創建期の中でも新しい時期の特徴をもっている。国分寺創建期の軒丸瓦ではあるが、創建期後半のものであることをうかがわせる。

7－瓦１　軒丸瓦は、上野国分寺出土軒丸瓦 B102と同笵である。周縁が広めで、破片のため判別しづらいが、周縁に笵の端の圧痕が小さく残っている。弁間の珠文がないため、上野国分寺報告書の分類ａ・ｂのうち、ａにあたる。瓦当裏面を見ると無絞りの布目が残り、凸帯が削り取られ、撫でて調整されていることから、無絞り一本木作りで作られている。同笵品が上植木廃寺と笠懸山際窯から採集されている。国分寺創建期。

7－瓦２　軒丸瓦は、瓦当部が欠損し、丸瓦部のみの出土となった。丸瓦部は玉縁式である。あらかじめ成形した丸瓦を瓦当部に接合する技法で生産されており、瓦当裏面に半円形の溝を掘り、そこに丸瓦先端を差し込んだ後、補強の粘土を貼付して接合する技法、印籠つぎ法によって作られている。瓦当部へ差込む部分は指で成形しており、複数の指圧痕が残っている。

7－瓦６・７　軒丸瓦は上野国分寺出土軒丸瓦 E103と同笵である。上野国分寺において B201に次ぐ出土量を誇り、上野国分寺の塔地区に集中して出土している。高井佳弘氏によれば、塔を飾った軒瓦と考えられるという。国分寺創建期。

7－瓦11　軒丸瓦は上野国分寺出土軒丸瓦 B102a にあたる。瓦当面の文様はあまりはっきりと出ておらず、特に蓮子がはっきりしていない。これがこの軒瓦の特徴である。瓦当裏面は無絞りの布目と凸帯がある。B102a には瓦当裏面に凸帯が有るものと、先に紹介した凸帯の無いものの二種が存在する。国分寺創建期。

9－瓦１　軒丸瓦は上野国分寺出土軒丸瓦 B101にあたる。蓮弁には丸みが無く、不規則な方向を向いている。瓦当裏面は無絞りの布目が有り、無絞り一本作りである。布目に特徴が有り、縦横の繊維のほかに斜めに繊維が編みこまれている。国分寺創建期。

9－瓦２　軒丸瓦は上野国分寺出土軒丸瓦 B205にあたる。本遺跡から出土した軒丸瓦のなかでは最も高く鋭い隆起線で文様が構成されている。上野国分尼寺、上植木廃寺からも同笵品が出土している。国分寺で出土したものは蓮子の数が１＋５、上植木廃寺のものは１＋６となっているが、残念ながら９区２の軒丸瓦は蓮子部分が欠損していて蓮子の数を確認できない。国分寺創建期。

### (2) まとめ

『続日本紀』天平感宝元年（749年）などの記述によれば、他国の国分二寺創建がスムーズに進まない中、上野国分二寺は、地元豪族の熱心な寄進を受け、他国に先駆けて早いペースで創建が行われたようだ。本遺跡では、そのような全国的にも古い上野国分寺創建期の軒丸瓦を中心に検出した。国分寺の瓦が損傷した後、竪穴住居などの竈構築に転用するために外部へ持ち出されたものと考えられる。

しかし、本遺跡は、関越自動車道の東、染谷川の左岸から東の牛池川の右岸までの間に位置しているので、関越自動車道の西側に位置する国分僧寺よりも、東側に位置する国分尼寺の近くに存在している。特に軒丸瓦は、国分尼寺に近い７区や９区から多く出土した。このことから、僧寺と同笵の軒丸瓦が国分尼寺でも使用されており、国分尼寺から持ち出されて竪穴住居内で使用されたものであることが想定できる。このようなことから上野国分尼寺の建設事業は、国分僧寺と併行して行われていたことも考えられる。

## 6　おわりに

本遺跡地周辺は、縄文時代より現在まで人々の生活が営まれてきた土地である。今まで、本遺跡地周辺の発掘調査は数多く行われており、これからも元総社蒼海土地区画整理事業に伴い発掘調査は継続して行われるが、今後は、今までの点と点の調査成果を結びつけ面的研究を行うことにより国府域及び周辺部の土地利用の解明が可能となると考える。

〈引用参考文献〉

中澤充裕･杉浦つや子編　『桧峯遺跡』　前橋市教育委員会・佐田建設株式会社　1981年

新里村教育委員会編　『新里村の遺跡』　新里村教育委員会　1984年

群馬県埋蔵文化財調査事業団編　『上野国分僧寺･尼寺中間地域1』（財）群馬県埋蔵文化財調査事業団　1986年

群馬県埋蔵文化財調査事業団編　『糸井宮前遺跡Ⅱ』（財）群馬県埋蔵文化財調査事業団　1986年

群馬県埋蔵文化財調査事業団編　『上野国分僧寺･尼寺中間地域(2)』（財）群馬県埋蔵文化財調査事業団　1987年

群馬県教育委員会事務局 文化財保護課編　『史跡上野国分寺跡』群馬県教育委員会　1988年

前橋市教育委員会編　『芳賀団地遺跡群第3巻　芳賀東部団地遺跡Ⅲ－縄文・中近世編－』　前橋市教育委員会　1990年

安中市教育委員会編　『中野谷松原遺跡』　安中市教育委員会　1996年

麻生優・白石浩之著　『改訂新版　縄文土器の知識Ⅰ　草創・早・前期』

五島美術館　『日本の三彩と緑釉』　1998年

高橋照彦　『三彩・緑釉陶器と地方官衙』月刊考古学ジャーナル№475　2001年

高橋照彦　『地方官衙出土の平安時代の緑釉陶器』月刊考古学ジャーナル№475　2001年

山武考古学研究所編　『元総社小見遺跡』　前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2001年

山武考古学研究所編　『元総社小見内Ⅲ遺跡』　前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2001年

高橋一彦・高坂麻子編　『元総社蒼海遺跡群　元総社小見Ⅴ遺跡　元総社小見内Ⅵ遺跡』
前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2003年

近藤雅順・後藤俊継編　『元総社蒼海遺跡群　元総社小見Ⅵ遺跡』　前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2005年

山武考古学研究所編　『元総社小見内Ⅹ遺跡』　前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2005年

スナガ環境測設株式会社編　『元総社蒼海遺跡群(3)』　前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2005年

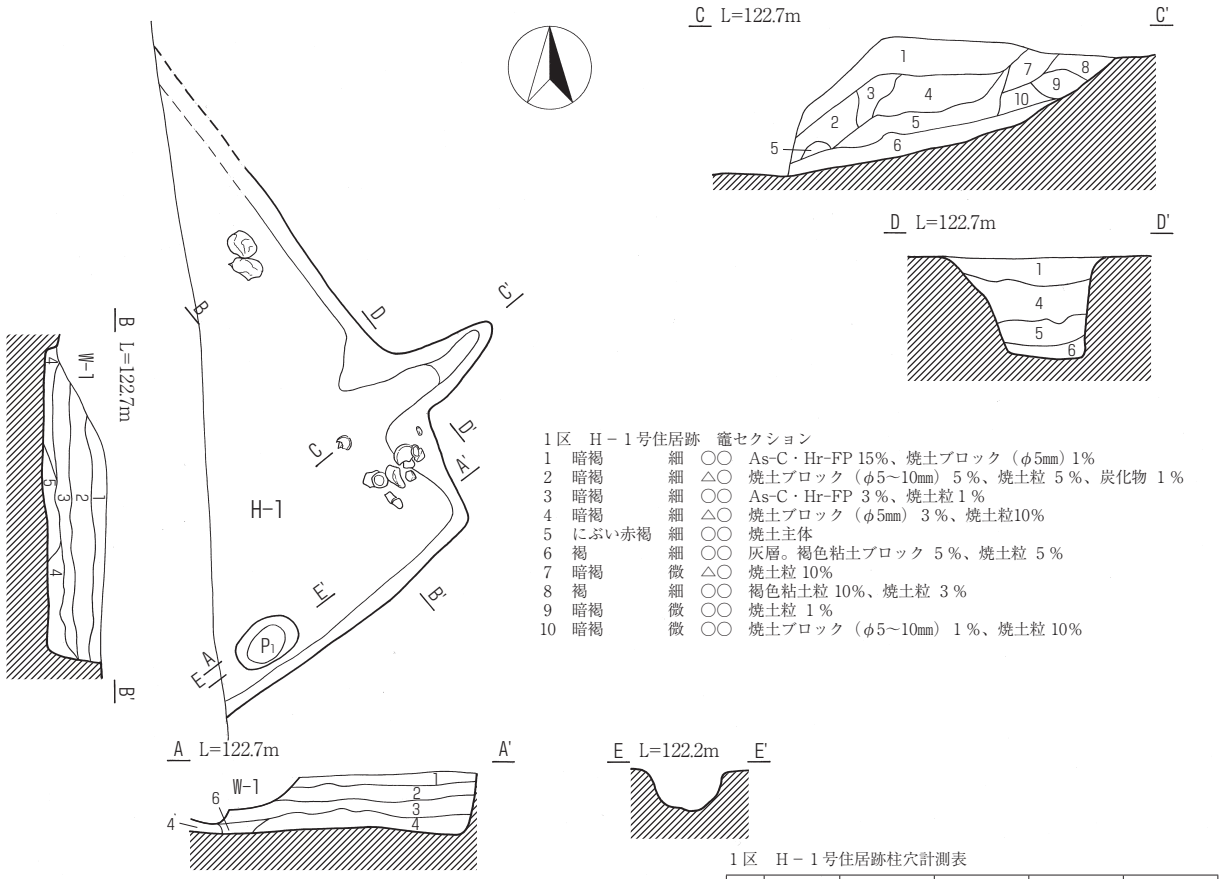
近藤雅順・池田史人編　『元総社蒼海遺跡群(4)』　前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2006年

大崎和久・遠藤たか美編　『元総社蒼海遺跡群(6)』　前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2006年

群馬県埋蔵文化財調査事業団編　『総社閑泉明神Ⅳ遺跡・元総社牛池川遺跡・元総社北川遺跡・元総社小見内Ⅴ遺跡』
（財）群馬県埋蔵文化財調査事業団　2007年

近藤雅順・阿久澤真一編　『元総社蒼海遺跡群(8)』　前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2007年

高橋亨・神宮聡編　『元総社蒼海遺跡群(11)』　前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2007年

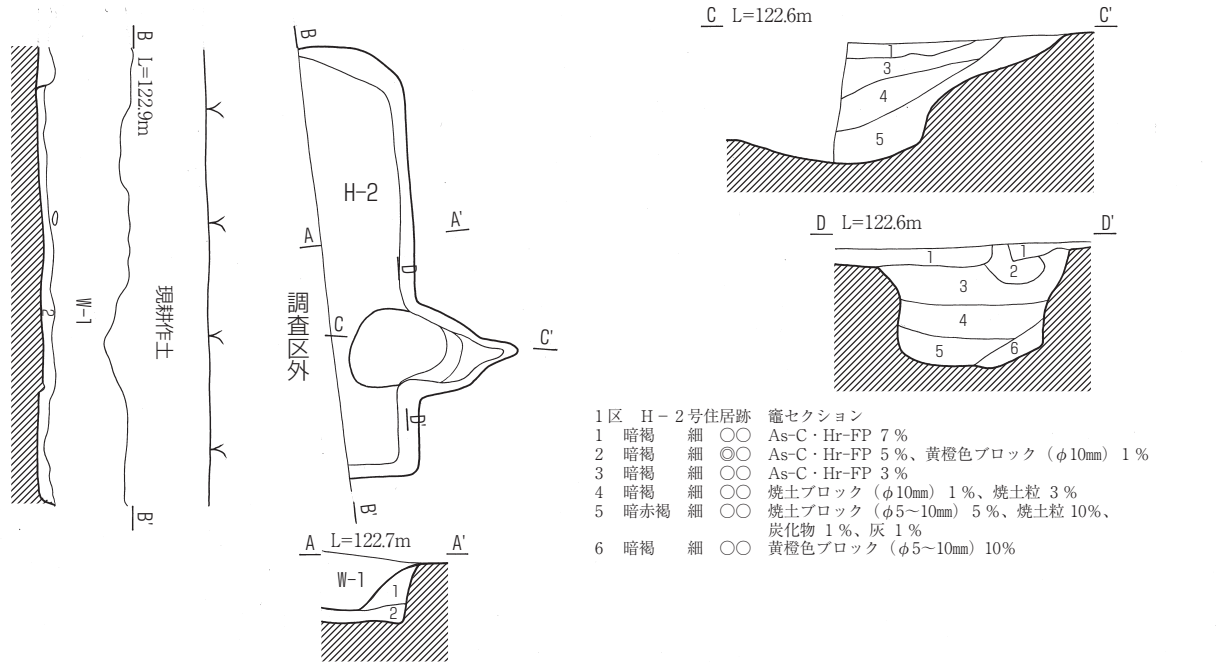



1区　H－1号住居跡　竈セクション
1　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 15%、焼土ブロック（φ5mm）1%
2　暗褐　細　△○　焼土ブロック（φ5～10mm）5%、焼土粒 5%、炭化物 1%
3　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 3%、焼土粒 1%
4　暗褐　細　△○　焼土ブロック（φ5mm）3%、焼土粒10%
5　にぶい赤褐　細　○○　焼土主体
6　褐　細　○○　灰層。褐色粘土ブロック 5%、焼土粒 5%
7　暗褐　微　△○　焼土粒 10%
8　褐　細　○○　褐色粘土粒 10%、焼土粒 3%
9　暗褐　微　○○　焼土粒 1%
10　暗褐　微　○○　焼土ブロック（φ5～10mm）1%、焼土粒 10%

1区　H－1号住居跡柱穴計測表

| No. | 形　状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| $P_1$ | 楕円形 | 52 | 34 | 33.5 | |

1区　H－1号住居跡　ベルトセクション
1　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 15%、黄橙色ブロック（φ5mm）1%、黄橙色粒 5%
2　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10%、黄橙色ブロック（φ5～20mm）5%、黄橙色粒 5%
3　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 7%、黄橙色ブロック（φ5～50mm）7%、黄橙色粒 7%
4　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5%、黄橙色ブロック（φ5mm）10%、黄橙色粒 3%
5　褐　細　○○　As-C・Hr-FP 2%、焼土粒 10%、焼土ブロック（φ5mm）1%
6　黒褐　細　×○　As-C・Hr-FP 3%、黄橙色粒 1%



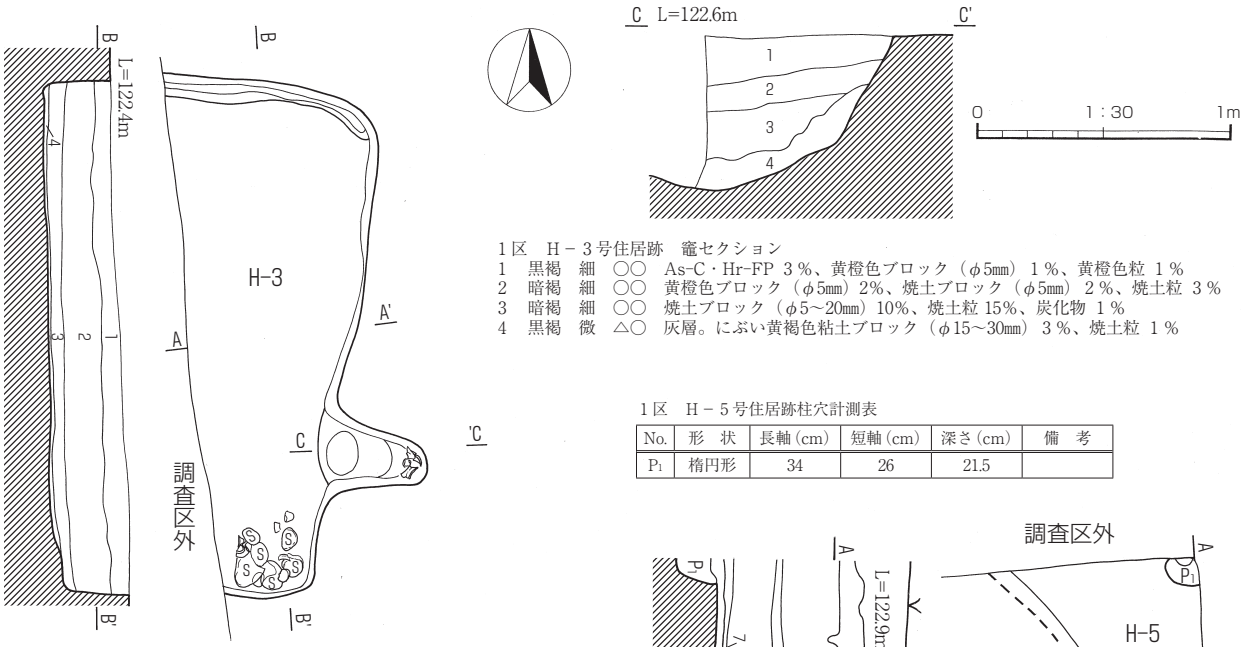

1区　H－2号住居跡　竈セクション
1　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 7%
2　暗褐　細　◎○　As-C・Hr-FP 5%、黄橙色ブロック（φ10mm）1%
3　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 3%
4　暗褐　細　○○　焼土ブロック（φ10mm）1%、焼土粒 3%
5　暗赤褐　細　○○　焼土ブロック（φ5～10mm）5%、焼土粒 10%、炭化物 1%、灰 1%
6　暗褐　細　○○　黄橙色ブロック（φ5～10mm）10%

1区　H－2号住居跡　ベルトセクション
1　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 2%、黄橙色ブロック（φ10mm）1%、黄橙色粒 15%
2　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 2%、黄橙色ブロック（φ10～30mm）3%、黄橙色粒 10%

0　1：30　1m

0　1：60　2m

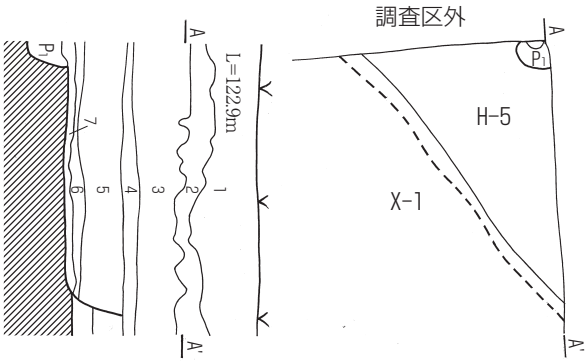
Fig. 9　1区 H－1・2号住居跡




1区　H－3号住居跡　竈セクション
1　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 3％、黄橙色ブロック（φ5㎜）1％、黄橙色粒 1％
2　暗褐　細　○○　黄橙色ブロック（φ5㎜）2％、焼土ブロック（φ5㎜）2％、焼土粒 3％
3　暗褐　細　○○　焼土ブロック（φ5～20㎜）10％、焼土粒 15％、炭化物 1％
4　黒褐　微　△○　灰層。にぶい黄褐色粘土ブロック（φ15～30㎜）3％、焼土粒 1％

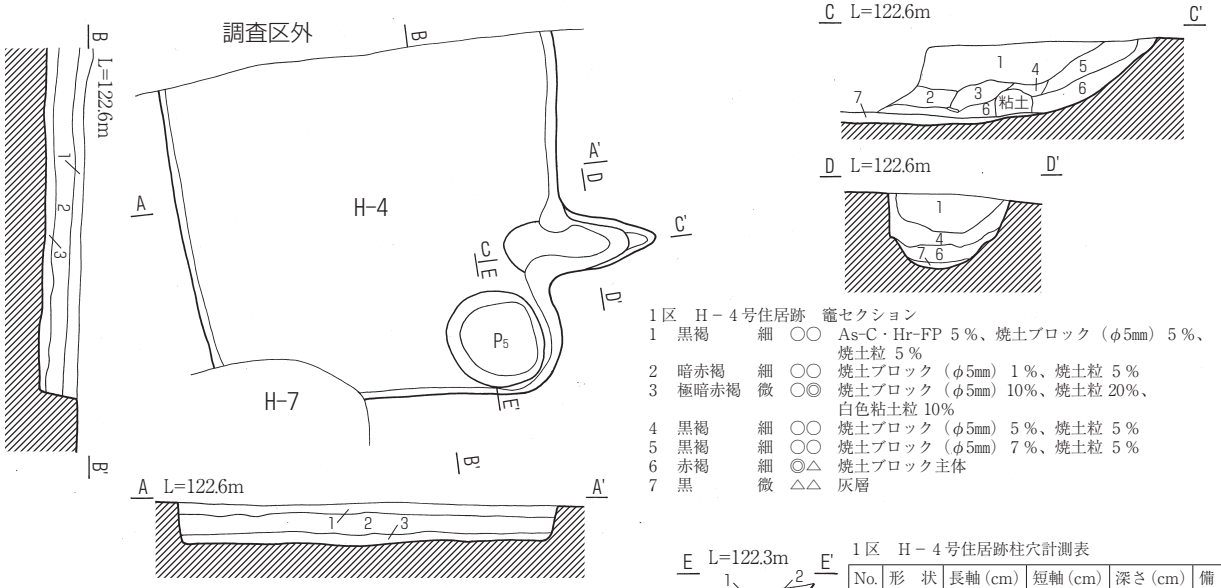
1区　H－5号住居跡柱穴計測表

| No. | 形　状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| $P_1$ | 楕円形 | 34 | 26 | 21.5 | |




1区　H－3号住居跡　ベルトセクション
1　暗褐　細　◎○　As-C・Hr-FP 15％、黄橙色ブロック（φ5～10㎜）3％
　　黄橙色粒 5％
2　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 7％、黄橙色ブロック（φ5～15㎜）10％
　　黄橙色粒10％
3　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 3％、黄橙色ブロック（φ5㎜）1％
　　黄橙色粒 3％、白色粘土ブロック（φ5～30㎜）2％
4　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 1％、黄橙色粒 1％、焼土粒 1％
　　灰混じる。

1区　H－5号住居跡　ベルトセクション
1　現耕作土
2　黒　　粗　○×　As-B 混土層
3　黒褐　細　○○　As-B 15％、As-C・Hr-FP 5％、
4　黒褐　微　◎◎　As-C・Hr-FP 1％、上部に砂層あり
5　黒褐　細　◎○　As-C・Hr-FP 20％、黄橙色ブロック（φ5～10㎜）5％、黄橙色粒 5％
6　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％、黄橙色ブロック（φ5～20㎜）10％、黄橙色粒 10％
7　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 1％、黄橙色ブロック（φ5～10㎜）5％、黄橙色粒 10％
8　暗褐　細　○○　黄橙色ブロック（φ5～20㎜）15％、黄橙色粒 20％




1区　H－4号住居跡　竈セクション
1　黒褐　　細　○○　As-C・Hr-FP 5％、焼土ブロック（φ5㎜）5％、
　　焼土粒 5％
2　暗赤褐　細　○○　焼土ブロック（φ5㎜）1％、焼土粒 5％
3　極暗赤褐　微　○◎　焼土ブロック（φ5㎜）10％、焼土粒 20％、
　　白色粘土粒 10％
4　黒褐　　細　○○　焼土ブロック（φ5㎜）5％、焼土粒 5％
5　黒褐　　細　○○　焼土ブロック（φ5㎜）7％、焼土粒 5％
6　赤褐　　細　◎△　焼土ブロック主体
7　黒　　微　△△　灰層

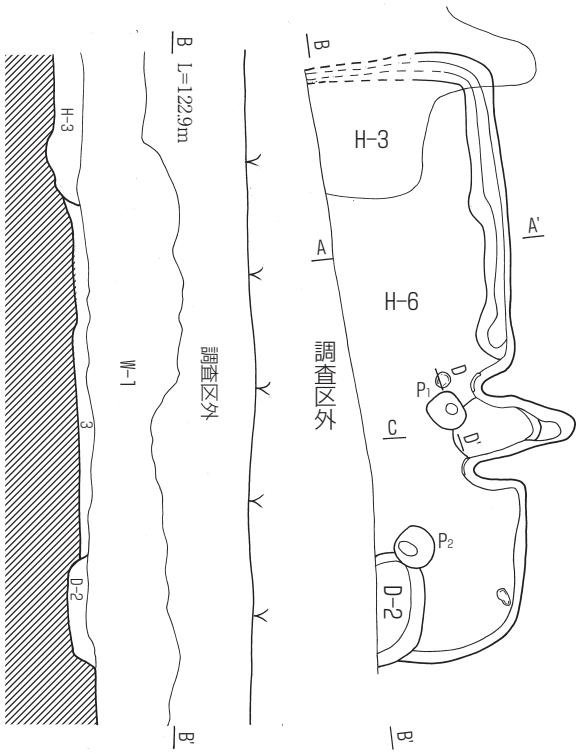
1区　H－4号住居跡　ベルトセクション
1　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 15％、黄橙色ブロック（φ5㎜）1％、黄橙色粒 2％
2　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10％、黄橙色ブロック（φ5㎜）2％、黄橙色粒 5％
3　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％、黄橙色ブロック（φ30～50㎜）1％、
　　黄橙色粒 2％

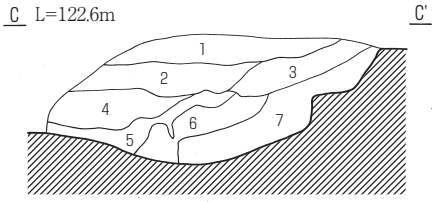
1区　H－4号住居跡柱穴計測表

| No. | 形　状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| $P_5$ | 楕円形 | 84 | 72 | 14.5 | 貯蔵穴 |

1区　H－4号住居跡　$P_5$セクション
1　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 3％、白色粘土粒 5％、焼土粒 3％
2　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 3％、焼土粒 1％、炭化物 1％

Fig.10　1区 H－3～5号住居跡



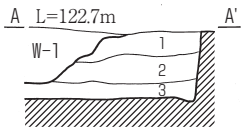

1区　H－6号住居跡　竈セクション

1　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％、炭化物 1％、焼土粒 1％
2　黒褐　細　○○　焼土ブロック（φ5～15mm）1％、焼土粒 5％、粘土粒 10%　炭化物1％
3　暗赤褐　細　○○　焼土ブロック（φ5～20mm）10%、焼土粒 15%、炭化物 1％
4　黒褐　細　○○　にぶい黄褐色粘土ブロック（φ10～50mm）10%、粘土粒 20%　焼土粒 3％
5　黒褐　微　△○　灰層。粘土ブロック（φ20mm）2％、粘土粒 10%
6　黒褐　細　○○　粘土ブロック（φ5～30mm）20%、粘土粒 20%、焼土粒 5%
7　黒褐　微　△○　灰層。焼土ブロック（φ20mm）1％、焼土粒 2％

0　1：30　1m

1区　H－6号住居跡　ベルトセクション

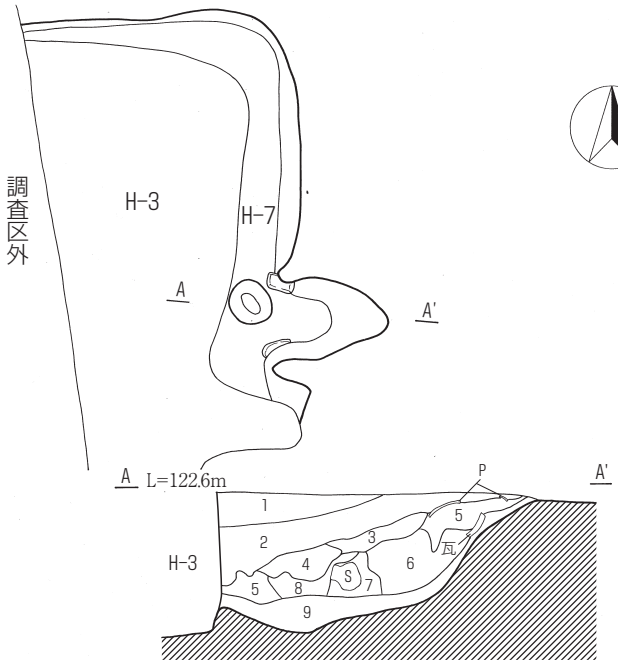
1　暗褐　細　◎○　As-C・Hr-FP 15%、黄橙色粒 5％、焼土粒 1％、炭化物 1％
2　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％、黄橙色粒 3％、焼土粒 1％、炭化物 1％
3　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 3％、黄橙色粒 2％、焼土粒 1％、炭化物 1％

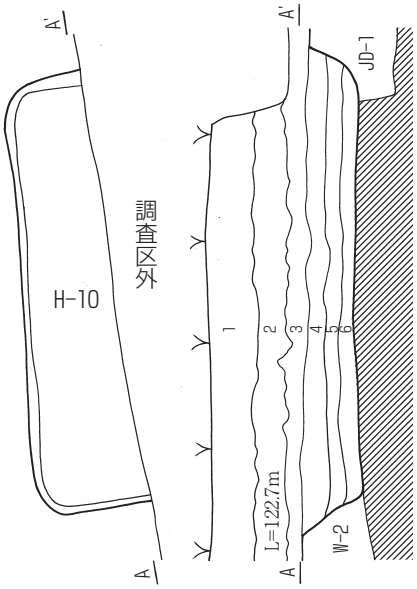


1区　H－6号住居跡柱穴計測表

| No. | 形　状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| $P_1$ | 楕円形 | 32 | 24 | 21.5 | |
| $P_2$ | 円　形 | 32 | 31 | 19.0 | |

0　1：60　2m



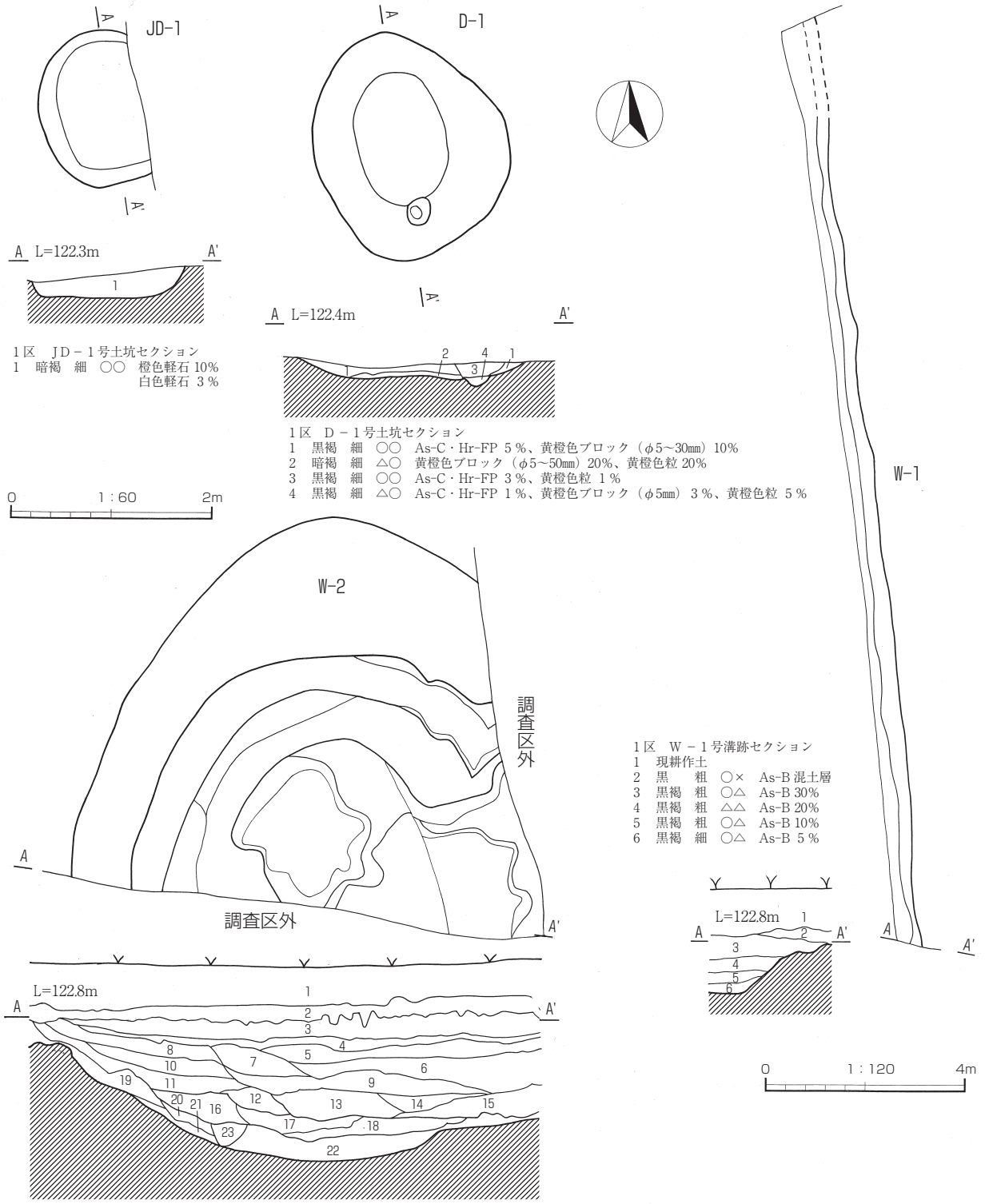

1区　H－7号住居跡　竈セクション

1　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 15%、黄橙色粒 3％
2　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 7％、黄橙色ブロック（φ5～10mm）2％、黄橙色粒 5％
3　暗褐　細　○○　にぶい黄褐色粘土ブロック（φ5～10mm）2％、粘土粒 1％、焼土粒 1％
4　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 1％、焼土粒 1％
5　にぶい黄褐　微　○◎　粘土主体、FA 状、焼土粒 3％
6　黒褐　細　○○　にぶい黄褐色粘土ブロック（φ5～10mm）10%、粘土粒 10%、焼土ブロック（φ5～10mm）1％、焼土粒 3％
7　暗褐　細　○○　粘土粒 2％、焼土粒 5％
8　褐　細　○○　にぶい黄褐色粘土ブロック（φ5mm）2％、粘土粒 20%、焼土ブロック（φ5～15mm）3％
9　黒　微　△○　灰層

1区　H－10号住居跡　ベルトセクション

1　現耕作土
2　黒　粗　○×　As-B 混土層
3　黒褐　細　○○　As-B 15%、As-C・Hr-FP 5％、
4　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 3％
5　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％
6　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 3％、黄橙色ブロック（φ5～10mm）2％

Fig.11　1区 H－6・7・10号住居跡




1区　JD－1号土坑セクション
1　暗褐　細　○○　橙色軽石 10%
　　白色軽石 3％

1区　D－1号土坑セクション
1　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％、黄橙色ブロック（φ5～30mm）10%
2　暗褐　細　△○　黄橙色ブロック（φ5～50mm）20%、黄橙色粒 20%
3　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 3％、黄橙色粒 1％
4　黒褐　細　△○　As-C・Hr-FP 1％、黄橙色ブロック（φ5mm）3％、黄橙色粒 5％

1区　W－1号溝跡セクション
1　現耕作土
2　黒　　粗　○×　As-B 混土層
3　黒褐　粗　○△　As-B 30%
4　黒褐　粗　△△　As-B 20%
5　黒褐　粗　○△　As-B 10%
6　黒褐　細　○△　As-B 5％

1区　W－2号溝跡セクション
1　現耕作土
2　黒　　粗　○×　As-B 混土層
3　黒褐　細　○○　As-B 15%、As-C・Hr-FP 5％
4　黒褐　細　○△　砂層。極少のにぶい黄褐色細砂 30%
5　黒褐　微　◎◎　As-C・Hr-FP 1％、所々に細砂が混じる
6　黒褐　微　◎◎　As-C・Hr-FP 1％
7　黒褐　細　◎◎　As-C・Hr-FP 10%、赤褐色粒 1％
8　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 7％
9　黒褐　細　△○　As-C・Hr-FP 7％、
　　黄橙色ブロック（φ5mm）1％、黄橙色粒 1％
10　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 7％
11　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 7％
12　黒褐　細　◎◎　As-C・Hr-FP 5％
13　黒褐　細　◎◎　As-C・Hr-FP 2％、黄橙色ブロック（φ5mm）1％
14　黒　　細　◎◎　As-C・Hr-FP 1％
15　黒　　細　◎◎　As-C・Hr-FP 10%、黄橙色ブロック（φ5～10mm）3％、黄橙色粒 3％
16　黒褐　細　◎◎　As-C・Hr-FP 10%、黄橙色ブロック（φ5mm）1％、黄橙色粒 2％
17　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10%、黄橙色ブロック（φ5～10mm）3％、黄橙色粒 1％
18　黒褐　細　○◎　As-C・Hr-FP 5％、黄橙色ブロック（φ5～10mm）10%、黄橙色粒 10%
19　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 3％、黄橙色ブロック（φ5～20mm）5％、黄橙色粒 20%
20　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 3％、黄橙色ブロック（φ5～10mm）3％、黄橙色粒 5％
21　黄褐　微　△△　黄橙色ブロック主体
22　暗褐　細　◎○　As-C・Hr-FP 5％、黄橙色ブロック（φ5～10mm）10%、黄橙色粒 10%
23　黒褐　細　△○　As-C・Hr-FP 15%、黄橙色ブロック（φ5～10mm）5％、黄橙色粒 7％

Fig.12　1区 W－1・2号溝跡、JD－1・D－1号土坑

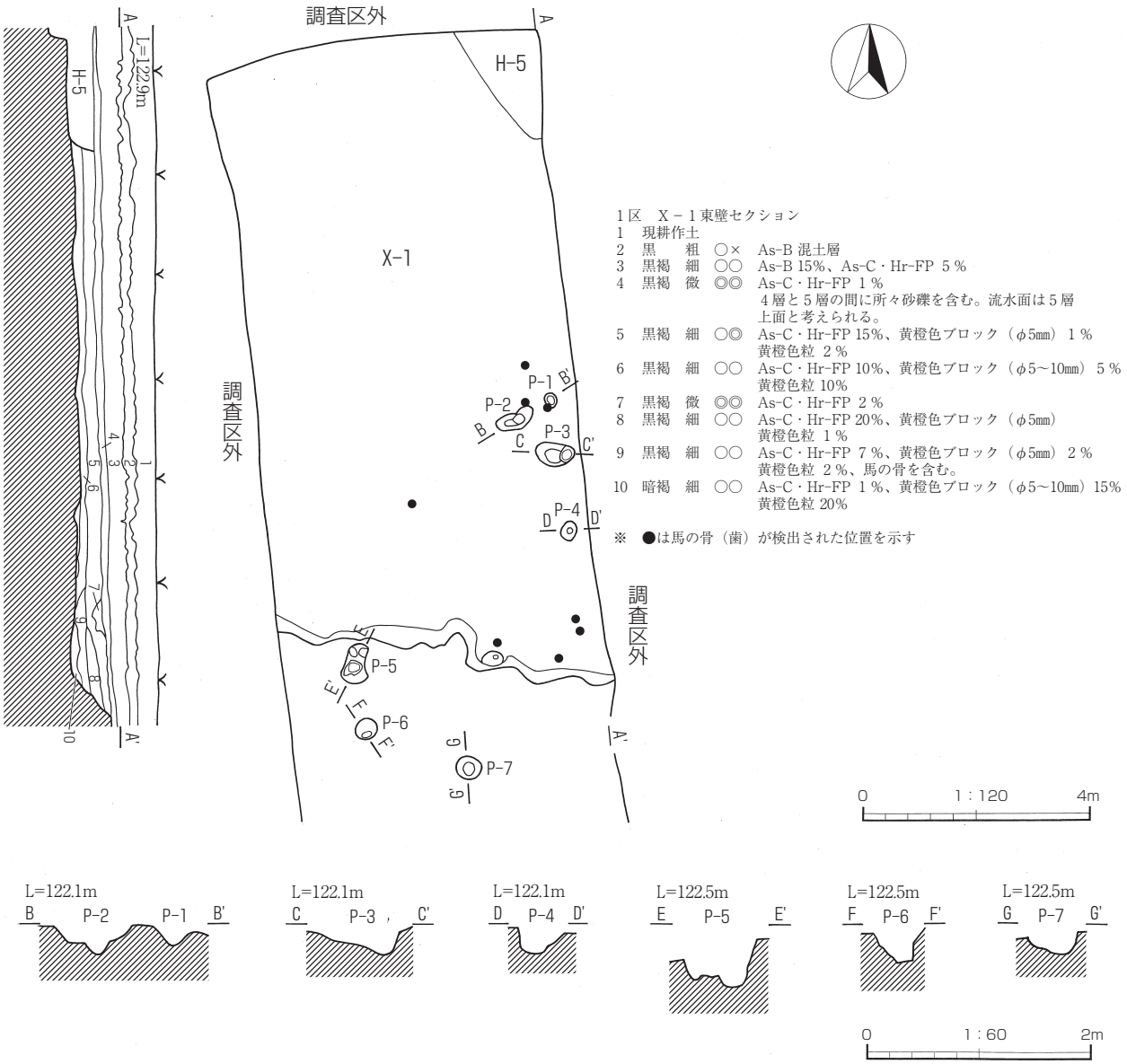
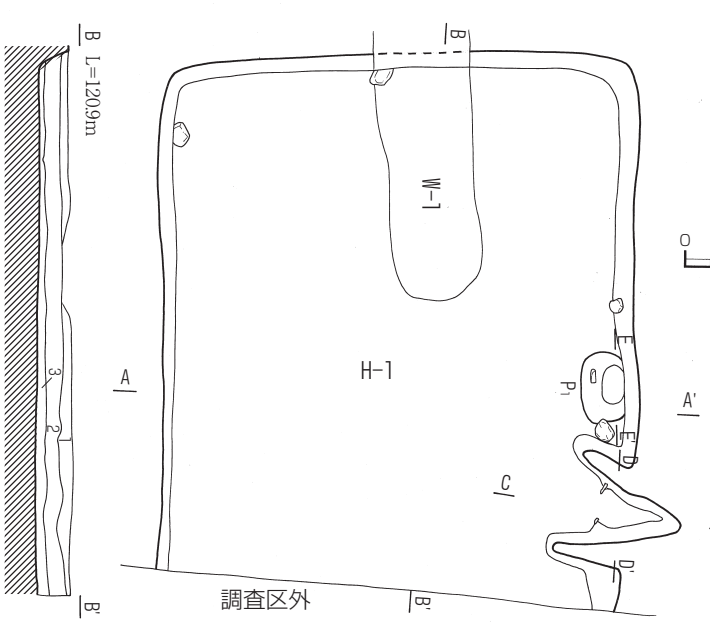
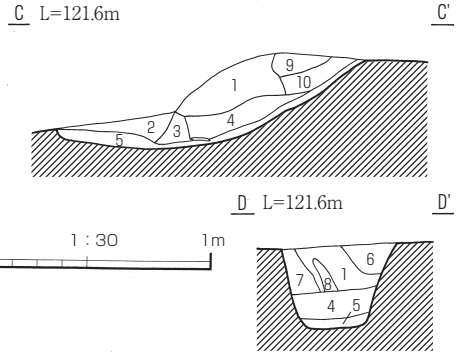


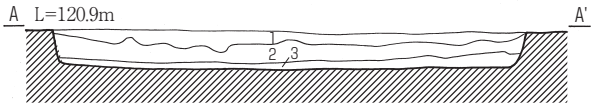

Fig.13　1区 X－1号性格不明遺構、P－1～7号ピット

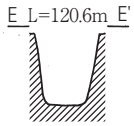



2区　H－1号住居跡　竈セクション

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 黒褐 | 細 | △○ | As-C・Hr-FP 5％、粘土ブロック（φ30㎜）1％、粘土粒 3％ |
| 2 | 暗褐 | 細 | ○○ | 焼土粒1％、粘土ブロック（φ10㎜）1％、粘土粒 10％ |
| 3 | 黒褐 | 細 | △○ | As-C・Hr-FP 3％ |
| 4 | 暗赤褐 | 細 | ○○ | 焼土粒5％、粘土ブロック（φ5～30㎜）30％、粘土粒 15％ |
| 5 | 黒 | 微 | △○ | 灰層 |
| 6 | 暗褐 | 細 | ○○ | 粘土粒 10％ |
| 7 | 暗褐 | 細 | △○ | 焼土粒 1％、粘土粒 10％ |
| 8 | 暗褐 | 細 | ×○ | 粘土粒 10％、黄橙色粒 5％ |
| 9 | にぶい黄褐 | 細 | ○◎ | 粘土ブロック（φ5～10㎜）20％、粘土粒 15％ |
| 10 | にぶい黄褐 | 細 | △◎ | 焼土粒 1％、粘土ブロック（φ5～10㎜）5％、粘土粒 20％ |



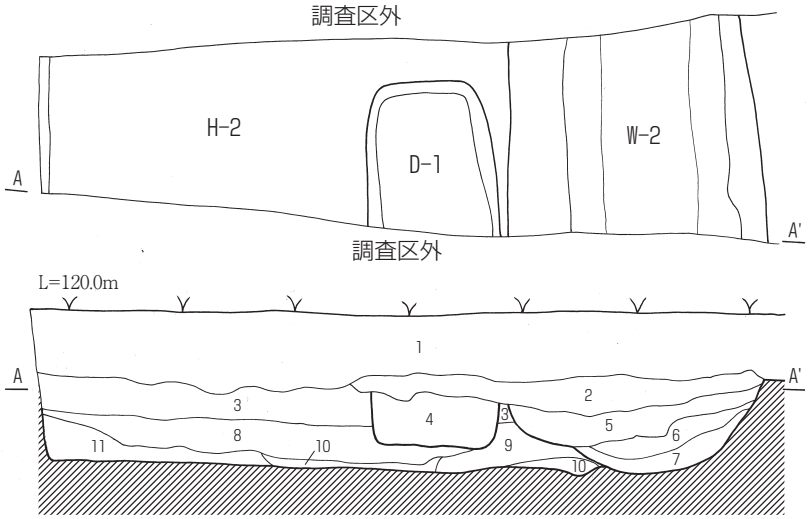



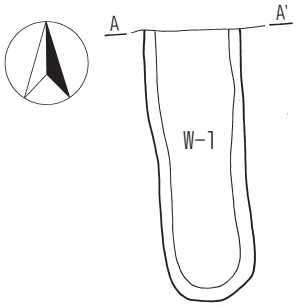

2区　H－1号住居跡　ベルトセクション

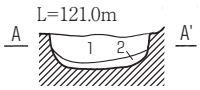
| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 黒褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 10％、黄橙色ブロック（φ5～10㎜）1％、黄橙色粒 1％ |
| 2 | 黒褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 15％、黄橙色ブロック（φ5～10㎜）3％、黄橙色粒 2％ |
| 3 | 黒褐 | 細 | △○ | As-C・Hr-FP 5％、にぶい黄橙色粘土ブロック（φ5～10㎜）5％ |

2区　H－1号住居跡柱穴計測表

| No. | 形　状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| $P_1$ | 楕円形 | 56 | 34 | 59.5 | |



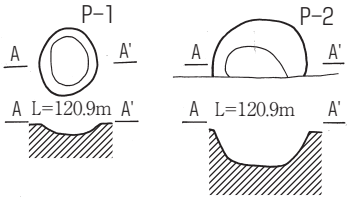




2区　W－1号溝跡　セクション

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 黒褐 | 粗 | ○× | As-B 50％ |
| 2 | 黒褐 | 粗 | ○× | As-B 20％、As-C・Hr-FP 5％ |

2区　H－2号住居跡、W－2号溝跡、D－1土坑　セクション

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 現耕作土 | | | |
| 2 | 暗褐 | 細 | ○○ | As-B 混土層 |
| 3 | 暗褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 7％、黄橙色ブロック（φ5～10㎜）2％、黄橙色粒 5％ |
| 4 | 灰黄褐 | 粗 | △○ | As-B 50％（D－1） |
| 5 | 暗褐 | 細 | ○◎ | As-C・Hr-FP 5％、黄橙色ブロック（φ5㎜）5％、黄橙色粒 5％（W－2） |
| 6 | 黒褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 5％、黄橙色ブロック（φ5㎜）1％、黄橙色粒 2％（W－2） |
| 7 | 黒褐 | 細 | ○△ | 黄橙色ブロック（φ5㎜）1％、黄橙色粒 5％、炭化物 1％（W－2） |
| 8 | 黒褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 5％、黄橙色ブロック（φ5～10㎜）5％、黄橙色粒 2％（H－2） |
| 9 | 褐 | 細 | ○○ | 攪乱 |
| 10 | 暗褐 | 微 | ○○ | As-C・Hr-FP 2％、黄橙色ブロック（φ5～10㎜）2％（H－2） |
| 11 | 暗褐 | 細 | ○○ | 黄橙色ブロック（φ5～20㎜）15％、黄橙色粒5％（H－2） |



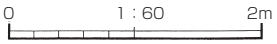
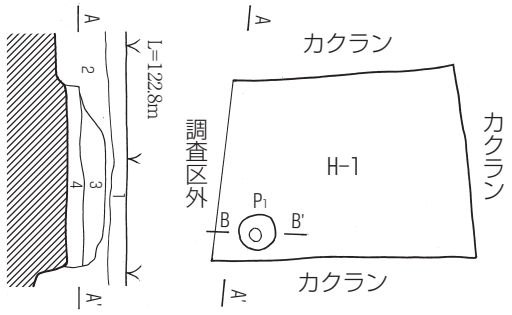
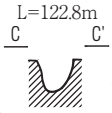




Fig.14　2区 H－1・2号住居跡、W－1・2号溝跡、D－1号土坑、P－1・2号ピット

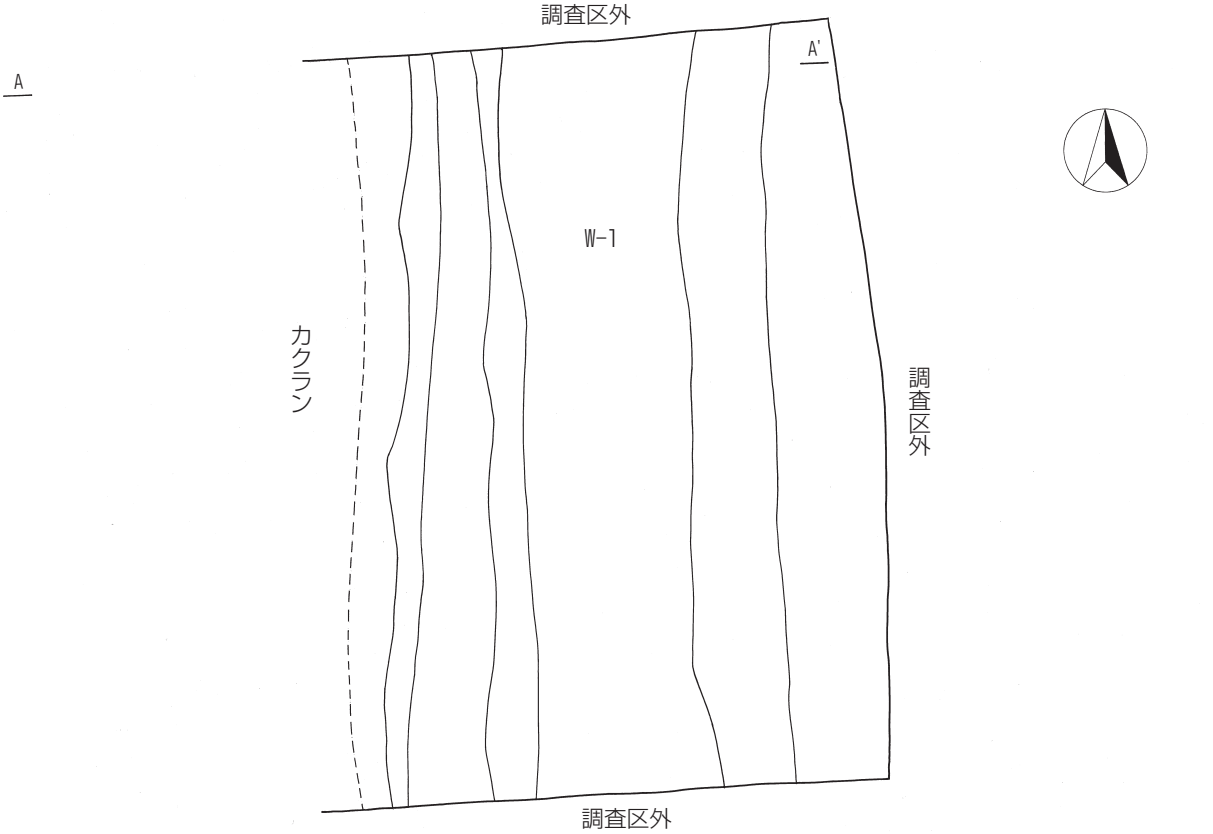


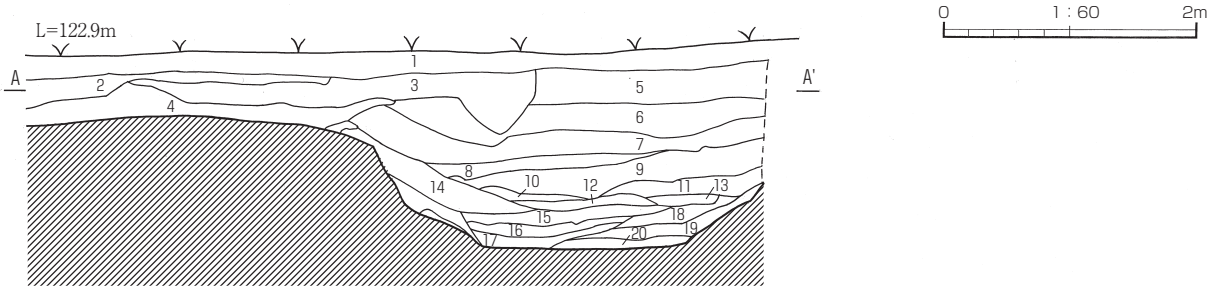

3区　H－1号住居跡　西壁セクション
1　現耕作土
2　攪乱
3　黒褐　細　△○　As-C・Hr-FP 5％、黄橙色粒 10％
4　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 3％、黄橙色粒 10％、焼土粒 1％




3区　H－1号住居跡柱穴計測表

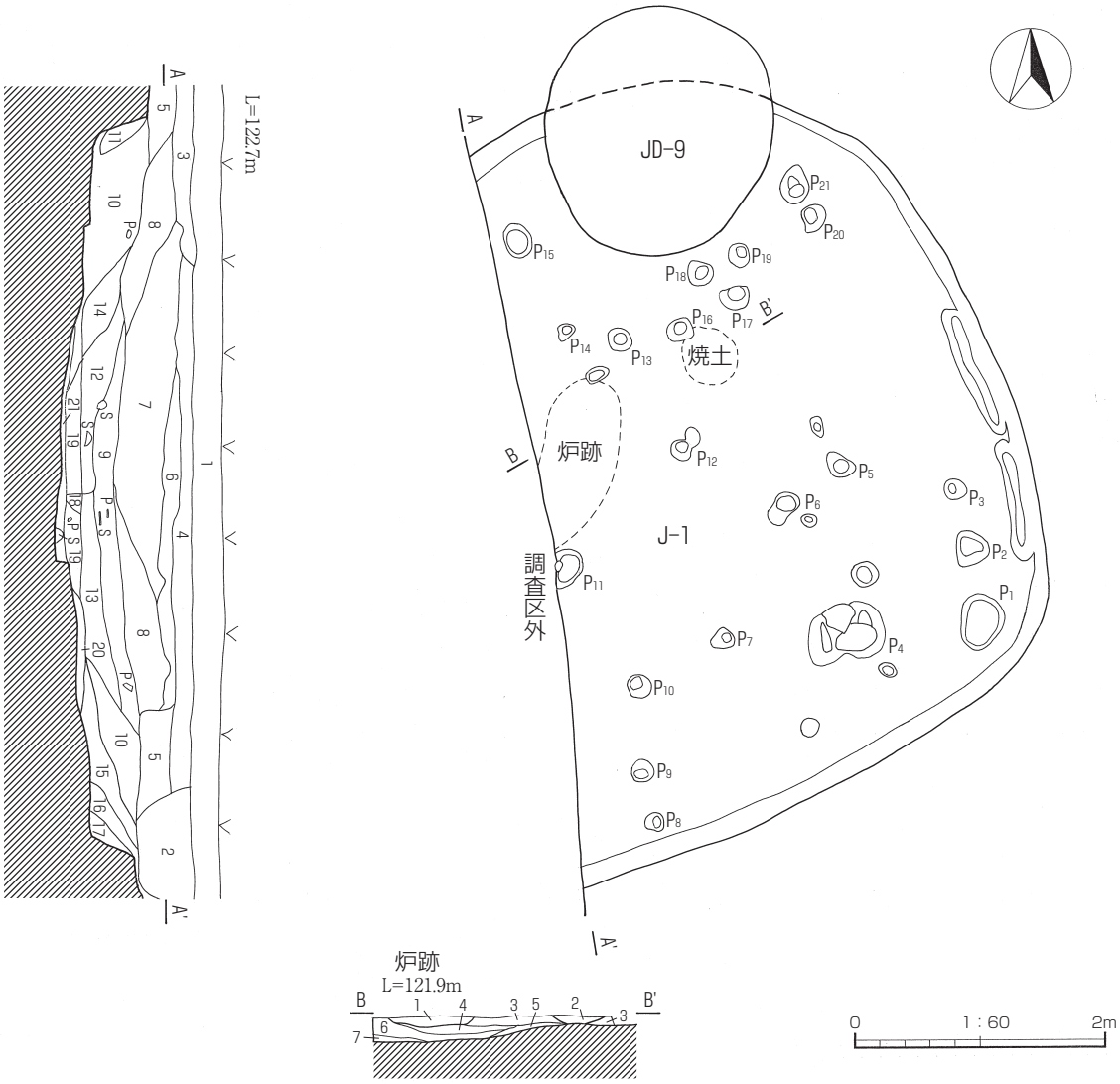
| No. | 形　状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| P1 | 円　形 | 32 | 32 | 25.0 | |




3区　W－1号溝跡　北壁セクション
1　現耕作土
2　カクラン
3　カクラン
4　カクラン
5　暗褐　粗　◎△　As-B 混土層（50％）
6　暗褐　粗　◎△　As-B 混土層（40％）
7　暗褐　粗　◎△　As-B 40％、As-C・Hr-FP 1％
8　黒褐　粗　◎△　As-B 30％
9　暗褐　粗　◎△　As-B 30％、As-C・Hr-FP 2％
10　黒褐　粗　◎○　As-B 30％、炭化物 1％
11　暗褐　粗　◎△　As-B 25％、As-C・Hr-FP 1％
12　暗褐　粗　◎○　As-B 30％、黄橙色粒 1％
13　暗褐　粗　◎○　As-B 25％、黄橙色ブロック（φ15㎜）1％
14　暗褐　粗　○○　As-B 15％、黄橙色粒 10％
15　黒褐　粗　◎○　As-B 20％、As-C・Hr-FP 1％、炭化物 1％
16　暗褐　粗　◎△　As-B 20％
17　黒褐　粗　◎△　As-B 20％、黄橙色粒 5％
18　暗褐　粗　○○　As-B 10％、As-C・Hr-FP 1％
19　暗褐　粗　◎○　As-B 10％、黄橙色粒 3％
20　暗褐　粗　○○　As-B 15％、黄橙色粒 5％

Fig.15　3区 H－1住居跡、W－1号溝跡




4区　J－1号住居跡　南北壁セクション

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 現耕作土 | | | |
| 2 | 灰黄褐 | 粗 | ○○ | As-B 混土層（As-B 50%）　（5区 W－1） |
| 3 | にぶい黄褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 5％ |
| 4 | 暗褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 20%、黄橙色ブロック（φ3㎜）1％ |
| 5 | 暗褐 | 細 | ◎○ | As-C・Hr-FP 5％ |
| 6 | 黒褐 | 細 | ○◎ | As-C 20%、下部に黒褐色土10%、橙色軽石 5％ |
| 7 | 黒 | 微 | ◎◎ | 上部に橙色軽石 5％、黄橙色粒 5％、砂質ブロック（φ2㎜）2％ |
| 8 | 黒褐 | 微 | ○◎ | 下部に橙色軽石 5％、黄橙色粒 5％ |
| 9 | 暗褐 | 微 | ○○ | 黄橙色粒 10%、中央部は黒褐色土に近い |
| 10 | 暗褐 | 微 | ◎○ | 黄橙色粒 50%、砂質ブロック（φ5㎜）底部に有り |
| 11 | にぶい黄褐 | 細 | ◎◎ | 砂質ブロック（φ5㎜）有り |
| 12 | 暗褐 | 微 | ◎○ | 黄橙色ブロック（φ2㎜）1％、砂質ブロック（φ5㎜）北側に有り |
| 13 | 黒褐 | 微 | ◎◎ | 黄橙色粒 5％ |
| 14 | 暗褐 | 微 | ◎○ | 砂質ブロック（φ2㎜）20%、黄橙色粒 2％ |
| 15 | 褐 | 細 | ○○ | 黄橙色粒 10% |
| 16 | にぶい黄褐 | 微 | ◎◎ | 黄橙色ブロック（φ2㎜）2％ |
| 17 | 褐 | 微 | ◎◎ | 地山に近い |
| 18 | 暗褐 | 細 | ○◎ | 上部に黄橙色粒 2％ |
| 19 | 褐 | 微 | ○○ | 焼土粒 2％ |
| 20 | 褐 | 微 | ◎○ | 砂質ブロック（φ5㎜）有り。地山に近い |
| 21 | 暗褐 | 微 | ◎○ | 底部は黄橙色になり地山に近くなる。砂質ブロック有り |

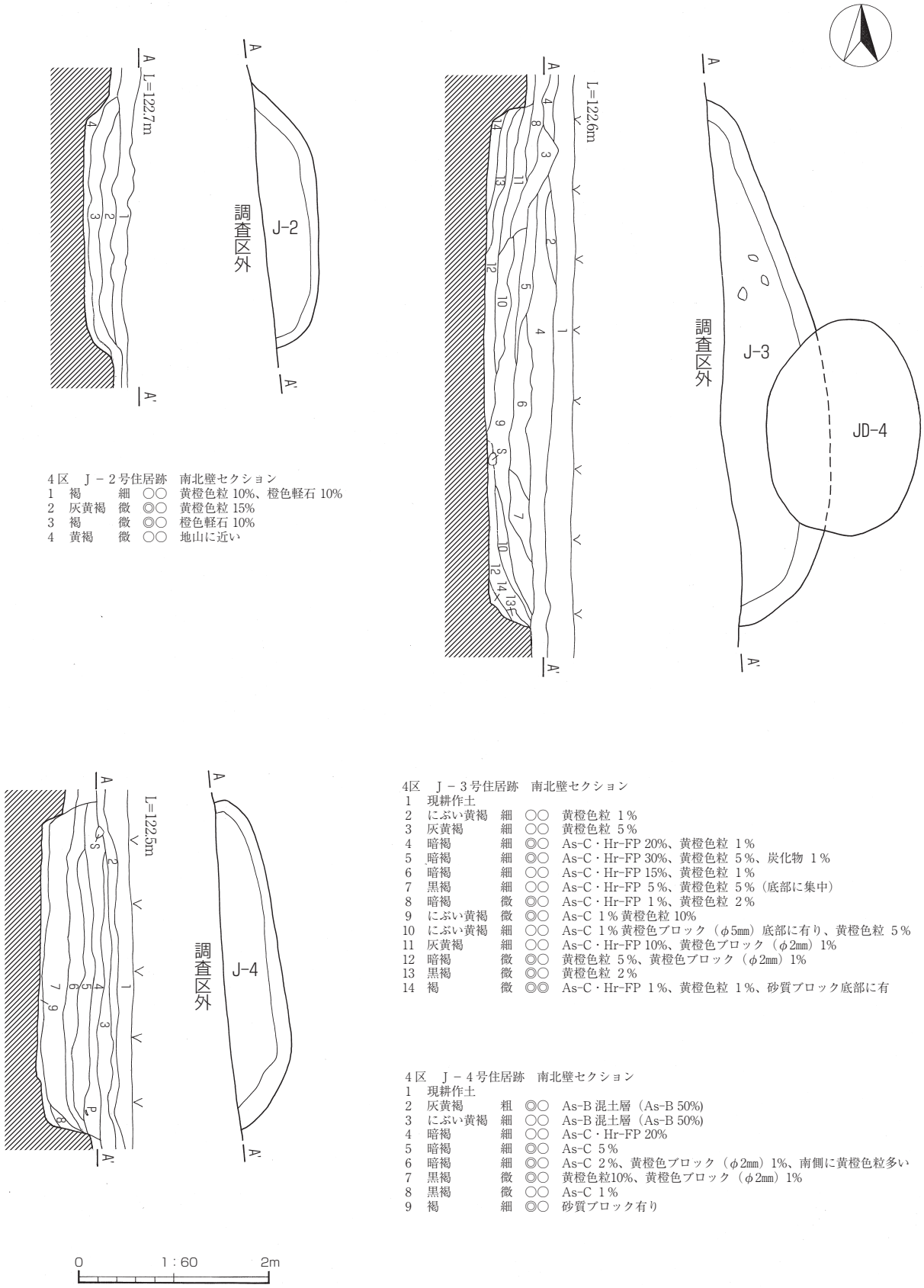
4区　J－1号住居跡　炉セクション

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 褐 | 微 | ○○ | 粘土ブロック 50%、焼土粒 1％ |
| 2 | 褐 | 微 | ○○ | 焼土粒 1％ |
| 3 | 灰褐 | 微 | ○○ | |
| 4 | 暗褐 | 微 | ◎○ | 焼土ブロック 10%、砂質ブロック（φ2㎜）5％ |
| 5 | にぶい褐 | 微 | ◎○ | 底部に（φ5㎜）の砂岩地山に近い |
| 6 | 褐 | 微 | ○○ | 焼土粒 2％、西側に炭化物が若干有り |
| 7 | 暗褐 | 微 | ◎○ | 底部は黄橙色になり地山に近くなる。砂質ブロック有り |

4区　J－1号住居跡柱穴計測表

| No. | 形　状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) |
|---|---|---|---|---|
| $P_1$ | 楕円形 | 41 | 35 | 25.5 |
| $P_2$ | 円　形 | 28 | 26 | 15 |
| $P_3$ | 円　形 | 18 | 16 | 12.5 |
| $P_4$ | 楕円形 | 59 | 44 | 29 |
| $P_5$ | 楕円形 | 22 | 18 | 12.5 |
| $P_6$ | 楕円形 | 30 | 18 | 17.5 |
| $P_7$ | 円　形 | 19 | 17 | 17 |
| $P_8$ | 円　形 | 15 | 15 | 28.5 |
| $P_9$ | 円　形 | 18 | 17 | 27.5 |
| $P_{10}$ | 円　形 | 18 | 18 | 19.5 |
| $P_{11}$ | 楕円形 | 29 | 21 | 5.5 |
| $P_{12}$ | 楕円形 | 30 | 19 | 24.5 |
| $P_{13}$ | 円　形 | 18 | 17 | 22.5 |
| $P_{14}$ | 円　形 | 16 | 14 | 24.5 |
| $P_{15}$ | 楕円形 | 27 | 24 | 43 |
| $P_{16}$ | 円　形 | 22 | 20 | 29 |
| $P_{17}$ | 楕円形 | 26 | 17 | 22.5 |
| $P_{18}$ | 円　形 | 18 | 18 | 33.5 |
| $P_{19}$ | 楕円形 | 19 | 16 | 33.5 |
| $P_{20}$ | 円　形 | 20 | 18 | 31 |
| $P_{21}$ | 楕円形 | 26 | 23 | 21.5 |

Fig.16　4区 J－1号住居跡




4区　Ｊ－２号住居跡　南北壁セクション

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 褐 | 細 | ○○ | 黄橙色粒 10%、橙色軽石 10% |
| 2 | 灰黄褐 | 微 | ◎○ | 黄橙色粒 15% |
| 3 | 褐 | 微 | ◎○ | 橙色軽石 10% |
| 4 | 黄褐 | 微 | ○○ | 地山に近い |

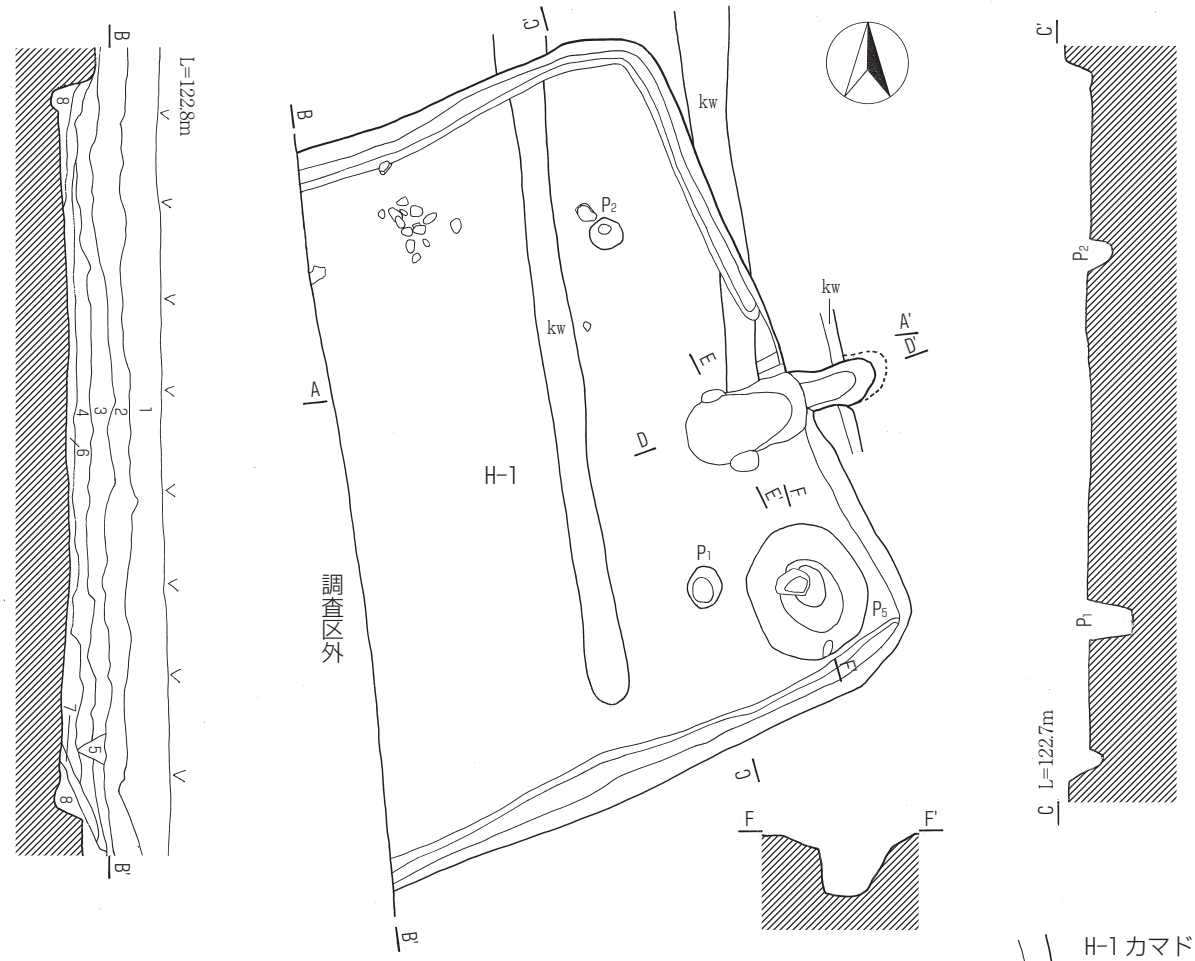
4区　Ｊ－３号住居跡　南北壁セクション

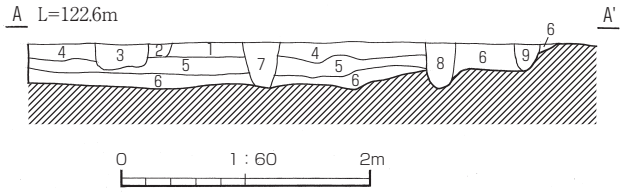
| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 現耕作土 | | | |
| 2 | にぶい黄褐 | 細 | ○○ | 黄橙色粒 1％ |
| 3 | 灰黄褐 | 細 | ○○ | 黄橙色粒 5％ |
| 4 | 暗褐 | 細 | ◎○ | As-C・Hr-FP 20%、黄橙色粒 1％ |
| 5 | 暗褐 | 細 | ◎○ | As-C・Hr-FP 30%、黄橙色粒 5％、炭化物 1％ |
| 6 | 暗褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 15%、黄橙色粒 1％ |
| 7 | 黒褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 5％、黄橙色粒 5％（底部に集中） |
| 8 | 暗褐 | 微 | ◎○ | As-C・Hr-FP 1％、黄橙色粒 2％ |
| 9 | にぶい黄褐 | 微 | ◎○ | As-C 1％黄橙色粒 10% |
| 10 | にぶい黄褐 | 細 | ○○ | As-C 1％黄橙色ブロック（φ5mm）底部に有り、黄橙色粒 5％ |
| 11 | 灰黄褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 10%、黄橙色ブロック（φ2mm）1% |
| 12 | 暗褐 | 微 | ◎○ | 黄橙色粒 5％、黄橙色ブロック（φ2mm）1% |
| 13 | 黒褐 | 微 | ◎○ | 黄橙色粒 2％ |
| 14 | 褐 | 微 | ◎◎ | As-C・Hr-FP 1％、黄橙色粒 1％、砂質ブロック底部に有 |

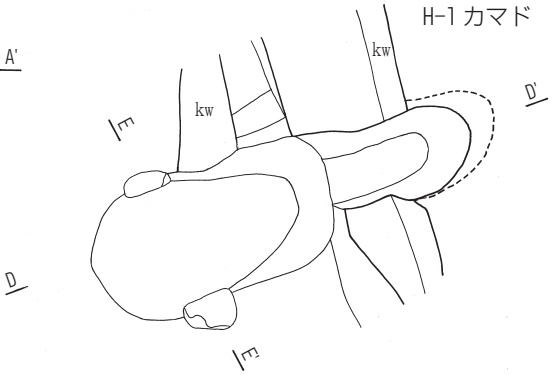
4区　Ｊ－４号住居跡　南北壁セクション

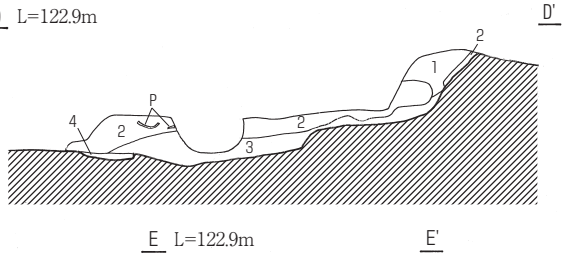
| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 現耕作土 | | | |
| 2 | 灰黄褐 | 粗 | ◎○ | As-B 混土層（As-B 50%） |
| 3 | にぶい黄褐 | 細 | ○○ | As-B 混土層（As-B 50%） |
| 4 | 暗褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 20% |
| 5 | 暗褐 | 細 | ◎○ | As-C 5％ |
| 6 | 暗褐 | 細 | ◎○ | As-C 2％、黄橙色ブロック（φ2mm）1%、南側に黄橙色粒多い |
| 7 | 黒褐 | 微 | ◎○ | 黄橙色粒10%、黄橙色ブロック（φ2mm）1% |
| 8 | 黒褐 | 微 | ○○ | As-C 1％ |
| 9 | 褐 | 細 | ◎○ | 砂質ブロック有り |

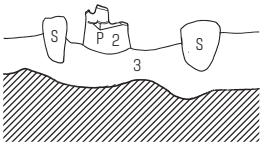
Fig.17　4区 Ｊ－２～４号住居跡

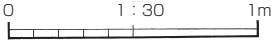



4区　H－1号住居跡　東西ベルトセクション

1　褐　粗　○○　As-C・Hr-FP 5％、黄橙色粒 1％
2　褐　粗　○△　As-C・Hr-FP 1％
3　にぶい黄褐　粗　○○　As-C・Hr-FP 10%、黄橙色粒 2％
4　灰黄褐　細　○◎　As-C・Hr-FP 50%、黄橙色粒 1％
5　暗褐　細　○◎　As-C・Hr-FP 20%、黄橙色粒 1％
6　黒褐　微　○◎　As-C・Hr-FP 10%、黄橙色ブロック（φ10mm）5％、炭化物 10%
7　灰黄褐　粗　△△　上部に As-C・Hr-FP 2％、下部に黄橙色ブロック（φ2mm）2％
8　暗褐　細　△◎　上部に As-C・Hr-FP 1％、
下部に黄橙色ブロック（φ2mm）5％
焼土ブロック（φ2mm）2％
9　にぶい黄褐　細　△○　As-C・Hr-FP 2％、黄橙色ブロック（φ5mm）1%、焼土粒 2％

4区　H－1号住居跡　南北壁セクション

1　現耕作土
2　にぶい黄褐　細　○○　As-C・Hr-FP 2％、黄橙色粒 1％
3　灰黄褐　細　○◎　As-C・Hr-FP 50%、黄橙色粒 1％
4　暗褐　細　○◎　As-C・Hr-FP 20%、黄橙色粒 1％
5　暗褐　細　○○　As-C 5％
6　黒褐　微　○◎　As-C・Hr-FP 10%、黄橙色ブロック（φ10mm）5%、
炭化物 10%
7　暗褐　微　○◎　黄橙色ブロック（φ2mm）1％、炭化物 2％
8　暗褐　微　○◎　砂質ブロック（φ5mm）10%、焼土粒 5％

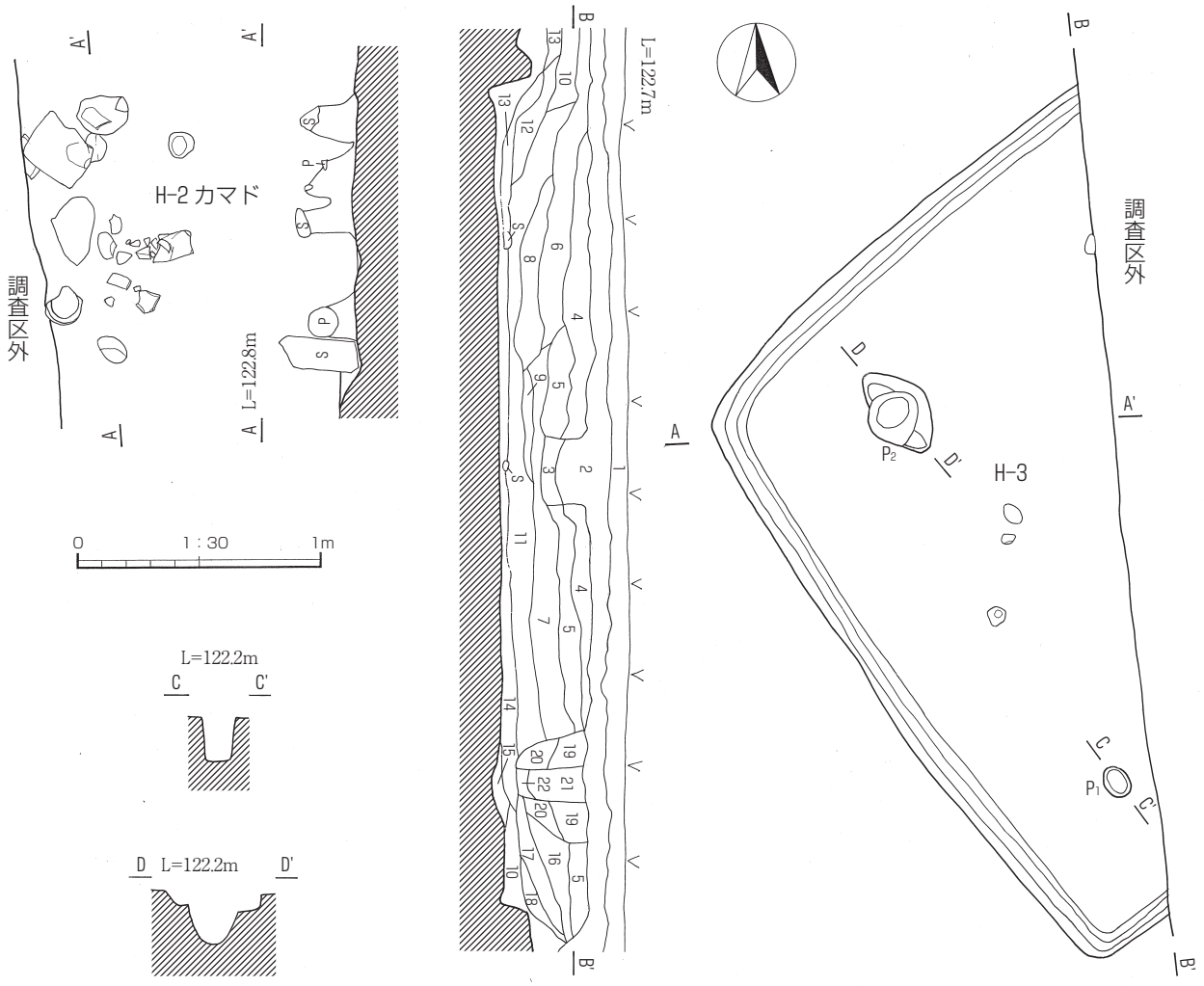
4区　H－1号住居跡　竈セクション

1　黒褐　微　◎○　As-C・Hr-FP 2％、焼土ブロック 10%、焼土粒 2％
2　褐　微　○○　As-C・Hr-FP 1％、焼土ブロック 50%、黄橙色ブロック 2％
3　灰褐　微　◎○　焼土ブロック（φ5mm）5％、黄橙色ブロック（φ5mm）10%
4　暗褐　微　○○　黄橙色ブロック（φ5mm）2％

4区　H－1号住居跡柱穴計測表

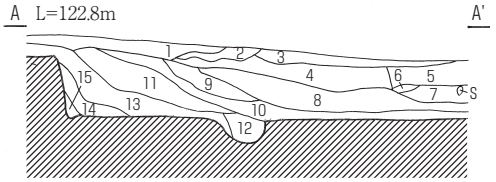
| No. | 形　状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| $P_1$ | 円　形 | 33 | 27 | 35 | |
| $P_2$ | 円　形 | 32 | 28 | 33 | |
| $P_5$ | 楕円形 | 105 | 90 | 57 | 貯蔵穴 |

Fig.18　4区 H－1号住居跡




4区　H－3号住居跡柱穴計測表

| No. | 形　状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| $P_1$ | 楕円形 | 23 | 19 | 36 | |
| $P_2$ | 円　形 | 46 | 42 | 33 | |



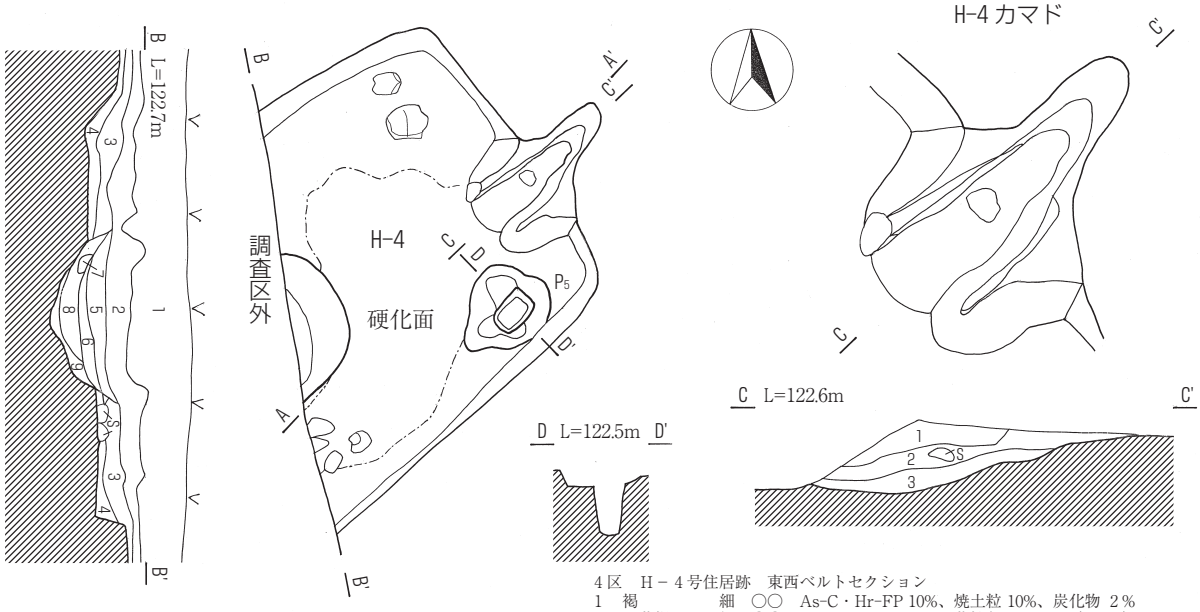

4区　H－3号住居跡　D－6号土坑南北壁セクション

1　現耕作土
2　灰黄褐　粗　◎○　As-B 混土層（As-B 50%）
3　にぶい黄褐　粗　△○　As-B 混土層（As-B 50%）
4　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 20%、黄橙色粒 2％
5　褐　細　△○　As-C・Hr-FP 15%、黄橙色粒 1％
　中央底部に黄橙色ブロック（φ5mm）有り
6　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10%、黄橙色粒 5％
7　褐　細　◎○　As-C・Hr-FP 5％、黄橙色ブロック（φ5mm）2％
8　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％、炭化物 2％
　黄橙色ブロック（φ10mm）底部に有り
9　暗褐　細　○○　As-C 5％
10　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％
11　黒褐　微　○○　As-C 2％黄橙色粒 5％、
　黄橙色ブロック（φ5mm）中央部に有り
　両側に灰白色ブロック（φ5mm）有り
12　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 左上部に 2％、
　黄橙色ブロック（φ5mm）10%
　灰白色ブロック底部に有り
13　黒褐　微　○○　黄橙色粒 5％
14　黒褐　微　○○　黄橙色粒 2％黄橙色ブロック（φ5mm）1％
15　褐　微　◎○　地山に近い炭化物 1%
16　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 上部に 5％、
　砂質ブロック（φ10～20mm）20%（D－6）
17　暗褐　細　○○　黄橙色ブロック底部に有り、黄橙色粒1%（D－6）
18　黒褐　細　○○　黄橙色ブロック（φ2mm）2％（D－6）
19　灰黄褐　細　○○　As-C・Hr-FP 20%
20　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 1％、底部に黄橙色ブロック（φ5mm）有り
21　暗褐　細　△○　As-C・Hr-FP 20%、黄橙色ブロック（φ5～10mm）5%
22　黒褐　細　○○　As-C 2％

4区　H－3号住居跡　東西ベルトセクション

1　にぶい黄褐　細　○○　As-C・Hr-FP 2％、黄橙色ブロック（φ2mm）1％
2　褐　細　◎△　As-C・Hr-FP 10%
3　灰黄褐　粗　○△　As-C・Hr-FP 15%
4　褐　細　○△　As-C・Hr-FP 20% 黄橙色ブロック（φ5mm）2％
5　暗褐　細　○◎　As-C・Hr-FP 10%
6　灰黄褐　微　○○　As-C・Hr-FP 1％
7　暗褐　細　○◎　As-C・Hr-FP 2％、砂質ブロック（φ5mm）有り
8　褐　細　◎○　As-C・Hr-FP 10%、黄橙色ブロック（φ2mm）2％
9　黒褐　細　○◎　As-C 20%、砂質ブロック（φ10～20mm）上部に有り
10　灰黄褐　微　○○　As-C 10%、砂質ブロック（φ2mm）5％
11　にぶい黄褐　微　◎○　As-C・Hr-FP 20%、黄橙色ブロック（φ5mm）10%
12　暗褐　微　○◎　As-C 1％、黄橙色ブロック（φ2mm）20%
13　黒褐　微　○◎　As-C・Hr-FP 2％、中央底部に黒褐色土有り。
　砂質ブロック（φ10mm）10%
14　暗褐　微　△○　As-C・Hr-FP 1％、黄橙色粒 2％
　底部に黄橙色ブロック（φ5mm）10%
15　暗褐　微　△○　地山の崩れ。砂質ブロック 50%

Fig.19　4区 H－2・3号住居跡




4区　H－4号住居跡　東西ベルトセクション

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 10%、焼土粒 10%、炭化物 2％ |
| 2 | 灰黄褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 20%、黄橙色ブロック（φ5mm）2％<br>砂質ブロック（φ5mm）1% |
| 3 | 暗褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 10%、黄橙色ブロック（φ10mm）5％ |
| 4 | 明赤褐 | 細 | ◎◎ | As-C・Hr-FP 5％、砂質ブロック 50% |
| 5 | 暗褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 5％、黄橙色ブロック（φ2mm）2％、<br>焼土粒 1％ |
| 6 | にぶい黄褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 2％、中央部に砂質ブロック有り |
| 7 | 灰黄褐 | 微 | △○ | 底部近くに砂質ブロック有り |

4区　H－4号住居跡　南北壁セクション

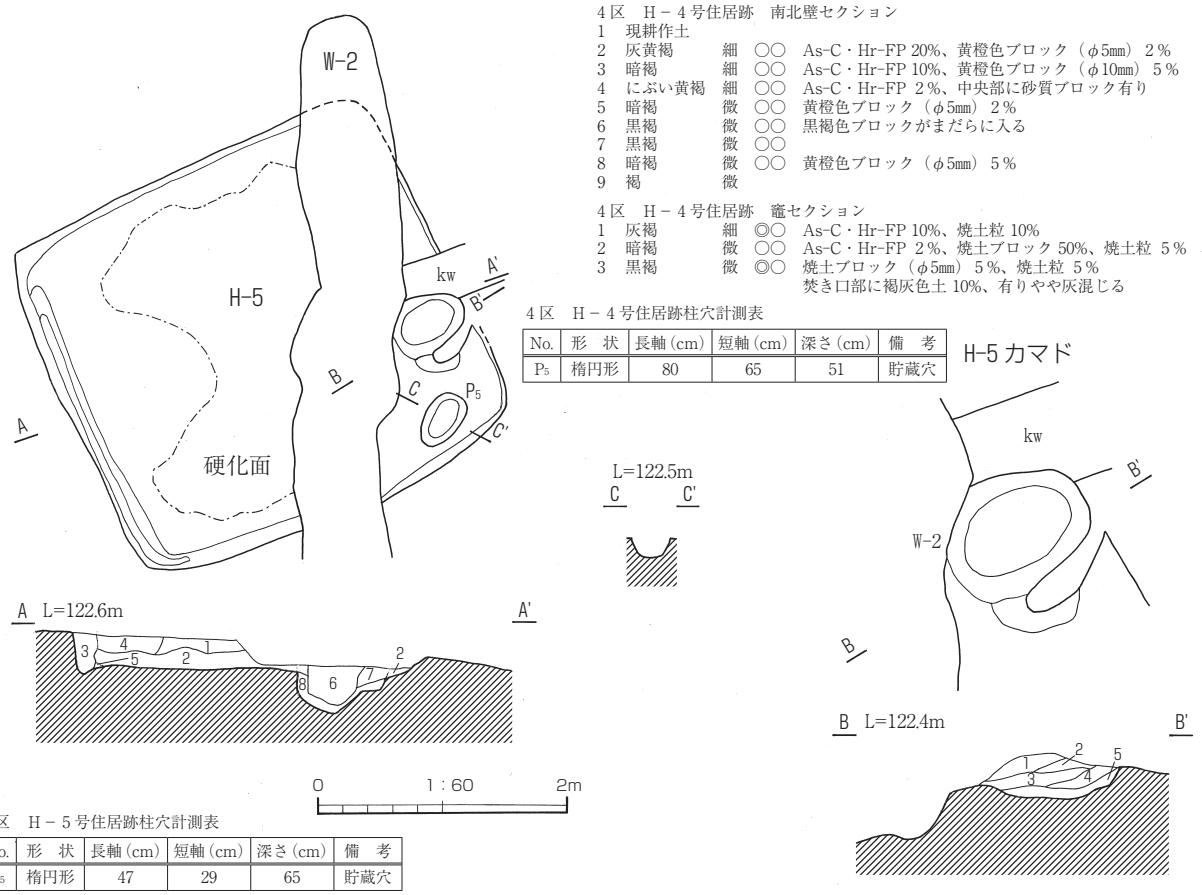
| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 現耕作土 | | | |
| 2 | 灰黄褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 20%、黄橙色ブロック（φ5mm）2％ |
| 3 | 暗褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 10%、黄橙色ブロック（φ10mm）5％ |
| 4 | にぶい黄褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 2％、中央部に砂質ブロック有り |
| 5 | 暗褐 | 微 | ○○ | 黄橙色ブロック（φ5mm）2％ |
| 6 | 黒褐 | 微 | ○○ | 黒褐色ブロックがまだらに入る |
| 7 | 黒褐 | 微 | ○○ | |
| 8 | 暗褐 | 微 | ○○ | 黄橙色ブロック（φ5mm）5％ |
| 9 | 褐 | 微 | | |

4区　H－4号住居跡　竈セクション

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 灰褐 | 細 | ◎○ | As-C・Hr-FP 10%、焼土粒 10% |
| 2 | 暗褐 | 微 | ○○ | As-C・Hr-FP 2％、焼土ブロック 50%、焼土粒 5％ |
| 3 | 黒褐 | 微 | ◎○ | 焼土ブロック（φ5mm）5％、焼土粒 5％<br>焚き口部に褐灰色土 10%、有りやや灰混じる |

4区　H－4号住居跡柱穴計測表

| No. | 形　状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| $P_5$ | 楕円形 | 80 | 65 | 51 | 貯蔵穴 |




4区　H－5号住居跡柱穴計測表

| No. | 形　状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| $P_5$ | 楕円形 | 47 | 29 | 65 | 貯蔵穴 |

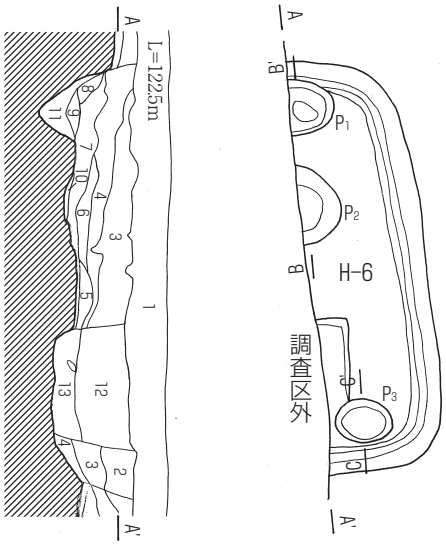
4区　H－5号住居跡　東西ベルトセクション

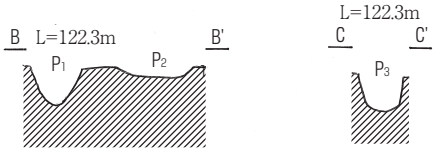
| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | にぶい黄褐 | 細 | ◎○ | As-C・Hr-FP 5％、黄橙色粒 1％ |
| 2 | 暗褐 | 微 | ◎○ | As-C・Hr-FP 10%、黄橙色ブロック（φ5～10mm）20% |
| 3 | 褐 | 細 | ○○ | As-C 5％、黄橙色粒 1％ |
| 4 | 灰黄褐 | 細 | ◎△ | As-C・Hr-FP 20%、黄橙色粒 2％<br>中央やや東に褐灰色粗砂層有り |
| 5 | にぶい黄褐 | 細 | △△ | As-C 2％ |
| 6 | にぶい黄褐 | 細 | ○○ | As-C 2％、下部に黄橙色ブロック（φ5mm）有り |
| 7 | 灰黄褐 | 細 | ◎○ | As-C・Hr-FP 2％ |
| 8 | 褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 1％、砂質ブロック 50% |

4区　H－5号住居跡　竈セクション

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 1％ |
| 2 | にぶい褐 | 微 | ○○ | 焼土ブロック 50% |
| 3 | 黒褐 | 微 | ○○ | 粘土ブロック（φ2mm）1％、焼土粒 5％ |
| 4 | 褐灰 | 微 | ○◎ | 焼土粒 2％ |
| 5 | 黒褐 | 微 | ○○ | 灰層 |

Fig.20　4区 H－4・5号住居跡



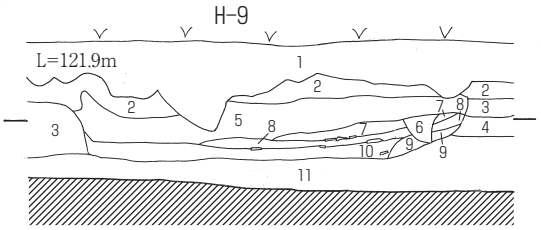



4区　H－6号住居跡柱穴計測表

| No. | 形　状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| $P_1$ | 楕円形 | 43 | 35 | 29 | |
| $P_2$ | 円　形 | 62 | 33 | 7 | |
| $P_3$ | 楕円形 | 45 | 36 | 33 | |

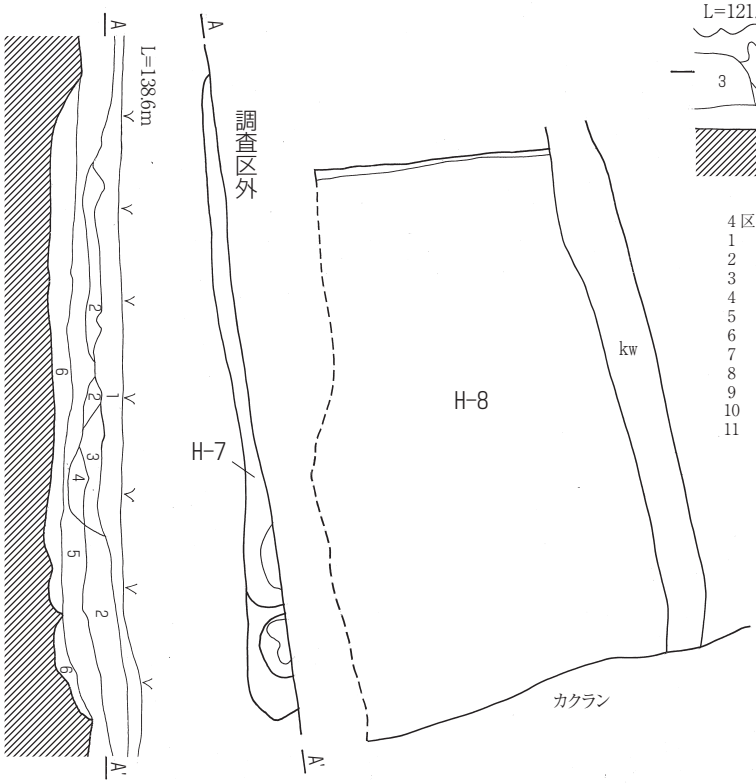
4区　H－6号住居跡　南北壁セクション

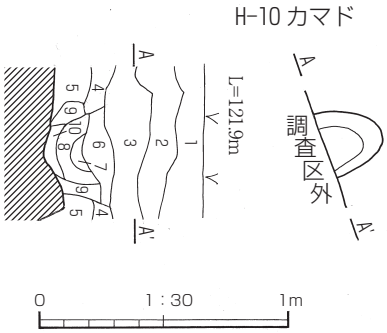
1　現耕作土
2　にぶい黄褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10%、黄橙色粒 15%
　　上部に砂質ブロック（φ5mm）有り
3　灰黄褐　細　○○　As-B 混土層
4　灰黄褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5%、黄橙色ブロック（φ3mm）1%
5　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 20%、黄橙色粒 1%、炭化物 2%、焼土粒 1%
6　にぶい黄褐　微　○○　砂質ブロック（φ5mm）20%
7　暗褐　細　△○　As-C・Hr-FP 5%、黄橙色ブロック（φ5mm）10%、黒褐色土 5%
8　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 1%、中央部に砂質ブロック（φ2mm）有り
　　両側に黒褐色土 10%
9　黒褐　微　◎○　As-C・Hr-FP 2%、黄橙色粒 2%
10　褐灰　粗　△△　As-C・Hr-FP 1%、底部に黒褐色土有り
　　上部に黄橙色ブロック（φ5mm）有り
11　黒褐　細　△△　上部に As-C・Hr-FP 2%、黄橙色粒 1%
12　黒褐　微　○○
13　黒褐　微　△○　上部に褐灰色土有り




4区　H－9号住居跡　南北壁セクション

1　現耕作土
2　灰黄褐　粗　○○　As-B 混土層（As-B 20%）
3　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 20%
4　黒褐　微　○○　As-C・Hr-FP 20%、黄橙色粒 5%
5　暗褐　細　△○　As-C・Hr-FP 20%、底部にやや炭化物有り
6　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10%、焼土粒 5%
7　黒褐　細　◎○　粘土ブロック（φ5mm）有り。黄橙色粒 5%
8　暗褐　微　○○　黄橙色粒 2%、炭化物有り
9　黒褐　微　○○　黄橙色ブロック有り
10　暗褐　微　○○　As-C・Hr-FP 5%
11　黒褐　微　○○　黄橙色粒 5%、総社砂層への漸移層



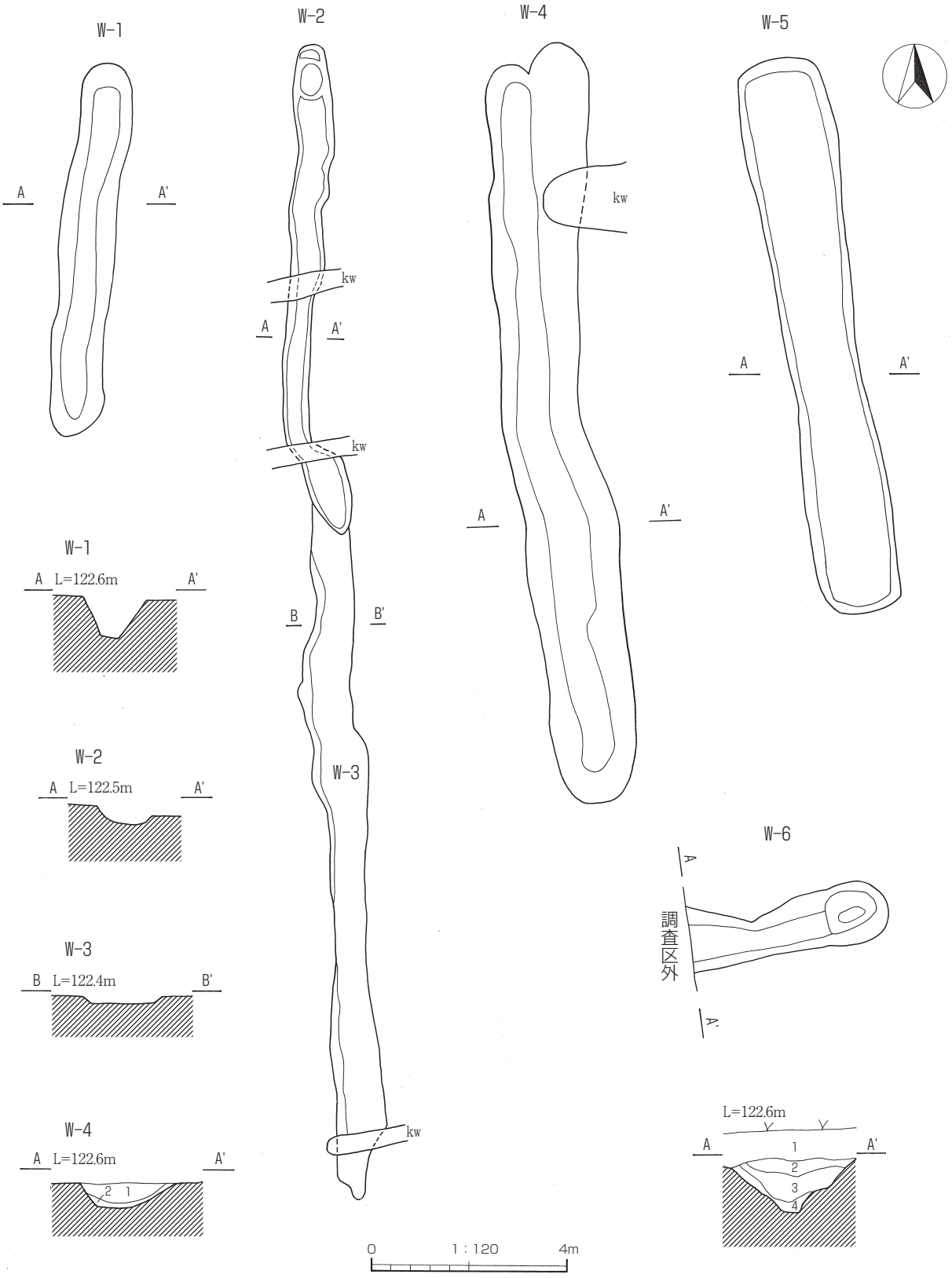

4区　H－7号住居跡　南北壁セクション

1　現耕作土
2　にぶい黄褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10%、黄橙色粒 5%
3　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 15%、黄橙色ブロック（φ2～5mm）5%
4　灰黄褐　細　○○　As-C・Hr-FP 2%、焼土粒 1%、
　　上部に黄橙色ブロック（φ5mm）有り
5　暗褐　細　△○　As-C・Hr-FP 2%、黄橙色粒 5%、
　　黄橙色ブロック（φ5mm）2%
6　暗褐　細　○○　底部は地山に近い砂質、ブロック有り

4区　H－10号住居跡　竈セクション

1　現耕作土
2　灰黄褐　粗　○○　As-B 混土層（As-B 20%）
3　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 20%
4　暗褐　細　◎○　As-C・Hr-FP 15%
5　暗褐　微　○○　上部は As-C・Hr-FP の混じりやや有り。
　　中・底部に黄橙色粒やや有り。総社砂層への漸移層
6　暗褐　細　◎○　As-C・Hr-FP 15%、粘土ブロック（φ5mm）5%
7　にぶい黄褐　微　○○　西側に黄橙色ブロック（φ5mm）
8　褐　微　△○　焼土ブロック 50%、竈天井部か
9　褐　微　○○　粘土ブロック（φ5～20mm）50%
10　にぶい黄褐　微　○○　底部にやや灰が混じる。
　　粘土ブロック（φ5～10mm）5%

Fig.21　4区 H－6～10号住居跡

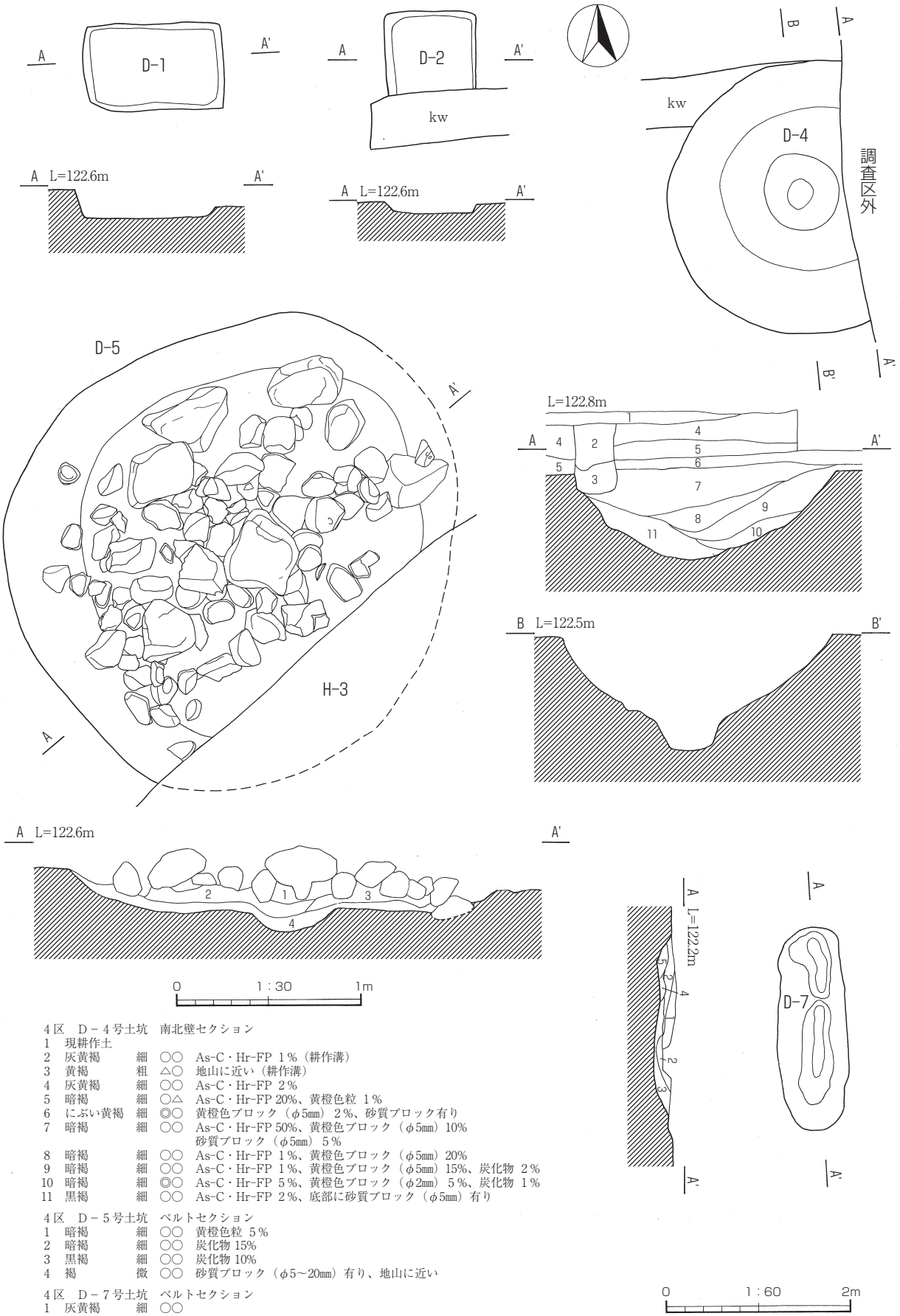



4区　W－4号溝跡セクション
1　にぶい黄褐　細　◎○　As-C・Hr-FP 10%
2　暗褐　細　○○

4区　W－5号溝跡セクション
1　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5%

4区　W－6号溝跡セクション
1　現耕作土
2　灰黄褐　粗　○○　As-B混土層（As-B 50%）
3　褐灰　粗　○△　As-B混土層（As-B 50%）
4　暗褐　細　○△　As-C・Hr-FP 1%

Fig.22　4区 W－1～6号溝跡




4区　D－4号土坑　南北壁セクション

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 現耕作土 | | | |
| 2 | 灰黄褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 1％（耕作溝） |
| 3 | 黄褐 | 粗 | △○ | 地山に近い（耕作溝） |
| 4 | 灰黄褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 2％ |
| 5 | 暗褐 | 細 | ○△ | As-C・Hr-FP 20%、黄橙色粒 1％ |
| 6 | にぶい黄褐 | 細 | ◎○ | 黄橙色ブロック（φ5㎜）2％、砂質ブロック有り |
| 7 | 暗褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 50%、黄橙色ブロック（φ5㎜）10%<br>砂質ブロック（φ5㎜）5％ |
| 8 | 暗褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 1％、黄橙色ブロック（φ5㎜）20% |
| 9 | 暗褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 1％、黄橙色ブロック（φ5㎜）15%、炭化物 2％ |
| 10 | 暗褐 | 細 | ◎○ | As-C・Hr-FP 5％、黄橙色ブロック（φ2㎜）5％、炭化物 1％ |
| 11 | 黒褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 2％、底部に砂質ブロック（φ5㎜）有り |

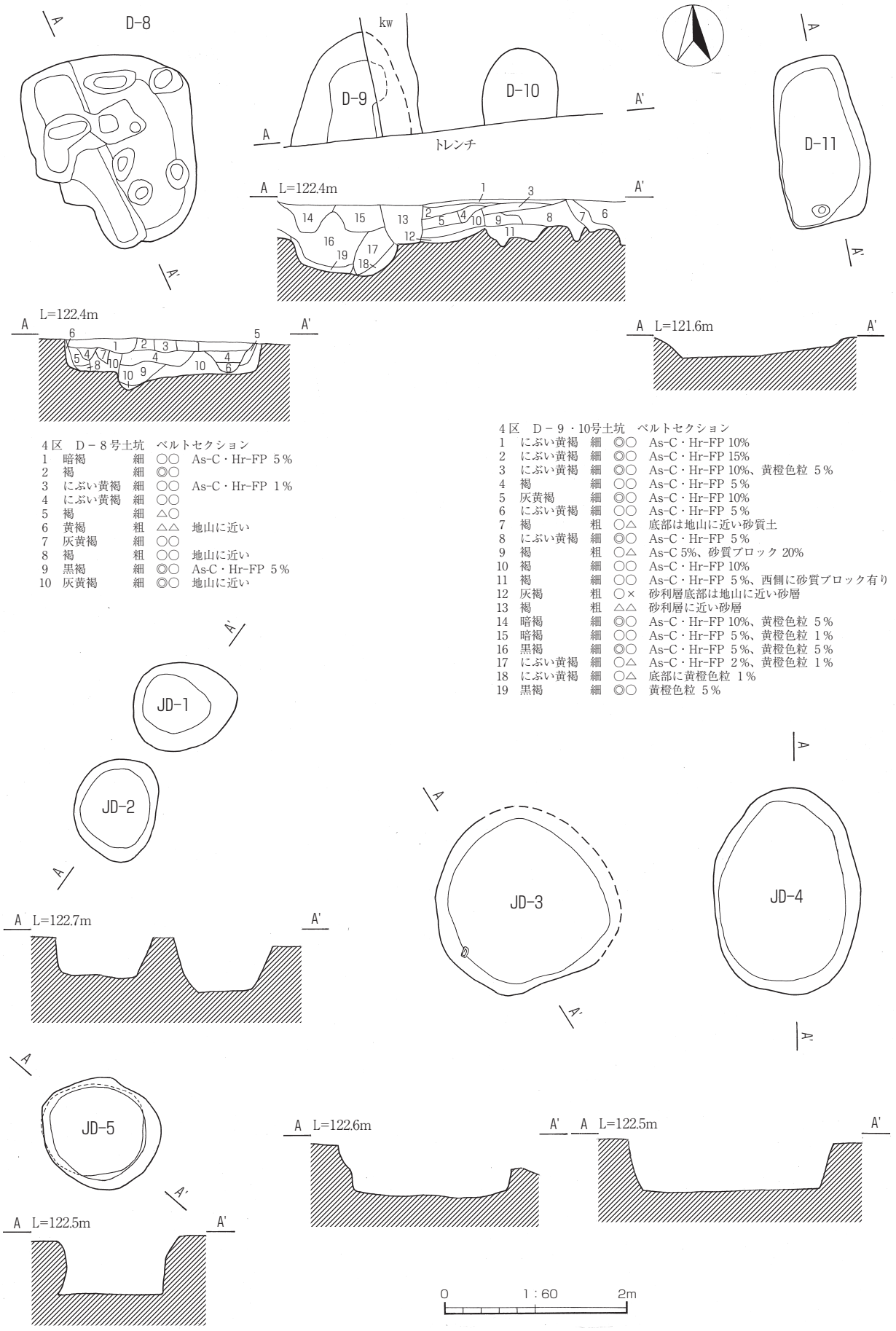
4区　D－5号土坑　ベルトセクション

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 暗褐 | 細 | ○○ | 黄橙色粒 5％ |
| 2 | 暗褐 | 細 | ○○ | 炭化物 15% |
| 3 | 黒褐 | 細 | ○○ | 炭化物 10% |
| 4 | 褐 | 微 | ○○ | 砂質ブロック（φ5～20㎜）有り、地山に近い |

4区　D－7号土坑　ベルトセクション

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 灰黄褐 | 細 | ○○ | |
| 2 | にぶい黄褐 | 微 | ○○ | |
| 3 | にぶい黄褐 | 微 | ○○ | 砂質ブロック（φ5㎜）20% |
| 4 | にぶい黄褐 | 微 | ○○ | 中央部に砂質ブロック有り |
| 5 | 黒褐 | 微 | ○○ | 砂質ブロック（φ5㎜）20% |

Fig.23　4区 D－1・2・4・5・7号土坑



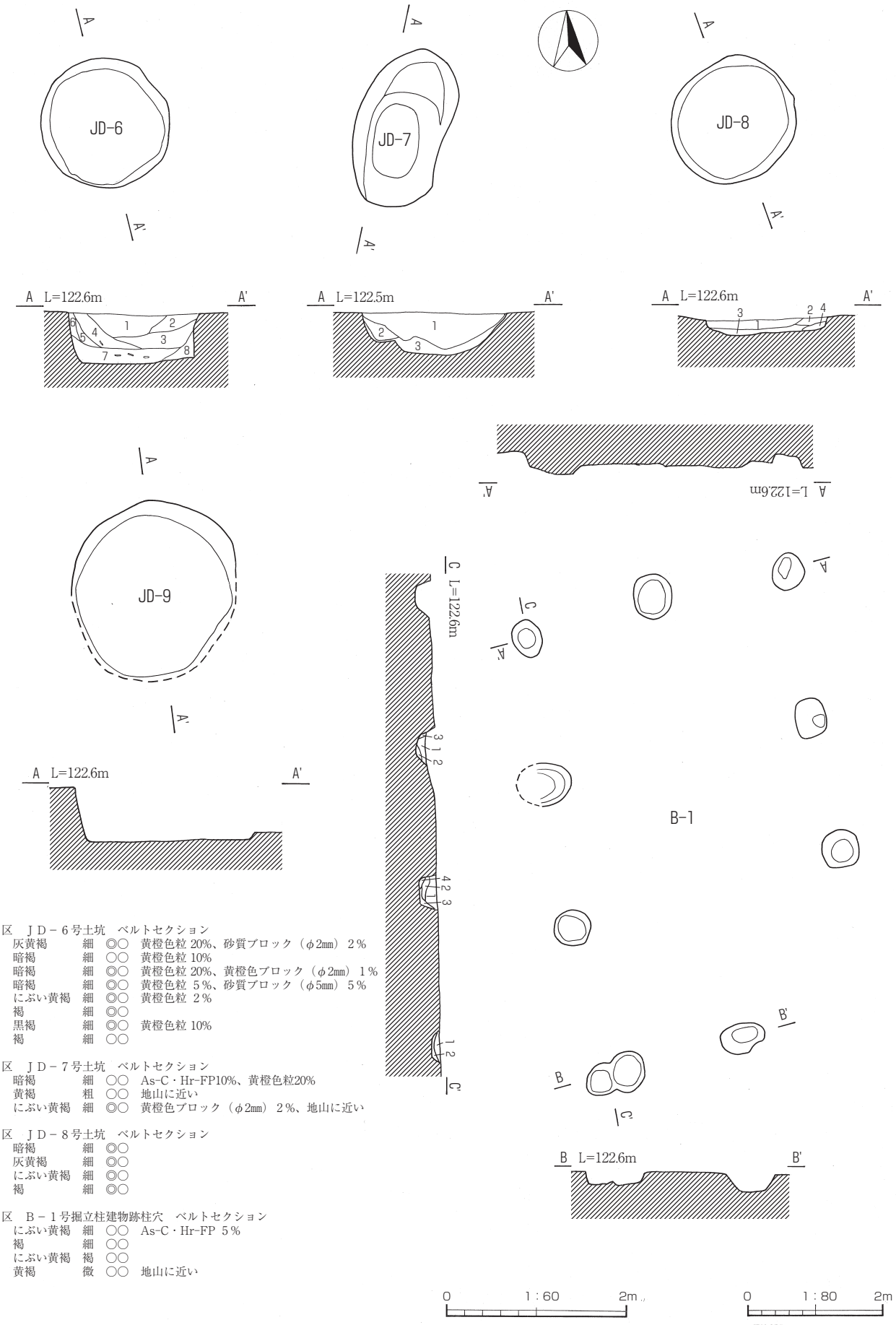

4区　D－8号土坑　ベルトセクション

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 暗褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 5％ |
| 2 | 褐 | 細 | ◎○ | |
| 3 | にぶい黄褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 1％ |
| 4 | にぶい黄褐 | 細 | ○○ | |
| 5 | 褐 | 細 | △○ | |
| 6 | 黄褐 | 粗 | △△ | 地山に近い |
| 7 | 灰黄褐 | 細 | ○○ | |
| 8 | 褐 | 粗 | ○○ | 地山に近い |
| 9 | 黒褐 | 細 | ◎○ | As-C・Hr-FP 5％ |
| 10 | 灰黄褐 | 細 | ◎○ | 地山に近い |

4区　D－9・10号土坑　ベルトセクション

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | にぶい黄褐 | 細 | ◎○ | As-C・Hr-FP 10% |
| 2 | にぶい黄褐 | 細 | ◎○ | As-C・Hr-FP 15% |
| 3 | にぶい黄褐 | 細 | ◎○ | As-C・Hr-FP 10%、黄橙色粒 5％ |
| 4 | 褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 5％ |
| 5 | 灰黄褐 | 細 | ◎○ | As-C・Hr-FP 10% |
| 6 | にぶい黄褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 5％ |
| 7 | 褐 | 粗 | ○△ | 底部は地山に近い砂質土 |
| 8 | にぶい黄褐 | 細 | ◎○ | As-C・Hr-FP 5％ |
| 9 | 褐 | 粗 | ○△ | As-C 5%、砂質ブロック 20% |
| 10 | 褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 10% |
| 11 | 褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 5％、西側に砂質ブロック有り |
| 12 | 灰褐 | 粗 | ○× | 砂利層底部は地山に近い砂層 |
| 13 | 褐 | 粗 | △△ | 砂利層に近い砂層 |
| 14 | 暗褐 | 細 | ◎○ | As-C・Hr-FP 10%、黄橙色粒 5％ |
| 15 | 暗褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 5％、黄橙色粒 1％ |
| 16 | 黒褐 | 細 | ◎○ | As-C・Hr-FP 5％、黄橙色粒 5％ |
| 17 | にぶい黄褐 | 細 | ○△ | As-C・Hr-FP 2％、黄橙色粒 1％ |
| 18 | にぶい黄褐 | 細 | ○△ | 底部に黄橙色粒 1％ |
| 19 | 黒褐 | 細 | ◎○ | 黄橙色粒 5％ |

Fig.24　4区 D－8～11、JD－1～4号土坑



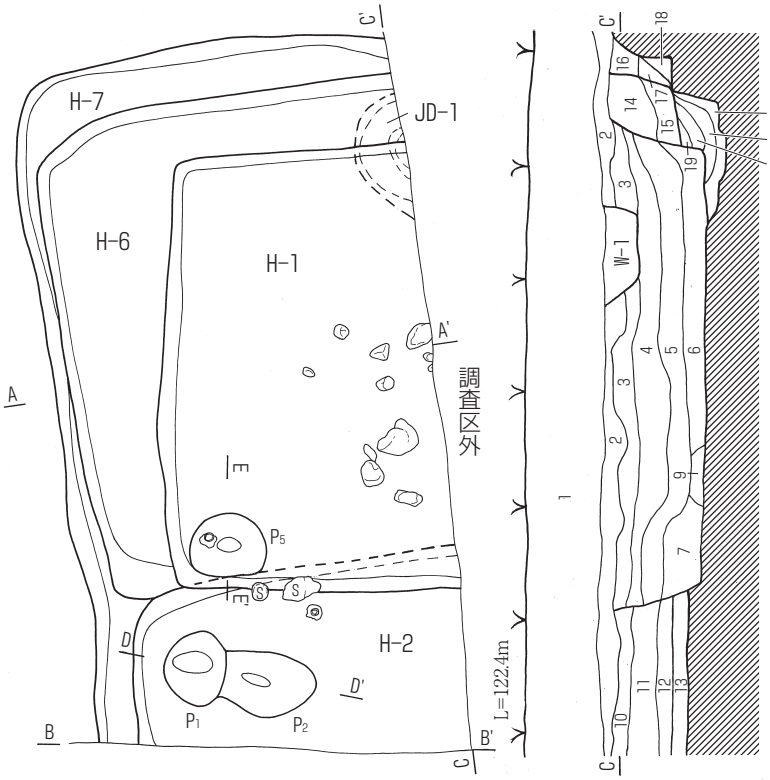

4区　ＪＤ－６号土坑　ベルトセクション
1　灰黄褐　細　◎○　黄橙色粒 20%、砂質ブロック（φ2mm）２％
2　暗褐　細　○○　黄橙色粒 10%
3　暗褐　細　◎○　黄橙色粒 20%、黄橙色ブロック（φ2mm）１％
4　暗褐　細　◎○　黄橙色粒 ５％、砂質ブロック（φ5mm）５％
5　にぶい黄褐　細　◎○　黄橙色粒 ２％
6　褐　細　◎○
7　黒褐　細　◎○　黄橙色粒 10%
8　褐　細　○○

4区　ＪＤ－７号土坑　ベルトセクション
1　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP10%、黄橙色粒20%
2　黄褐　粗　○○　地山に近い
3　にぶい黄褐　細　◎○　黄橙色ブロック（φ2mm）２％、地山に近い

4区　ＪＤ－８号土坑　ベルトセクション
1　暗褐　細　◎○
2　灰黄褐　細　◎○
3　にぶい黄褐　細　◎○
4　褐　細　◎○

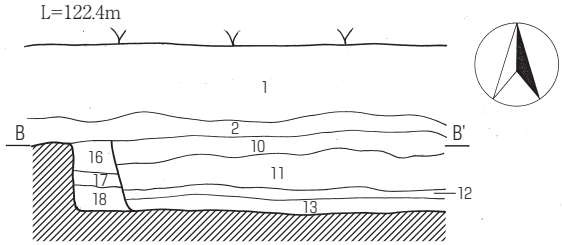
4区　Ｂ－１号掘立柱建物跡柱穴　ベルトセクション
1　にぶい黄褐　細　○○　As-C・Hr-FP ５％
2　褐　細　○○
3　にぶい黄褐　褐　○○
4　黄褐　微　○○　地山に近い

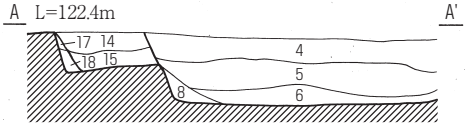
Fig.25　4区 ＪＤ－６・９号土坑、Ｂ－１掘立柱建物跡

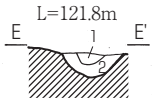



5区　H－1・2・6・7号住居跡、
　　ＪＤ－1号土坑　ベルトセクション

1　現耕作土
2　黒褐　粗　○×　As-B 混土層
3　黒褐　粗　○△　As-C・Hr-FP 7％（H－1）
4　黒褐　細　○△　As-C・Hr-FP 3％、黄橙色ブロック（φ10～60㎜）3％、炭化物 1％（H－1）
5　暗褐　細　○○　As-C 2％、黄橙色ブロック（φ10～30㎜）5％、黄橙色粒 3％、炭化物 1％（H－1）
6　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 1％、黄橙色ブロック（φ10～30㎜）3％、黄橙色粒 1％（H－1）
7　暗褐　細　○△　黄橙色ブロック（φ10～30㎜）5％（H－1）
8　黒褐　微　○○　黄橙色粒 2％（H－1）
9　黒褐　微　○○　灰 10％、にぶい褐色粘土 5％（H－1）
10　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％、黄橙色ブロック（φ10㎜）1％（H－2）
11　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％、黄橙色ブロック（φ20～40㎜）2％（H－2）
12　暗褐　細　○◎　As-C・Hr-FP 2％、炭化物 3％、黄橙色粒 3％（H－2）
13　黒褐　細　◎◎　As-C・Hr-FP 1％、黄橙色粒 3％、黄橙色ブロック（φ10～15㎜）2％、貼床面（H－2）
14　黒褐　細　○△　As-C・Hr-FP 3％、炭化物 1％、黄橙色粒 1％（H－6）
15　黒褐　細　○△　As-C・Hr-FP 1％、炭化物 1％、黄橙色粒 1％（H－6）
16　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10％（H－7）
17　黒　微　○◎　As-C・Hr-FP 1％、黄橙色粒 7％（H－7）
18　黒　微　○◎　黄橙色粒 3％、黄橙色ブロック（φ10㎜）1％（H－7）
19　黒褐　微　○◎　橙色軽石 7％（ＪＤ－1）
20　黒褐　微　○◎　橙色軽石 5％（ＪＤ－1）
21　黒褐　微　○◎　橙色軽石 3％（ＪＤ－1）
22　黒褐　微　◎◎　橙色軽石 2％（ＪＤ－1）



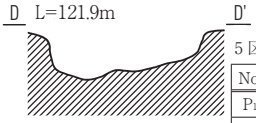




5区　H－1号住居跡柱穴計測表

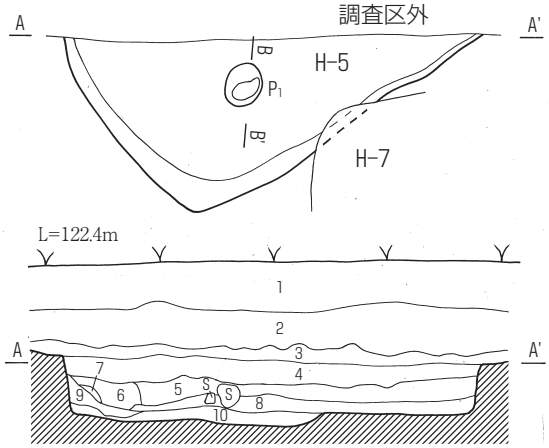
| No. | 形　状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| $P_5$ | 楕円形 | 60 | 50 | 23.0 | 貯蔵穴 |

5区　H－1号住居跡　P5号貯蔵穴セクション
1　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 1％、黄橙色ブロック（φ10㎜）1％
2　黒褐　細　○△　黄橙色粒 2％




5区　H－2号住居跡柱穴計測表

| No. | 形　状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| $P_1$ | 楕円形 | 60 | 48 | 37.0 | |
| $P_2$ | 楕円形 | (72) | 50 | 32.0 | |



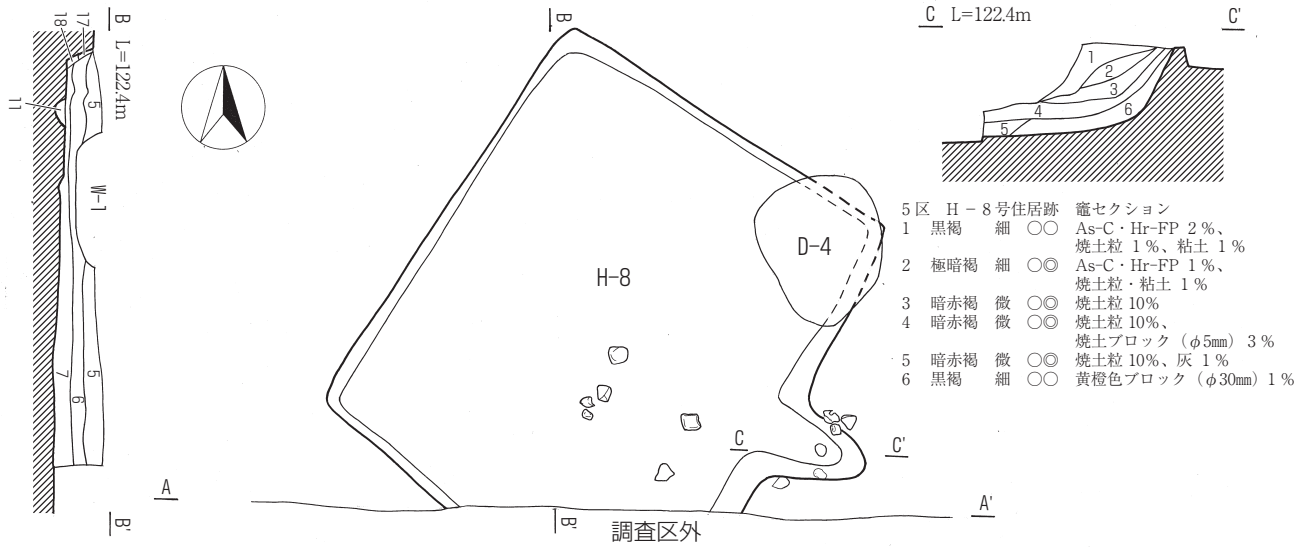

5区　H－5号住居跡　北壁セクション
1　現耕作土
2　黒褐　粗　○×　As-B 混土層
3　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 7％、黄橙色粒 1％
4　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％、黄橙色粒 2％、黄橙色ブロック（φ10～30㎜）3％
5　黒褐　細　○◎　As-C・Hr-FP 3％、黄橙色粒 1％、黄橙色ブロック（φ10㎜）1％
6　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 2％、黄橙色ブロック（φ10㎜）1％、炭化物 3％
7　黒　細　○◎　As-C・Hr-FP 1％、Hr-FA 30％
8　黒　微　◎○　As-C・Hr-FP 1％、黄橙色ブロック（φ10～30㎜）10％、黄橙色粒 3％
9　黒褐　微　◎○　As-C・Hr-FP 1％、黄橙色粒 1％、炭化物 1％
10　褐　微　◎◎　As-C・Hr-FP 1％、黄橙色粒 10％、黄橙色ブロック（φ10～30㎜）10％

5区　H－5号住居跡柱穴計測表

| No. | 形　状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| $P_1$ | 楕円形 | 38 | 30 | 34.0 | |

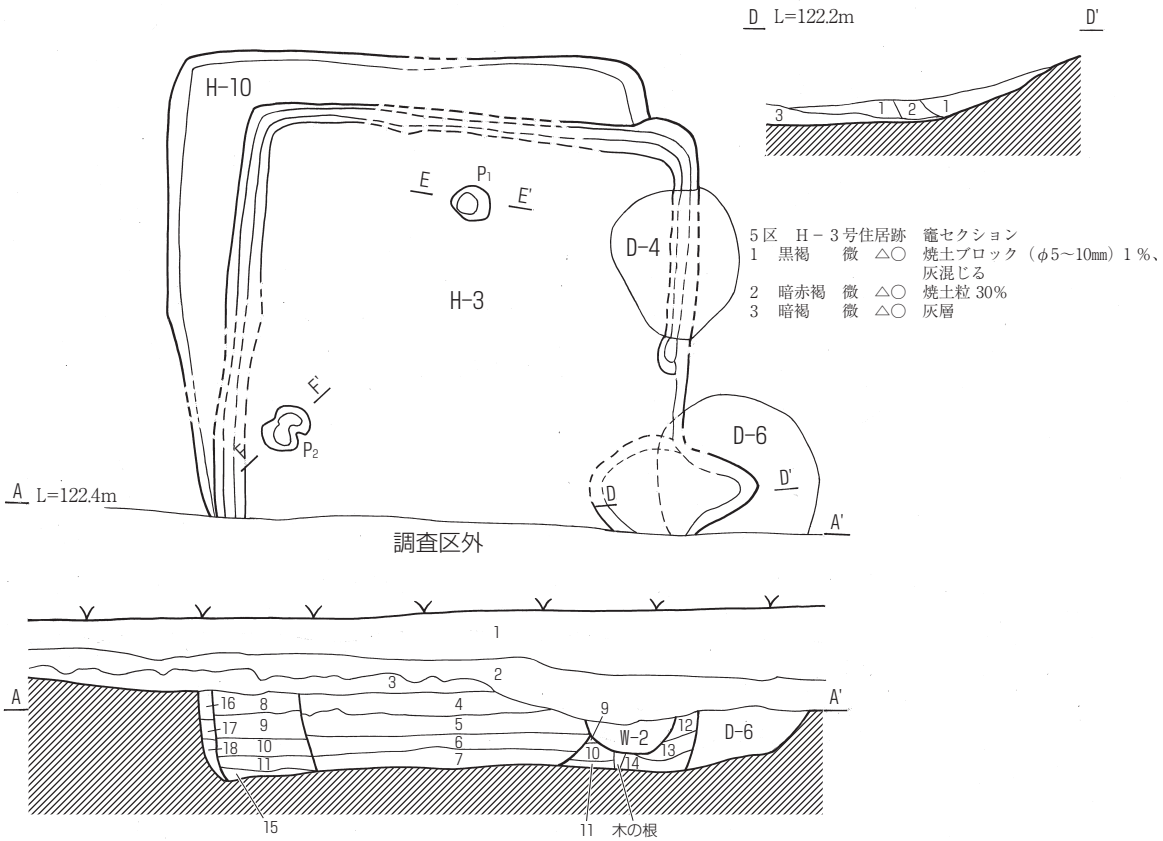
0　1：60　2m

Fig.26　5区 H－1・2・5～7号住居跡




5区　H－8号住居跡　竈セクション

1　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 2％、焼土粒 1％、粘土 1％
2　極暗褐　細　○◎　As-C・Hr-FP 1％、焼土粒・粘土 1％
3　暗赤褐　微　○◎　焼土粒 10％
4　暗赤褐　微　○◎　焼土粒 10％、焼土ブロック（φ5㎜）3％
5　暗赤褐　微　○◎　焼土粒 10％、灰 1％
6　黒褐　細　○○　黄橙色ブロック（φ30㎜）1％




5区　H－3号住居跡　竈セクション

1　黒褐　微　△○　焼土ブロック（φ5～10㎜）1％、灰混じる
2　暗赤褐　微　△○　焼土粒 30％
3　暗褐　微　△○　灰層

5区　H－3・8・10号住居跡　ベルトセクション

1　現耕作土
2　黒褐　粗　○△　As-B 混土層
3　黒褐　粗　○△　As-B 7％、As-C・Hr-FP 3％、炭化物 1％
4　黒褐　細　○△　As-C・Hr-FP 3％、炭化物 1％（H－8）
5　黒褐　細　○△　As-C・Hr-FP 5％、炭化物 1％、黄橙色粒 1％（H－8）
6　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 3％、黄橙色粒 1％（H－8）
7　黒褐　細　◎◎　As-C・Hr-FP 3％、黄橙色ブロック（φ10～20㎜）、貼床面（H－8）
8　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 7％、黄橙色粒 1％、黄橙色ブロック（φ10㎜）1％、凝灰岩（φ10㎜）1％（H－3）
9　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％、黄橙色ブロック（φ15㎜）1％、凝灰岩（φ20㎜）1％（H－3）
10　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 3％、黄橙色粒 1％、黄橙色ブロック（φ10㎜）1％、凝灰岩（φ20㎜）1％（H－3）
11　黒褐　細　○◎　As-C・Hr-FP 2％、黄橙色ブロック（φ10～25㎜）1％（H－3）
12　黒褐　細　○△　As-C・Hr-FP 1％（H－3）
13　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 1％、黄橙色ブロック（φ10㎜）1％（H－3）
14　暗褐　細　○◎　As-C・Hr-FP 1％、灰 10％、黄橙色粒 1％（H－3）
15　褐　微　○○　As-C・Hr-FP 1％、黄橙色粒 15％、黄橙色ブロック（φ15～20㎜）1％（H－3）
16　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 3％（H－10）
17　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 1％、黄橙色粒 10％（H－10）
18　暗褐　微　○○　As-C・Hr-FP 1％、黄橙色粒 5％、黄橙色ブロック（φ10～20㎜）3％（H－10）

5区　H－3号住居跡柱穴計測表

| No. | 形　状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| $P_1$ | 楕円形 | 32 | 28 | 11.0 | |
| $P_2$ | 不整形 | 40 | 20 | 6.0 | |

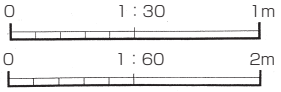
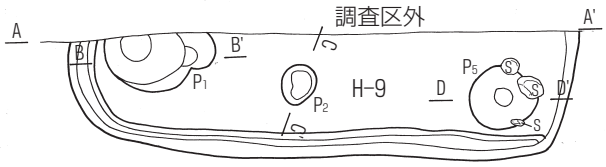
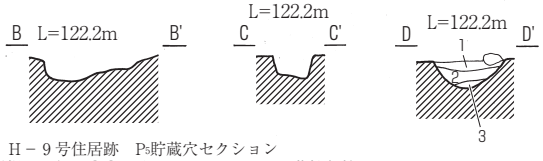
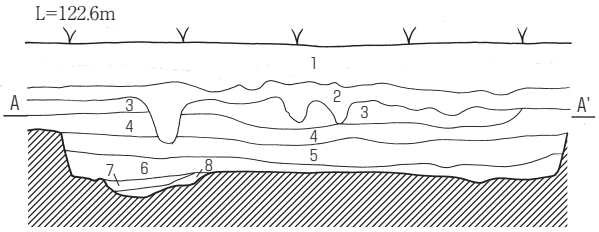



Fig.27　5区 H－3・8・10号住居跡



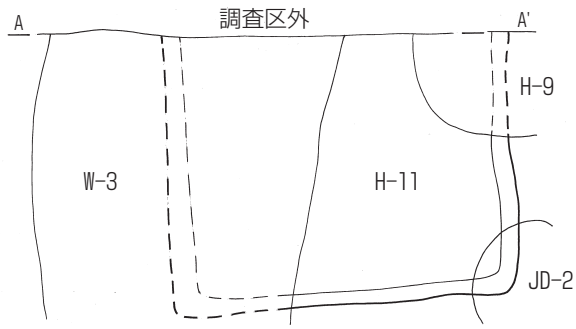

5区　H－9号住居跡　P5貯蔵穴セクション
1　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 3％、黄橙色粒 5％
2　暗赤褐　微　△○　As-C・Hr-FP 2％、焼土ブロック（φ5㎜）1％、焼土粒 5％、炭化物 1％、灰 15％
3　極暗褐　微　△○　As-C・Hr-FP 1％、黄橙色ブロック（φ5～10㎜）5％、黄橙色粒 3％

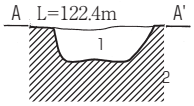


5区　H－9号住居跡柱穴計測表

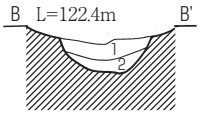
| No. | 形　状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| $P_1$ | 楕円形 | 88 | 30 | 20.0 | |
| $P_2$ | 楕円形 | 32 | 28 | 17.0 | |
| $P_5$ | 楕円形 | 50 | 50 | 20.0 | 貯蔵穴 |

5区　H－9号住居跡　北壁セクション
1　現耕作土
2　黒褐　粗　○×　As-B 混土層
3　黒褐　粗　○△　As-B 7％、As-C・Hr-FP 5％
4　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 7％、黄橙色ブロック（φ20㎜）10％
5　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 7％、黄橙色粒 3％、黄橙色ブロック（φ10～20㎜）3％
6　黒褐　細　○◎　As-C・Hr-FP 2％、黄橙色粒 5％、黄橙色ブロック（φ10～15㎜）3％
7　黒褐　細　○◎　As-C・Hr-FP 2％、黄橙色粒 5％、黄橙色ブロック（φ20㎜）1％（$P_1$）
8　黒褐　微　○◎　As-C・Hr-FP 1％、黄橙色粒 5％（$P_1$）

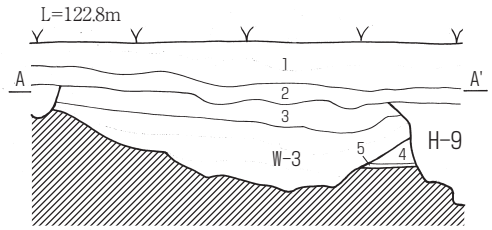


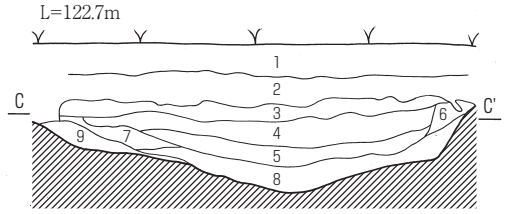

5区　W－1号溝　ベルトセクション
1　黒褐　粗　○×　As-B 40%



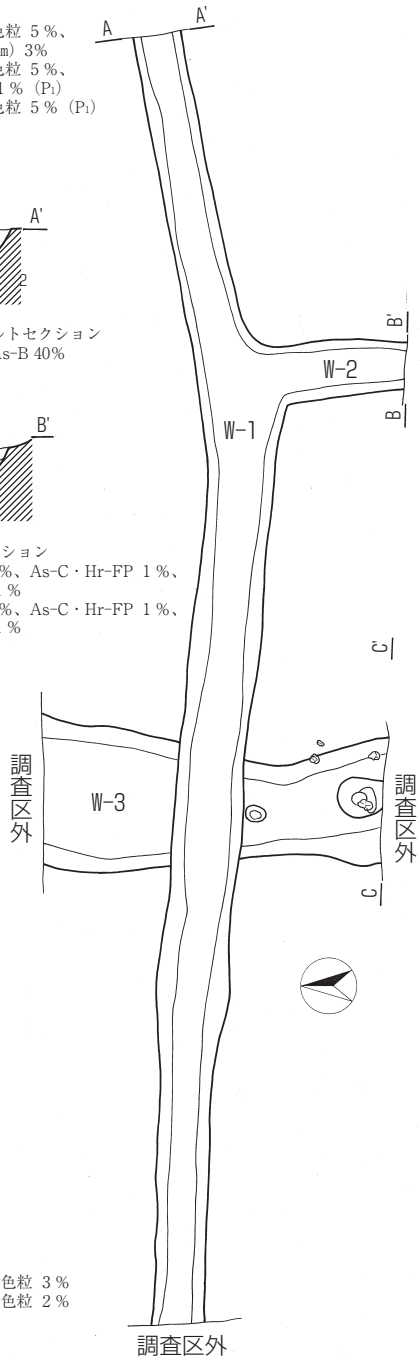

5区　W－2号溝　ベルトセクション
1　黒褐　粗　○△　As-B 30%、As-C・Hr-FP 1％、炭化物 1％
2　黒褐　粗　○△　As-B 25%、As-C・Hr-FP 1％、炭化物 1％




5区　H－11号住居跡　北壁セクション
1　現耕作土
2　黒褐　粗　○×　As-B 混土層
3　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 7％、黄橙色粒 1％
4　黒褐　細　○◎　As-C・Hr-FP 1％、Hr-FA 1％、黄橙色粒 2％、黄橙色ブロック（φ10㎜）1％
5　黒褐　細　◎◎　As-C・Hr-FP 1％、黄橙色粒 1％、貼床面



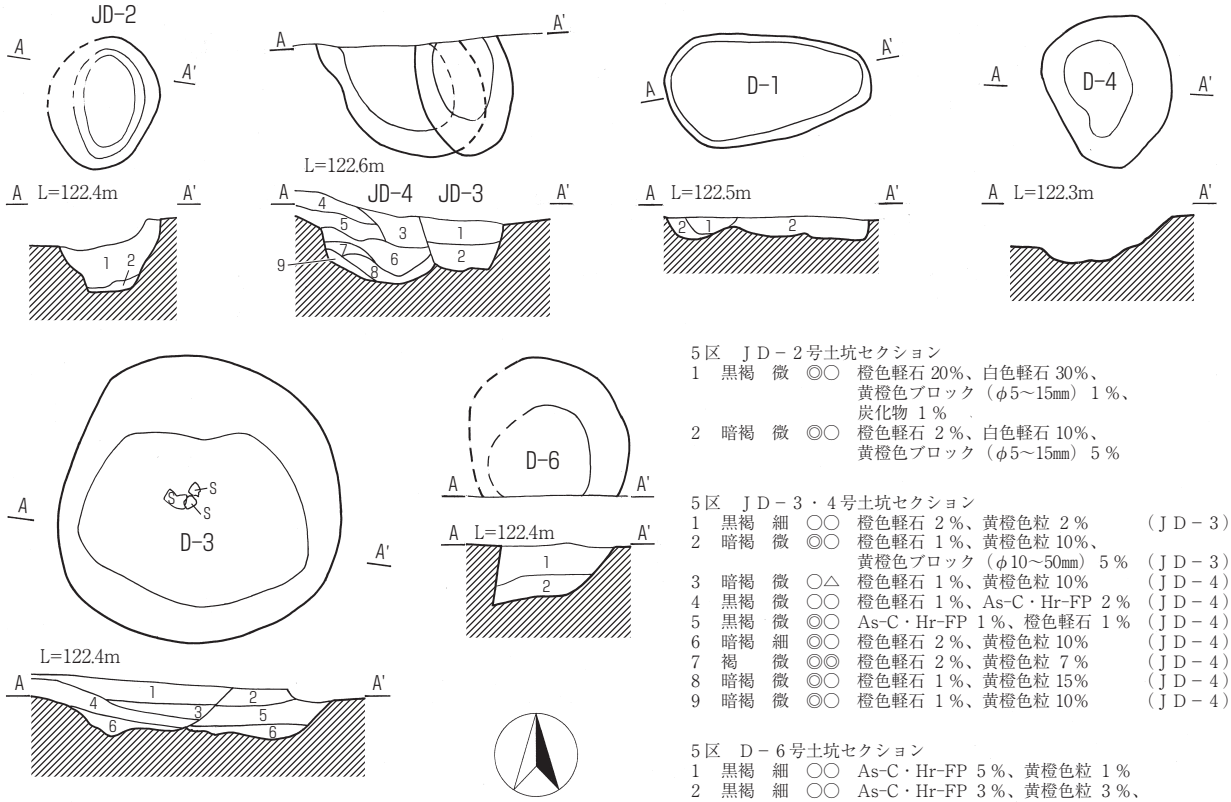

5区　W－3号溝　南壁セクション
1　現耕作土
2　暗褐　粗　○△　As-B 40%
3　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 3％
4　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 7％、黄橙色粒 2％
5　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％、黄橙色粒 2％
6　黒褐　粗　○△　As-B 20%
7　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 3％
8　暗褐　細　○◎　As-C・Hr-FP 3％、黄橙色粒 3％
9　黒褐　細　○◎　As-C・Hr-FP 3％、黄橙色粒 2％




0　1：60　2m

0　1：120　4m

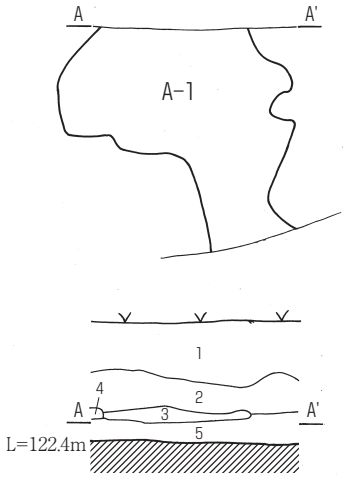
Fig.28　5区 H－9・11号住居跡、W－1～3号溝跡




5区　ＪＤ－２号土坑セクション
1　黒褐　微　◎○　橙色軽石 20%、白色軽石 30%、
　　黄橙色ブロック（φ5～15㎜）１%、
　　炭化物 １%
2　暗褐　微　◎○　橙色軽石 ２%、白色軽石 10%、
　　黄橙色ブロック（φ5～15㎜）５%

5区　ＪＤ－３・４号土坑セクション
1　黒褐　細　○○　橙色軽石 ２%、黄橙色粒 ２%　（ＪＤ－３）
2　暗褐　微　◎○　橙色軽石 １%、黄橙色粒 10%、
　　黄橙色ブロック（φ10～50㎜）５%　（ＪＤ－３）
3　暗褐　微　○△　橙色軽石 １%、黄橙色粒 10%　（ＪＤ－４）
4　黒褐　微　○○　橙色軽石 １%、As-C・Hr-FP ２%　（ＪＤ－４）
5　黒褐　微　◎○　As-C・Hr-FP １%、橙色軽石 １%　（ＪＤ－４）
6　暗褐　細　◎○　橙色軽石 ２%、黄橙色粒 10%　（ＪＤ－４）
7　褐　　微　◎◎　橙色軽石 ２%、黄橙色粒 ７%　（ＪＤ－４）
8　暗褐　微　◎○　橙色軽石 １%、黄橙色粒 15%　（ＪＤ－４）
9　暗褐　微　◎○　橙色軽石 １%、黄橙色粒 10%　（ＪＤ－４）

5区　Ｄ－６号土坑セクション
1　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP ５%、黄橙色粒 １%
2　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP ３%、黄橙色粒 ３%、
　　黄橙色ブロック（φ10～20㎜）３%




5区　Ｄ－１号土坑セクション
1　黒褐　細　△○　As-C・Hr-FP １%、黄橙色粒 ３%、
2　褐　　細　○○　As-C・Hr-FP １%、黄橙色粒 10%

5区　Ｄ－３号土坑セクション
1　黒褐　粗　○△　As-C・Hr-FP 40%、
　　黄橙色ブロック（φ10～20㎜）３%、黄橙色粒 ２%、
　　As-C・Hr-FP ２%
2　暗褐　粗　○△　As-B 40%、黄橙色ブロック（φ10～30㎜）３%、
　　黄橙色粒 ３%、As-C・Hr-FP ２%
3　黒褐　粗　○△　As-B 30%
4　黒褐　粗　○△　As-B 25%、黄橙色粒 ３%
5　暗褐　粗　○△　As-B 20%、黄橙色ブロック（φ10～50㎜）３%、
　　黄橙色粒 ３%
6　褐　　細　△○　黄橙色ブロック（φ5～50㎜）20%、
　　黄橙色粒 20%、As-B 含まず

5区　Ａ－１号道路状遺構セクション
1　現耕作土
2　黒褐　粗　○×　As-B 混土層
3　黒褐　細　◎◎　As-C・Hr-FP ７%、
　　黄橙色粒 ２%、硬化面
4　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP ７%、黄橙色粒 １%
5　暗褐　微　○○　As-C・Hr-FP １%、
　　黄橙色粒 ３%、漸移層

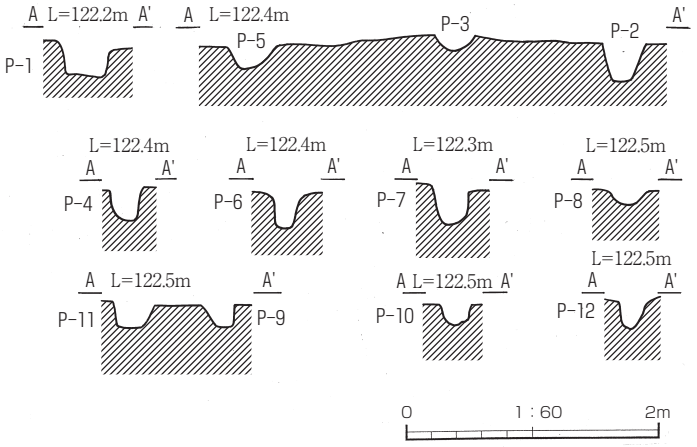
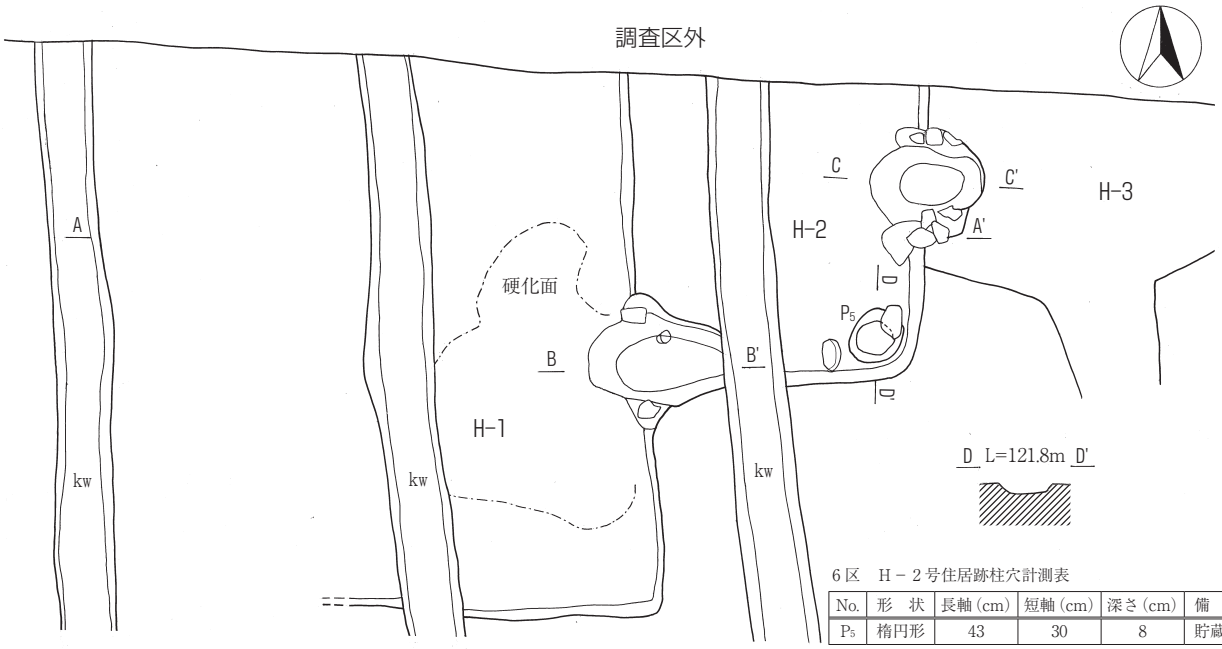
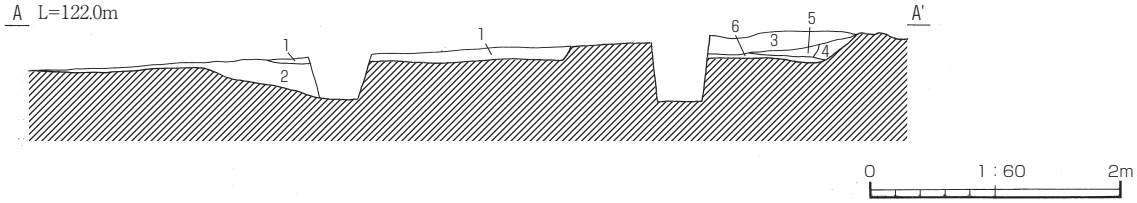


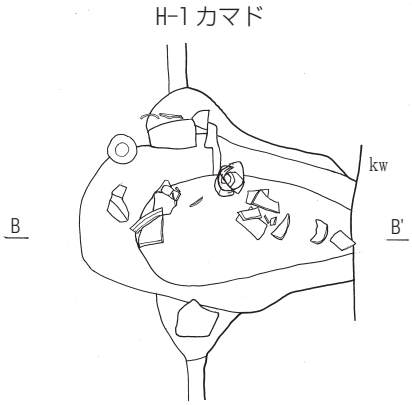

Fig.29　５区 ＪＤ－２～４号、Ｄ－１・３・４・５号土坑、Ａ－１号道路状遺構、Ｐ－１～12号ピット




6区　H－2号住居跡柱穴計測表

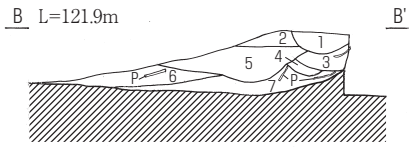
| No. | 形　状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| P5 | 楕円形 | 43 | 30 | 8 | 貯蔵穴 |

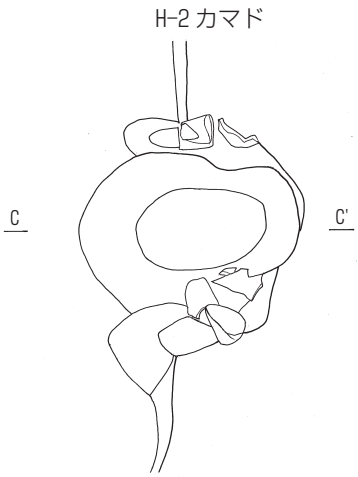


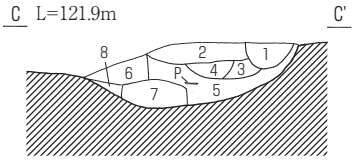



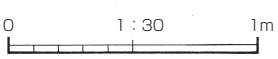

6区　H－1・2号住居跡東西ベルトセクション

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 暗褐 | 粗 | ◎○ | As-C・Hr-FP 2％ | (H－1) |
| 2 | 黒褐 | 微 | ◎○ | As-C・Hr-FP 20%、黄橙色粒 5％、粘土ブロック（φ5mm）2％ | (H－2) |
| 3 | にぶい黄褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 5％黄橙色粒 2％ | (H－2) |
| 4 | 暗褐 | 細 | ◎○ | As-C・Hr-FP 5％ | (H－2) |
| 5 | にぶい黄褐 | 細 | ○○ | 黄橙色粒 1％ | (H－2) |
| 6 | 暗褐 | 微 | ○○ | 焼土粒 2％ | (H－2) |



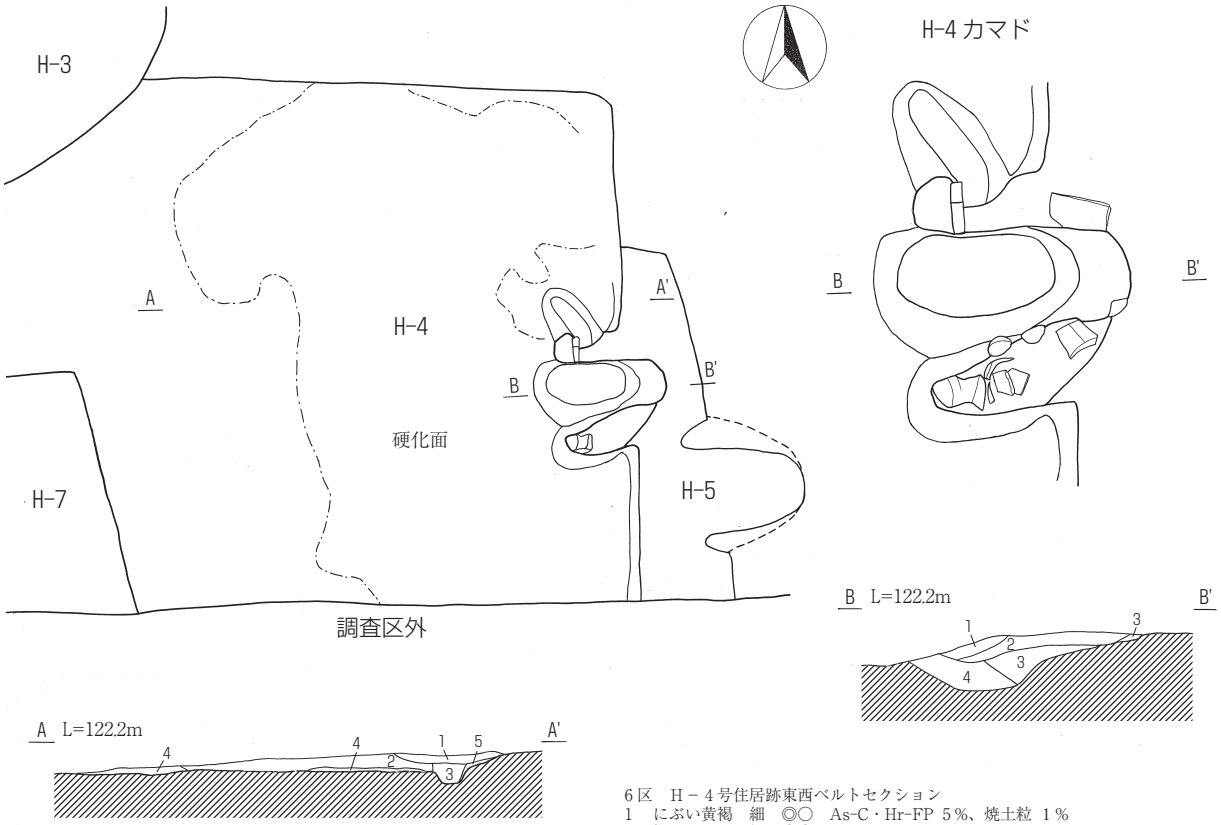

6区　H－1号住居跡竈セクション

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 5％、炭化粒 1％ |
| 2 | 暗褐 | 細 | ◎○ | As-C・Hr-FP 5％、焼土粒 5％ |
| 3 | 褐 | 細 | ○○ | 焼土ブロック（φ2mm）10% |
| 4 | 黒褐 | 細 | ○○ | 焼土粒 5％、やや灰混じる |
| 5 | 暗褐 | 細 | ○○ | 焼土粒 10%、底部に焼土ブロック（φ5mm）有り |
| 6 | 黒褐 | 微 | ◎○ | 焼土粒 2％、粘土ブロック 20%、やや灰混じる |
| 7 | 明赤褐 | 微 | ◎○ | 灰層粘土ブロック 20%、焼土粒 5％ |

6区　H－2号住居跡竈セクション

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | にぶい赤褐 | 微 | ◎△ | 焼土ブロック 50% |
| 2 | 黒褐 | 細 | ◎○ | As-C・Hr-FP 5％、黄橙色ブロック 1％ |
| 3 | 暗褐 | 細 | △○ | 焼土粒 5％ |
| 4 | 灰褐 | 細 | ○○ | 焼土粒 1％ |
| 5 | 暗褐 | 微 | ○○ | 底部に焼土ブロック有り。灰混じる |
| 6 | 褐 | 細 | ○○ | 焼土粒 10% |
| 7 | にぶい赤褐 | 微 | △○ | 粘土ブロック 50%、焼土ブロック 10% |
| 8 | 暗褐 | 微 | ○○ | 焼土粒 5％ |

Fig.30　6区 H－1・2号住居跡

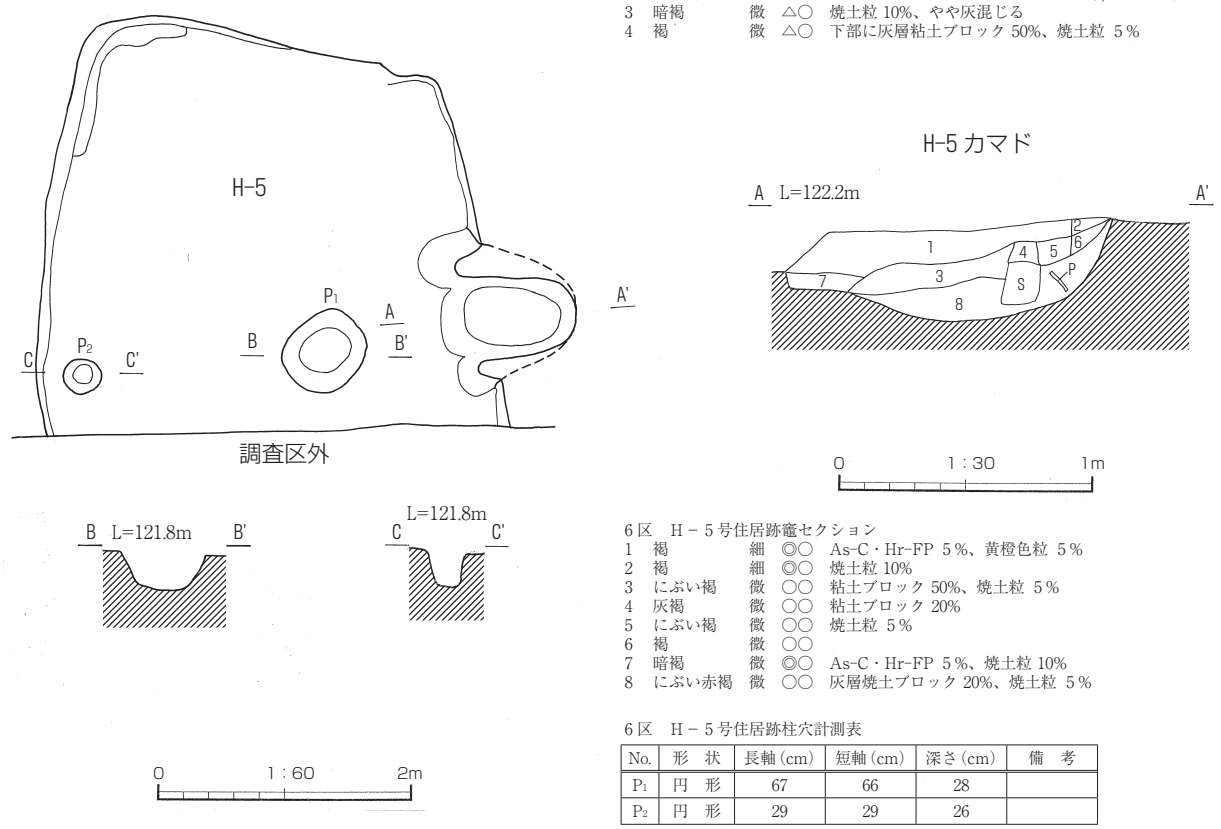



6区　H－4号住居跡東西ベルトセクション

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | にぶい黄褐 | 細 | ◎○ | As-C・Hr-FP 5％、焼土粒 1％ |
| 2 | 褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 10% |
| 3 | 暗褐 | 細 | ○○ | 黄橙色粒 2％ |
| 4 | 灰黄褐 | 細 | ○○ | 黄橙色粒 1％ |
| 5 | 暗褐 | 微 | ○○ | As-C・Hr-FP 2％ |

6区　H－4号住居跡竈セクション

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 1％、焼土ブロック（φ5mm）2％ |
| 2 | 明赤褐 | 微 | ◎○ | As-C・Hr-FP 2％、焼土ブロック（φ2～5mm）20% |
| 3 | 暗褐 | 微 | △○ | 焼土粒 10%、やや灰混じる |
| 4 | 褐 | 微 | △○ | 下部に灰層粘土ブロック 50%、焼土粒 5％ |



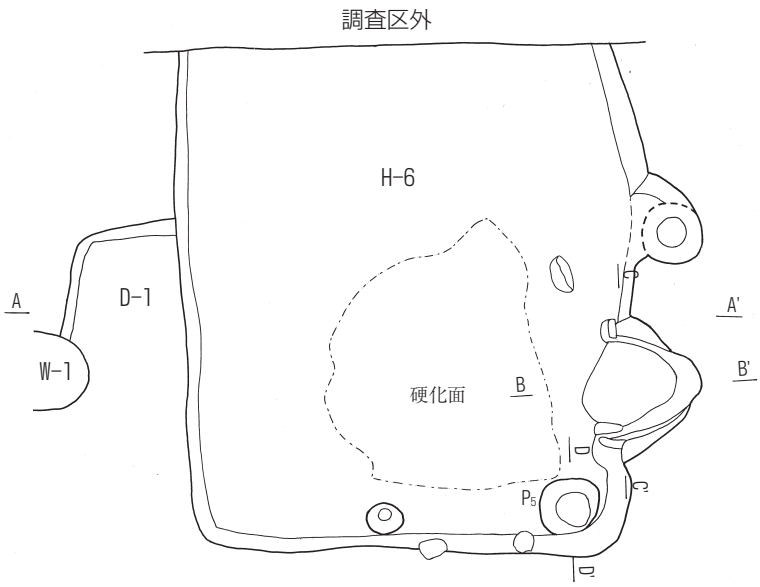

6区　H－5号住居跡竈セクション

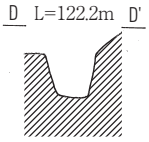
| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 褐 | 細 | ◎○ | As-C・Hr-FP 5％、黄橙色粒 5％ |
| 2 | 褐 | 細 | ◎○ | 焼土粒 10% |
| 3 | にぶい褐 | 微 | ○○ | 粘土ブロック 50%、焼土粒 5％ |
| 4 | 灰褐 | 微 | ○○ | 粘土ブロック 20% |
| 5 | にぶい褐 | 微 | ○○ | 焼土粒 5％ |
| 6 | 褐 | 微 | ○○ | |
| 7 | 暗褐 | 微 | ◎○ | As-C・Hr-FP 5％、焼土粒 10% |
| 8 | にぶい赤褐 | 微 | ○○ | 灰層焼土ブロック 20%、焼土粒 5％ |

6区　H－5号住居跡柱穴計測表

| No. | 形　状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| $P_1$ | 円　形 | 67 | 66 | 28 | |
| $P_2$ | 円　形 | 29 | 29 | 26 | |

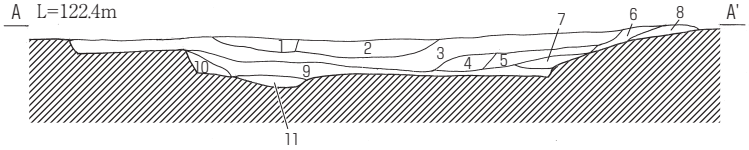
Fig.31　6区 H－4・5号住居跡

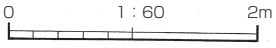


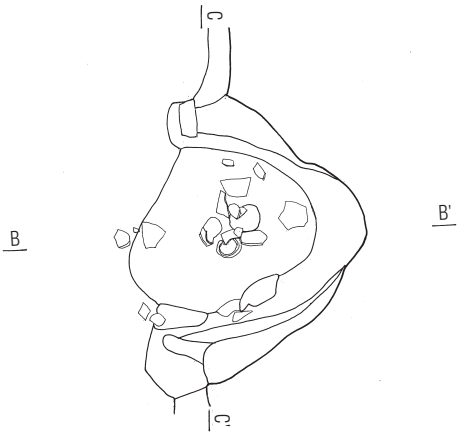

6区　H－6号住居跡柱穴計測表

| No. | 形　状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| $P_5$ | 楕円形 | 50 | 44 | 26 | 貯蔵穴 |




H-6カマド

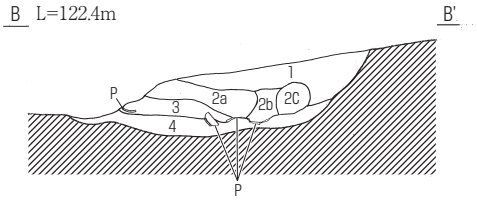



6区　H－6号住居跡東西ベルトセクション

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 暗褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 1％、炭化物 1％ |
| 2 | にぶい赤褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 15% |
| 3 | 暗褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 20%、炭化物 2％ |
| 4 | 暗褐 | 細 | ◎○ | As-C・Hr-FP 5％、炭化物 1％、黄橙色ブロック（φ2mm）1％ |
| 5 | 暗褐 | 細 | △○ | As-C・Hr-FP 1％、黄橙色ブロック（φ5mm）1％ |
| 6 | 灰黄褐 | 微 | ○○ | As-C・Hr-FP 5％、底部に粘土ブロック有り |
| 7 | 灰黄褐 | 微 | ○○ | 上部から中央にかけて粘土ブロック有り |
| 8 | にぶい黄褐 | 細 | ○○ | 地山に近い |
| 9 | 黒褐 | 微 | ○○ | 黄橙色粒 1％ |
| 10 | 灰黄褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 1％ |
| 11 | 暗褐 | 細 | ○○ | 黄橙色粒 1％ |

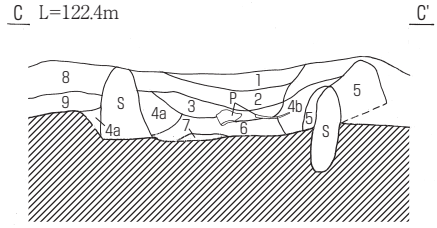
6区　H－6号住居跡竈東西セクション

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 暗褐 | 細 | ○○ | 中央に粘土ブロック有り。焼土粒 10% |
| 2a | 褐 | 細 | ○○ | 粘土ブロック 50%、焼土ブロック（φ2mm）5％ |
| 2b | 暗褐 | 微 | ○○ | 粘土ブロック 20% |
| 2c | 灰褐 | 微 | ○○ | 粘土ブロック 50%、底部に黄橙色ブロック（φ5mm）有り |
| 3 | 暗褐 | 微 | ○○ | 焼土粒 5％、黄橙色粒 5％ |
| 4 | 褐 | 微 | ○○ | 灰層粘土ブロック（φ5～10mm）5％ |




6区　H－6号住居跡竈南北セクション

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 暗褐 | 細 | ○○ | 中央に粘土ブロック有り、焼土粒 10% |
| 2 | 褐 | 細 | ○○ | 粘土ブロック 50%、焼土ブロック（φ2mm）5％ |
| 3 | 暗褐 | 微 | ○○ | 焼土粒 5％、黄橙色粒 5％ |
| 4a | 褐 | 微 | ◎○ | 粘土ブロック 50% |
| 4b | 褐 | 微 | ◎○ | 粘土ブロック 20%、黄橙色ブロック（φ15mm）5％ |
| 5 | にぶい褐 | 微 | ◎○ | 粘土ブロック 50% 以上 |
| 6 | 褐 | 微 | ○○ | 灰層粘土ブロック（φ5～10mm）5％ |
| 7 | 暗褐 | 微 | ○○ | 焼土粒 5％、黄橙色粒 5％ |
| 8 | 灰黄褐 | 微 | ○○ | As-C・Hr-FP 5％、底部に粘土ブロック有り |
| 9 | 灰黄褐 | 微 | ○○ | 上部から中央にかけて粘土ブロック有り |



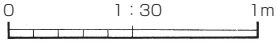
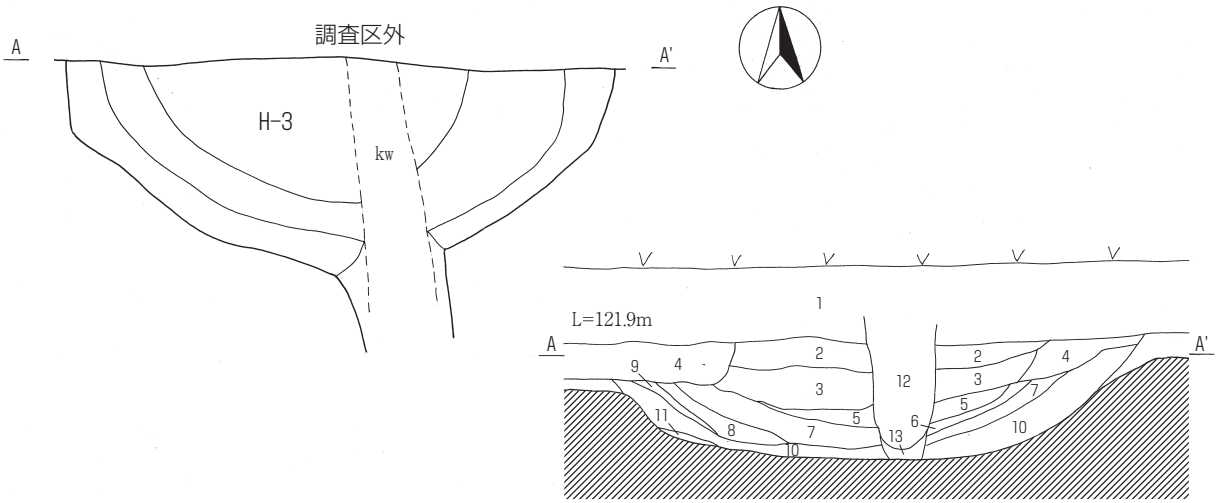
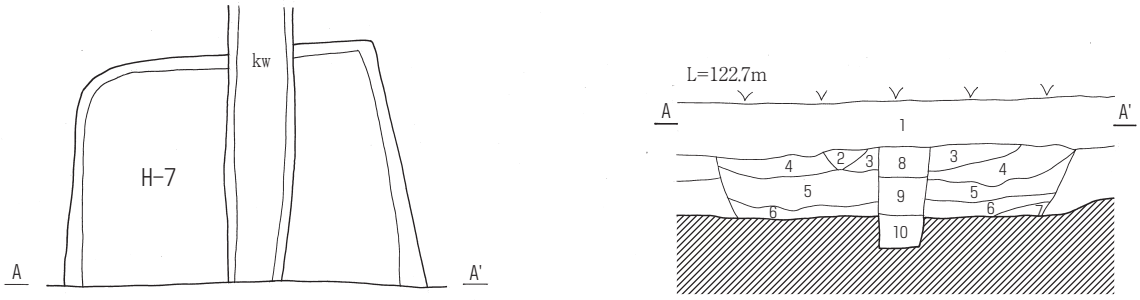




Fig.32　6区 H－6号住居跡




6区　H－3号住居跡東西壁セクション

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 現耕作土 | | | |
| 2 | にぶい黄褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 10%、黄橙色粒 2％ |
| 3 | 暗褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 15%、黄橙色粒 5％ |
| 4 | 褐 | 細 | ◎○ | As-C・Hr-FP 20%、黄橙色粒 5％、焼土ブロック（φ2mm）有り |
| 5 | 黒褐 | 微 | ○○ | As-C・Hr-FP 5％、砂質ブロック（φ5mm）2％ |
| 6 | 褐 | 細 | ○○ | 黄橙色粒 5％、黄橙色ブロック（φ2～5mm）10% |
| 7 | 黒褐 | 細 | ○○ | As-C 5％、砂質ブロック（φ5～10mm）15% |
| 8 | 暗褐 | 微 | ◎○ | As-C 5％、砂質ブロック（φ5mm）10%、やや黒褐色土混じる |
| 9 | 褐 | 細 | ○○ | 砂質ブロック（φ2mm）5％ |
| 10 | 灰黄褐 | 微 | ◎○ | 砂質ブロック（φ2～10mm）5％、やや黒褐色土混じる地山に近い |
| 11 | 褐 | 微 | ◎○ | 砂質ブロック（φ5mm）10%、地山に近い |
| 12 | 灰黄褐 | 細 | ○○ | 上～中部に砂質ブロック（φ5～15mm）多く含む黄橙色粒 5％ |
| 13 | 黒褐 | 微 | △○ | |




6区　H－7号住居跡南北壁セクション

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 現耕作土 | | | |
| 2 | 灰黄褐 | 粗 | ◎○ | As-B 混土層（As-B 50%） |
| 3 | にぶい黄褐 | 細 | ◎○ | As-C・Hr-FP 2％、黄橙色粒 2％ |
| 4 | 暗褐 | 細 | ◎○ | As-C・Hr-FP 10%、黄橙色ブロック（φ5mm）1％、底部に粘土ブロック有り |
| 5 | 黒褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 15%、黄橙色粒 1％、西側底部に粘土ブロック有り |
| 6 | 暗褐 | 微 | ○○ | As-C・Hr-FP 5％、黄橙色粒 5％ |
| 7 | 暗褐 | 微 | ○○ | 底部に粘土ブロック有り |
| 8 | 灰黄褐 | 粗 | △○ | (KW) |
| 9 | 褐灰 | 粗 | ○○ | 中央から下部に砂質ブロック有り (KW) |
| 10 | 暗褐 | 粗 | △○ | (KW) |

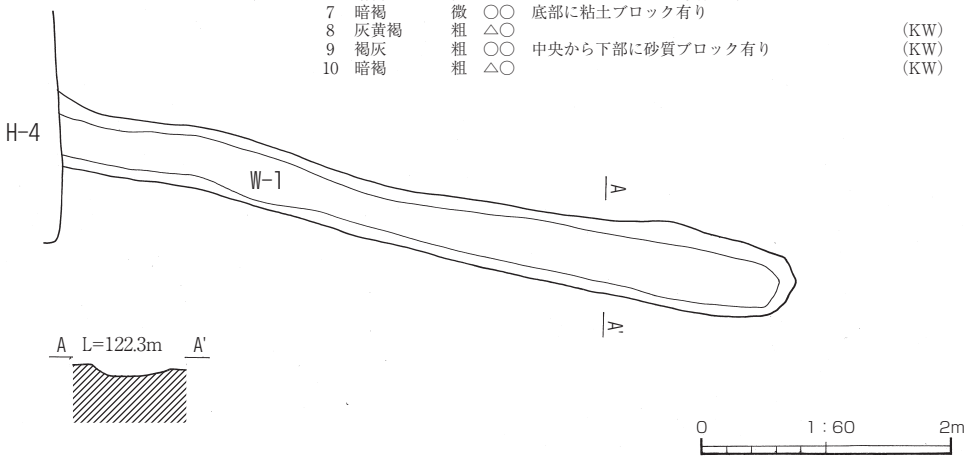
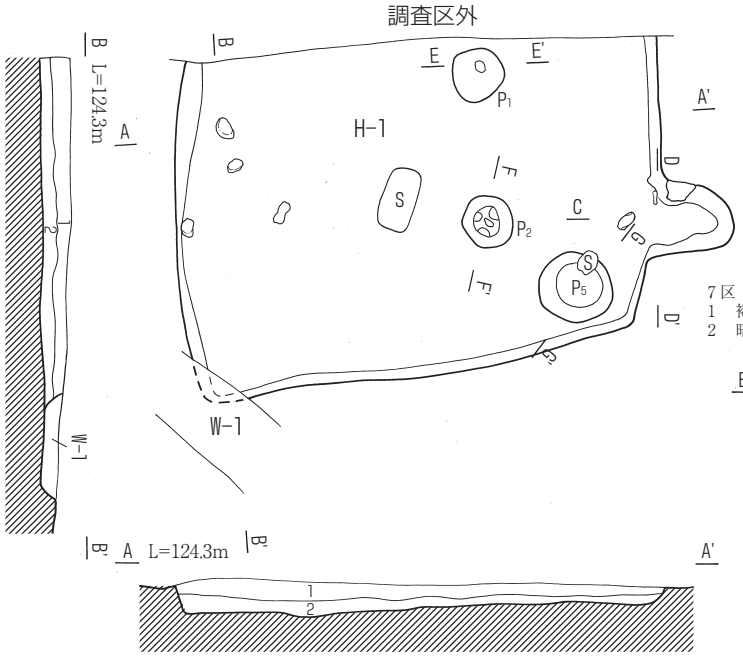
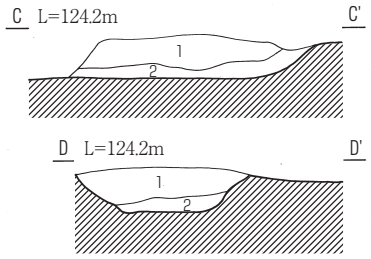


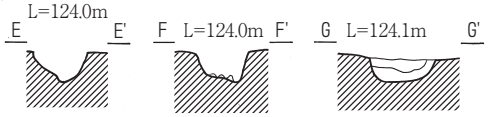

Fig.33　6区 H－3・7号住居跡、W－1号溝跡




7区　H－1号住居跡　ベルトセクション
1　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 20%、黄橙色ブロック（φ5mm）3％
2　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 2％、黄橙色ブロック（φ5mm）1％、黄橙色粒 10%



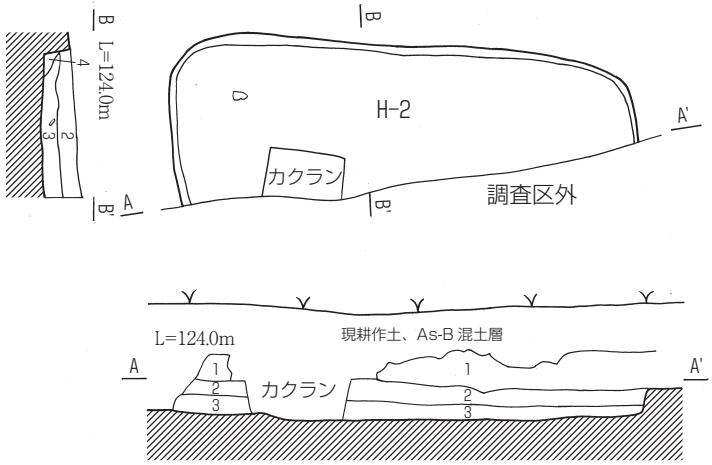

7区　H－1号住居跡　竈セクション
1　褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％、焼土粒 2％、黄橙色粒 5％
2　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 1％、黄橙色粒 10%



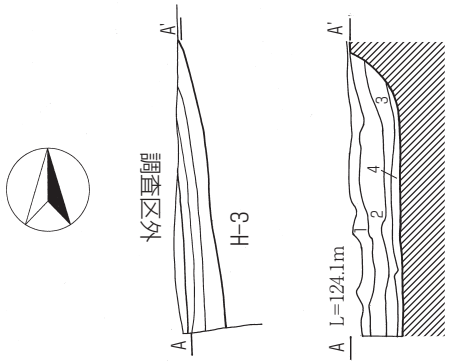

7区　H－1号住居跡　P5セクション
1　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 3％
2　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 1％、黄橙色粒 1％

7区　H－1号住居跡柱穴計測表

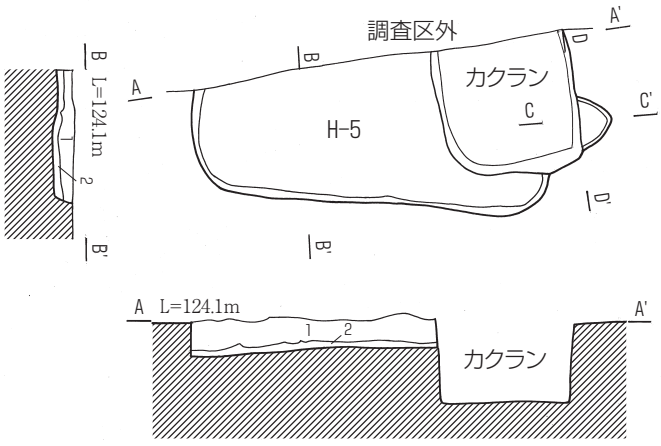
| No. | 形　状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| $P_1$ | 円　形 | 44 | 42 | 24.5 | |
| $P_2$ | 円　形 | 42 | 40 | 24.0 | |
| $P_5$ | 円　形 | 60 | 54 | 26.0 | 貯蔵穴 |



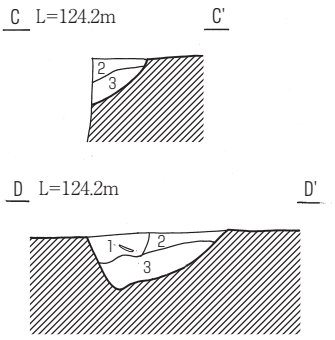

7区　H－2号住居跡　ベルトセクション
1　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 15%
2　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10%、黄橙色粒 1％
3　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 2％、黄橙色粒 5％
4　暗褐　細　○○　黄橙色ブロック（φ5mm）10%、黄橙色粒 10%




7区　H－3号住居跡　ベルトセクション
1　暗褐　細　△△　As-C・Hr-FP 5％、黄橙色ブロック（φ5mm）1％、黄橙色粒 5％
2　暗褐　細　△○　As-C・Hr-FP 3％、黄橙色ブロック（φ5mm）1％、黄橙色粒 3％
3　黒褐　細　△○　As-C・Hr-FP 1％、黄橙色ブロック（φ5mm）1％、黄橙色粒 2％
4　褐　微　○○　As-C・Hr-FP 1％、黄橙色粒 1%



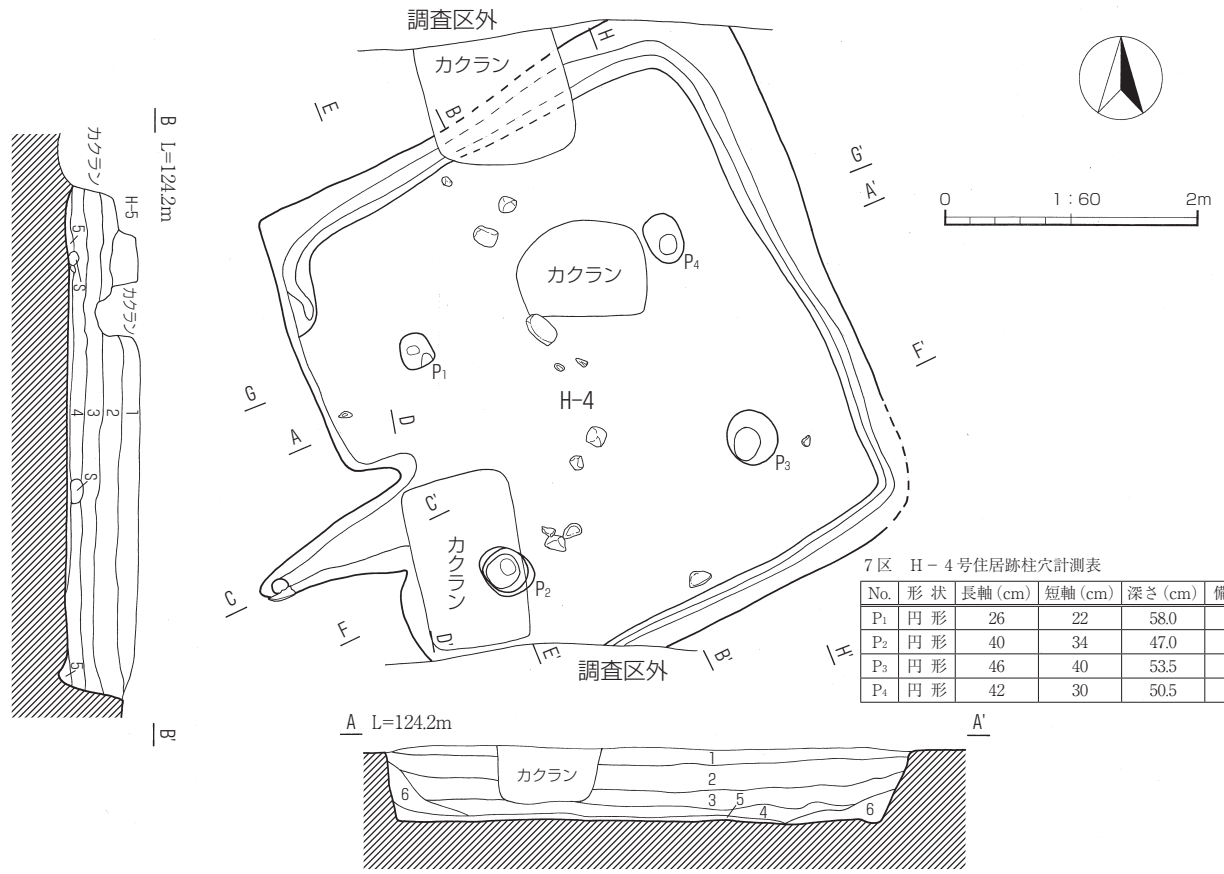

7区　H－5号住居跡　ベルトセクション
1　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 15%、焼土粒 1％
2　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10%、焼土粒 5％、黄橙色粒 1％




7区　H－5号住居跡　竈セクション
1　明赤褐　細　○○　焼土ブロック（φ5mm）10%、焼土粒 30%、白色粘土粒 5％
2　にぶい赤褐　細　◎○　焼土ブロック（φ5～10mm）5％、焼土粒 20%、白色粘土粒 20%
3　暗赤褐　細　○○　焼土ブロック（φ5mm）3％、焼土粒 10%、白色粘土粒 2％

0　1：60　2m　0　1：30　1m

Fig.34　7区 H－1～3・5号住居跡

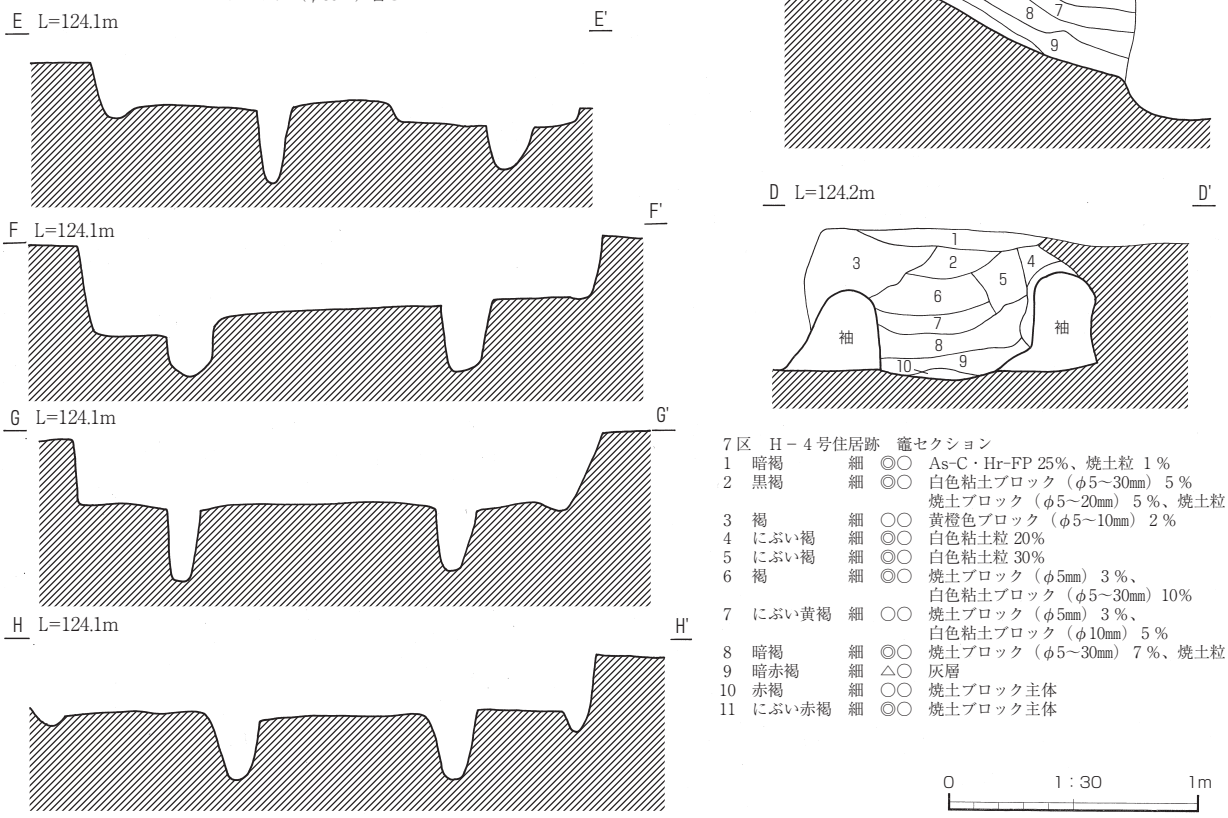



7区　H－4号住居跡柱穴計測表

| No. | 形 状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|
| $P_1$ | 円 形 | 26 | 22 | 58.0 | |
| $P_2$ | 円 形 | 40 | 34 | 47.0 | |
| $P_3$ | 円 形 | 46 | 40 | 53.5 | |
| $P_4$ | 円 形 | 42 | 30 | 50.5 | |

7区　H－4号住居跡　ベルトセクション

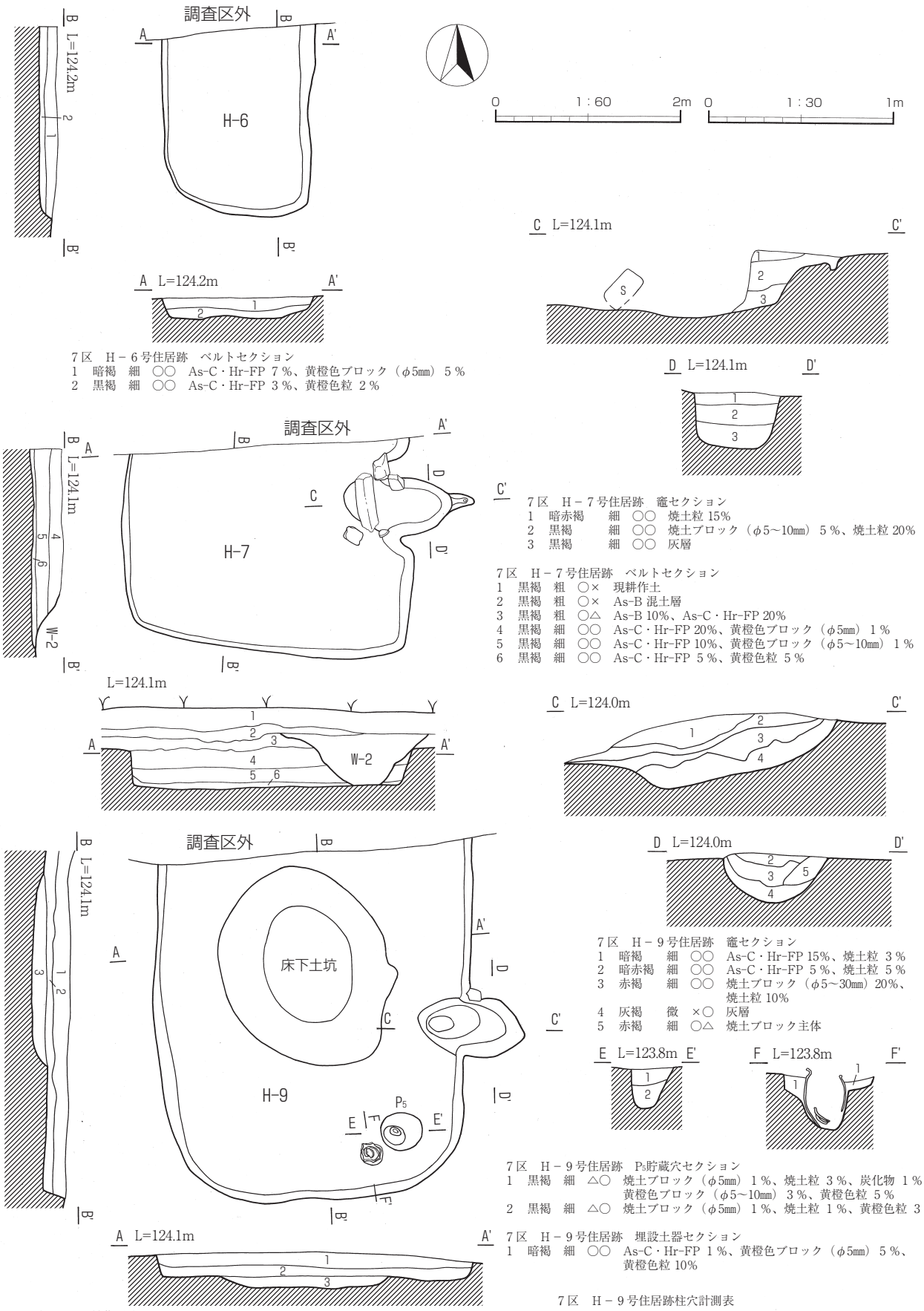
1　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 20%、黄橙色ブロック（φ5～10㎜）1％
2　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 15%、黄橙色ブロック（φ5～10㎜）3％
3　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10%、黄橙色ブロック（φ5～20㎜）3％
4　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％、黄橙色ブロック（φ5～50㎜）5％、黄橙色粒 5％
5　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 2％、黄橙色ブロック（φ5～10㎜）3％、黄橙色粒 10%
6　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10%、黄橙色ブロック（φ5㎜）2％、黄橙色粒 2％
　　Hr-FA ブロック（φ35㎜）含む




7区　H－4号住居跡　竈セクション

1　暗褐　細　◎○　As-C・Hr-FP 25%、焼土粒 1％
2　黒褐　細　◎○　白色粘土ブロック（φ5～30㎜）5％
　　焼土ブロック（φ5～20㎜）5％、焼土粒 10%
3　褐　細　○○　黄橙色ブロック（φ5～10㎜）2％
4　にぶい褐　細　◎○　白色粘土粒 20%
5　にぶい褐　細　◎○　白色粘土粒 30%
6　褐　細　◎○　焼土ブロック（φ5㎜）3％、
　　白色粘土ブロック（φ5～30㎜）10%
7　にぶい黄褐　細　○○　焼土ブロック（φ5㎜）3％、
　　白色粘土ブロック（φ10㎜）5％
8　暗褐　細　◎○　焼土ブロック（φ5～30㎜）7％、焼土粒 5％
9　暗赤褐　細　△○　灰層
10　赤褐　細　○○　焼土ブロック主体
11　にぶい赤褐　細　◎○　焼土ブロック主体

Fig.35　7区 H－4号住居跡




7区　H－6号住居跡　ベルトセクション
1　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 7％、黄橙色ブロック（φ5mm）5％
2　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 3％、黄橙色粒 2％

7区　H－7号住居跡　竈セクション
1　暗赤褐　細　○○　焼土粒 15%
2　黒褐　細　○○　焼土ブロック（φ5～10mm）5％、焼土粒 20%
3　黒褐　細　○○　灰層

7区　H－7号住居跡　ベルトセクション
1　黒褐　粗　○×　現耕作土
2　黒褐　粗　○×　As-B 混土層
3　黒褐　粗　○△　As-B 10%、As-C・Hr-FP 20%
4　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 20%、黄橙色ブロック（φ5mm）1％
5　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10%、黄橙色ブロック（φ5～10mm）1％
6　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％、黄橙色粒 5％

7区　H－9号住居跡　竈セクション
1　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 15%、焼土粒 3％
2　暗赤褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％、焼土粒 5％
3　赤褐　細　○○　焼土ブロック（φ5～30mm）20%、焼土粒 10%
4　灰褐　微　×○　灰層
5　赤褐　細　○△　焼土ブロック主体

7区　H－9号住居跡　$P_5$貯蔵穴セクション
1　黒褐　細　△○　焼土ブロック（φ5mm）1％、焼土粒 3％、炭化物 1％
黄橙色ブロック（φ5～10mm）3％、黄橙色粒 5％
2　黒褐　細　△○　焼土ブロック（φ5mm）1％、焼土粒 1％、黄橙色粒 3％

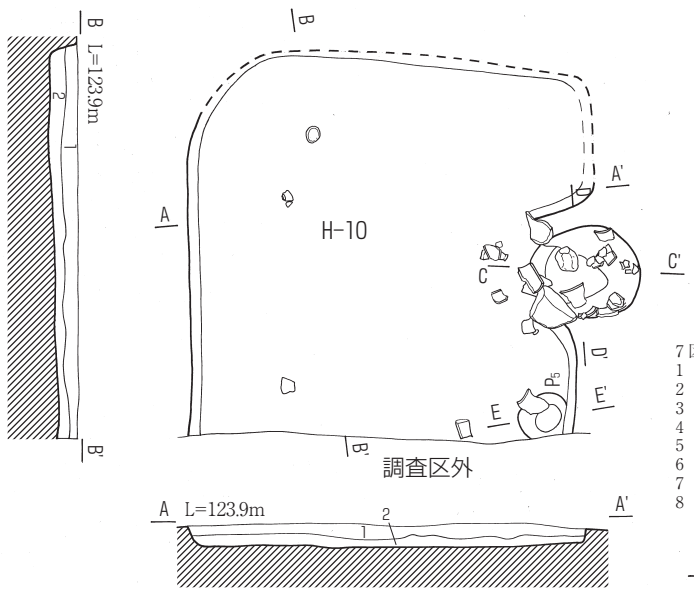
7区　H－9号住居跡　埋設土器セクション
1　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 1％、黄橙色ブロック（φ5mm）5％、黄橙色粒 10%

7区　H－9号住居跡　ベルトセクション
1　褐　細　○△　As-C・Hr-FP 7％、黄橙色ブロック（φ5mm）3％
2　暗褐　細　○△　As-C・Hr-FP 5％、黄橙色ブロック（φ5mm）2％
3　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 3％、黄橙色ブロック（φ5～30mm）10%、黄橙色粒 10%

7区　H－9号住居跡柱穴計測表

| No. | 形　状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| $P_5$ | 円　形 | 44 | 40 | 41.5 | 貯蔵穴 |

Fig.36　7区 H－6・7・9号住居跡




7区　H－10号住居跡　竈セクション

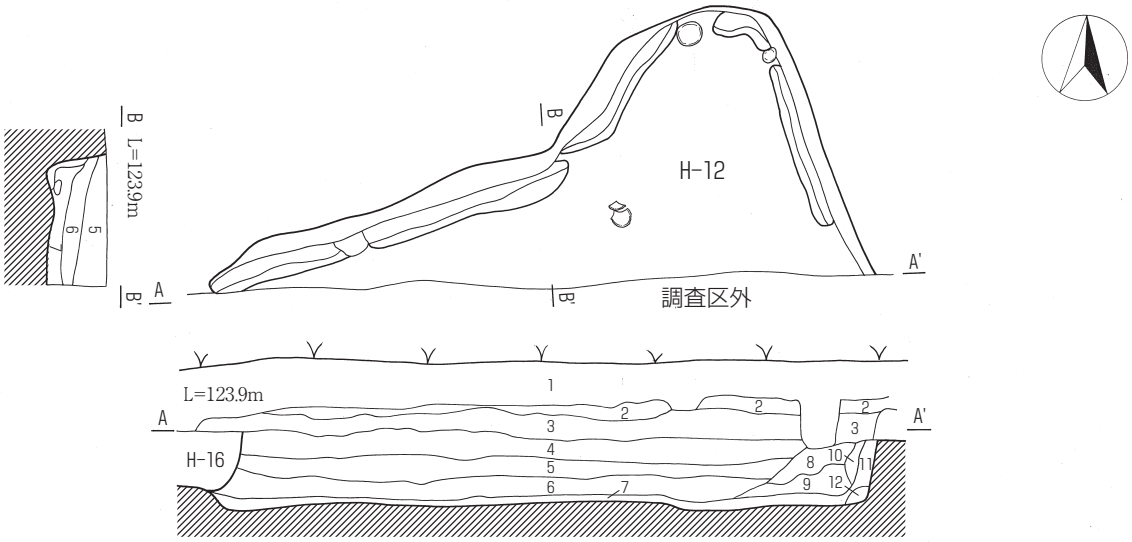
| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 黒褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 5％、焼土粒 5％、炭化物 1％ |
| 2 | 極暗褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 2％、焼土ブロック（φ10㎜）1％ |
| 3 | 暗赤褐 | 細 | △◎ | 褐色粘土主体 |
| 4 | 極暗褐 | 細 | △○ | 焼土ブロック（φ5㎜）3％、焼土粒 10％ |
| 5 | にぶい赤褐 | 細 | ○○ | 褐色粘土主体。焼土粒 30％ |
| 6 | 赤 | 細 | ○△ | 焼土ブロック主体 |
| 7 | 黒褐 | 細 | △○ | 灰層 |
| 8 | 暗赤灰 | 微 | △○ | 灰層。焼土ブロック（φ10㎜）3％ |

7区　H－10号住居跡　ベルトセクション

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 黒褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 10％、黄橙色粒 3％ |
| 2 | 黒褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 5％、黄橙色粒 1％、Hr-FA ブロック（φ20㎜）含む |

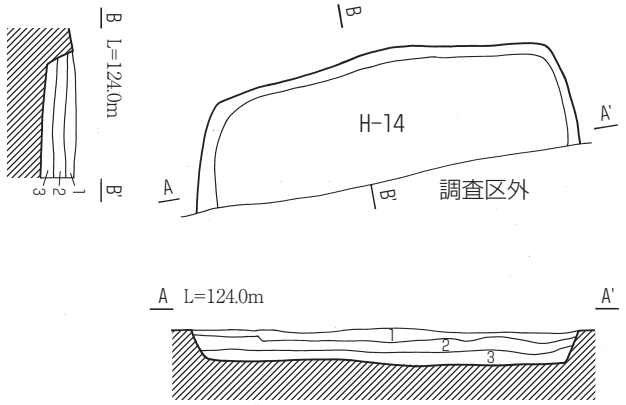
7区　H－10号住居跡柱穴計測表

| No. | 形　状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| $P_5$ | 楕円形 | 48 | 30 | 10.0 | |




7区　H－12号住居跡　ベルトセクション

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 現耕作土 | | | |
| 2 | 黒褐 | 粗 | ○× | As-B 混土層 |
| 3 | 黒褐 | 細 | ○○ | As-B 20％、As-C・Hr-FP 5％ |
| 4 | 黒褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 15％ |
| 5 | 黒褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 20％、黄橙色粒 1％ |
| 6 | 黒褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 10％、黄橙色粒 2％ |
| 7 | 黒褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 7％、黄橙色ブロック（φ5～10㎜）3％ |
| 8 | 暗赤褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 1％、焼土粒 5％、灰褐色粘土ブロック（φ5～10㎜）1％、黄橙色粒 5％ |
| 9 | 暗赤褐 | 細 | ○○ | 黄橙色ブロック主体 |
| 10 | 灰褐 | 細 | ○◎ | 灰褐色粘土ブロック主体 |
| 11 | 黒褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 5％、灰褐色粘土ブロック（φ5～10㎜）20％ |
| 12 | 暗褐 | 細 | ○○ | 黄橙色ブロック（φ5㎜）3％、黄橙色粒 10％ |

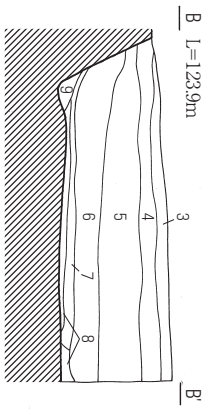


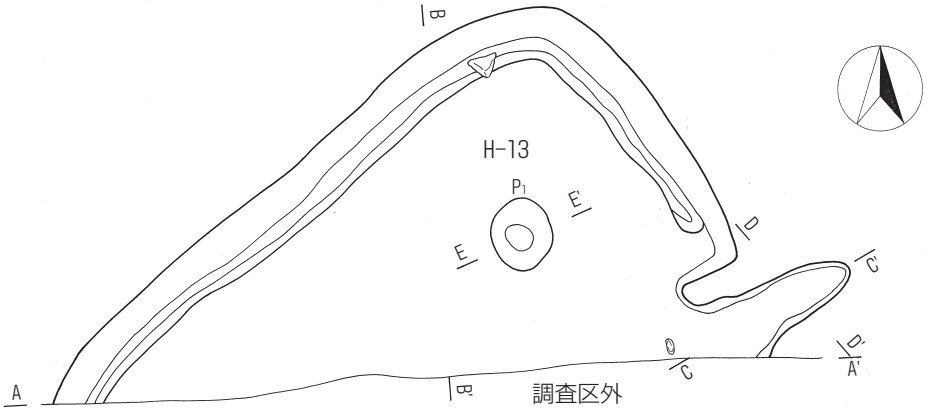

7区　H－14号住居跡　ベルトセクション

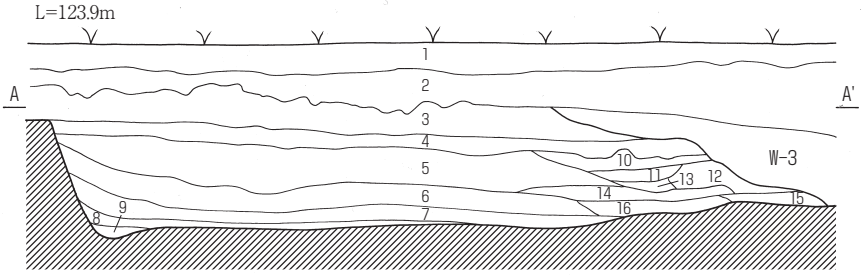
| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 黒褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 7％ |
| 2 | 黒褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 3％ |
| 3 | 暗褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 2％、黄褐色ブロック（φ5～20㎜）15％ |

0　1：60　2m　0　1：30　1m

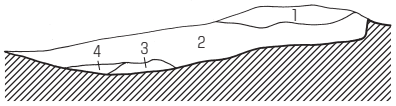
Fig.37　7区 H－10・12・14号住居跡

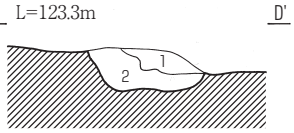


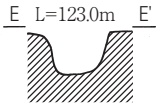



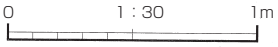

7区　H－13号住居跡　ベルトセクション
1　現耕作土
2　黒褐　粗　○×　As-B 混土層
3　黒褐　細　○○　As-B 10%、As-C・Hr-FP 10%
4　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 20%、黄橙色ブロック（φ5㎜）1％、黄橙色粒 1％
5　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 15%、黄橙色ブロック（φ5㎜）5％、黄橙色粒 2％
6　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10%、黄橙色ブロック（φ5㎜）5％、黄橙色粒 3％
7　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％、黄橙色ブロック（φ5㎜）3％、黄橙色粒 10%
8　暗褐　粗　○△　As-C・Hr-FP 3％、黄橙色粒 50%、
9　黄褐　粗　△×　黄橙色粒主体
10　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 15%、粘土粒 5％、焼土粒 1％
11　黒　微　×○　灰層
12　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 3％、にぶい黄橙色粘土ブロック（φ5～10㎜）5％
13　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％、焼土粒 1％、灰 1％
14　黒　微　○○　灰層
15　暗褐　細　○○　にぶい黄橙色粘土ブロック（φ5～50㎜）10%、焼土粒 1％
16　にぶい黄橙　微　○◎　にぶい黄橙色粘土主体



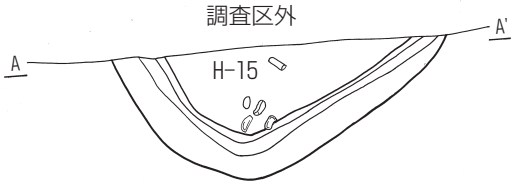

7区　H－13号住居跡　竈セクション
1　暗褐　細　○○　にぶい黄橙色粘土ブロック（φ5～50㎜）30%
2　にぶい黄橙　微　○◎　にぶい黄橙色粘土主体
3　赤褐　細　○△　焼土主体
4　黒褐　細　△△　灰層

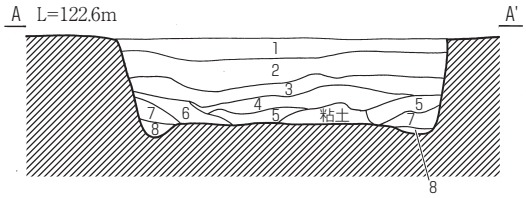


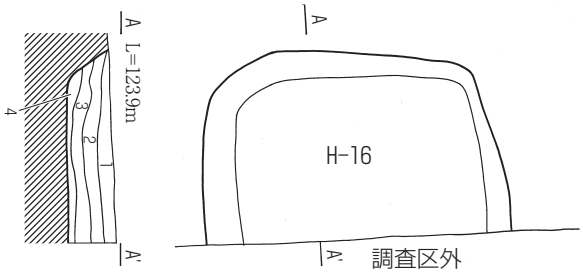

7区　H－13号住居跡柱穴計測表

| No. | 形　状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| P1 | 楕円形 | 58 | 48 | 35.0 | |




7区　H－15号住居跡　ベルトセクション
1　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 20%、黄橙色粒 1％
2　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 15%、黄橙色粒 2％
3　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10%、黄橙色粒 2％
4　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 7％、黄橙色ブロック（φ5～20㎜）5％
5　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 3％、白色粘土ブロック（φ5～20㎜）5％
6　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％、黄橙色粒 3％
7　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 3％、黄橙色粒 5％
8　暗褐　細　△○　As-C・Hr-FP 1％、黄橙色ブロック（φ5㎜）5％、黄橙色粒 25%




7区　H－16号住居跡　ベルトセクション
1　暗褐　細　○△　As-C・Hr-FP 10%、黄橙色粒 2％
2　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％、黄橙色ブロック（φ5㎜）2％、黄橙色粒 1％
3　黒褐　細　△○　As-C・Hr-FP 2％、黄橙色粒 1％
4　黒褐　細　△○　As-C・Hr-FP 1％、黄橙色粒 1％

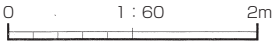
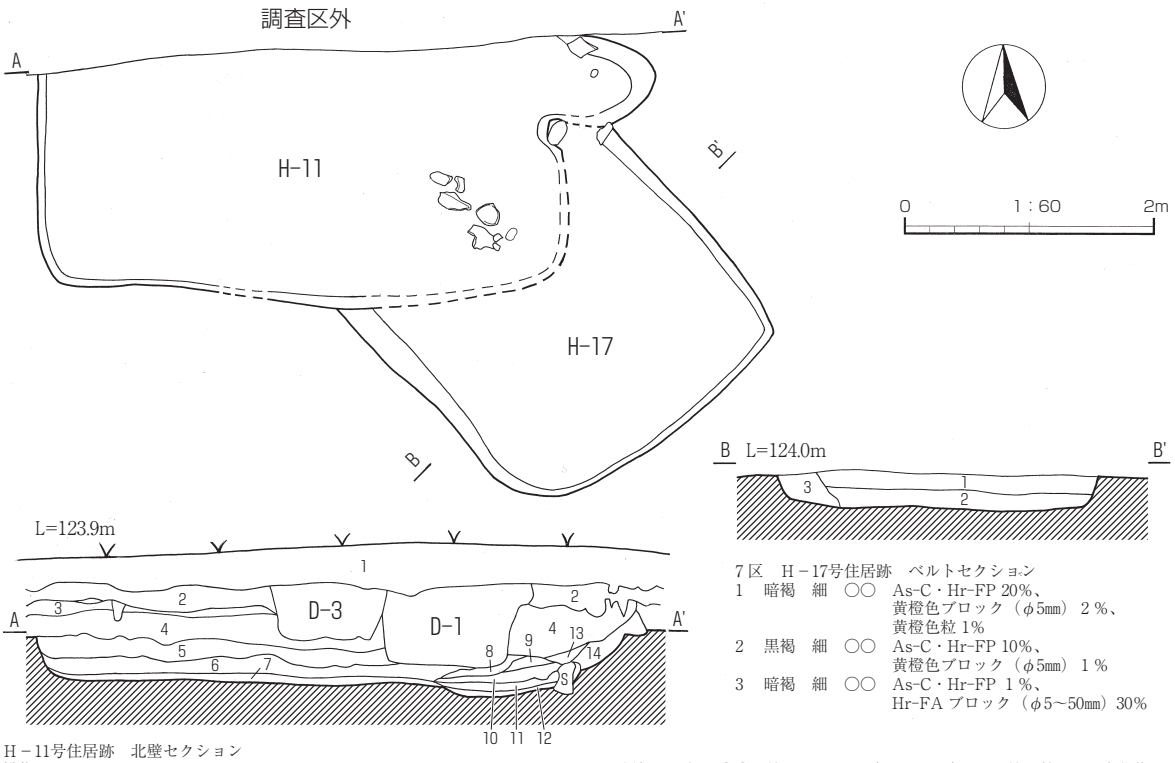
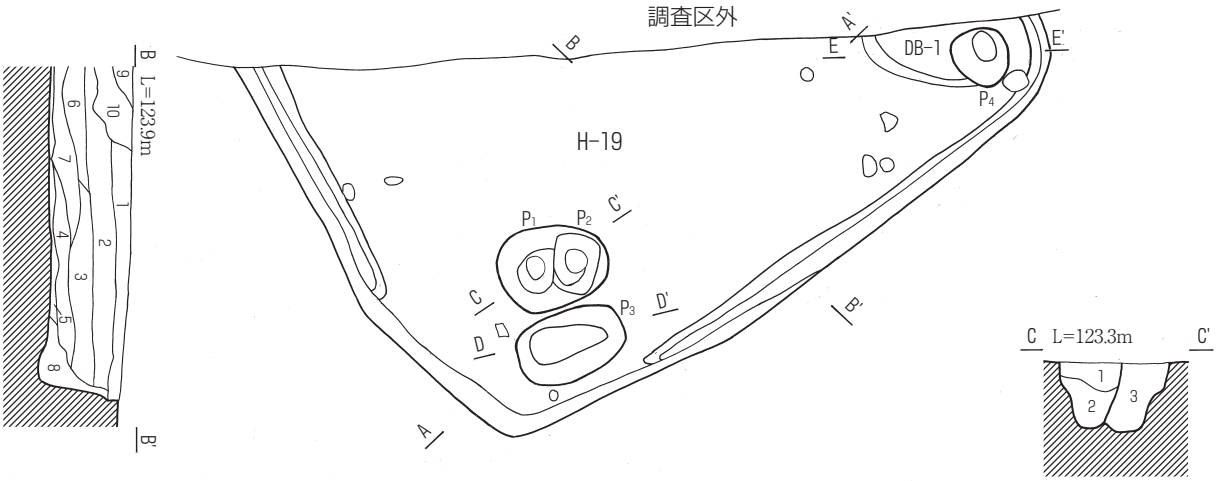


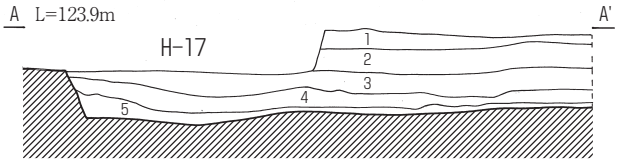

Fig.38　7区 H－13・15・16号住居跡



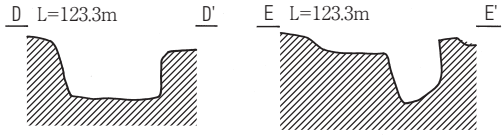

7区　H－17号住居跡　ベルトセクション
1　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 20%、黄橙色ブロック（φ5mm）2％、黄橙色粒 1%
2　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10%、黄橙色ブロック（φ5mm）1％
3　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 1％、Hr-FA ブロック（φ5～50mm）30%

7区　H－11号住居跡　北壁セクション
1　現耕作土
2　黒褐　粗　○×　As-B 混土層
3　黒褐　粗　○△　As-B 10%、As-C・Hr-FP 20%
4　黒褐　細　○○　As-B 3%、As-C・Hr-FP 15%
5　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10%
6　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 7%、黄橙色粒 1%、焼土粒 1%
7　暗褐　細　◎○　As-C・Hr-FP 5%、黄橙色粒 2%
8　黒褐　細　○○　焼土ブロック（φ5～10mm）3%、焼土粒 2%、炭化物 1%
9　暗赤褐　細　△○　焼土ブロック（φ5mm）2%、焼土粒 10%
10　極暗褐　細　△○　焼土ブロック（φ5～10mm）5%、焼土粒 15%
11　黒　微　○○　灰層
12　暗赤褐　細　○○　焼土ブロック（φ5mm）5％、焼土粒 10%
13　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 1％、焼土粒 2％
14　暗赤褐　細　○○　焼土ブロック（φ5～100mm）10%、焼土粒 10%




7区　H－19号住居跡　P1・P2セクション
1　黒褐　細　△○　As-C・Hr-FP 1％、黄橙色粒 5％
2　褐　細　△△　黄橙色ブロック（φ5～30mm）10%、黄橙色粒 30%
3　褐　粗　○×　黄橙色ブロック、黄橙色粒主体

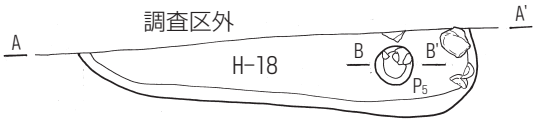


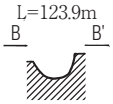

7区　H－19号住居跡　ベルトセクション
1　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 20%、黄橙色粒 3％
2　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10%、黄橙色粒 2％
3　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 7％、黄橙色ブロック（φ10mm）3％、黄橙色粒 5％
4　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％、黄橙色ブロック（φ5～10mm）5％、黄橙色粒 5％
5　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 1％、黄橙色ブロック（φ5～10mm）10%、黄橙色粒 10%
6　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％、黄橙色粒 3％
7　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 3％、黄橙色ブロック（φ5～10mm）3％、黄橙色粒 10%
8　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 2％、黄橙色ブロック（φ5mm）1％、黄橙色粒 10%
9　赤褐　細　○○　As-C・Hr-FP 3％、焼土粒 20%
10　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10%、焼土粒 2％、黄橙色粒 2％

7区　H－19号住居跡柱穴計測表

| No. | 形　状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| $P_1$ | 楕円形 | 40 | 30 | 56.5 | |
| $P_2$ | 楕円形 | 50 | 40 | 59.0 | |
| $P_3$ | 楕円形 | 90 | 54 | 48.0 | |
| $P_4$ | 楕円形 | 50 | 42 | 49.5 | |

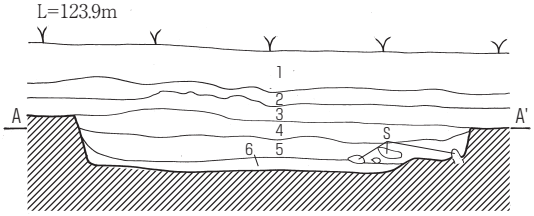
Fig.39　7区 H－11・17・19号住居跡



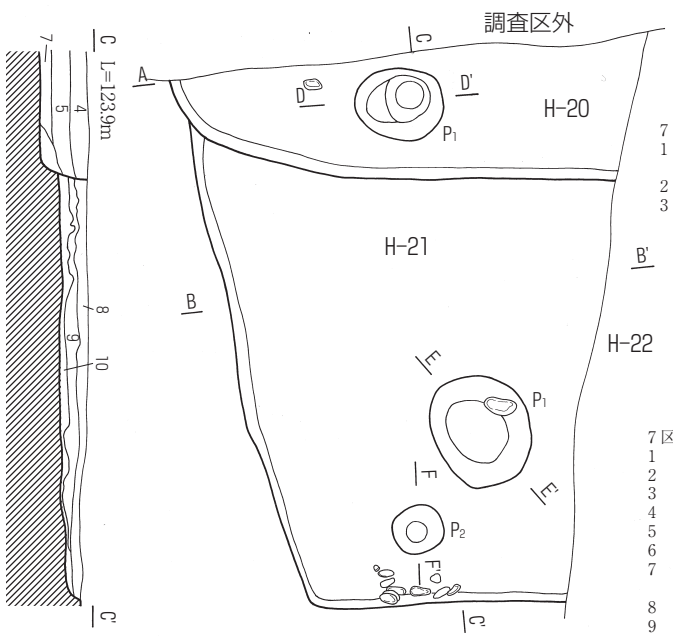



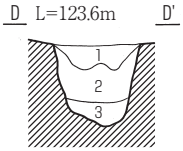

7区　H－18号住居跡柱穴計測表

| No. | 形　状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| $P_5$ | 円　形 | 32 | 32 | 21.0 | |




7区　H－18号住居跡　北壁セクション
1　現耕作土
2　黒褐　粗　○△　As-B 混土層
3　黒褐　細　○○　As-B 3％、As-C・Hr-FP 15%
4　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10%、黄橙色ブロック（φ5mm）1％、黄橙色粒 1％
5　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 7％、黄橙色ブロック（φ5～10mm）5％、黄橙色粒 3％
6　暗褐　細　◎○　As-C・Hr-FP 1％、黄橙色ブロック（φ5～20mm）10%、黄橙色粒 10%

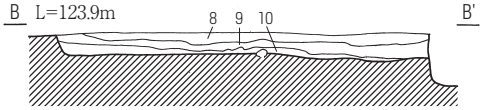


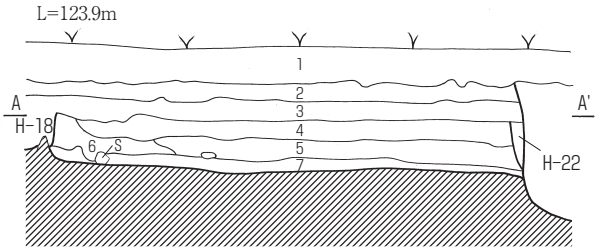

7区　H－20号住居跡　P1号柱穴セクション
1　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 1％、黄橙色ブロック（φ5～20mm）5％、黄橙色粒 3％
2　暗褐　細　△○　黄橙色ブロック（φ5mm）3%、黄橙色粒10%
3　褐　細　○○　黄橙色ブロック（φ5～50mm）30%、黄橙色粒 20%

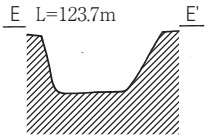
7区　H－20号住居跡柱穴計測表

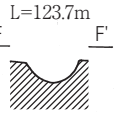
| No. | 形　状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| $P_1$ | 楕円形 | 70 | 54 | | |




7区　H－20・21号住居跡　ベルトセクション
1　現耕作土、As-B 混土層
2　黒褐　粗　○△　As-B 10%、As-C・Hr-FP 20%、
3　黒褐　細　○○　As-B 3％、As-C・Hr-FP 15%、
4　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10%、黄橙色ブロック（φ5mm）2％
5　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％、黄橙色ブロック（φ5mm）2％
6　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 3％、黄橙色ブロック（φ5mm）1％
7　暗褐　細　◎○　As-C・Hr-FP 1％、黄橙色ブロック（φ5～30mm）10%、黄橙色粒 10%
8　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 7％、黄橙色粒 2％、焼土粒 2％
9　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％、黄橙色ブロック（φ5mm）1％
10　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 2％、黄橙色ブロック（φ5～20mm）3％

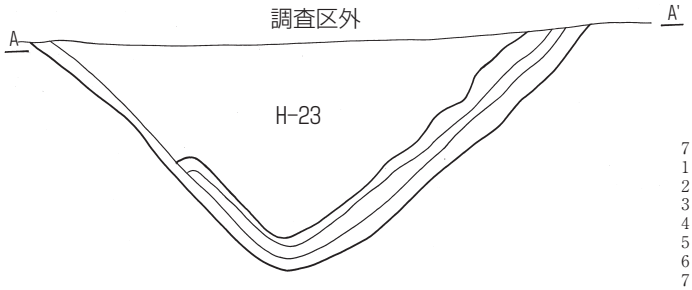


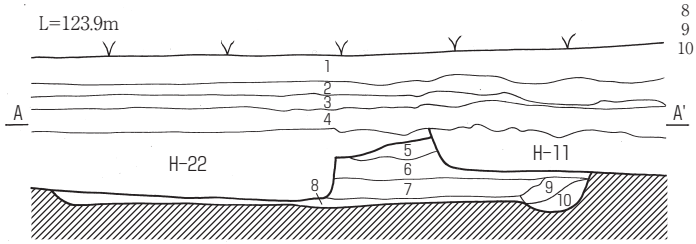




7区　H－21号住居跡柱穴計測表

| No. | 形　状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| $P_1$ | 楕円形 | 90 | 72 | 49.0 | |
| $P_2$ | 円　形 | 40 | 40 | 18.5 | |




7区　H－23号住居跡　ベルトセクション
1　現耕作土
2　黒褐　粗　○△　As-B 混土層
3　黒褐　細　○○　As-B 10%、As-C・Hr-FP 20%
4　暗褐　細　○○　As-B 3％、As-C・Hr-FP 15%
5　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 15%
6　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10%
7　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 15%、黄橙色ブロック（φ5～10mm）5％
8　暗褐　細　△○　As-C・Hr-FP 1％、黄橙色ブロック（φ5～10mm）10%
9　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％、黄橙色ブロック（φ5～30mm）5％
10　暗褐　細　○○　黄橙色ブロック（φ5～10mm）15%、黄橙色粒 10%



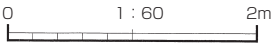
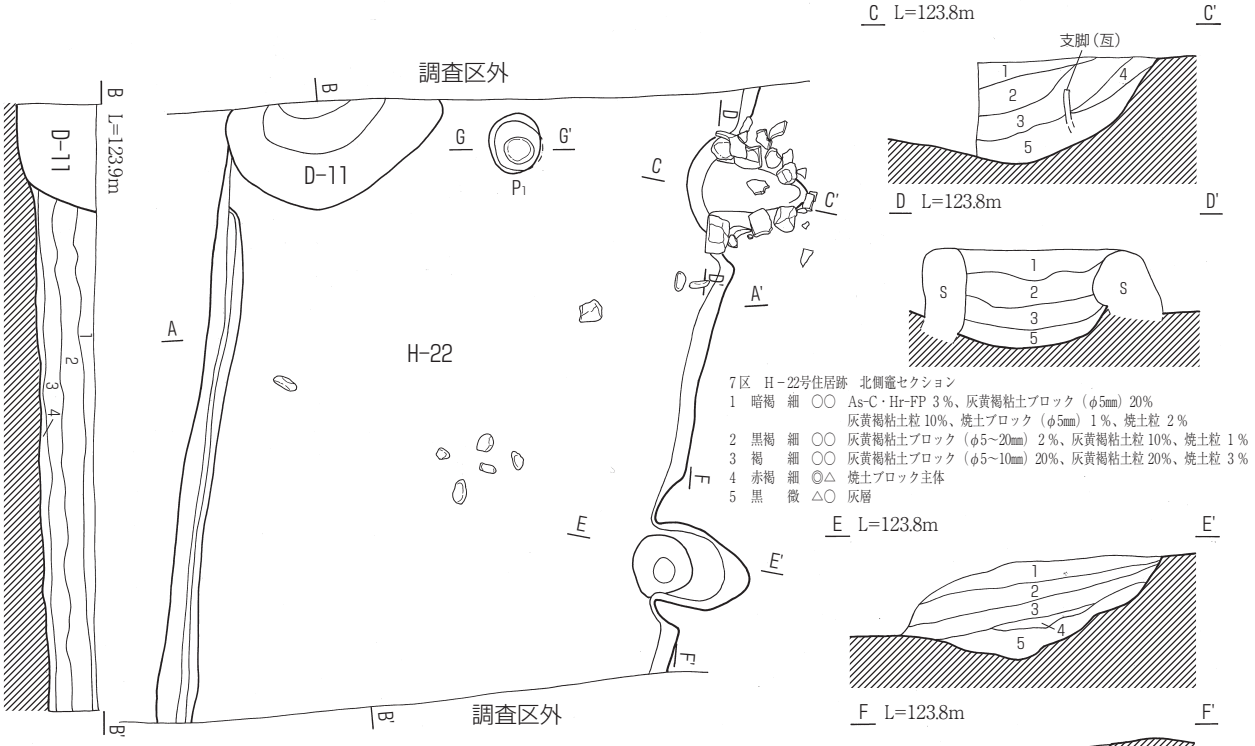



Fig.40　7区 H－18・20・21・23号住居跡




7区　H－22号住居跡　北側竈セクション
1　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 3％、灰黄褐粘土ブロック（φ5mm）20％
　　灰黄褐粘土粒 10％、焼土ブロック（φ5mm）1％、焼土粒 2％
2　黒褐　細　○○　灰黄褐粘土ブロック（φ5～20mm）2％、灰黄褐粘土粒 10％、焼土粒 1％
3　褐　細　○○　灰黄褐粘土ブロック（φ5～10mm）20％、灰黄褐粘土粒 20％、焼土粒 3％
4　赤褐　細　◎△　焼土ブロック主体
5　黒　微　△○　灰層

7区　H－22号住居跡　ベルトセクション
1　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 25％、黄橙色ブロック（φ5mm）1％、焼土粒 2％
2　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 20％、黄橙色ブロック（φ5～30mm）2％、焼土粒 1％
3　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 15％、黄橙色ブロック（φ5mm）2％、焼土粒 1％
4　暗褐　細　◎○　As-C・Hr-FP 7％、黄橙色ブロック（φ5mm）3％

7区　H－22号住居跡　南側竈セクション
1　黒褐　細　△○　As-C・Hr-FP 3％、にぶい黄褐粘土粒 10％
2　暗褐　細　△◎　にぶい黄褐色粘土主体
3　にぶい赤褐　細　△◎　にぶい黄褐色粘土・焼土ブロック主体
4　赤褐　細　○○　焼土ブロック主体
5　にぶい赤褐　細　××　焼土粒主体

7区　H－22号住居跡柱穴計測表

| No. | 形　状 | 長軸（cm） | 短軸（cm） | 深さ（cm） | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| P1 | 楕円形 | 52 | 40 | 19.5 | |

0　1：30　1m

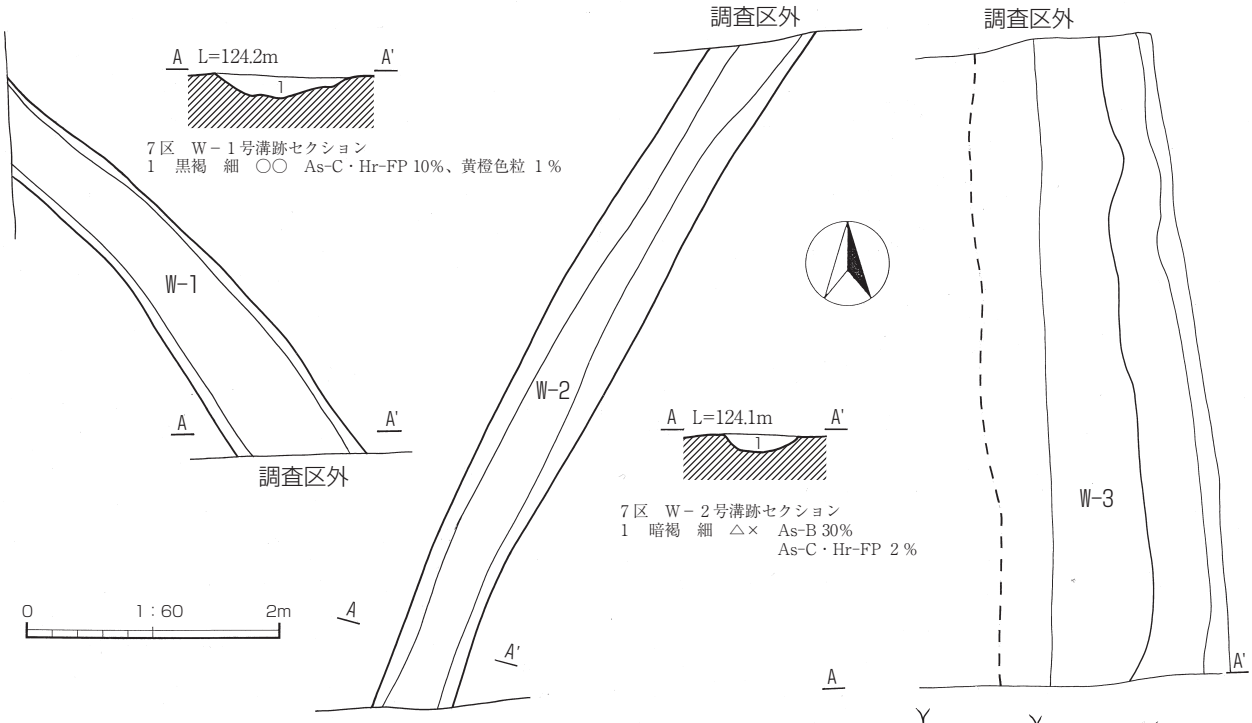
7区　T－1号竪穴状遺構
1　現耕作土
2　暗褐　粗　△△　As-B 混土層
3　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％
　　黄橙色ブロック（φ5mm）2％
4　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 30％
　　黄橙色粒 2％

7区　T－2号竪穴状遺構
1　黒褐　粗　△×　現耕作土
2　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 15％
3　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10％
4　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10％
　　黄橙色ブロック（φ5mm）1％
5　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％

7区　T－3号竪穴状遺構
1　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10％、黄橙色粒 2％
2　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 7％
3　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 3％
　　Hr-FA ブロック（φ20mm）3％

0　1：60　2m

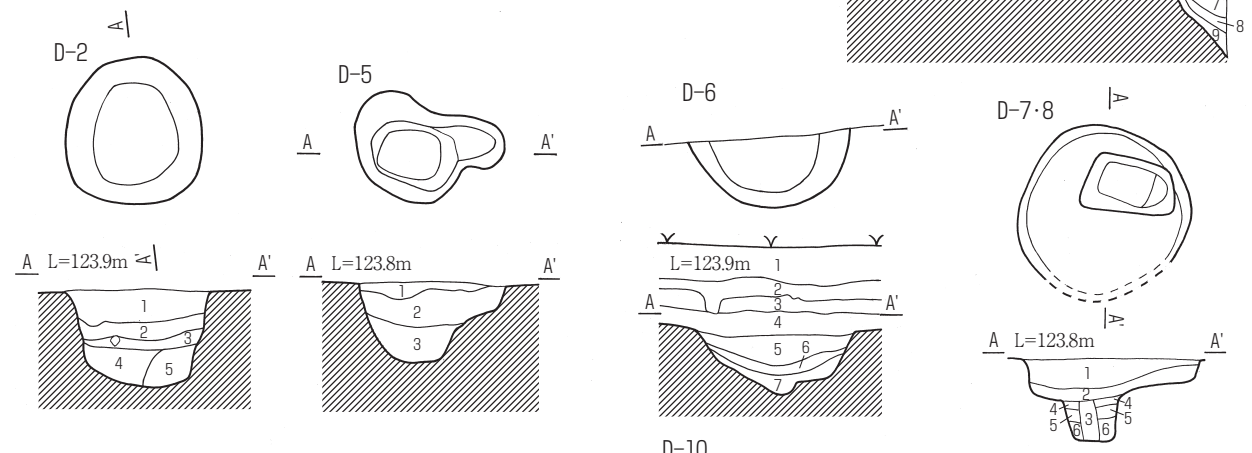
Fig.41　7区 H－22号住居跡、T－1～3号竪穴状遺構




7区　W－1号溝跡セクション
1　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10%、黄橙色粒 1％

7区　W－2号溝跡セクション
1　暗褐　細　△×　As-B 30%
As-C・Hr-FP 2％

7区　W－3号溝セクション
1　現耕作土
2　黒褐　粗　△×　As-B 混土層
3　黒褐　細　○○　As-B 10%、As-C・Hr-FP 10%
4　黒褐　粗　○△　As-B 30%、As-C・Hr-FP 3％、黄橙色粒 3％
5　黒褐　粗　○△　As-B 20%、黄橙色粒 1％
6　暗褐　粗　○△　As-B 20%、黄橙色砂粒 10%
7　暗褐　粗　○△　As-B 15%、黄橙色砂粒 1％
8　暗褐　粗　○△　As-B 10%、黄橙色砂粒 10%
9　褐灰　粗　○△　As-B 10%、黄橙色砂粒 1％




7区　D－2号土坑セクション
1　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 20%
2　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％
3　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 1％
4　黒褐　細　△○　As-C・Hr-FP 1％、黄橙色粒 5％
5　黒褐　微　○○　黄橙色粒 1％

7区　D－5号土坑セクション
1　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 15%
2　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 20%
3　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 3％

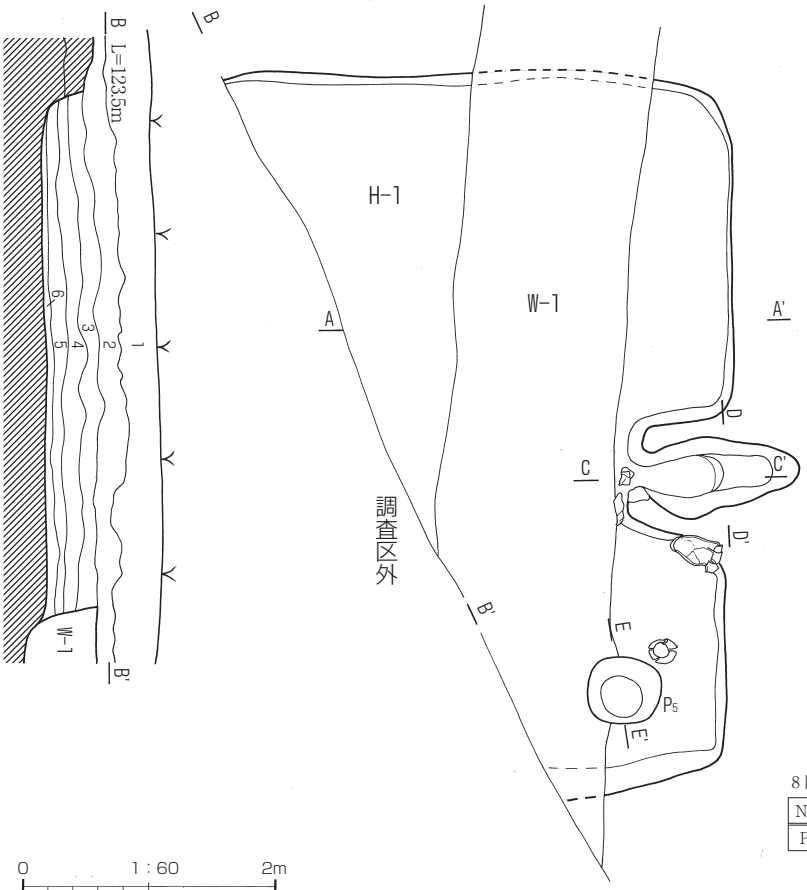
7区　D－6号土坑セクション
1　現耕作土
2　黒褐　粗　△×　As-B 混土層
3　黒褐　細　△○　As-B 10%、As-C・Hr-FP 10%
4　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 15%
5　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10%
6　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％
7　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 1％

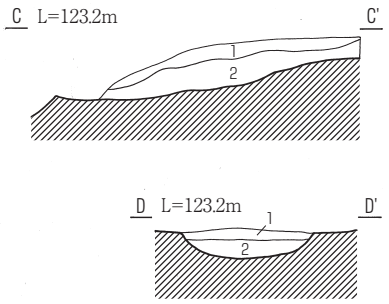
7区　D－7・8号土坑セクション
1　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10%
2　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％
3　黒褐　細　×○　As-C・Hr-FP 1％、黄橙色粒 2％
4　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％
5　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 3％
6　黒褐　細　△○　As-C・Hr-FP 1％、黄橙色粒 3％

7区　D－10号土坑セクション
1　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％
2　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 3％

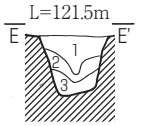
7区　DB－1号土坑墓セクション
1　黒褐　粗　△○　現耕作土、As-B 混土層
2　黒褐　細　△○　As-B 10%、As-C・Hr-FP 3％
3　暗褐　細　○○　As-B 15%、As-C・Hr-FP 3％、炭化物 1％
4　暗褐　細　○○　As-B 10%、As-C・Hr-FP 2％、炭化物 2％
5　暗褐　細　○○　As-B 7％、As-C・Hr-FP 1％、人骨検出層
6　黒褐　細　○○　As-B 5％、As-C・Hr-FP 1％、炭化物 1％

Fig.42　7区 W－1～3号溝跡、D－2・5～8・10号土坑、DB－1土壙墓




8区　H－1号住居跡　竈セクション
1　暗褐　微　○◎　焼土ブロック（φ5～10㎜）15%、
　　にぶい黄褐色粘土 20%、炭化物 5％
2　黒褐　微　○◎　焼土ブロック（φ5㎜）7％、
　　にぶい黄褐色粘土 10%、炭化物 5％

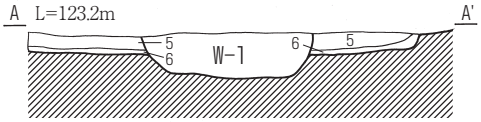



8区　H－1号住居跡　P5号貯蔵穴セクション
1　黒褐　細　△○　As-C・Hr-FP 5％、
　　黄橙色ブロック（φ5～10㎜）5％、
　　黄橙色粒 3％
2　暗褐　細　△○　As-C・Hr-FP 3％、
　　黄橙色ブロック（φ5～10㎜）7％、
　　黄橙色粒 10%
3　褐　　細　△○　As-C・Hr-FP 1％、
　　黄橙色ブロック（φ5～10㎜）10%、
　　黄橙色粒 20%

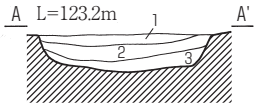
8区　H－1号住居跡柱穴計測表

| No. | 形　状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| P5 | 円　形 | 58 | 54 | 47.5 | 貯蔵穴 |

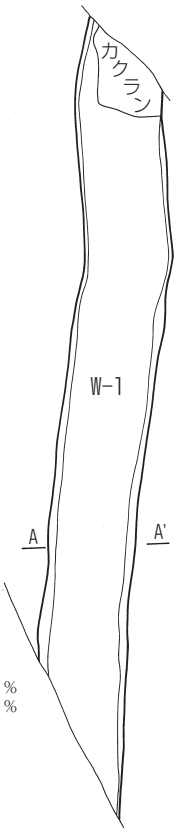
0　1：30　1m




8区　H－1号住居跡　ベルトセクション
1　現耕作土
2　暗褐　粗　◎△　As-B 混土層
3　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10%、黄橙色ブロック（φ5㎜）1％
4　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％、黄橙色ブロック（φ5㎜）1％
5　黒褐　細　△○　As-C・Hr-FP 3％、黄橙色ブロック（φ5㎜）3％
6　黒褐　細　△○　As-C・Hr-FP 1％、黄橙色ブロック（φ5㎜）5％、黄橙色粒 5％

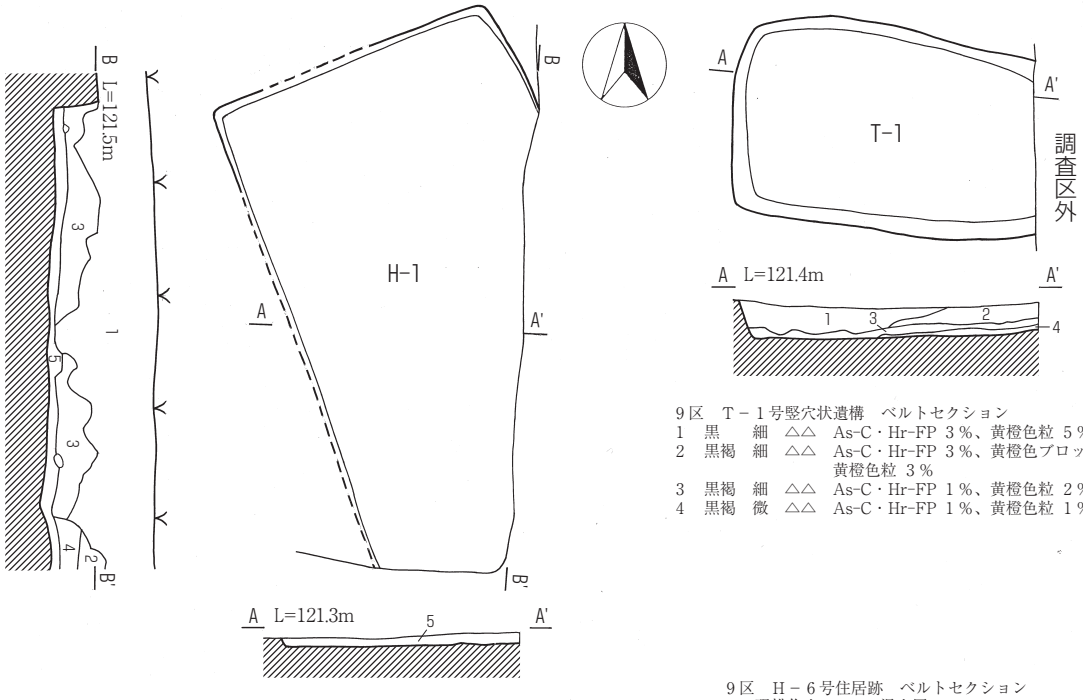



8区　W－1号溝跡セクション
1　黒褐　粗　○△　As-B 40%、As-C・Hr-FP 1％
2　黒褐　粗　○△　As-B 30%、As-C・Hr-FP 1％、黄橙色粒 1％
3　黒褐　粗　○△　As-B 20%、As-C・Hr-FP 2％、黄橙色粒 3％



0　1：120　4m

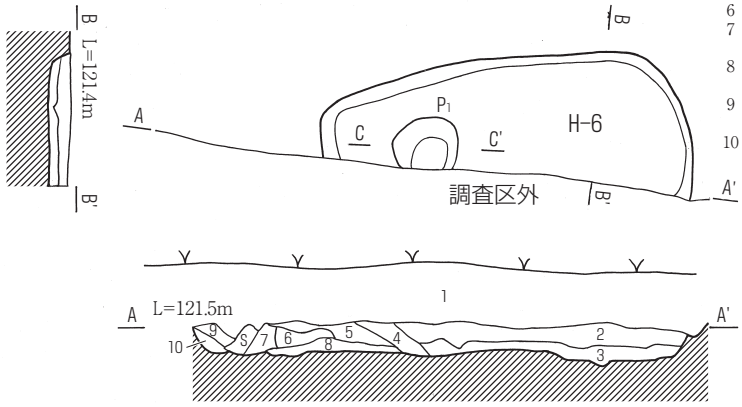
Fig.43　8区 H－1号住居跡、W－1号溝跡




9区　T－1号竪穴状遺構　ベルトセクション
1　黒　　細　△△　As-C・Hr-FP 3％、黄橙色粒 5％
2　黒褐　細　△△　As-C・Hr-FP 3％、黄橙色ブロック（φ5mm）2％、黄橙色粒 3％
3　黒褐　細　△△　As-C・Hr-FP 1％、黄橙色粒 2％
4　黒褐　微　△△　As-C・Hr-FP 1％、黄橙色粒 1％

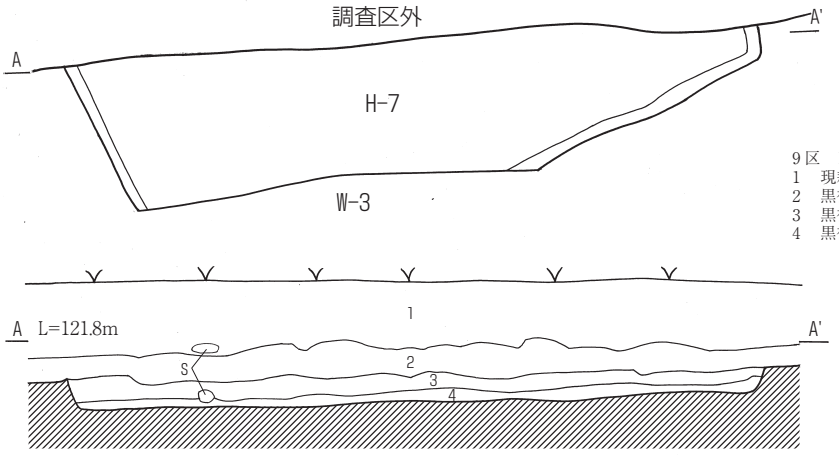
9区　H－1号住居跡　ベルトセクション
1　現耕作土、As-B 混土層
2　黒褐　細　○△　As-C 2％、黄橙色粒 1％
3　暗褐　細　○△　As-C 5％、黄橙色粒 1％
4　黒褐　粗　○△　As-C・Hr-FP 7％、黄橙色粒 1％
5　褐　　細　○△　As-C 2％、黄橙色砂粒 30％

9区　H－6号住居跡　ベルトセクション
1　現耕作土、As-B 混土層
2　黒褐　　細　○○　As-C・Hr-FP 15％
　　黄橙色ブロック（φ5mm）5％
3　黒褐　　細　○○　As-C・Hr-FP 10％
　　黄橙色ブロック（φ5mm）5％、
　　黄橙色粒 5％
4　黒褐　　細　○○　As-C・Hr-FP 5％
5　黒褐　　細　○○　As-C・Hr-FP 1％
　　灰黄褐粘土ブロック（φ5～100mm）30％
6　にぶい黄褐　細　○◎　灰黄褐粘土主体
7　黒褐　　細　○◎　灰黄褐粘土ブロック（φ5mm）10％
　　灰黄褐粘土粒 10％
8　暗褐　　細　△○　灰黄褐粘土ブロック（φ5～20mm）2％
　　灰黄褐色粘土粒 5％
9　暗褐　　細　○◎　灰黄褐粘土ブロック（φ5～20mm）2％
　　灰黄褐色粘土粒 20％
10　にぶい黄褐　細　○○　灰黄褐粘土粒 5％




9区　H－6号住居跡柱穴計測表

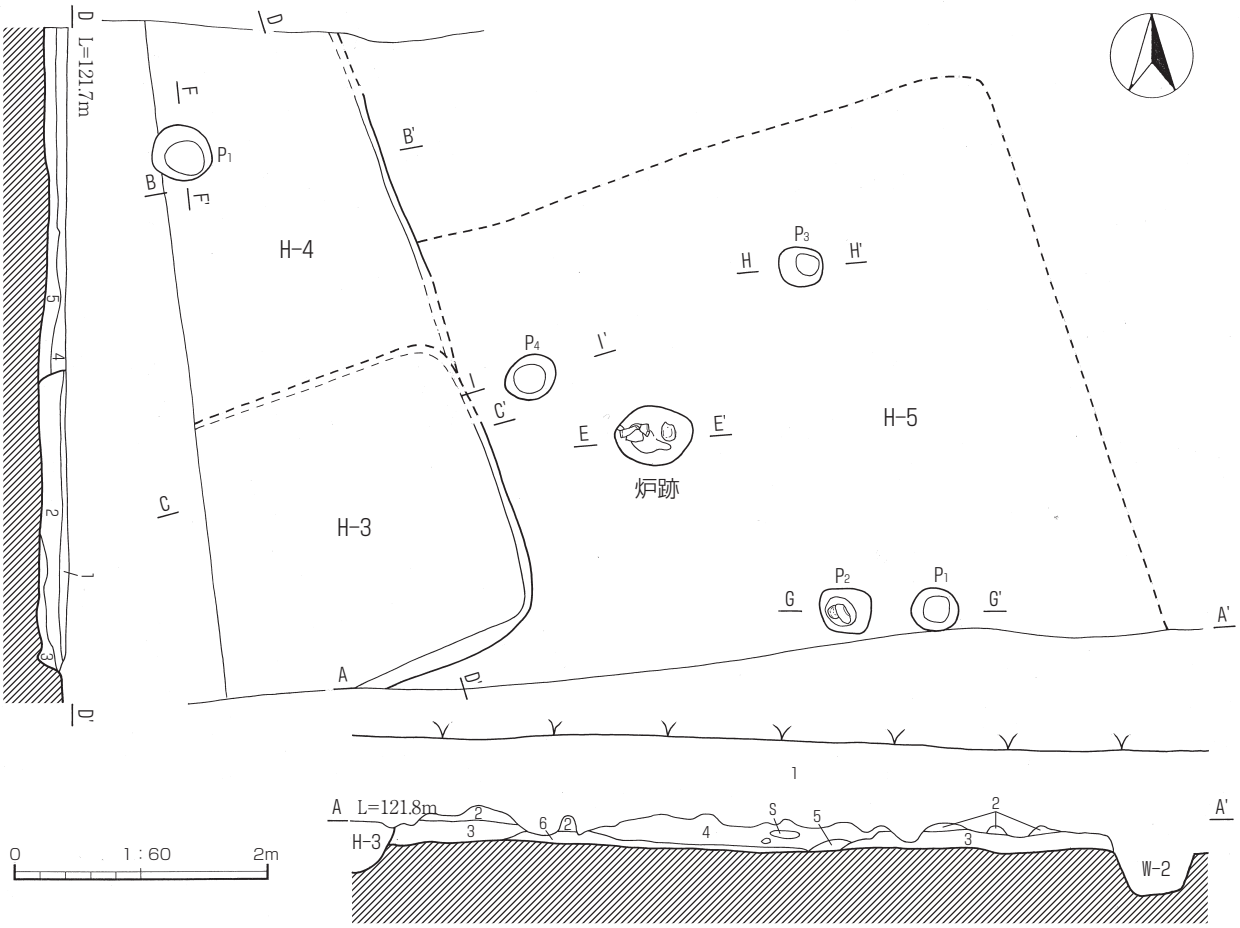
| No. | 形　状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| P1 | 楕円形 | 52 | 42 | 65.0 | |

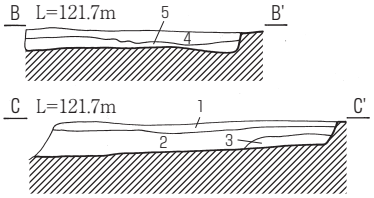



9区　H－7号住居跡　北壁セクション
1　現耕作土、As-B 混土層
2　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10％、黄橙色粒 1％
3　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％、黄橙色粒 3％
4　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 3％、黄橙色粒 5％

0　1：60　2m

Fig.44　9区 H－1・6・7号住居跡、T－1号竪穴状遺構



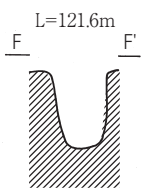




9区　H－5号住居跡　南壁セクション

1　現耕作土、As-B 混土層
2　暗褐　細　△△　As-B 5％、As-C・Hr-FP 5％
3　暗褐　細　○○　As-C 5％、黄橙色ブロック（φ5～20㎜）7％、黄橙色粒 10%
4　にぶい黄褐　細　◎○　As-C 7％、焼土ブロック（φ5㎜）5％、焼土粒 3％
　　黄橙色ブロック（φ5㎜）5％、灰黄褐色粘土粒 25%
5　黒褐　細　○○　As-C 3％、黄橙色粒 2％
6　暗褐　細　○○　As-C 3％、黄橙色ブロック（φ5～30㎜）15%、黄橙色粒 15%

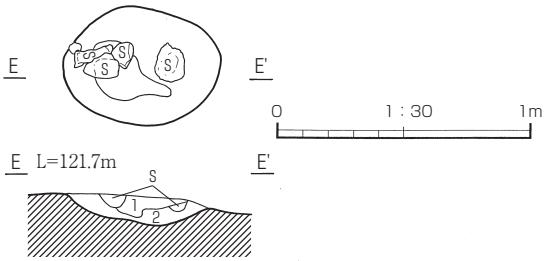
9区　H－3・4号住居跡　ベルトセクション

1　黒褐　細　◎○　As-C 5％、黄橙色ブロック（φ5㎜）1％、黄橙色粒 5％
2　暗褐　細　◎○　As-C 5％、黄橙色ブロック（φ5～20㎜）20%、黄橙色粒 15%
3　暗褐　細　○○　As-C 1％、黄橙色ブロック（φ5～20㎜）1％、黄橙色粒 10%
4　黒褐　細　○○　As-C 10%、黄橙色ブロック（φ5㎜）3％、黄橙色粒 3％
5　暗褐　細　○○　As-C 3％、黄橙色ブロック（φ5～10㎜）5％、黄橙色粒 5％



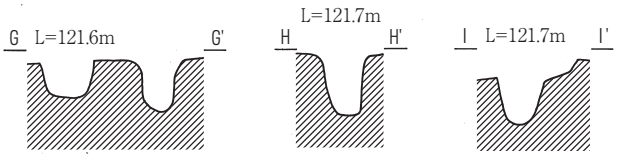

9区　H－4号住居跡柱穴計測表

| No. | 形　状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| $P_1$ | 円　形 | 50 | 48 | 60.0 | |




9区　H－5号住居跡　地床炉セクション

1　赤褐　細　○×　焼土ブロック主体
2　極暗赤褐　細　○△　焼土粒 3％、黄橙色ブロック（φ5㎜）10%




9区　H－5号住居跡柱穴計測表

| No. | 形　状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| $P_1$ | 円　形 | 38 | 36 | 38.0 | |
| $P_2$ | 楕円形 | 48 | 38 | 29.5 | |
| $P_3$ | 円　形 | 36 | 34 | 49.0 | |
| $P_4$ | 楕円形 | 38 | 38 | 38.0 | |

Fig.45　9区H－3～5号住居跡

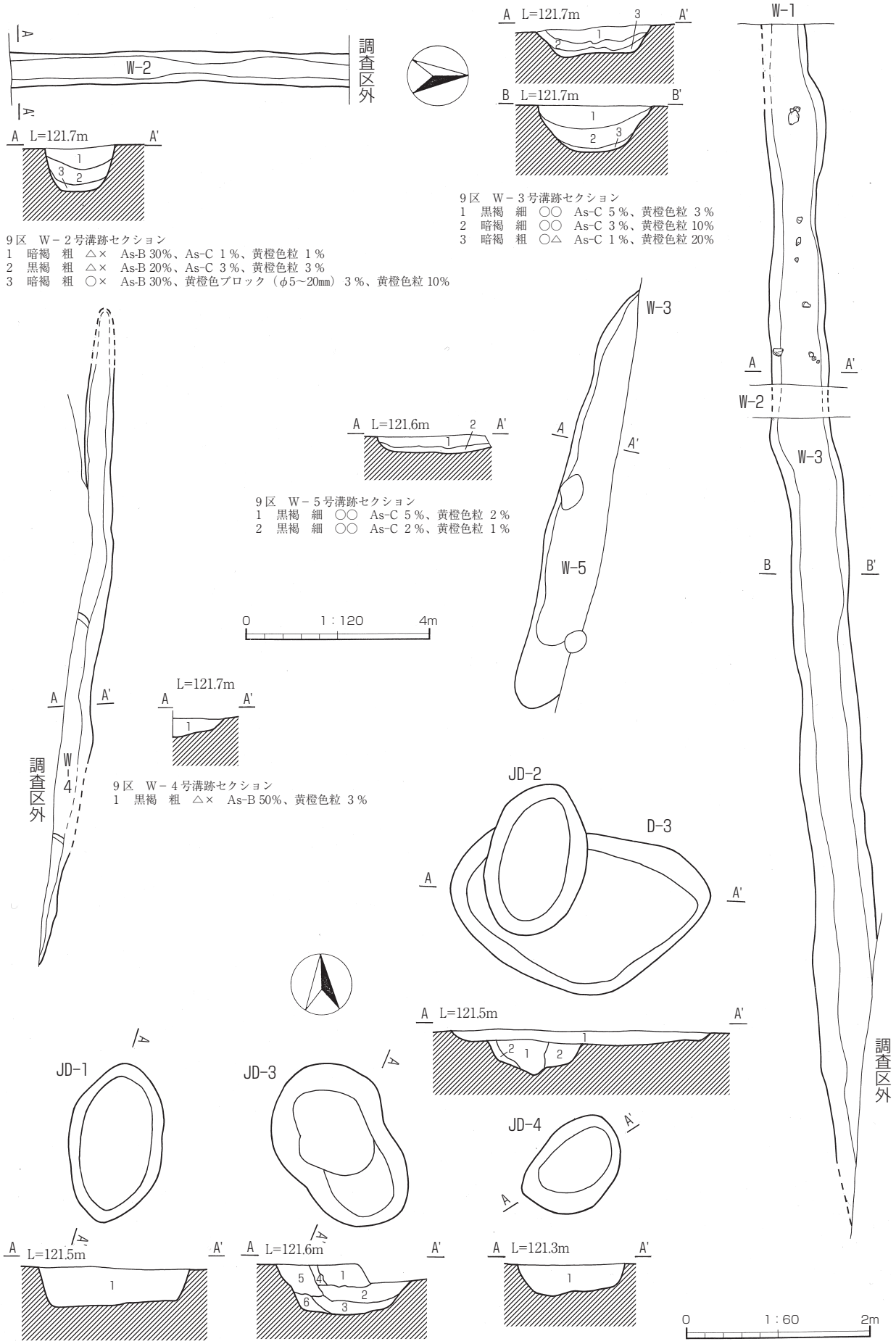
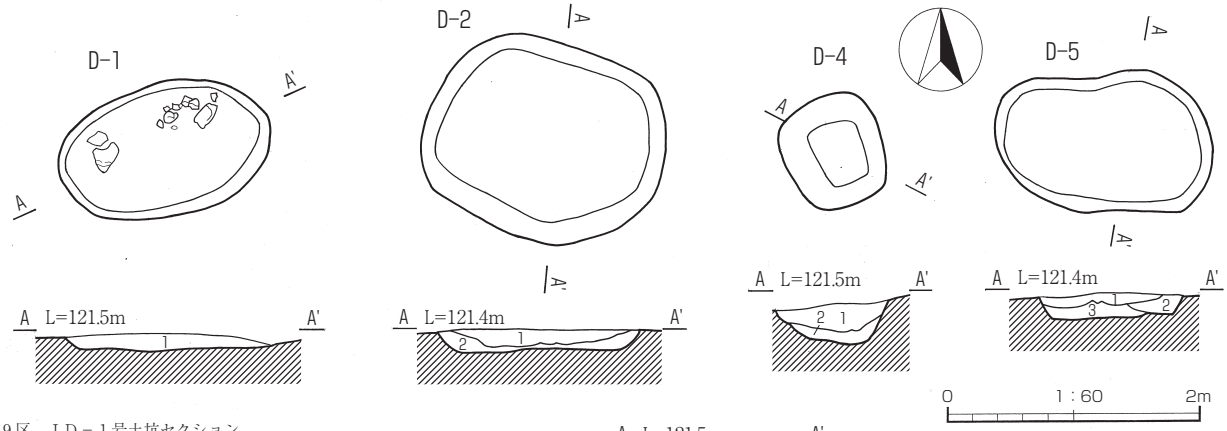



Fig.46　9区 W－2～5号溝跡、JD－1～4、D－3号土坑




9区　ＪＤ－１号土坑セクション
1　黒　　細　◎○　橙色軽石 20%、白色軽石 3％

9区　ＪＤ－２号土坑セクション
1　黒　　細　◎○　橙色軽石 20%、白色軽石 30%
2　暗褐　細　◎○　橙色軽石 15%、白色軽石 10%

9区　ＪＤ－３号土坑セクション
1　黒　　細　◎○　橙色軽石 30%、白色軽石 20%
2　黒　　細　◎○　橙色軽石 20%、白色軽石 15%
3　黒　　細　◎○　橙色軽石 15%、白色軽石 5％
4　暗褐　細　○○　橙色軽石 5％、白色軽石 1％
5　暗褐　細　◎○　橙色軽石 3％、白色軽石 3％
6　暗褐　細　◎○　橙色軽石 1％、白色軽石 1％

9区　ＪＤ－４号土坑セクション
1　黒　　細　◎○　橙色軽石 20%、白色軽石 15%

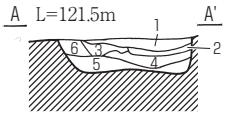
9区　Ｄ－１号土坑セクション
1　暗褐　細　○○　凝灰岩（φ50～200㎜）30%、黄橙色粒 30%

9区　Ｄ－2号土坑セクション
1　黒褐　細　○○　As-C 1％、黄橙色粒 5％
2　暗褐　細　○○　As-C 1％、黄橙色粒 15%

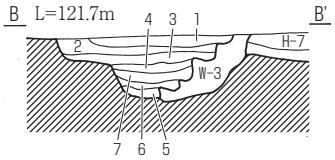
9区　Ｄ－３号土坑セクション
1　黒褐　細　○○　As-C 3％

9区　Ｄ－４号土坑セクション
1　黒褐　細　○○　As-C 3％、黄橙色粒 3％
2　黒褐　細　○○　As-C 1％、黄橙色粒 5％

9区　Ｄ－５号土坑セクション
1　黒褐　細　○○　As-C 3％、黄橙色粒 3％
2　黒褐　細　○○　As-C 7％、黄橙色粒 1％
3　暗褐　細　○○　As-C 5％、黄橙色粒 10%




9区　Ａ－１号道路状遺構セクション
1　黒褐　細　◎○　As-C・Hr-FP 15%、黄橙色粒 5％
2　黒褐　粗　◎○　As-C・Hr-FP 10%、砂礫 20%
3　黒褐　粗　○○　As-C・Hr-FP 5％、
　　黄橙色ブロック（φ5㎜）3%、
　　黄橙色粒10%
4　暗褐　細　◎○　黄橙色ブロック（φ5～15㎜）15%、
　　黄橙色砂粒 15%
5　黄褐　細　△○　黄橙色砂粒 30%
6　暗褐　細　○△　As-C・Hr-FP 5％、黄橙色砂粒 20%




9区　Ａ－２号道路状遺構セクション
1　暗褐　粗　◎△　As-C・Hr-FP 5％、砂礫 7％
2　暗褐　粗　◎△　As-C・Hr-FP 3％、砂礫 3％
3　黄褐　粗　◎×　黄橙色砂粒 50%
4　黒褐　粗　◎△　黄橙色砂粒 7％
5　黒褐　粗　◎○　黄橙色砂粒 5％、砂礫 3％
6　暗褐　粗　◎○　黄橙色砂粒 7％、砂礫 3％
7　黒褐　粗　◎△　黄橙色砂粒 3％、砂礫 20%

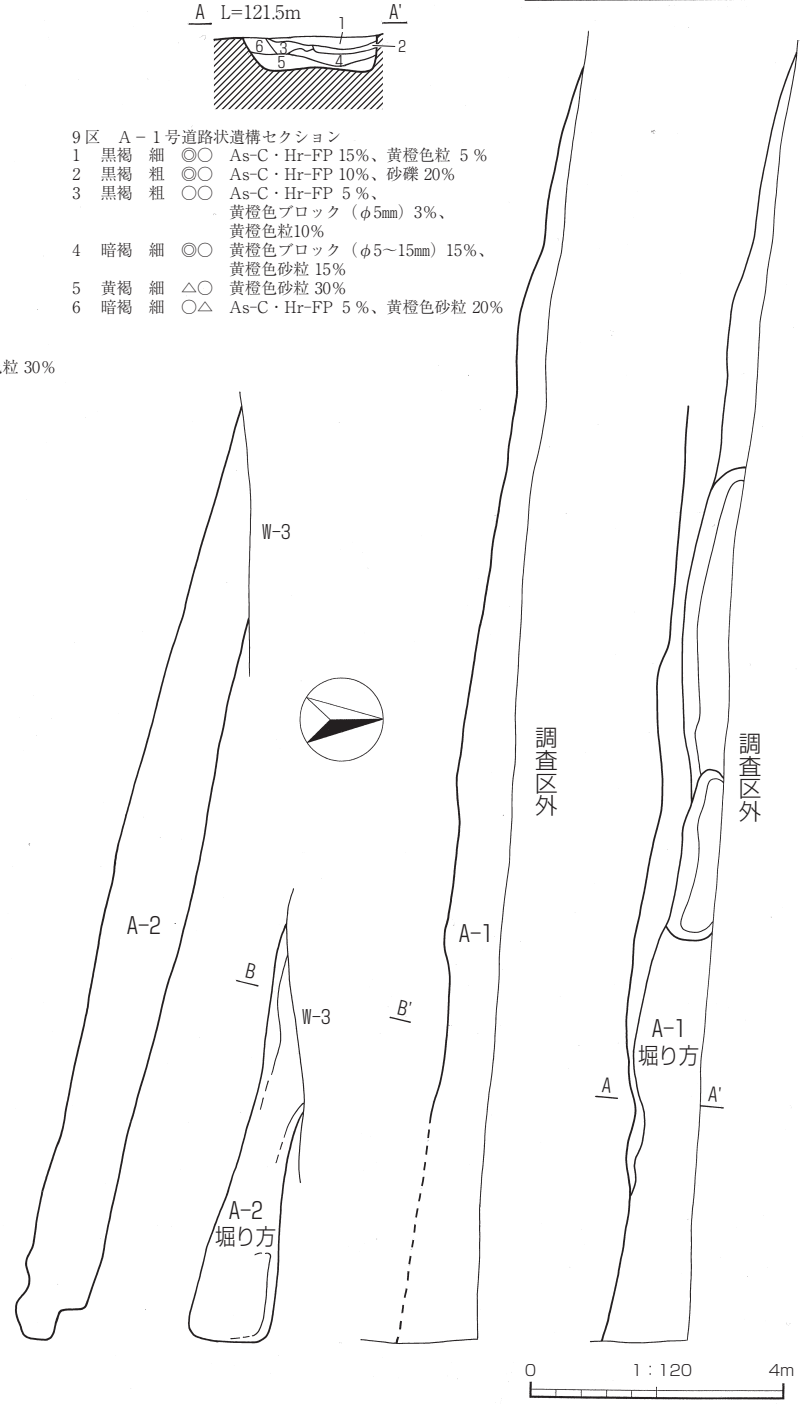
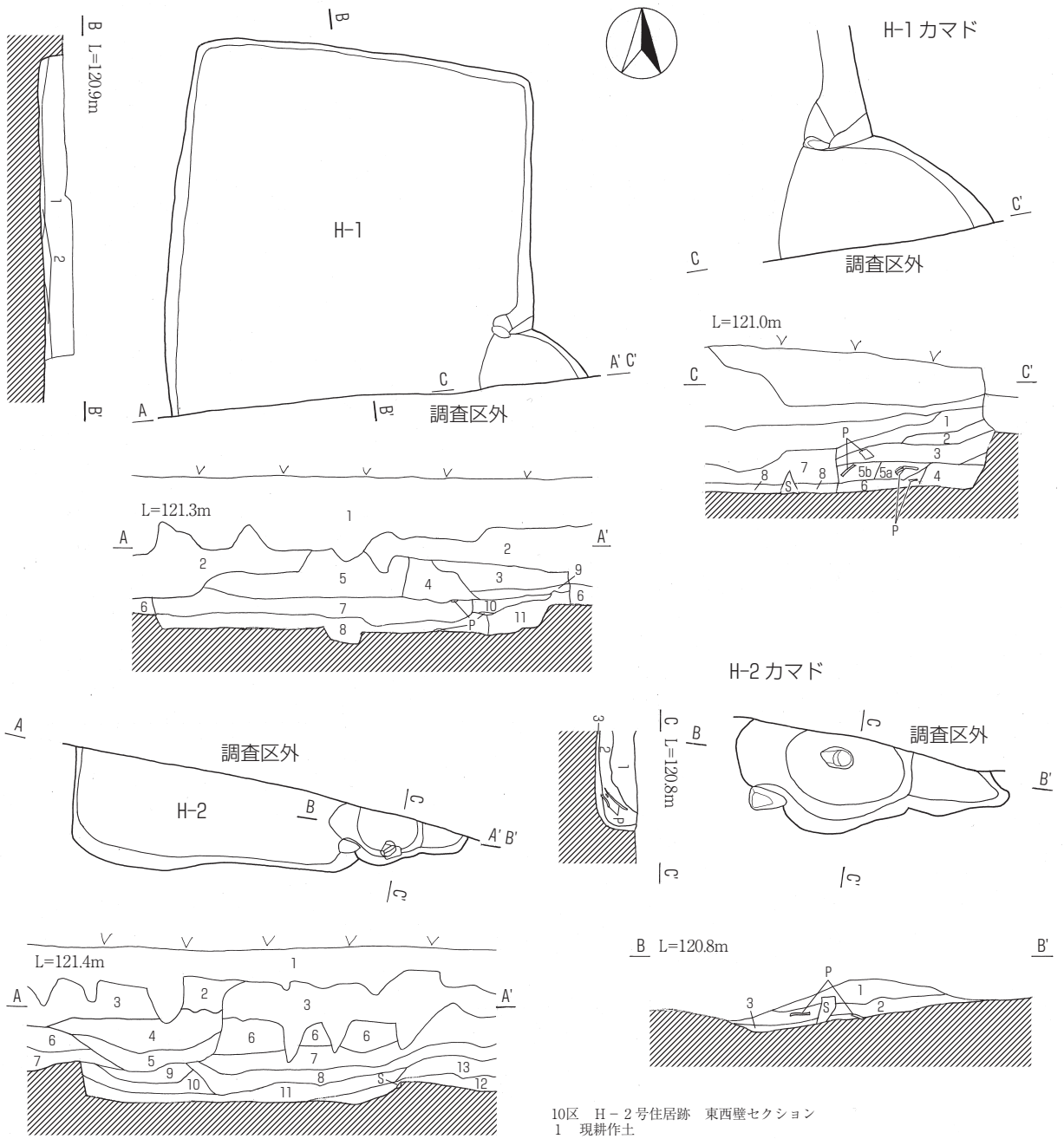



Fig.47　9区 Ｄ－１・２・４・５号土坑、Ａ－１・２号道路状遺構




10区　H－1号住居跡　東西壁セクション

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 現耕作土 | | | |
| 2 | 灰黄褐 | 粗 | ◎△ | As-B 50%、As-C・Hr-FP 20% |
| 3 | 灰黄褐 | 粗 | ◎○ | As-B 20%、As-C・Hr-FP 5% |
| 4 | にぶい黄褐 | 細 | ◎△ | As-C・Hr-FP 5%、黄橙色粒 2% |
| 5 | にぶい黄褐 | 細 | ◎△ | As-C・Hr-FP 20%、黄橙色粒 1% |
| 6 | 黒褐 | 細 | ◎○ | As-C・Hr-FP 5%、底部には粘質土が多い。 |
| 7 | 暗褐 | 細 | ◎○ | As-C・Hr-FP 10% |
| 8 | 暗褐 | 微 | ◎○ | As-C・Hr-FP 5%、底部に粘土ブロックが多い。 |
| 9 | 黒褐 | 微 | ◎○ | As-C・Hr-FP 5% |
| 10 | 黒褐 | 微 | ◎○ | As-C・Hr-FP 2%、黄橙色粒 5%、炭化物 5% |
| 11 | 暗褐 | 微 | ◎○ | As-C・Hr-FP 2%、焼土ブロック 5%、焼土粒 2% |

10区　H－1号住居跡　南北ベルトセクション

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 暗褐 | 細 | ◎○ | As-C・Hr-FP 10% |
| 2 | 暗褐 | 微 | ◎○ | As-C・Hr-FP 5% |

10区　H－1号住居跡　竈セクション

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 灰褐 | 細 | ◎○ | As-C・Hr-FP 20%、焼土粒 10%、炭化物 5% |
| 2 | 暗褐 | 細 | ◎○ | As-C・Hr-FP 15%、焼土粒 5%、炭化物 2% |
| 3 | 明赤褐 | 微 | ◎○ | As-C・Hr-FP 5%、炭化物 2%、焼土ブロック（φ5～20mm）有 |
| 4 | 褐 | 微 | ○◎ | 粘土ブロック 20%、焼土ブロック（φ5mm） 5% |
| 5a | 明赤褐 | 微 | ○○ | 粘土ブロック（φ5mm） 5%、As-C 5% |
| 5b | 暗褐 | 微 | ○○ | As-C・Hr-FP 5%、焼土粒 15% |
| 6 | 暗褐 | 微 | ○○ | 灰層焼土粒 10%、焼土ブロック（φ5～20mm）有 |
| 7 | 暗褐 | 細 | ◎○ | As-C・Hr-FP 10% |
| 8 | 暗褐 | 微 | ◎○ | As-C・Hr-FP 5%、底部に粘土ブロックが多い。 |

10区　H－2号住居跡　東西壁セクション

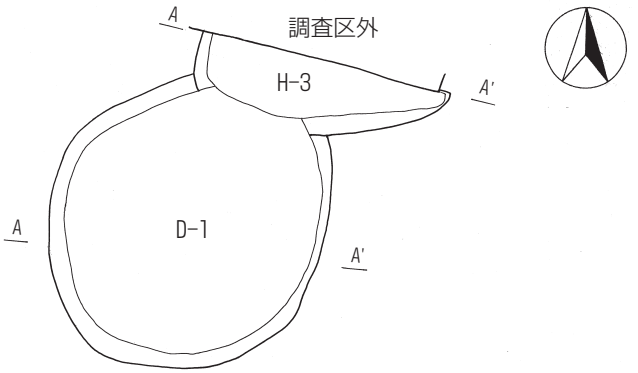
| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 現耕作土 | | | |
| 2 | にぶい黄褐 | 粗 | ◎△ | As-B 20% |
| 3 | にぶい黄褐 | 粗 | ◎△ | As-B 20%、As-C・Hr-FP 10% |
| 4 | 灰黄褐 | 粗 | ◎△ | As-B 20%、As-C・Hr-FP 5% |
| 5 | にぶい黄褐 | 粗 | ◎△ | As-B 50%　（W－1） |
| 6 | 灰黄褐 | 粗 | ◎△ | As-B 20%、As-C・Hr-FP 2% |
| 7 | にぶい黄褐 | 粗 | ○△ | As-B 20%、As-C・Hr-FP 5% |
| 8 | 褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 10%、黄橙色粒 2% |
| 9 | 暗褐 | 細 | ◎◎ | As-C・Hr-FP 5%、黄橙色粒 10% |
| 10 | 暗褐 | 微 | ◎○ | As-C・Hr-FP 5%、黄橙色粒 10%、炭化物 5% |
| 11 | 黒褐 | 微 | ◎○ | As-C・Hr-FP 10%、黄橙色粒 5%、炭化物 2% |
| 12 | 暗褐 | 微 | ○○ | As-C・Hr-FP 5%、東側には焼土が多い。 |
| 13 | にぶい黄褐 | 細 | ◎○ | As-C・Hr-FP 10% |

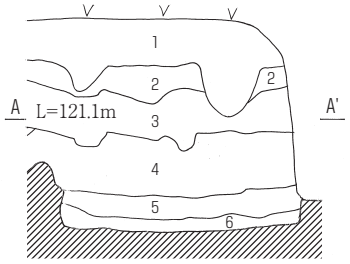
10区　H－2号住居跡　竈セクション

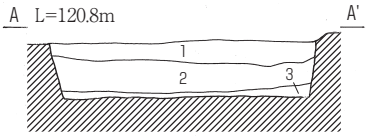
| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 暗褐 | 微 | ○○ | As-C・Hr-FP 5%、黄橙色ブロック（φ2mm） 2%<br>焼土ブロック（φ5mm） 5% |
| 2 | 褐 | 微 | ○○ | 焼土ブロック 20% |
| 3 | にぶい褐 | 微 | ○○ | 灰層焼土粒 5%、粘土ブロック 15% |

0　1：30　1m　　0　1：60　2m

Fig.48　10区 H－1・2号住居跡

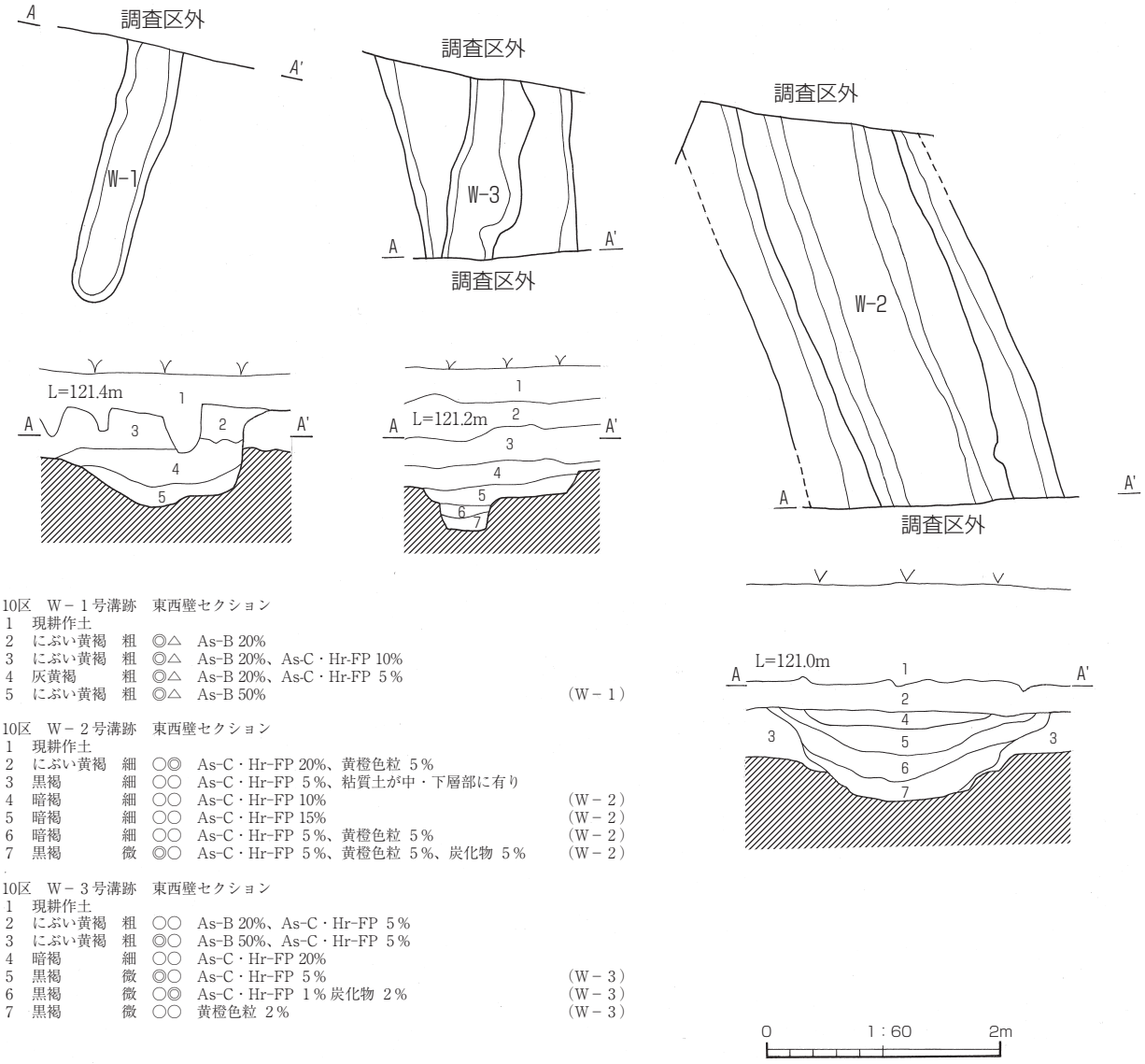



10区　H－３号住居跡　東西壁セクション
1　現耕作土
2　灰黄褐　　粗　○△　As-B 20%
3　にぶい黄褐　粗　○△　As-B 50%
4　褐　　細　○○　As-C・Hr-FP 20%、黄橙色粒 5%
5　暗褐　　細　○○　As-C・Hr-FP 15%、粘質土一部有り
6　黒褐　　微　○◎　As-C 5％、黄橙色粒 5％

10区　D－１号土坑　東西ベルトセクション
1　にぶい黄褐　細　○◎　As-C・Hr-FP 15%、黄橙色粒 5％
2　にぶい黄褐　細　○○　As-C・Hr-FP 20%、黄橙色粒 5％
3　にぶい黄褐　細　◎○　As-C・Hr-FP 5％、粘質土多い

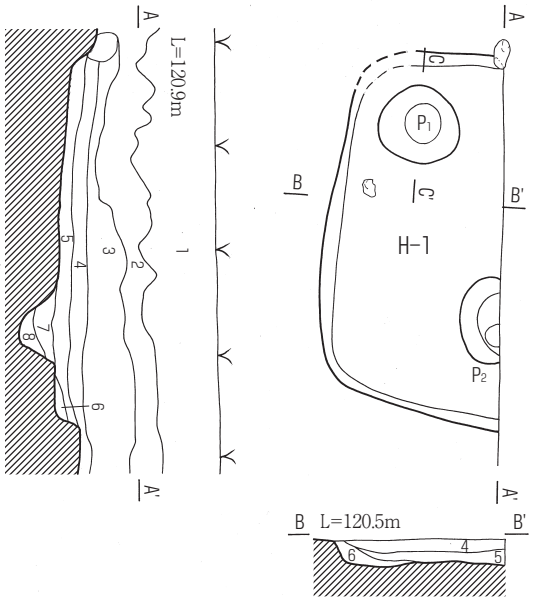



10区　W－１号溝跡　東西壁セクション
1　現耕作土
2　にぶい黄褐　粗　◎△　As-B 20%
3　にぶい黄褐　粗　◎△　As-B 20%、As-C・Hr-FP 10%
4　灰黄褐　　粗　◎△　As-B 20%、As-C・Hr-FP 5％
5　にぶい黄褐　粗　◎△　As-B 50%　　（W－１）

10区　W－２号溝跡　東西壁セクション
1　現耕作土
2　にぶい黄褐　細　○◎　As-C・Hr-FP 20%、黄橙色粒 5％
3　黒褐　　細　○○　As-C・Hr-FP 5％、粘質土が中・下層部に有り
4　暗褐　　細　○○　As-C・Hr-FP 10%　　（W－２）
5　暗褐　　細　○○　As-C・Hr-FP 15%　　（W－２）
6　暗褐　　細　○○　As-C・Hr-FP 5％、黄橙色粒 5％　　（W－２）
7　黒褐　　微　◎○　As-C・Hr-FP 5％、黄橙色粒 5％、炭化物 5％　　（W－２）

10区　W－３号溝跡　東西壁セクション
1　現耕作土
2　にぶい黄褐　粗　○○　As-B 20%、As-C・Hr-FP 5％
3　にぶい黄褐　粗　◎○　As-B 50%、As-C・Hr-FP 5％
4　暗褐　　細　○○　As-C・Hr-FP 20%
5　黒褐　　微　◎○　As-C・Hr-FP 5％　　（W－３）
6　黒褐　　微　○◎　As-C・Hr-FP 1％炭化物 2％　　（W－３）
7　黒褐　　微　○○　黄橙色粒 2％　　（W－３）

Fig.49　10区 H－３号住居跡、W－１～３号溝跡、D－１号土坑

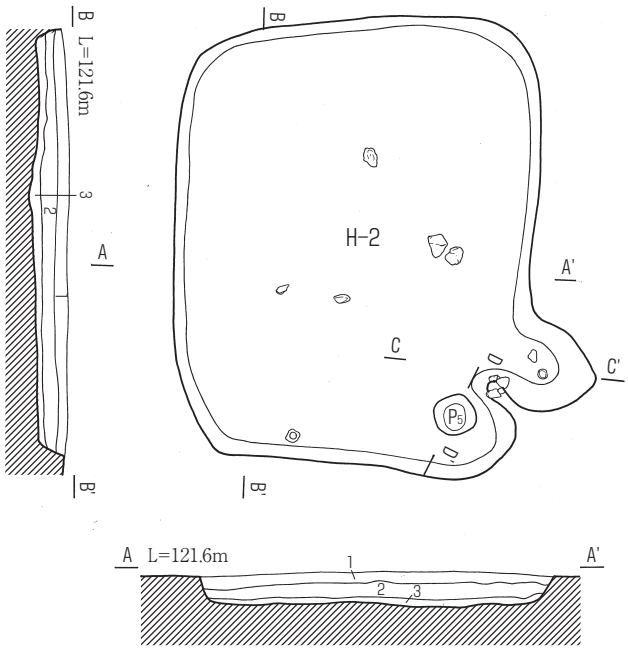



11区　H－1号住居跡　ベルトセクション
1　現耕作土
2　にぶい黄褐　粗　△○　As-B 混土層
3　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 15%、黄橙色粒 5％
4　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10%、黄橙色ブロック（φ5～10㎜）1％
5　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％、黄橙色ブロック（φ5㎜）1％、黄橙色粒 5％
6　暗褐　細　○△　As-C・Hr-FP 1％、黄橙色ブロック（φ10㎜）5％、黄橙色粒 10%
7　暗褐　細　○△　黄橙色ブロック（φ5～10㎜）10%
8　褐　細　○△　黄橙色ブロック（φ5～10㎜）20%

C L=120.5m C'

11区　H－1号住居跡柱穴計測表

| No. | 形　状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| P1 | 円　形 | 64 | 60 | 28.0 | |
| P2 | 楕円形 | 70 | 28 | 30.5 | |




C L=120.6m C'

11区　H－2号住居跡　竈セクション
1　にぶい黄褐　微　◎◎　にぶい黄褐色粘土 40%
2　褐　微　◎○　焼土主体
3　暗褐　微　◎◎　にぶい黄褐色粘土 20%、焼土粒 2％
4　暗褐　微　◎◎　にぶい黄褐色粘土 15%、焼土粒 30%
5　極暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 1％、焼土粒 3％
6　黒褐　微　◎◎　As-C・Hr-FP 1％、にぶい黄褐色粘土 5％
7　にぶい黄褐　微　◎◎　にぶい黄褐色粘土 40%
8　暗褐　微　◎◎　にぶい黄褐色粘土 7％、焼土粒 5％

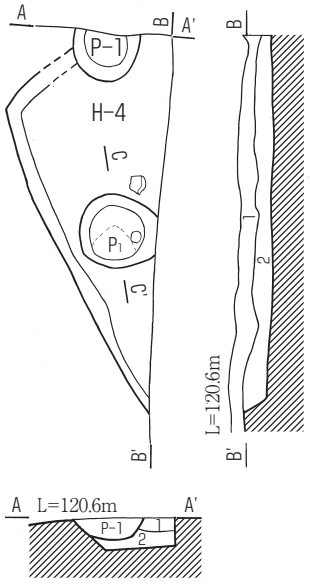
0　1：30　1m

11区　H－2号住居跡　ベルトセクション
1　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 7％、黄橙色ブロック（φ10～25㎜）1％
2　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％、黄橙色粒 1％
3　黒褐　微　○○　As-C・Hr-FP 1％、黄橙色ブロック（φ10㎜）2％、黄橙色粒 1％

L=121.6m
D D'

11区　H－2号住居跡柱穴計測表

| No. | 形　状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| P5 | 円　形 | 34 | 34 | 12.0 | 貯蔵穴 |




11区　H－4号住居跡　ベルトセクション
1　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10%、黄橙色粒 5％、炭化物 5％
2　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 15%、砂質ブロック（φ5～10㎜）5％、黄橙色粒 2％

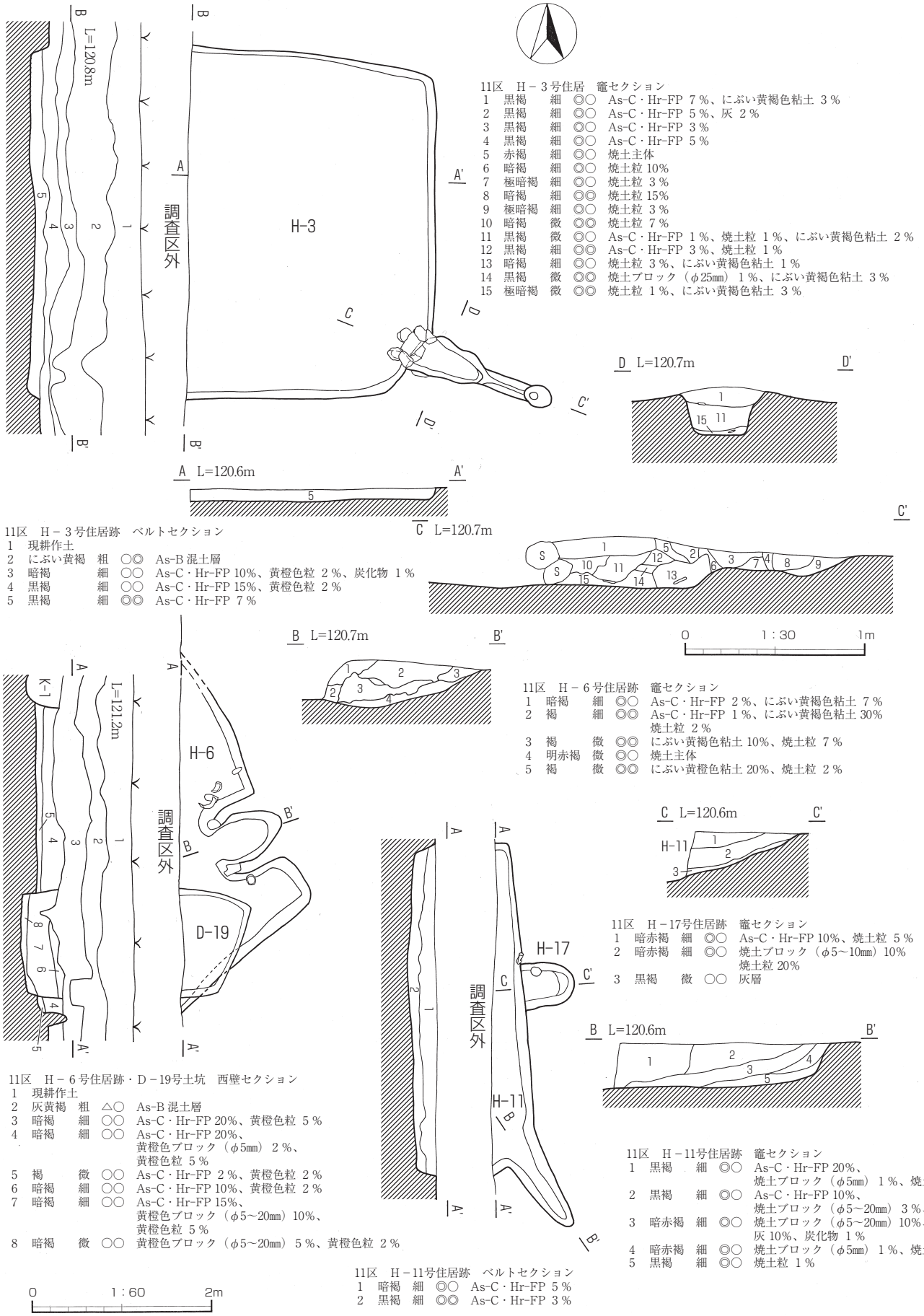
C L=120.6m C'

11区　H－4号住居跡柱穴計測表

| No. | 形　状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| P1 | 円　形 | 64 | 60 | 16.5 | |

0　1：60　2m

Fig.50　11区 H－1・2・4号住居跡




11区　H－3号住居　竈セクション
1　黒褐　細　◎○　As-C・Hr-FP 7％、にぶい黄褐色粘土 3％
2　黒褐　細　◎○　As-C・Hr-FP 5％、灰 2％
3　黒褐　細　◎○　As-C・Hr-FP 3％
4　黒褐　細　◎○　As-C・Hr-FP 5％
5　赤褐　細　◎○　焼土主体
6　暗褐　細　◎○　焼土粒 10%
7　極暗褐　細　◎○　焼土粒 3％
8　暗褐　細　◎◎　焼土粒 15%
9　極暗褐　細　◎○　焼土粒 3％
10　暗褐　微　◎◎　焼土粒 7％
11　黒褐　微　◎○　As-C・Hr-FP 1％、焼土粒 1％、にぶい黄褐色粘土 2％
12　黒褐　細　◎◎　As-C・Hr-FP 3％、焼土粒 1％
13　暗褐　細　◎○　焼土粒 3％、にぶい黄褐色粘土 1％
14　黒褐　微　◎◎　焼土ブロック（φ25㎜）1％、にぶい黄褐色粘土 3％
15　極暗褐　微　◎◎　焼土粒 1％、にぶい黄褐色粘土 3％

11区　H－3号住居跡　ベルトセクション
1　現耕作土
2　にぶい黄褐　粗　○◎　As-B 混土層
3　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10%、黄橙色粒 2％、炭化物 1％
4　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 15%、黄橙色粒 2％
5　黒褐　細　◎◎　As-C・Hr-FP 7％

11区　H－6号住居跡　竈セクション
1　暗褐　細　◎○　As-C・Hr-FP 2％、にぶい黄褐色粘土 7％
2　褐　細　◎◎　As-C・Hr-FP 1％、にぶい黄褐色粘土 30%
焼土粒 2％
3　褐　微　◎◎　にぶい黄褐色粘土 10%、焼土粒 7％
4　明赤褐　微　◎○　焼土主体
5　褐　微　◎◎　にぶい黄橙色粘土 20%、焼土粒 2％

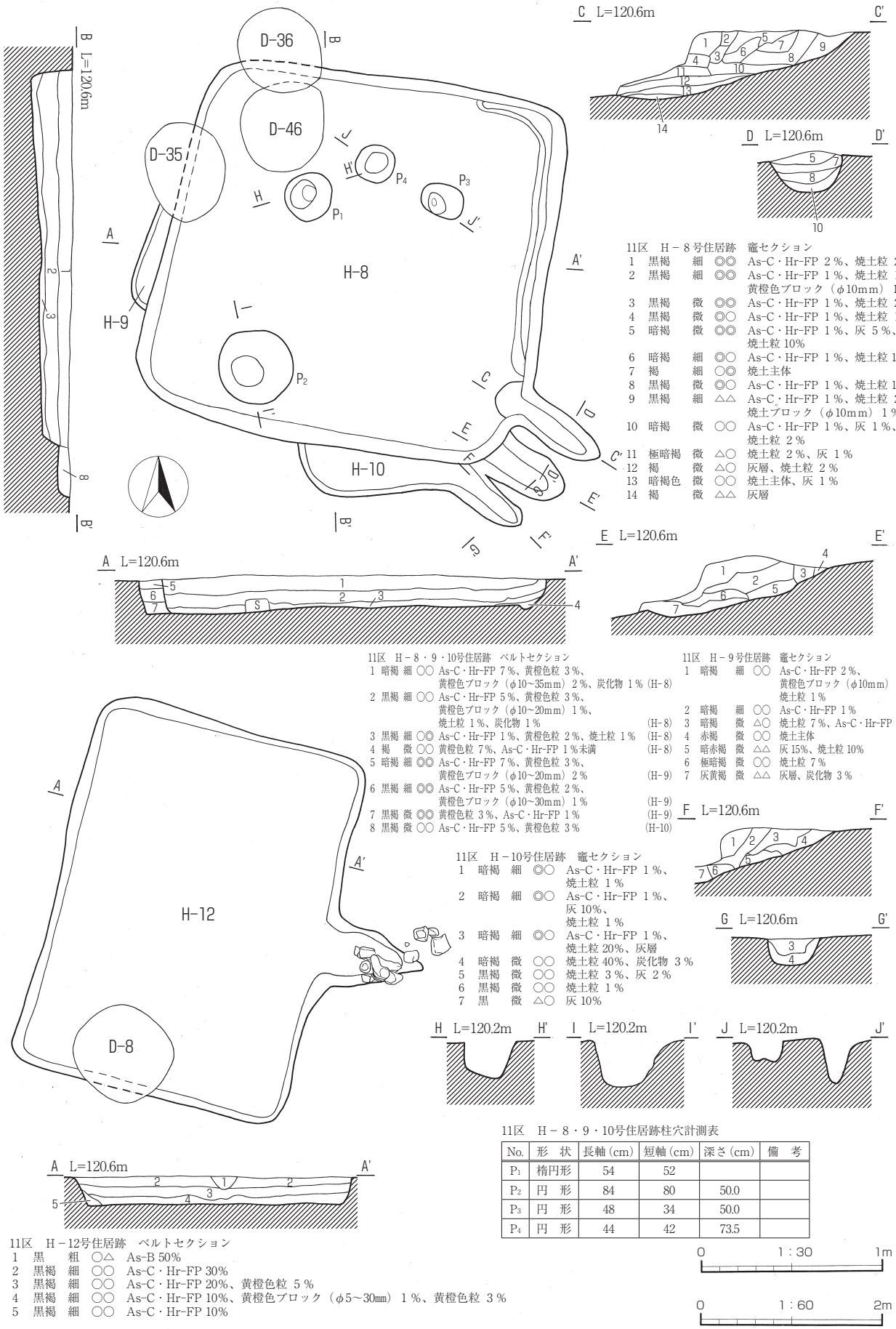
11区　H－17号住居跡　竈セクション
1　暗赤褐　細　◎○　As-C・Hr-FP 10%、焼土粒 5％
2　暗赤褐　細　◎○　焼土ブロック（φ5～10㎜）10%
焼土粒 20%
3　黒褐　微　○○　灰層

11区　H－6号住居跡・D－19号土坑　西壁セクション
1　現耕作土
2　灰黄褐　粗　△○　As-B 混土層
3　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 20%、黄橙色粒 5％
4　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 20%、
黄橙色ブロック（φ5㎜）2％、
黄橙色粒 5％
5　褐　微　○○　As-C・Hr-FP 2％、黄橙色粒 2％
6　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10%、黄橙色粒 2％
7　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 15%、
黄橙色ブロック（φ5～20㎜）10%、
黄橙色粒 5％
8　暗褐　微　○○　黄橙色ブロック（φ5～20㎜）5％、黄橙色粒 2％

11区　H－11号住居跡　ベルトセクション
1　暗褐　細　◎○　As-C・Hr-FP 5％
2　黒褐　細　◎◎　As-C・Hr-FP 3％

11区　H－11号住居跡　竈セクション
1　黒褐　細　◎○　As-C・Hr-FP 20%、
焼土ブロック（φ5㎜）1％、焼土粒 3％
2　黒褐　細　◎○　As-C・Hr-FP 10%、
焼土ブロック（φ5～20㎜）3％、焼土粒 3％
3　暗赤褐　細　◎○　焼土ブロック（φ5～20㎜）10%、焼土粒 10%、
灰 10%、炭化物 1％
4　暗赤褐　細　◎○　焼土ブロック（φ5㎜）1％、焼土粒 2％
5　黒褐　細　◎○　焼土粒 1％

Fig.51　11区 H－3・6・11・17号住居跡、D－19号土坑




11区　H－8号住居跡　竈セクション

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 黒褐 | 細 | ◎◎ | As-C・Hr-FP 2％、焼土粒 2％ |
| 2 | 黒褐 | 細 | ◎◎ | As-C・Hr-FP 1％、焼土粒 1％、黄橙色ブロック（φ10mm）1％ |
| 3 | 黒褐 | 微 | ◎◎ | As-C・Hr-FP 1％、焼土粒 2％ |
| 4 | 黒褐 | 微 | ◎○ | As-C・Hr-FP 1％、焼土粒 1％ |
| 5 | 暗褐 | 微 | ◎◎ | As-C・Hr-FP 1％、灰 5％、焼土粒 10％ |
| 6 | 暗褐 | 細 | ◎○ | As-C・Hr-FP 1％、焼土粒 10％ |
| 7 | 褐 | 細 | ○◎ | 焼土主体 |
| 8 | 黒褐 | 微 | ◎○ | As-C・Hr-FP 1％、焼土粒 15％ |
| 9 | 黒褐 | 細 | △△ | As-C・Hr-FP 1％、焼土粒 2％、焼土ブロック（φ10mm）1％ |
| 10 | 暗褐 | 微 | ○○ | As-C・Hr-FP 1％、灰 1％、焼土粒 2％ |
| 11 | 極暗褐 | 微 | △○ | 焼土粒 2％、灰 1％ |
| 12 | 褐 | 微 | △○ | 灰層、焼土粒 2％ |
| 13 | 暗褐色 | 微 | ○○ | 焼土主体、灰 1％ |
| 14 | 褐 | 微 | △△ | 灰層 |

11区　H－8・9・10号住居跡　ベルトセクション

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 暗褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 7％、黄橙色粒 3％、黄橙色ブロック（φ10～35mm）2％、炭化物 1％ | (H-8) |
| 2 | 黒褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 5％、黄橙色粒 3％、黄橙色ブロック（φ10～20mm）1％、焼土粒 1％、炭化物 1％ | (H-8) |
| 3 | 黒褐 | 細 | ○◎ | As-C・Hr-FP 1％、黄橙色粒 2％、焼土粒 1％ | (H-8) |
| 4 | 褐 | 微 | ○○ | 黄橙色粒 7％、As-C・Hr-FP 1％未満 | (H-8) |
| 5 | 暗褐 | 細 | ◎◎ | As-C・Hr-FP 7％、黄橙色粒 3％、黄橙色ブロック（φ10～20mm）2％ | (H-9) |
| 6 | 黒褐 | 細 | ◎◎ | As-C・Hr-FP 5％、黄橙色粒 2％、黄橙色ブロック（φ10～30mm）1％ | (H-9) |
| 7 | 黒褐 | 微 | ◎◎ | 黄橙色粒 3％、As-C・Hr-FP 1％ | (H-9) |
| 8 | 黒褐 | 微 | ○○ | As-C・Hr-FP 5％、黄橙色粒 3％ | (H-10) |

11区　H－9号住居跡　竈セクション

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 暗褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 2％、黄橙色ブロック（φ10mm）1％、焼土粒 1％ |
| 2 | 暗褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 1％ |
| 3 | 暗褐 | 微 | △○ | 焼土粒 7％、As-C・Hr-FP 1％ |
| 4 | 赤褐 | 微 | ○○ | 焼土主体 |
| 5 | 暗赤褐 | 微 | △△ | 灰 15％、焼土粒 10％ |
| 6 | 極暗褐 | 微 | ○○ | 焼土粒 7％ |
| 7 | 灰黄褐 | 微 | △△ | 灰層、炭化物 3％ |

11区　H－10号住居跡　竈セクション

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 暗褐 | 細 | ◎○ | As-C・Hr-FP 1％、焼土粒 1％ |
| 2 | 暗褐 | 細 | ◎○ | As-C・Hr-FP 1％、灰 10％、焼土粒 1％ |
| 3 | 暗褐 | 細 | ◎○ | As-C・Hr-FP 1％、焼土粒 20％、灰層 |
| 4 | 暗褐 | 微 | ○○ | 焼土粒 40％、炭化物 3％ |
| 5 | 黒褐 | 微 | ○○ | 焼土粒 3％、灰 2％ |
| 6 | 黒褐 | 微 | ○○ | 焼土粒 1％ |
| 7 | 黒 | 微 | △○ | 灰 10％ |

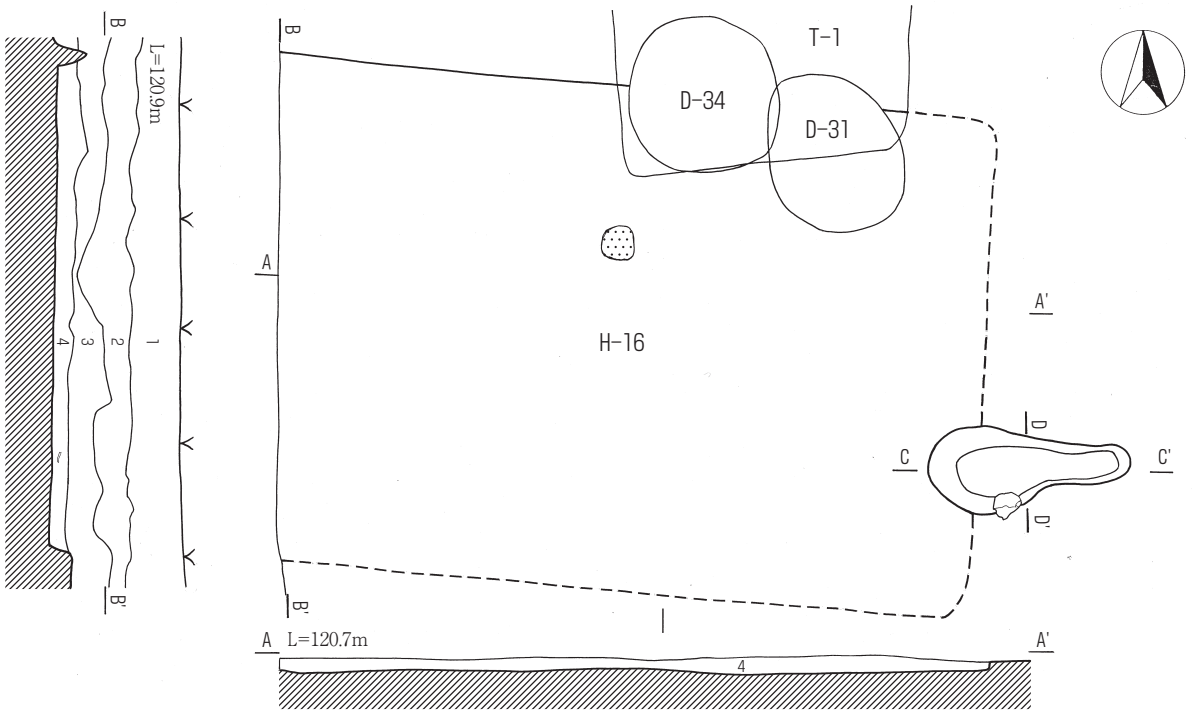
11区　H－8・9・10号住居跡柱穴計測表

| No. | 形　状 | 長軸 (cm) | 短軸 (cm) | 深さ (cm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| $P_1$ | 楕円形 | 54 | 52 | | |
| $P_2$ | 円　形 | 84 | 80 | 50.0 | |
| $P_3$ | 円　形 | 48 | 34 | 50.0 | |
| $P_4$ | 円　形 | 44 | 42 | 73.5 | |

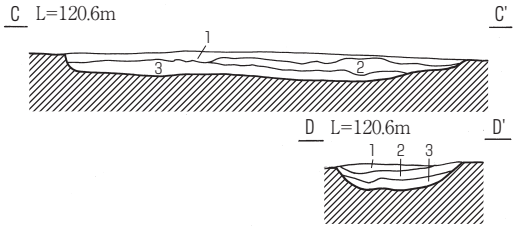
11区　H－12号住居跡　ベルトセクション

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 黒 | 粗 | ○△ | As-B 50％ |
| 2 | 黒褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 30％ |
| 3 | 黒褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 20％、黄橙色粒 5％ |
| 4 | 黒褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 10％、黄橙色ブロック（φ5～30mm）1％、黄橙色粒 3％ |
| 5 | 黒褐 | 細 | ○○ | As-C・Hr-FP 10％ |

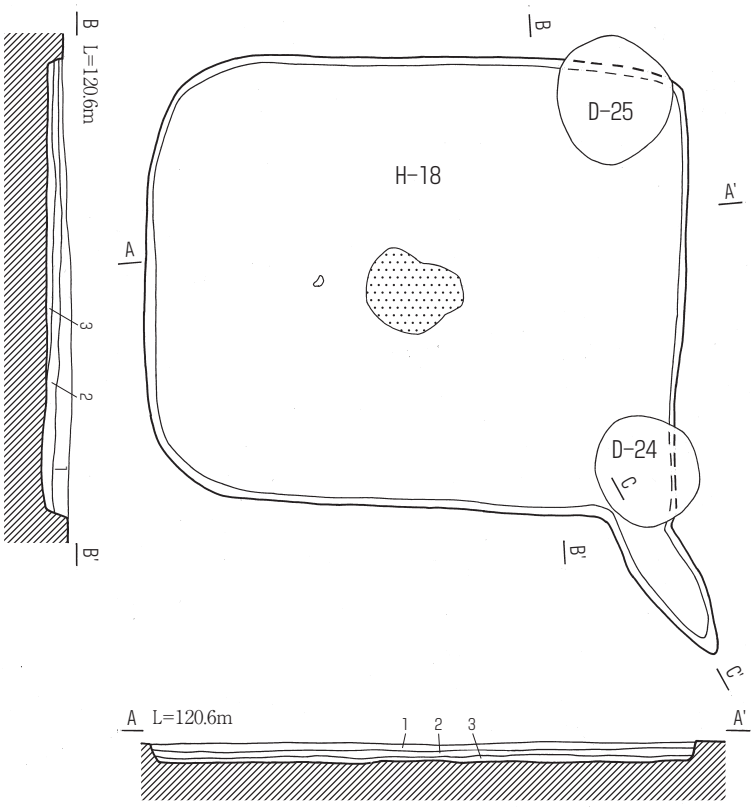
Fig.52　11区 H－8～10・12号住居跡

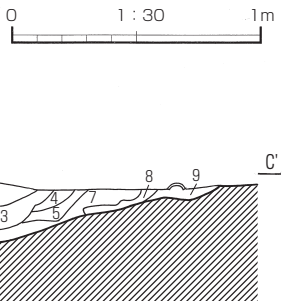



11区　H－16号住居跡　ベルトセクション
1　現耕作土
2　にぶい黄褐　粗　△○　As-B 混土層
3　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 20%、黄橙色粒 5％
4　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10%、黄橙色ブロック（φ5mm）2％、黄橙色粒 5％




11区　H－16号住居跡　竈セクション
1　暗褐　細　◎○　As-C・Hr-FP 1％、焼土ブロック（φ10mm）2％、焼土粒 3％
2　赤褐　微　◎○　焼土ブロック（φ10～30mm）15%　焼土粒 5％
3　にぶい褐　微　△△　灰層



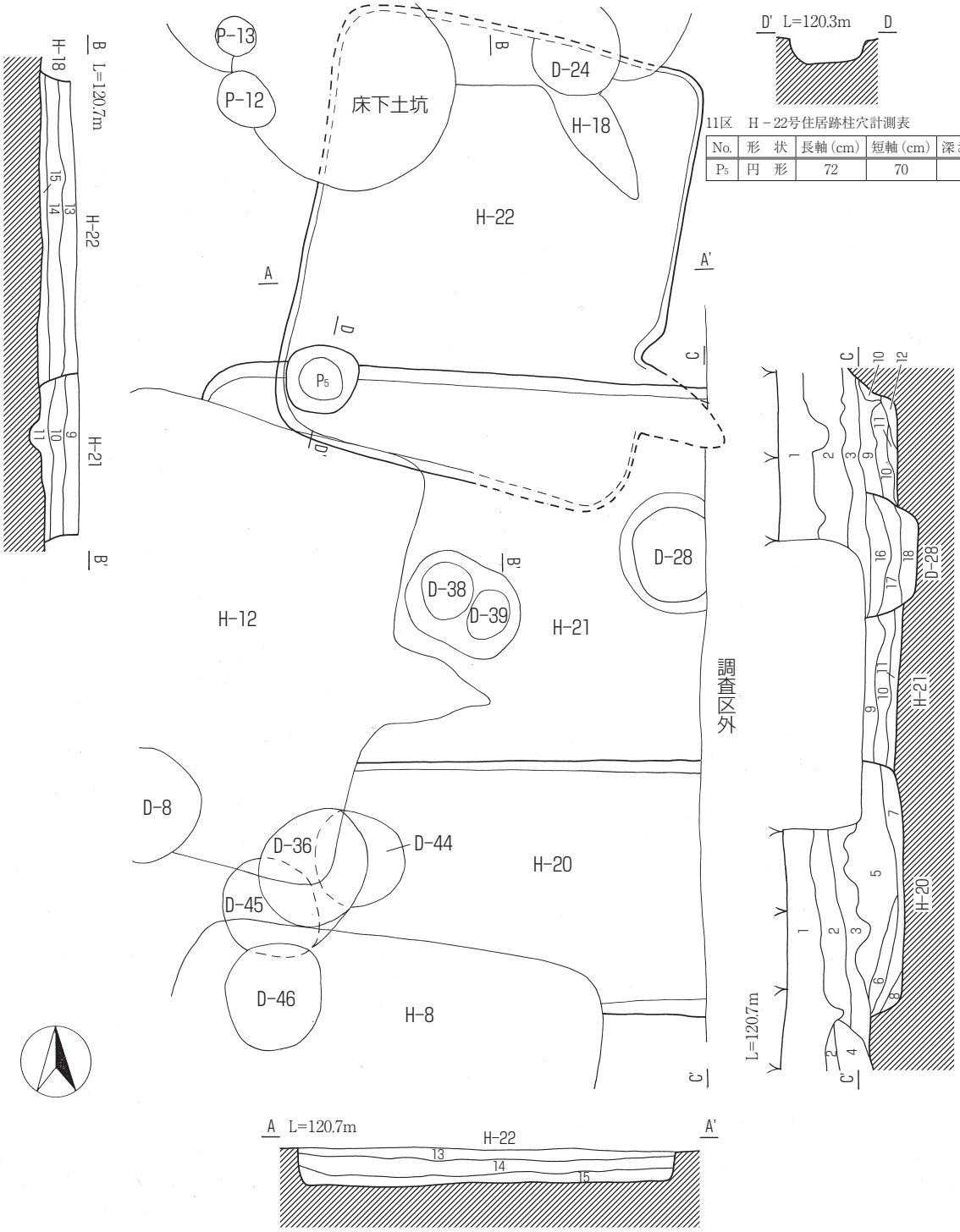

11区　H－18号住居跡　竈セクション
1　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％、焼土粒 1％　炭化物 2％
2　褐　細　○○　焼土ブロック（φ5mm）1％、焼土粒 5％
3　明赤褐　細　○○　焼土主体
4　褐　細　△○　焼土粒 3％
5　明赤褐　細　△○　焼土ブロック（φ5～30mm）20%　焼土粒 10%
6　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 1％、焼土粒 5％
7　暗褐　細　△○　焼土粒 2％、炭化物 1％、灰混じる
8　赤褐　細　○○　焼土主体
9　褐　細　○○　焼土粒 5％、炭化物 1％

11区　H－18号住居跡　ベルトセクション
1　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10%、黄橙色粒 5％
2　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％、黄橙色ブロック（φ5mm）1％、黄橙色粒 1％
3　黒褐　細　◎○　As-C・Hr-FP 5％、黄橙色粒 5％

0　1：30　1m

0　1：60　2m

Fig.53　11区 H－16・18号住居跡




11区　H－22号住居跡柱穴計測表

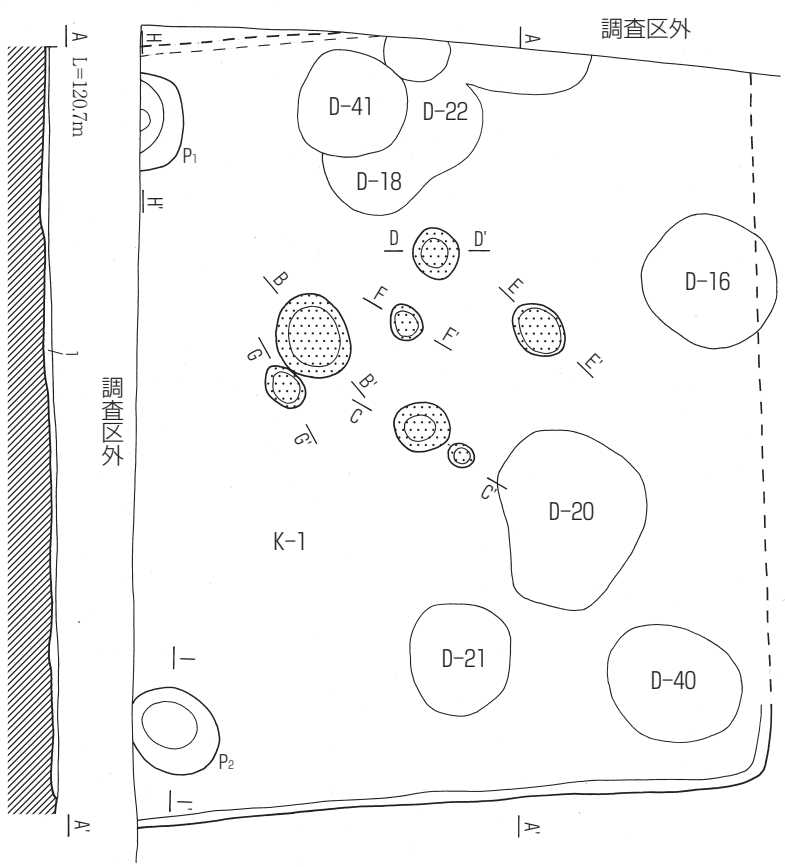
| No. | 形　状 | 長軸（cm） | 短軸（cm） | 深さ（cm） | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| $P_5$ | 円　形 | 72 | 70 | 25.0 | 貯蔵穴 |

11区　H－20・21・22号住居跡、D－28号土坑　ベルトセクション

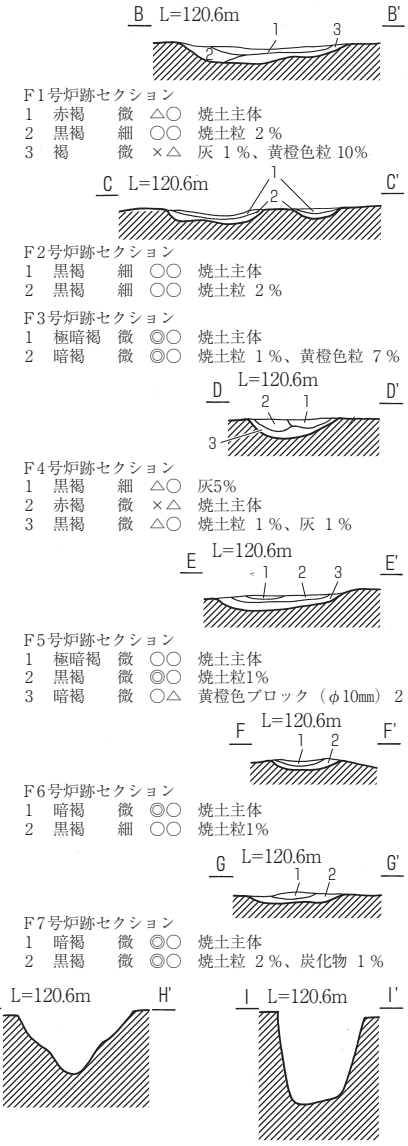
1　現耕作土
2　灰黄褐　粗　○△　As-B 混土層
3　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％、黄橙色粒 2％
4　褐　微　△△　黄橙色粒 2％
5　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 15%、黄橙色ブロック（φ5mm）10%、黄橙色粒 5％、粘土ブロック（φ5～10mm）10%　（H－20）
6　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％、黄橙色粒 5％　（H－20）
7　暗褐　細　○○　黄橙色粒 5％、粘土ブロック（φ5mm）5％　（H－20）
8　暗褐　微　○○　黄橙色粒 2％　（H－20）
9　褐　細　◎◎　As-C・Hr-FP 5％、黄橙色粒 2％　（H－21）
10　暗褐　細　◎◎　As-C・Hr-FP 2％、黄橙色粒 2％、炭化物 2％　（H－21）
11　黒褐　微　○○　粘土ブロック20%　（H－21）
12　暗褐　細　○△　黄橙色粒 2％　（H－21）
13　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％、黄橙色粒 10%　（H－22）
14　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10%、黄橙色ブロック（φ5～20mm）15%　（H－22）
15　黒褐　微　○○　As-C・Hr-FP 2％、黄橙色ブロック（φ5～10mm）5％　（H－22）
16　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 2％、粘土ブロック（φ5mm）5％　（D－28）
17　黒褐　細　○△　As-C・Hr-FP 2％、下部に粘土ブロック層あり　（D－28）
18　暗褐　細　○○　砂質ブロック（φ5～20mm）20%、黄橙色粒 5％　（D－28）

0　1：60　2m

Fig.54　11区 H－20～22号住居跡

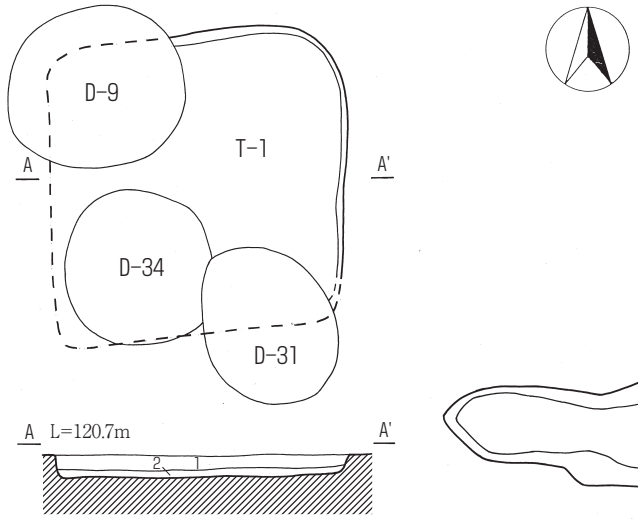



11区　K－1号工房跡　ベルトセクション
1　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％、黄橙色ブロック（φ5㎜）1％、黄橙色粒 3％

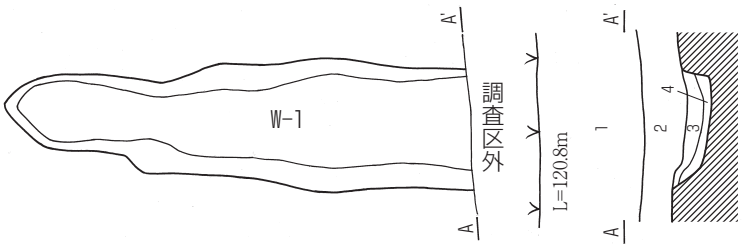



11区　K－1号工房跡柱穴計測表

| No. | 形　状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| $P_1$ | 円　形 | 90 | (26) | 76.5 | |
| $P_2$ | 円　形 | 78 | 62 | 68.0 | |




11区　T－1号竪穴状遺構　ベルトセクション
1　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 20%
2　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10%、
黄橙色ブロック（φ5㎜）1％、黄橙色粒 2％




11区　W－1号溝　東壁セクション
1　現耕作土、As-B 混土層
2　暗褐　○○　As-C・Hr-FP 10%、黄橙色粒 10%
3　暗褐　△○　As-C・Hr-FP 2％、黄橙色ブロック（φ5㎜）2％
黄橙色粒 2％
4　暗褐　△○　黄橙色ブロック（φ5～20㎜）20%

0　1：60　2m　0　1：30　1m

Fig.55　11区 K－1号工房跡、T－1号竪穴状遺構、W－1号溝跡

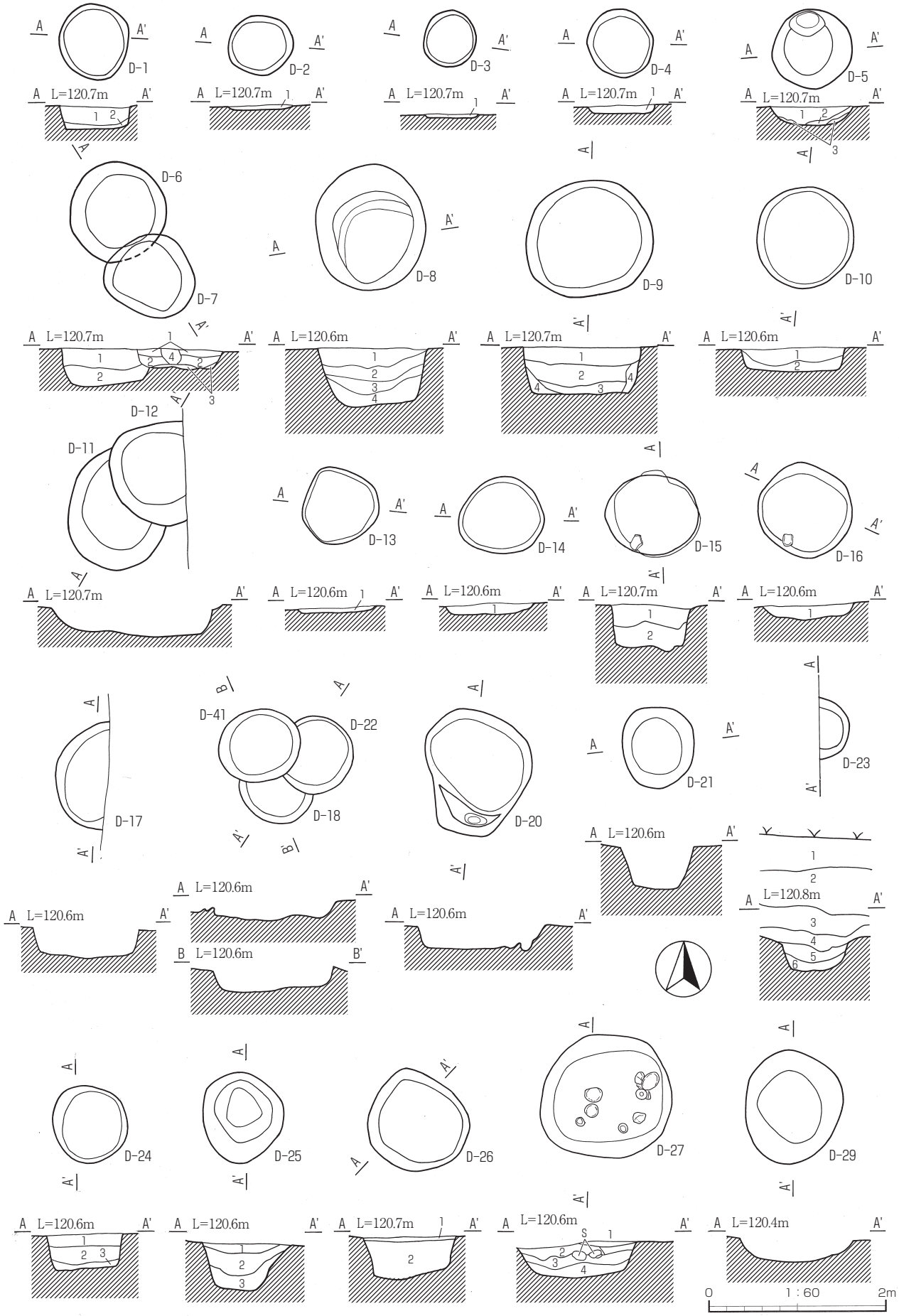
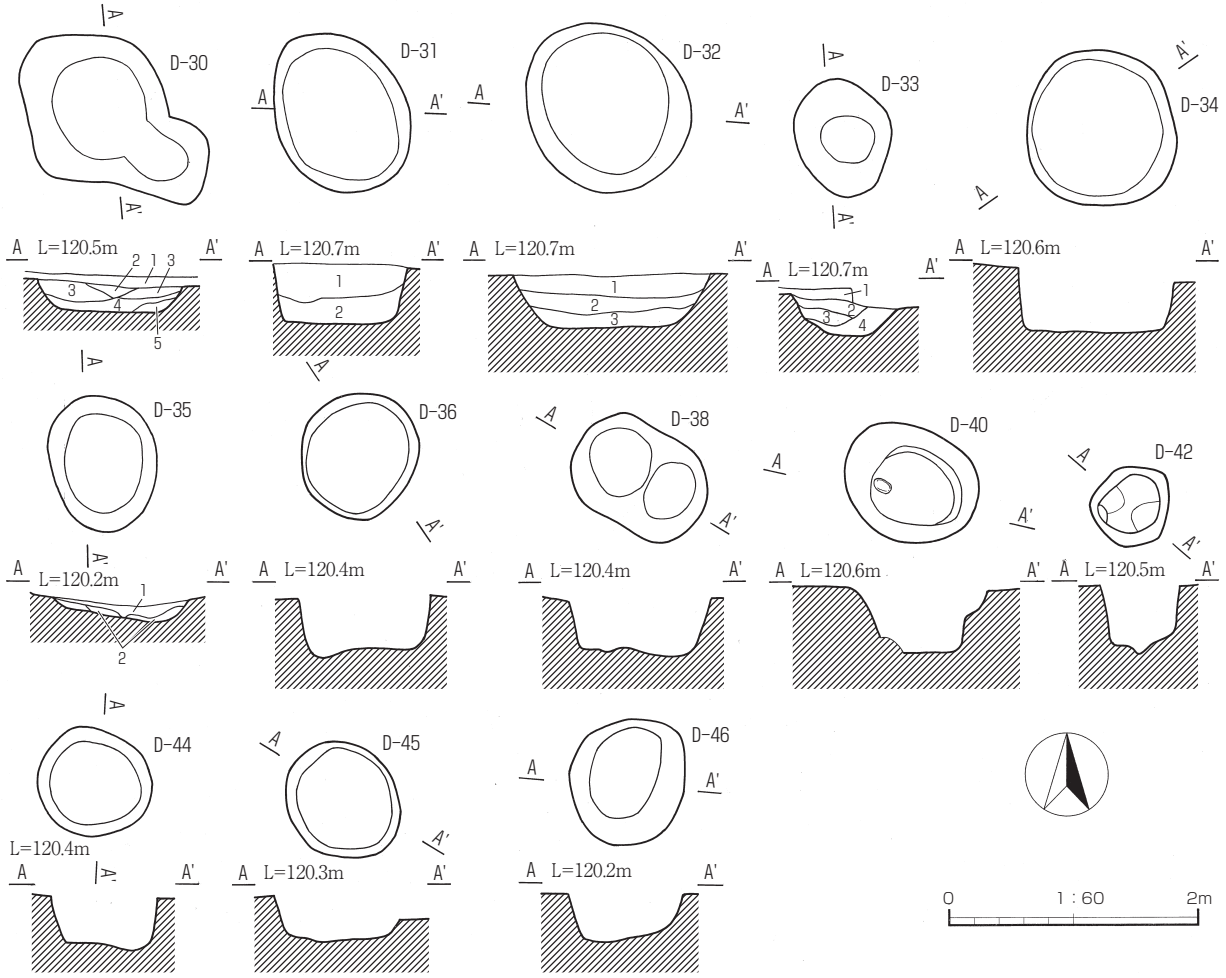



Fig.56　11区 D－1～29号土坑




D－1号土坑セクション
1　黒褐　粗　○△　As-B 40%
2　黒褐　粗　○△　As-B 30%

D－2号土坑セクション
1　黒褐　粗　○△　As-B 30%

D－3号土坑セクション
1　黒褐　粗　As-B 30%

D－4号土坑セクション
1　黒褐　粗　○△　As-B 40%

D－5号土坑セクション
1　黒褐　細　△○　As-C・Hr-FP 15%
2　黒褐　細　△△　As-C・Hr-FP 1％
3　暗褐　細　△○　As-C・Hr-FP 3％

D－6号土坑セクション
1　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10%
2　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％

D－7号土坑セクション
1　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10%
2　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％
3　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 1％
4　黒褐　粗　○×　As-B 30%

D－8号土坑セクション
1　暗褐　粗　◎△　As-B 30%
2　黒褐　細　○○　As-B 15%
3　黒褐　細　○○　As-B 5％
4　黒褐　細　○◎　As-B 1％

D－9号土坑セクション
1　暗褐　細　◎○　As-C・Hr-FP 20%
2　黒褐　細　◎○　As-C・Hr-FP 15%
3　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％
4　暗褐　細　△○　As-C・Hr-FP 1％

D－10号土坑セクション
1　黒褐　粗　○△　As-B 30%
2　黒褐　粗　◎○　As-B 15%

D－13号土坑セクション
1　暗褐　粗　○△　As-B 30%

D－14号土坑セクション
1　黒褐　粗　○○　As-B 30%、As-C・Hr-FP 15%

D－15号土坑セクション
1　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 20%
2　暗褐　細　△△　As-C・Hr-FP 1％

D－16号土坑セクション
1　黒褐　細　△○　As-C・Hr-FP 7％

D－23号土坑セクション
1　現耕作土
2　にぶい黄褐　粗　○○　As-B 混土層
3　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 20%
4　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10%
5　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 7％
6　暗褐　微　○○　As-C・Hr-FP 2％

D－24号土坑セクション
1　黒褐　粗　○△　As-B 30%、焼土粒 5％、灰混じる
2　黒褐　粗　○△　As-B 20%、焼土粒 10%、炭化物 3％
3　黒褐　粗　○△　As-B 10%、焼土粒 10%、炭化物 1％

D－25号土坑セクション
1　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 3％
2　黒　微　△△　灰層
3　黒褐　細　△○　As-C・Hr-FP 1％、焼土粒 3％

D－26号土坑セクション
1　暗褐　細　○△　As-C・Hr-FP 3％
2　暗褐　細　○△　As-C・Hr-FP 1％

D－27号土坑セクション
1　褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％、
炭化物を上部に多く含む
2　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 5％、
炭化物 2％、黄橙色粒 2％
3　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10%、黄橙色粒 5％、
下部に砂質ブロック（φ5㎜）5％
4　黒褐　微　○◎　As-C・Hr-FP 2％、黄橙色粒 5％

D－30号土坑セクション
1　H－18号住居跡貼床面
2　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 2％、
黄橙色ブロック（φ5㎜）3％
3　暗褐　細　△○　As-C・Hr-FP 1％、
黄橙色ブロック（φ5㎜）15%、
黄橙色粒 10%
4　褐　細　△○　黄橙色ブロック（φ5～10㎜）30%、
黄橙色粒 30%
5　黒褐　細　△○　黄橙色ブロック（φ15㎜）5％、
黄橙色粒 5％

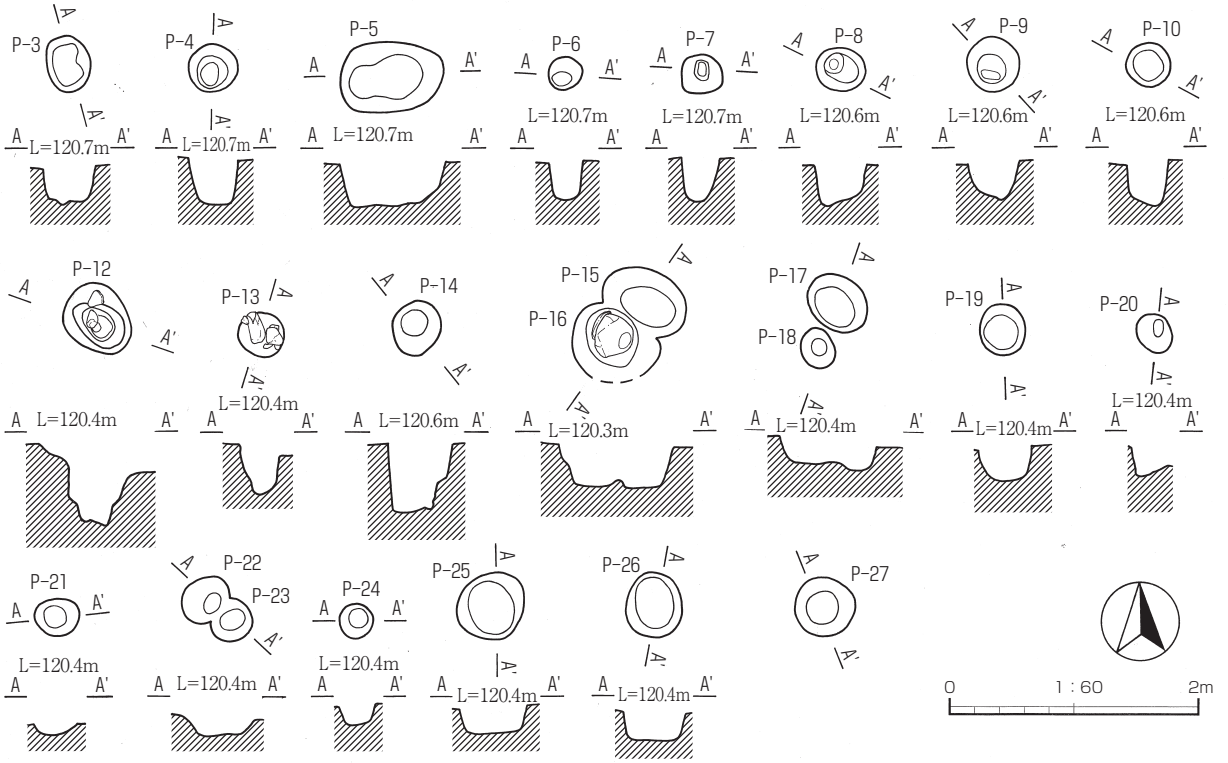
D－31号土坑セクション
1　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 25%
2　暗褐　細　○○　As-C・Hr-FP 10%

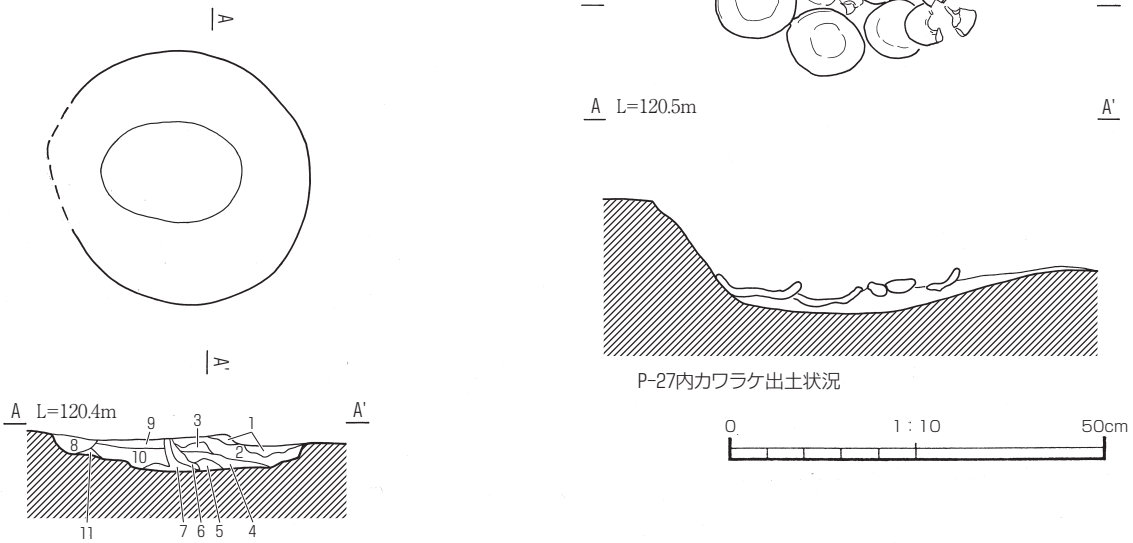
D－32号土坑セクション
1　暗褐　細　◎○　As-C・Hr-FP 25%
2　黒褐　細　◎○　As-C・Hr-FP 20%
3　暗褐　細　◎○　As-C・Hr-FP 5％

D－33号土坑セクション
1　H－18号住居跡貼床面
2　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 3%
3　黒褐　細　○○　As-C・Hr-FP 3%、焼土粒 1％、
炭化物 1％
4　暗赤褐　細　○○　焼土ブロック（φ5㎜）3％、
焼土粒 10%、炭化物 1％、灰 10%

D－35号土坑セクション
1　暗褐　細　◎○　As-C・Hr-FP 7％
2　暗褐　細　◎○　As-C・Hr-FP 3％

Fig.57　11区 D－30～46号土坑




11区　床下土坑セクション

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 暗褐 | 細 | ○◎ | 黄橙色ブロック（φ5㎜）５％ |
| 2 | 灰黄褐 | 微 | ◎○ | As-C・Hr-FP ５％、黄橙色ブロック（φ5㎜）10％<br>粘土ブロック（φ5～20㎜）10％ |
| 3 | 暗褐 | 細 | ○○ | 黄橙色粒 ５％ |
| 4 | 暗褐 | 微 | ○◎ | 黄橙色ブロック（φ5㎜）５％、黄橙色粒 10％ |
| 5 | 暗褐 | 微 | ○○ | 黄橙色ブロック（φ5㎜）２％、黄橙色粒 ５％ |
| 6 | 暗褐 | 微 | ◎○ | 黄橙色ブロック（φ5㎜）５％、黄橙色粒 ５％、粘土ブロック（φ5㎜）10％ |
| 7 | 暗褐 | 細 | ○○ | 黄橙色ブロック（φ5㎜）５％、黄橙色粒 ２％ |
| 8 | 暗褐 | 細 | ○◎ | 黄橙色ブロック（φ10～20㎜）20％<br>炭化物を中央上～下部に含む（10％） |
| 9 | 黒褐 | 細 | ○○ | 黄橙色粒 ５％ |
| 10 | 黒褐 | 細 | ○○ | 黄橙色粒 10％、粘土ブロック（φ20㎜）含む |
| 11 | 褐 | 細 | ○△ | 地山に近い |

Fig.58　11区 Ｐ－３～27号ピット

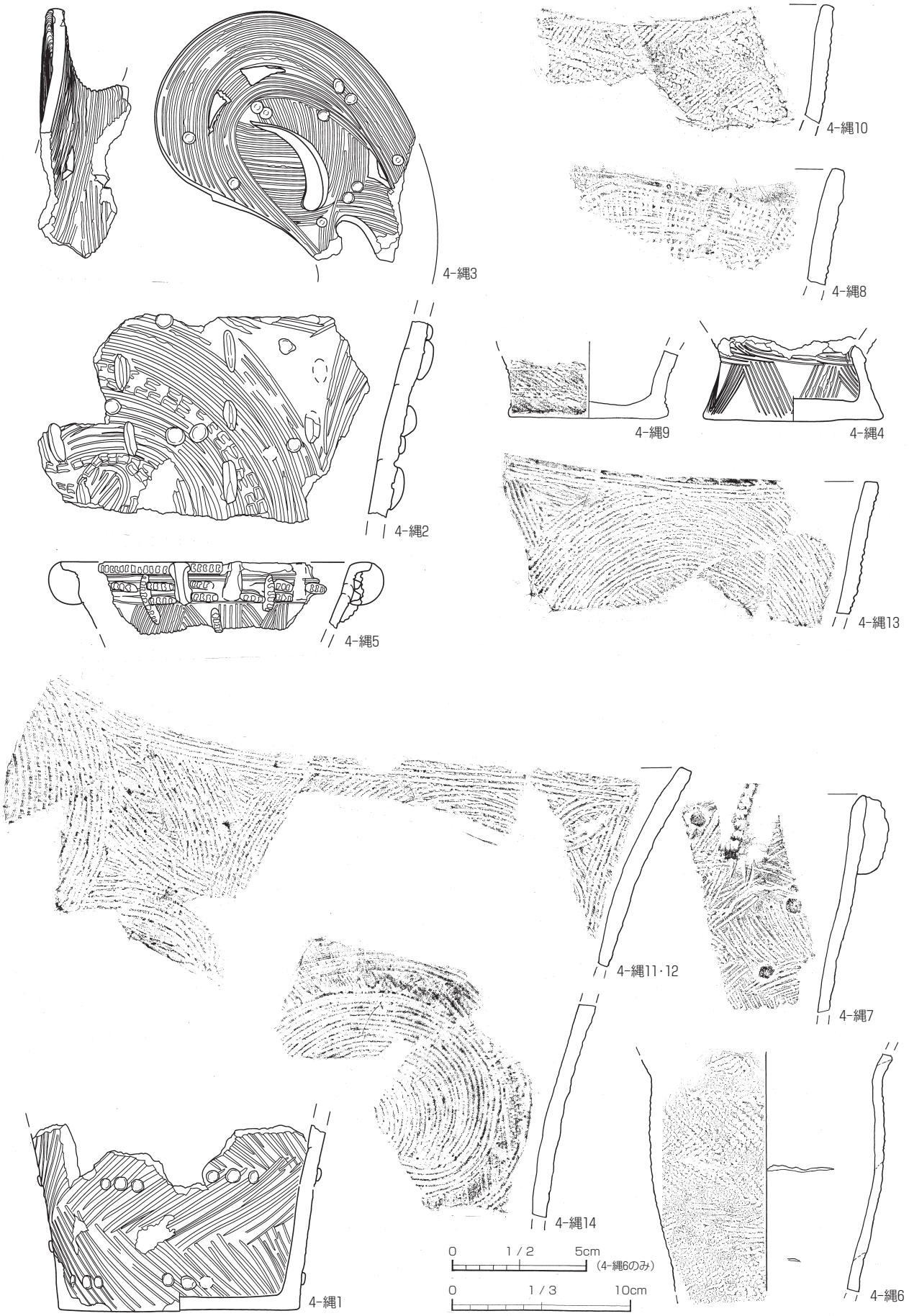



Fig.59　4区 J－1号住居跡出土遺物

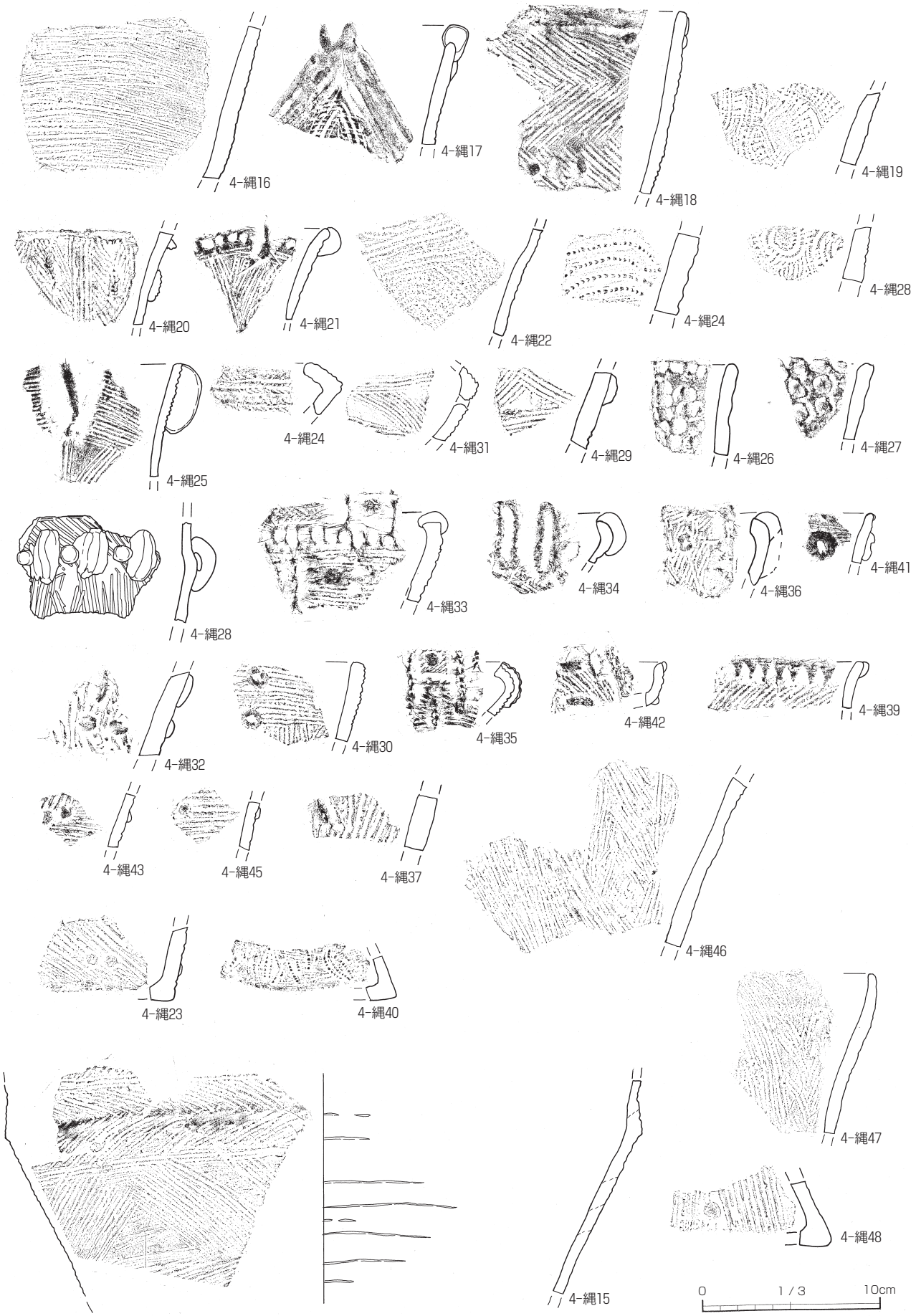



Fig.60　4区 J－1・3号住居跡出土遺物

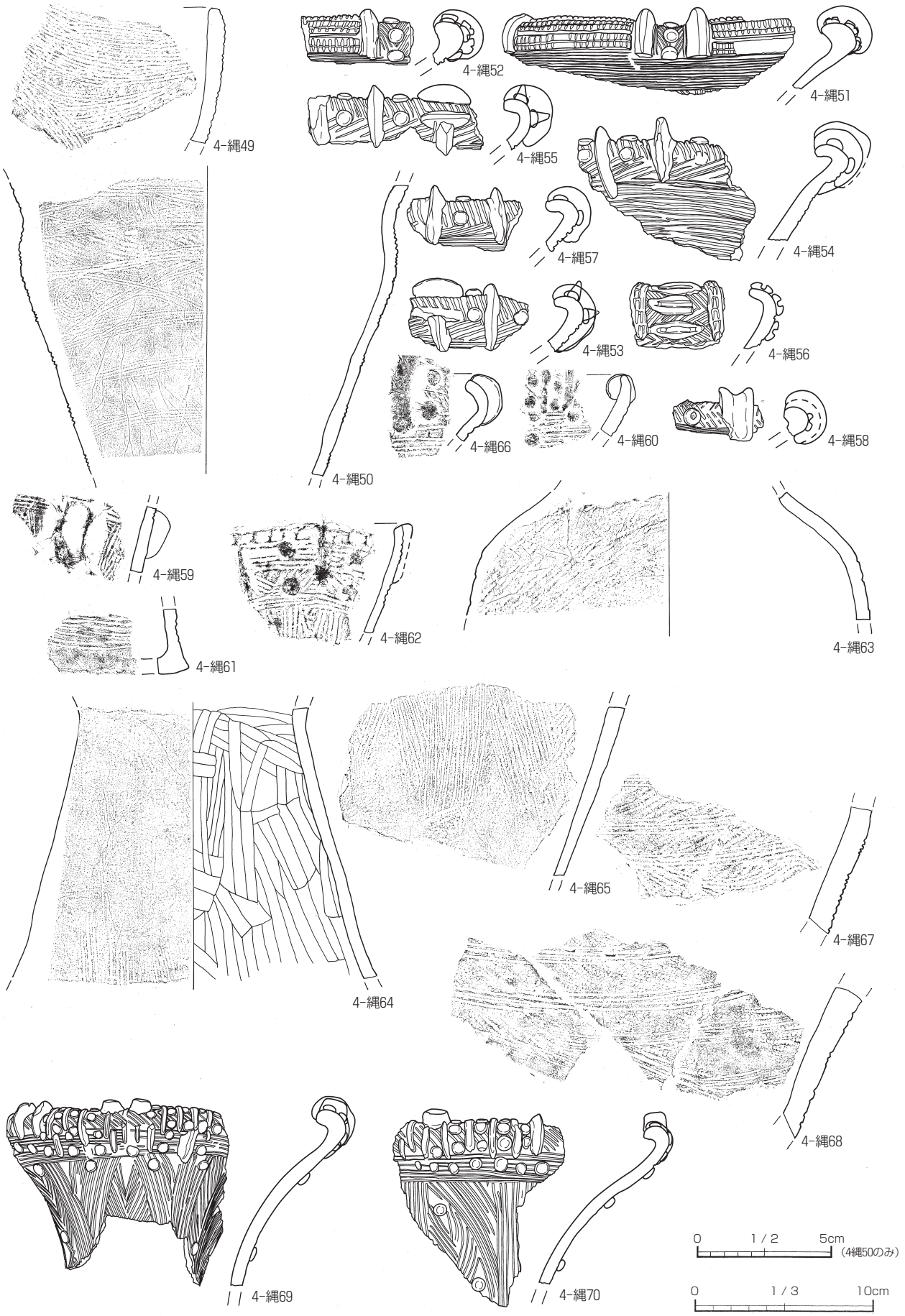



Fig.61　4区 J－4号住居跡、JD－1・3・4・6・8号土坑出土遺物

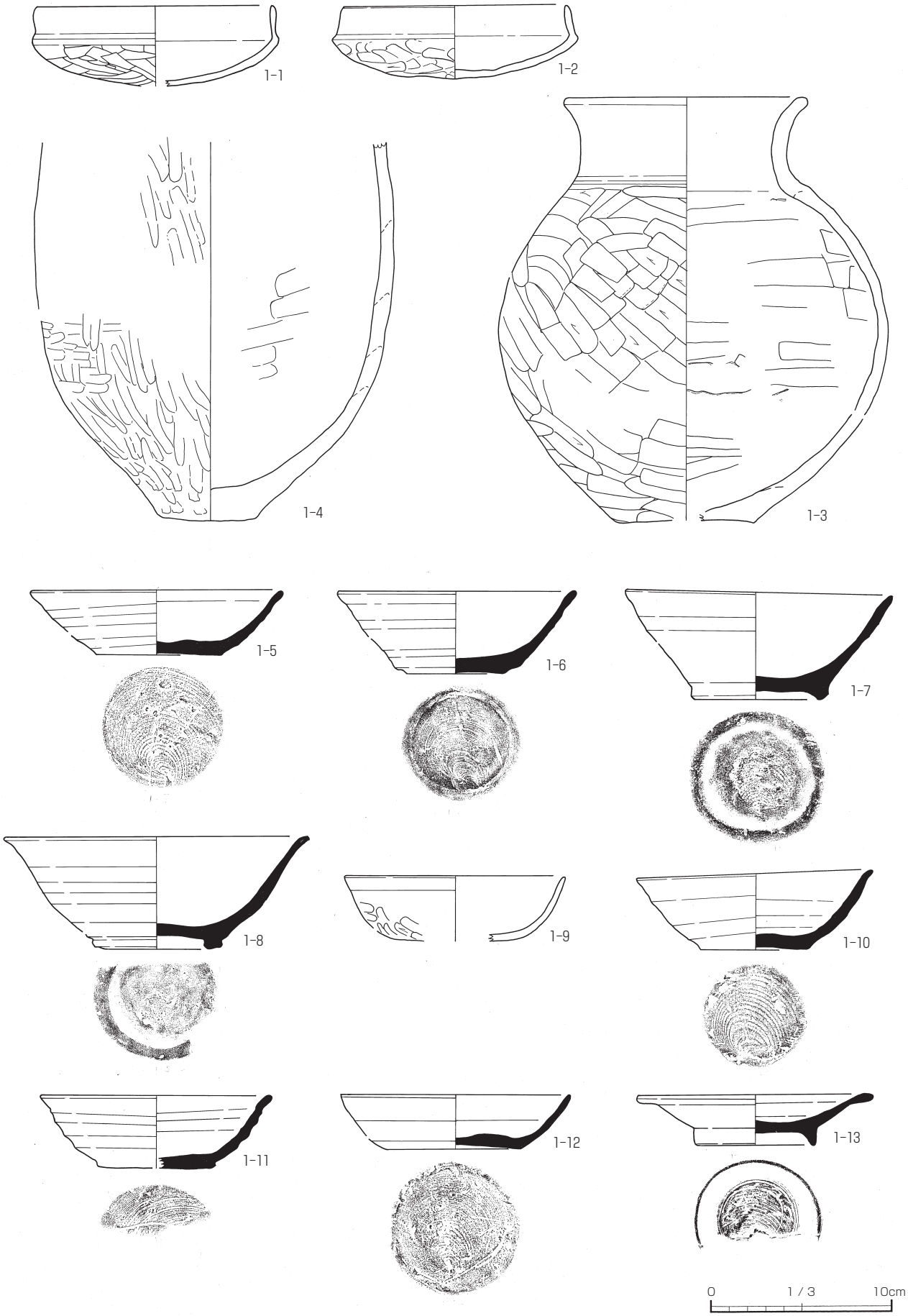



Fig.62　1区 H－1～4号住居跡出土遺物

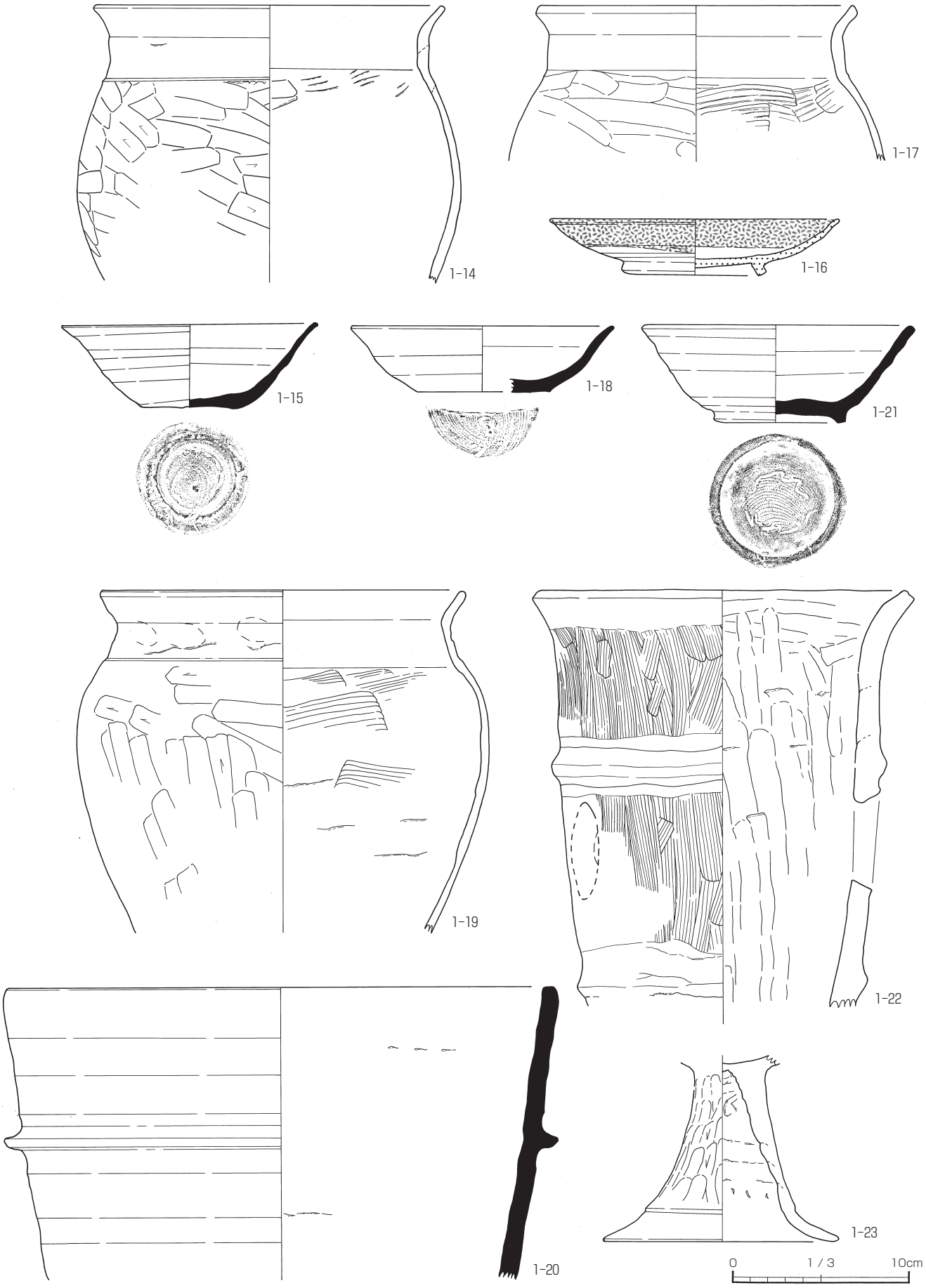



Fig.63　1区 H－4・6・7・10号住居跡、W－2号溝跡出土遺物

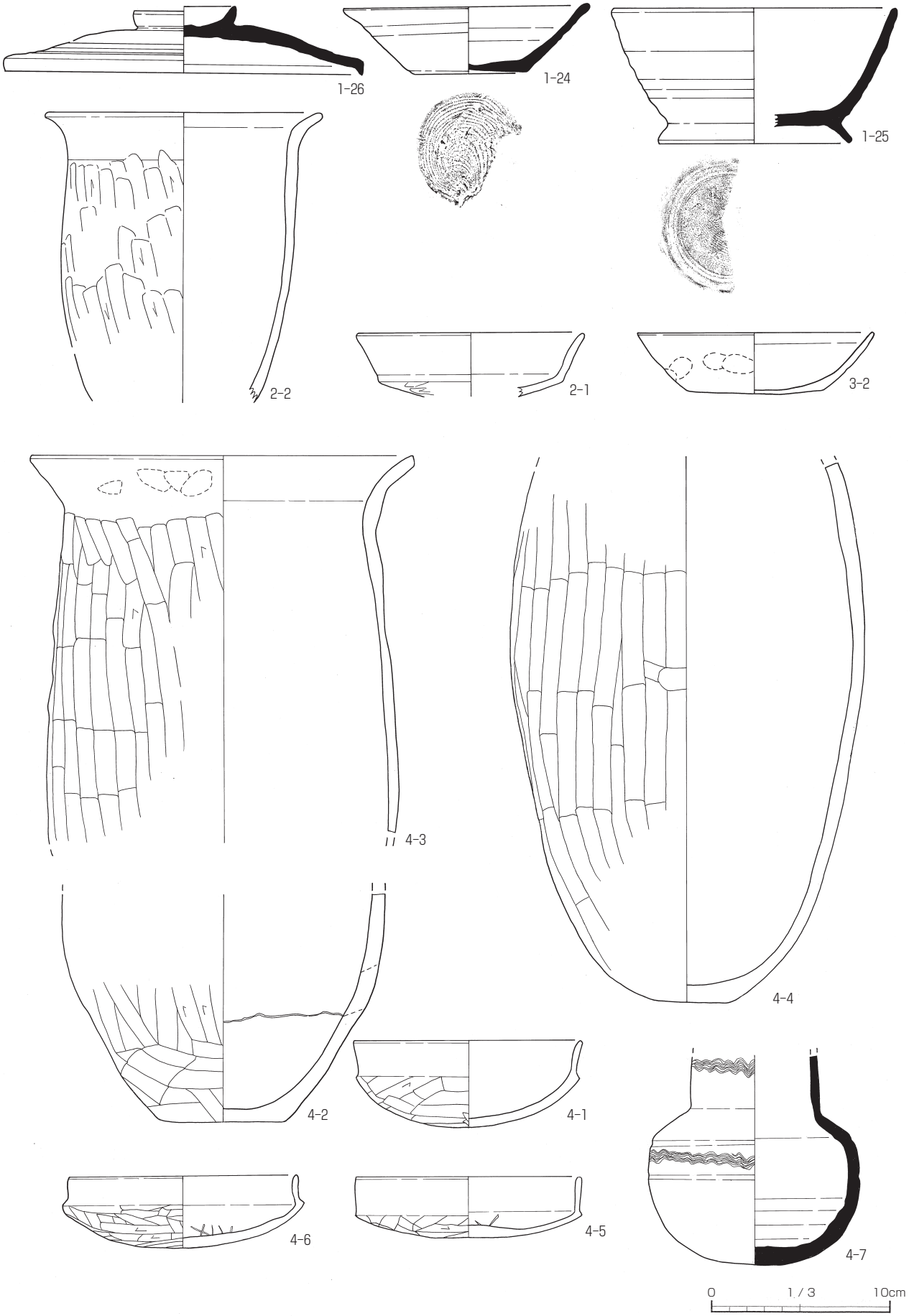



Fig.64　1区 X－1、2区 H－2号住居跡、3区 H－1号住居跡、4区 H－1・2号住居跡出土遺物

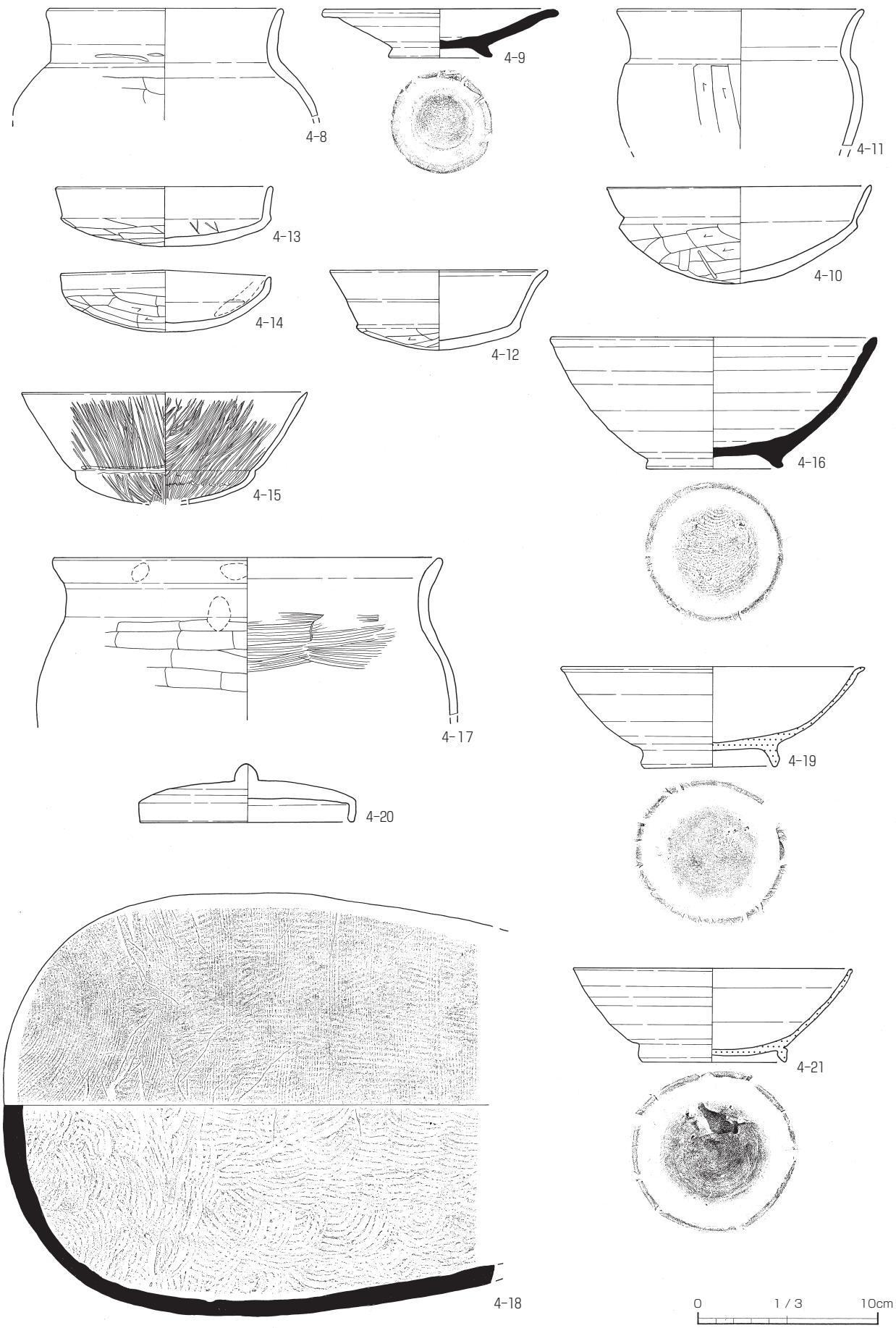



Fig.65　4区 H－3～6・8・9号住居跡、D－6号土坑、W－2号溝跡、A－1道路状遺構、表採出土遺物

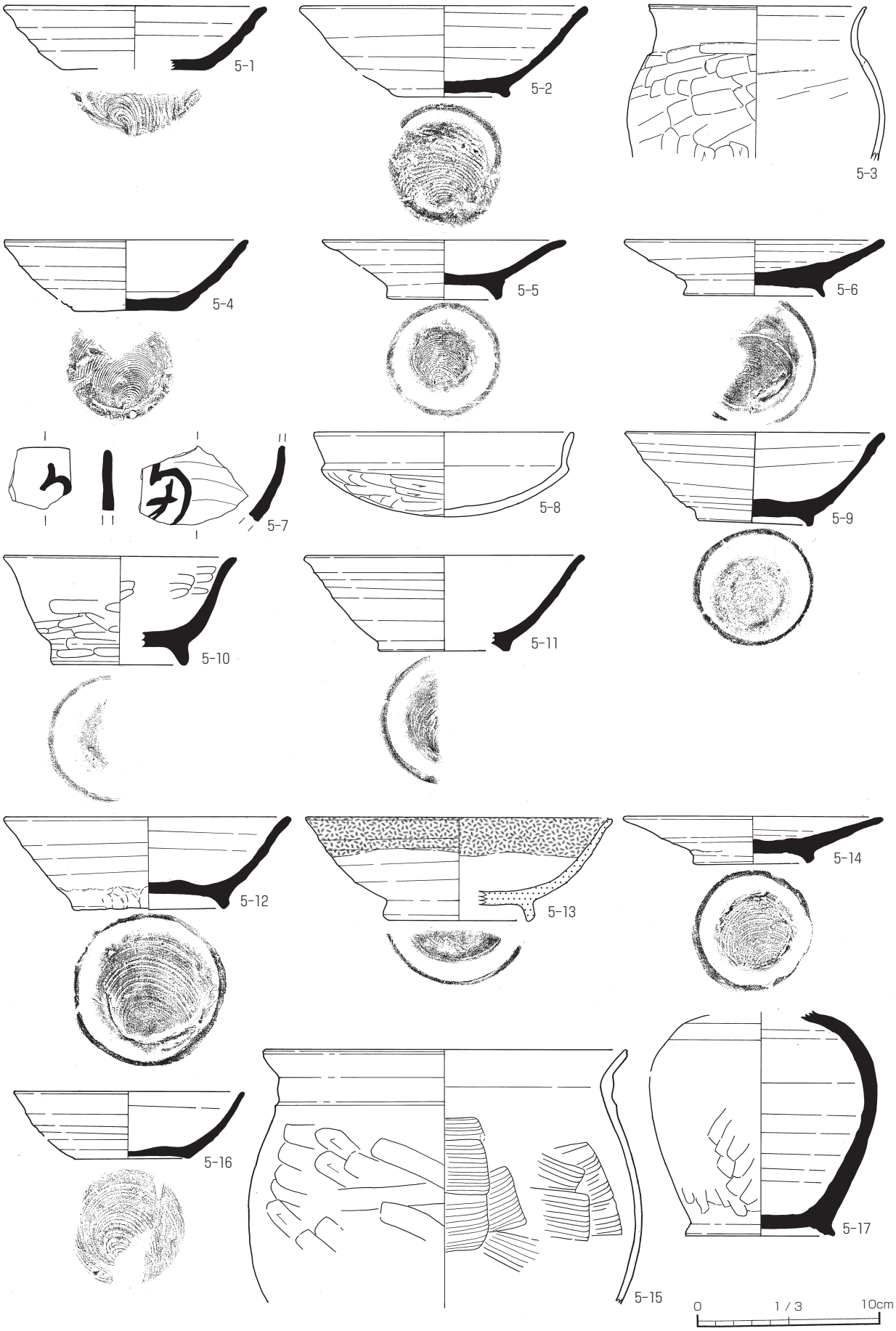



Fig.66　5区 H－1～3・5・7・8号住居跡、W－3号溝跡出土遺物

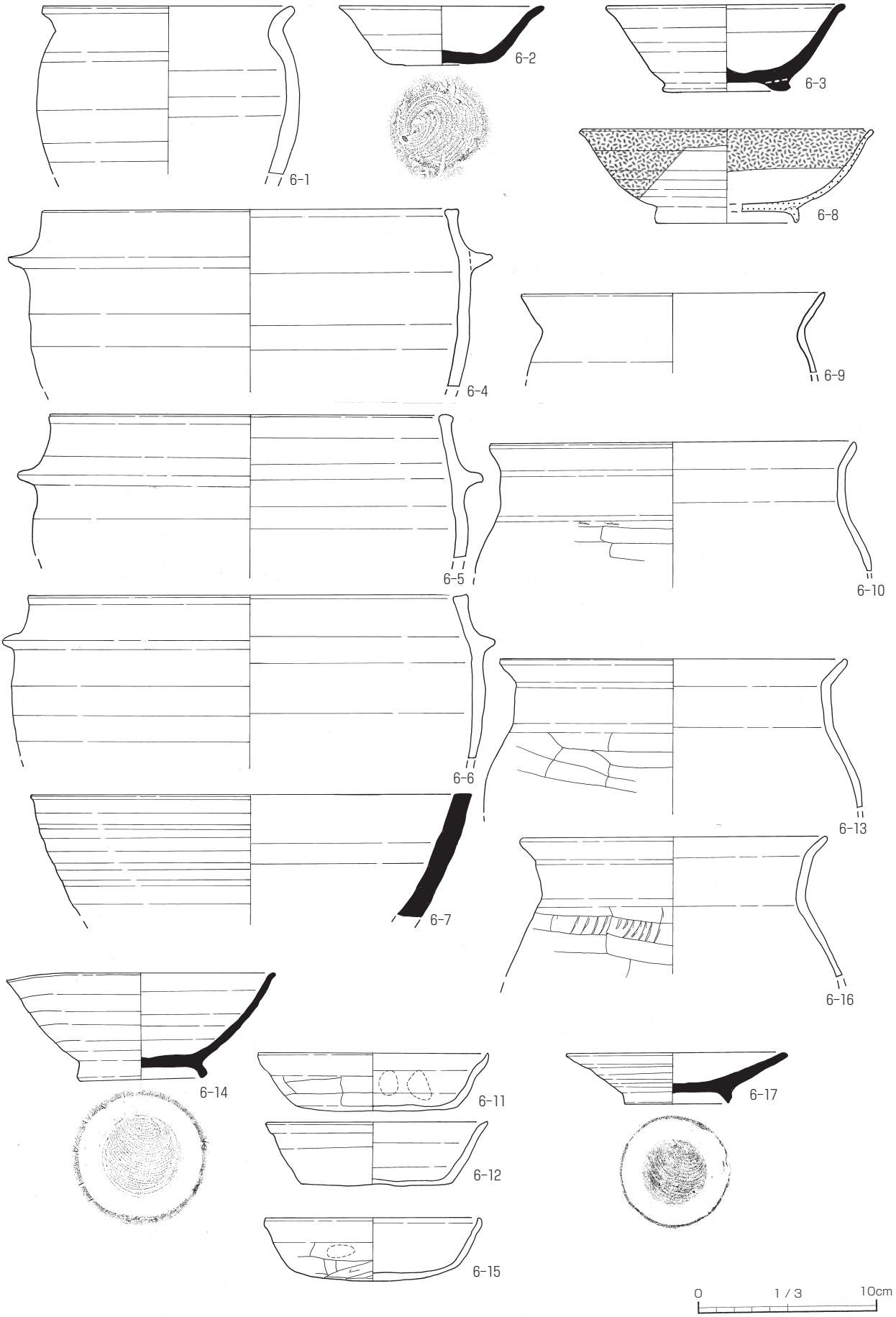



Fig.67　6区 H－1～5号住居跡出土遺物

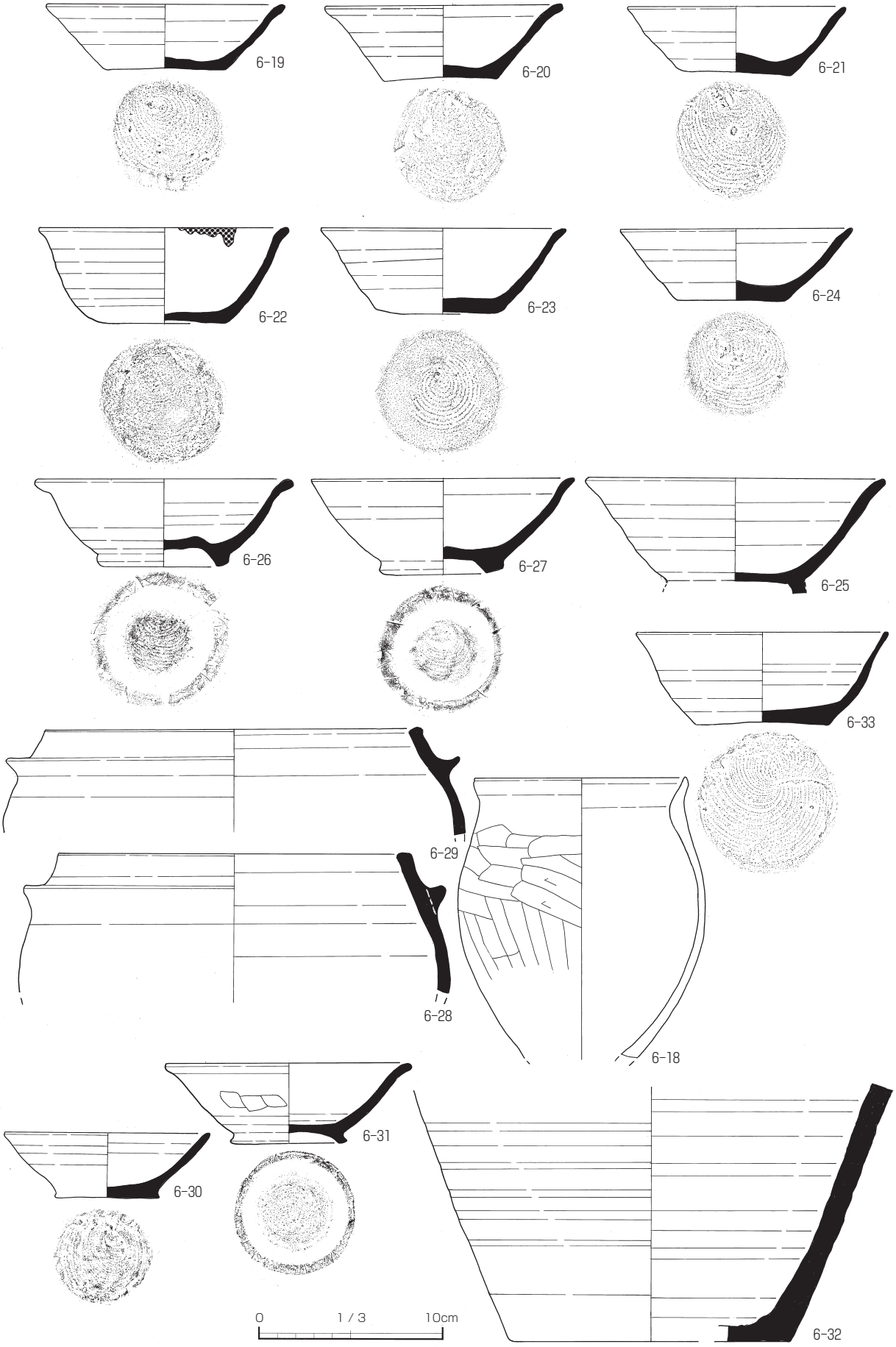



Fig.68　6区H－6・7号住居跡、D－1号土坑出土遺物

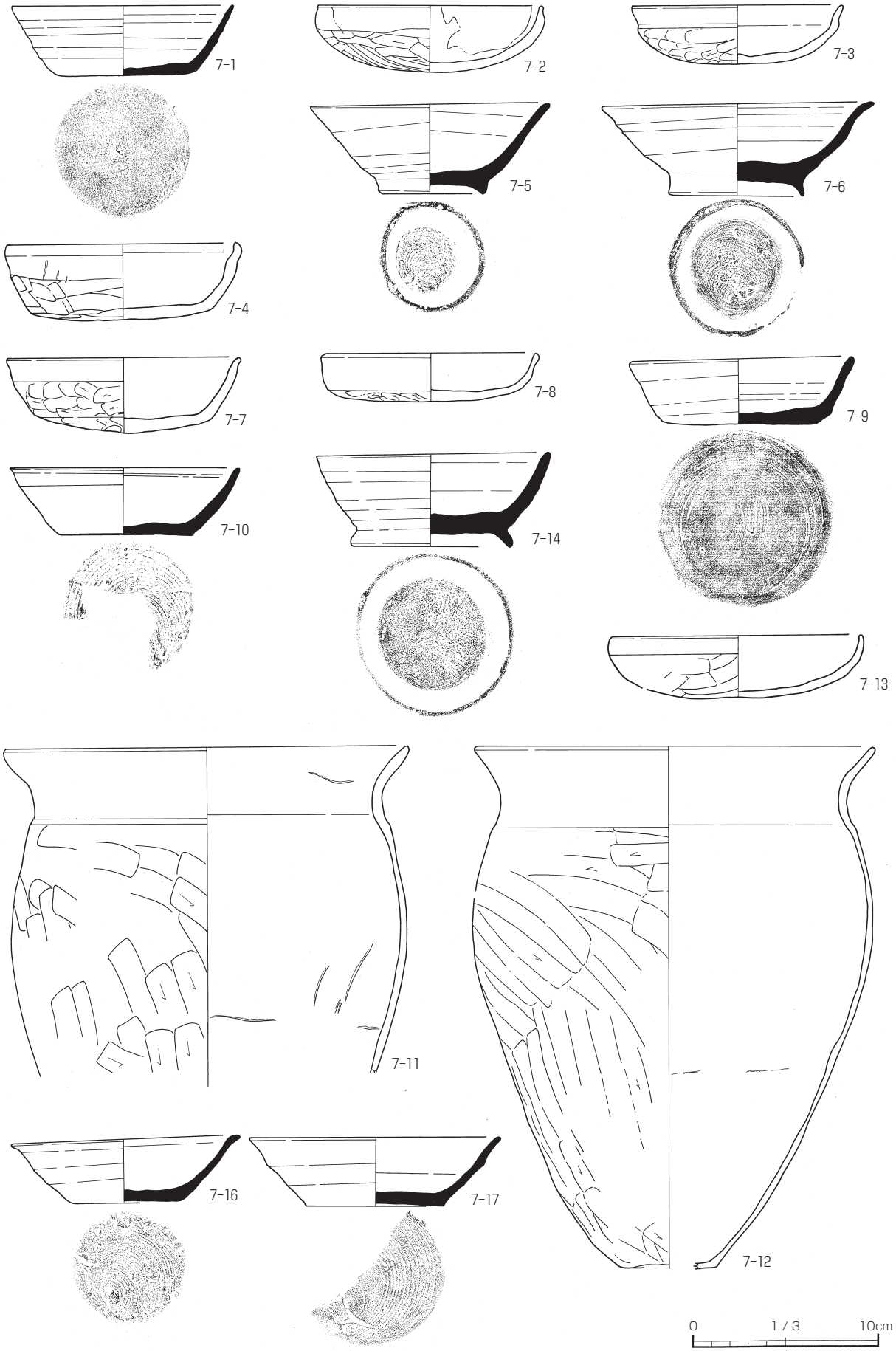



Fig.69　7区 H－2～5・7・9～11号住居跡出土遺物

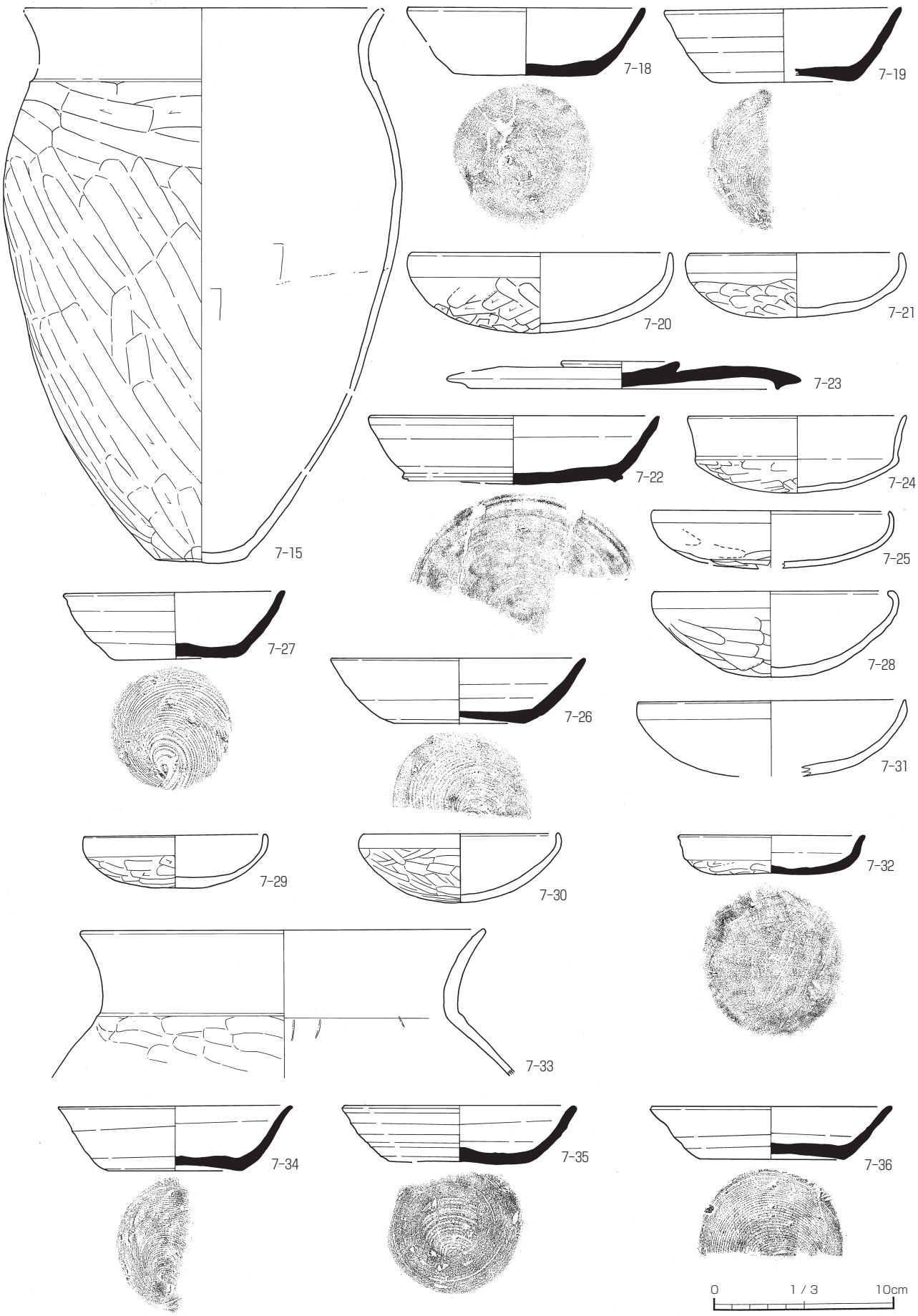



Fig.70　7区 H－9・11～13・18・19・22号住居跡出土遺物

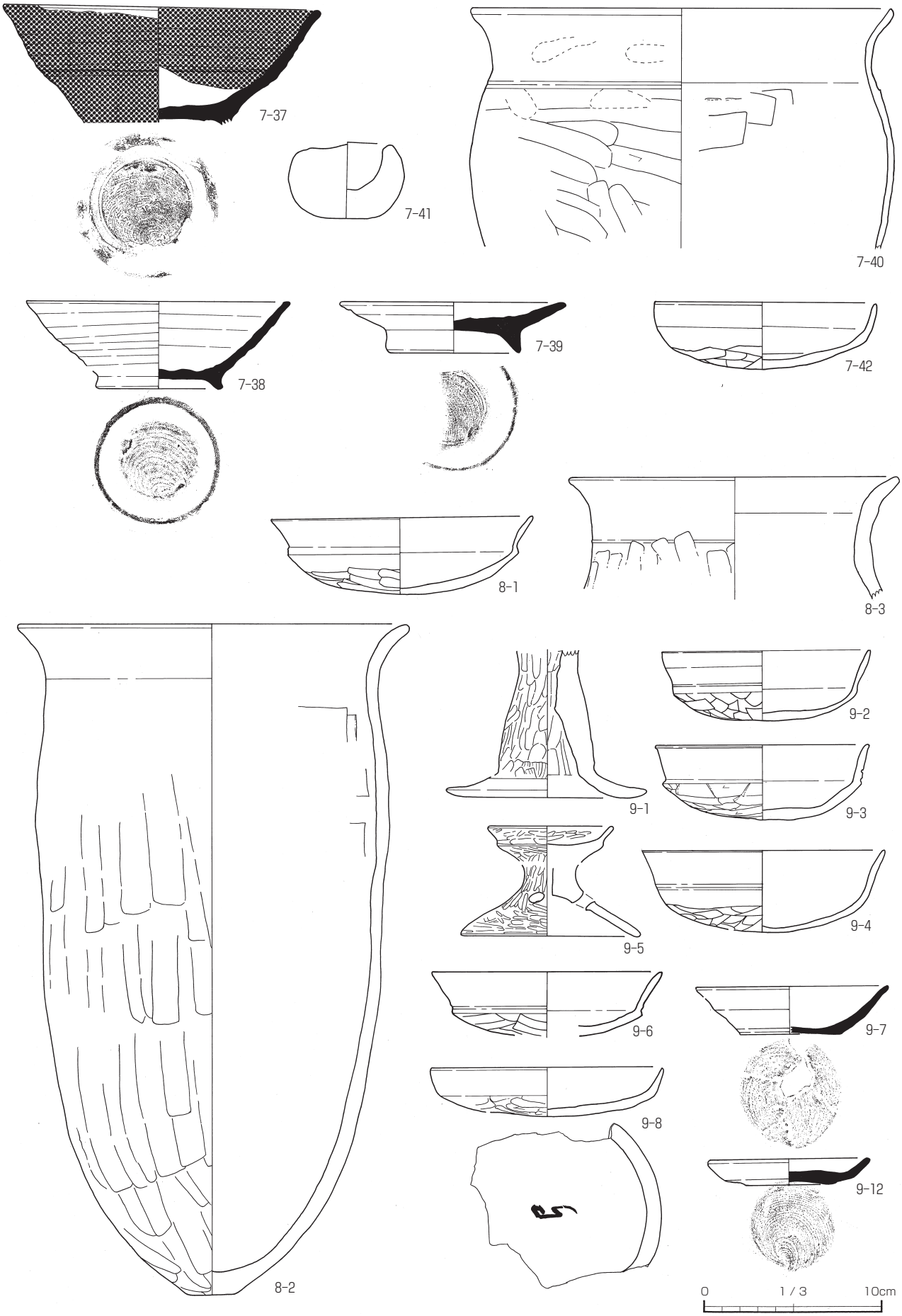



Fig.71　7区 H－22号住居跡グリット、8区 H－1号住居跡、9区 H－1・3・5～7号住居跡、W－3号遺跡、P－1号ピット出土遺物

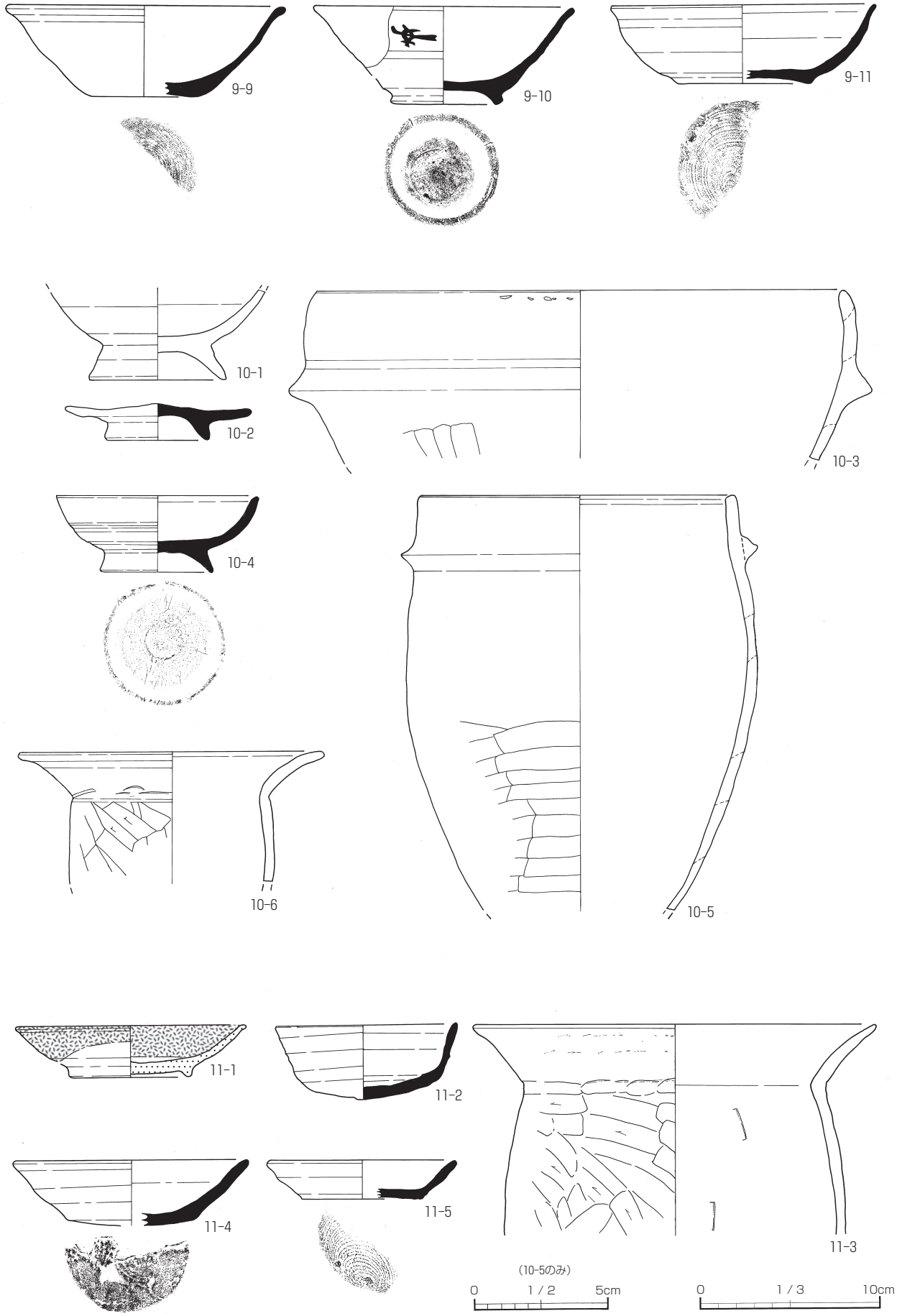



Fig.72　9区 D－3号土坑、W－3号溝跡、10区H－1・2号住居跡、W－2号溝跡、11区 H－1・6・10・11号住居跡出土遺物

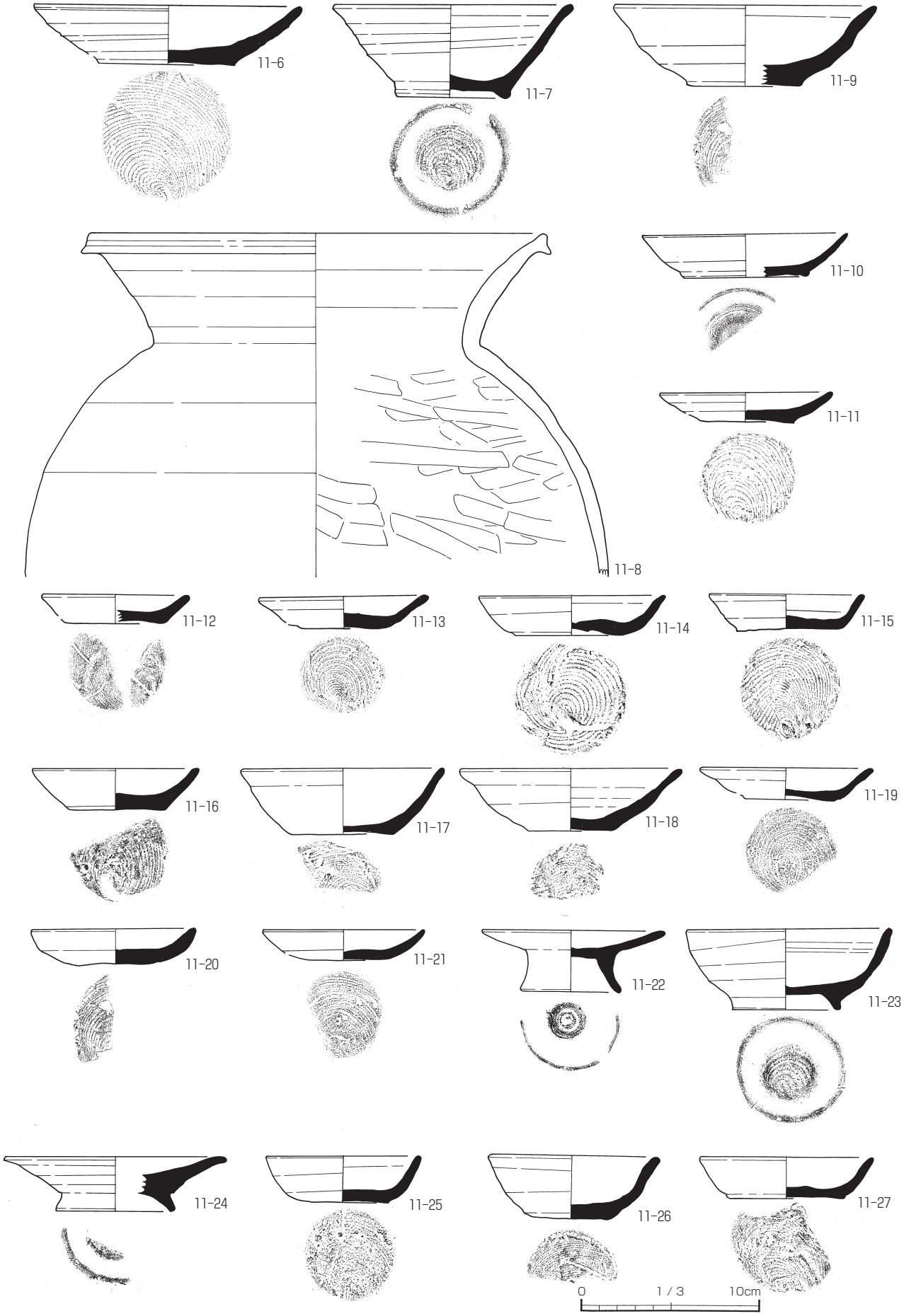



Fig.73　11区 H－12・18・21・22号住居跡、K－1号工房跡、W－1号溝跡、D－9・18・22・27・29号土坑出土遺物

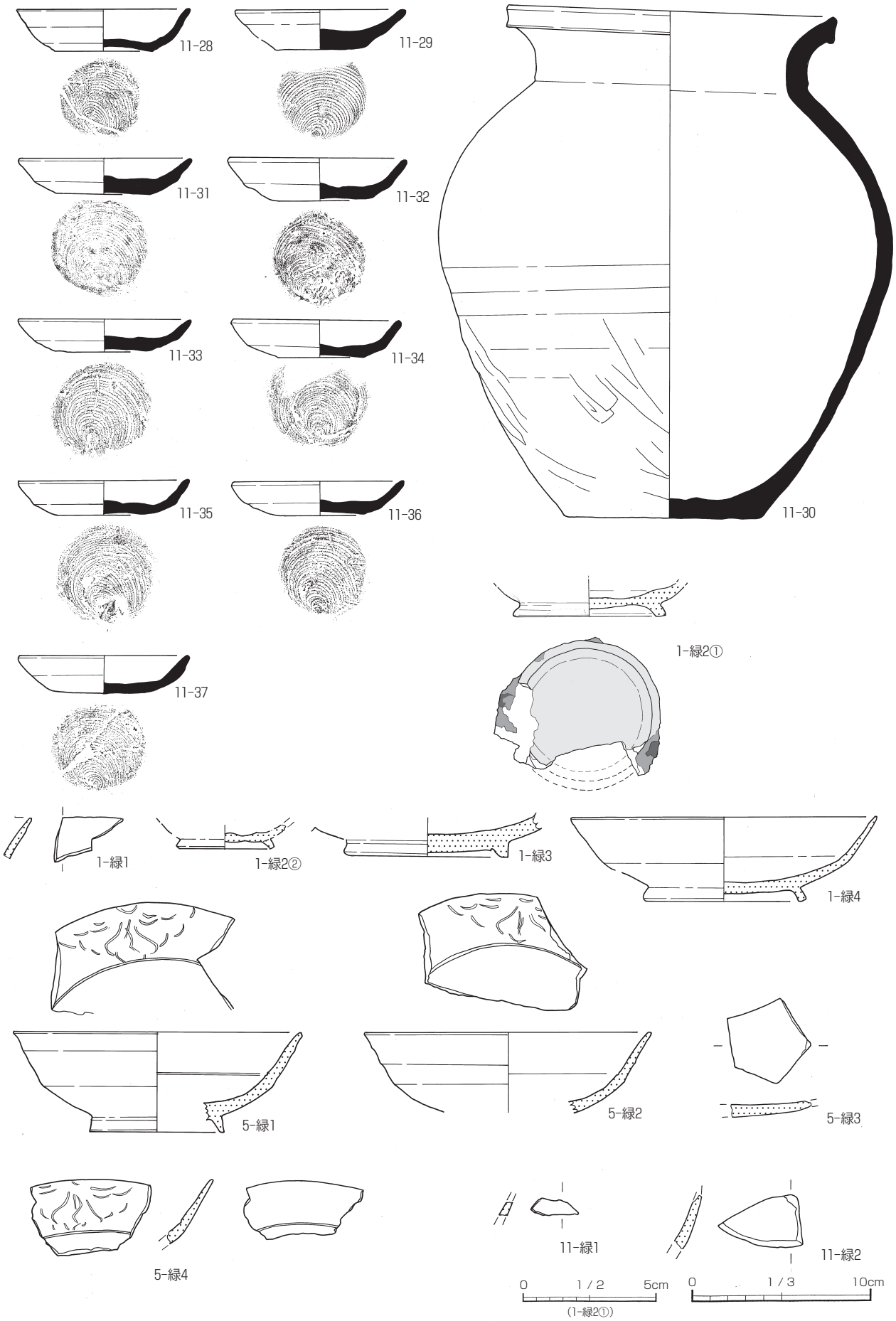



Fig.74　11区 D－29号土坑、P－13・15・27号ピット出土遺物・三彩・緑釉陶器

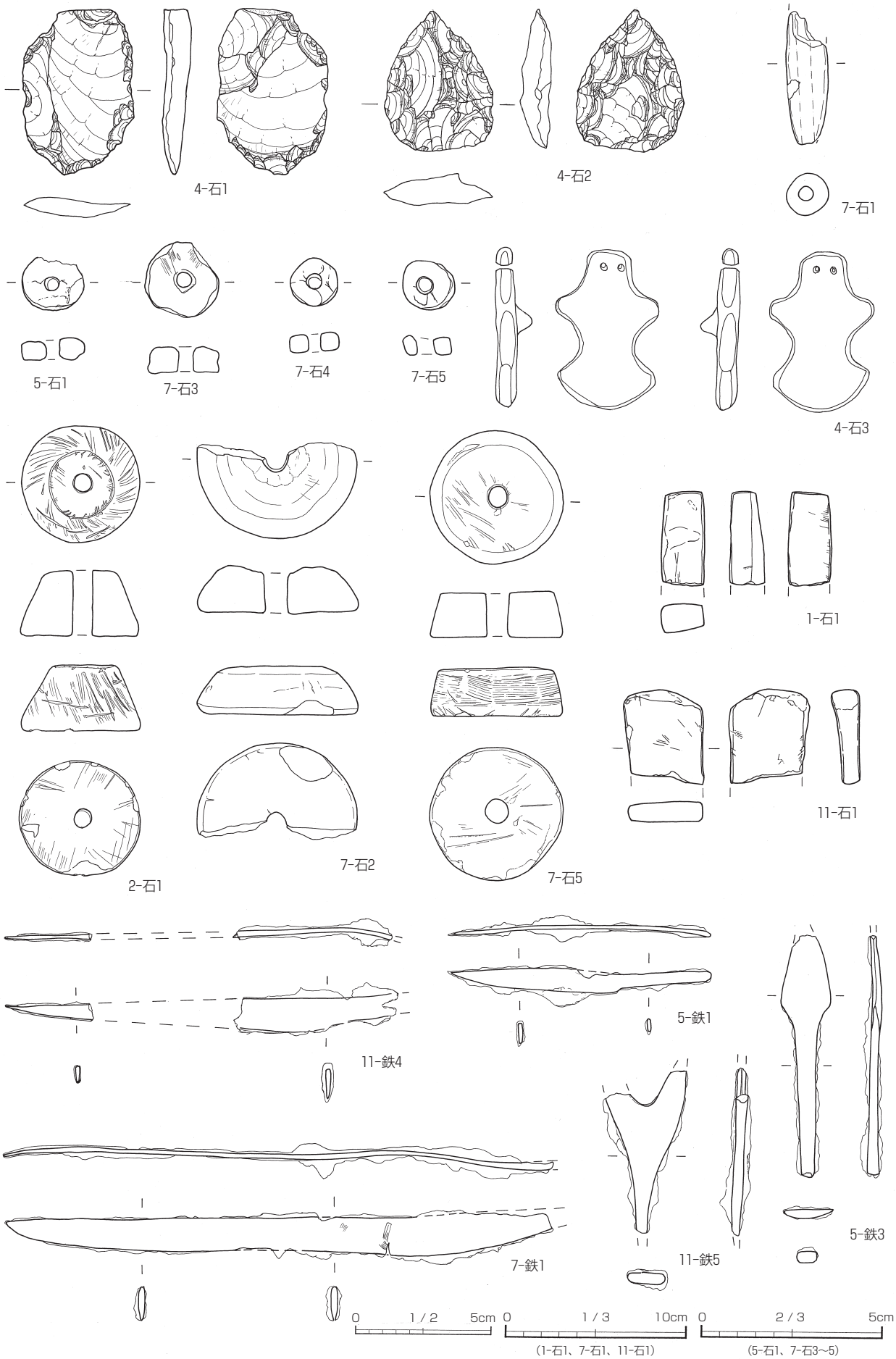



Fig.75　石器・石製品・土製品・鉄器・鉄製品(1)

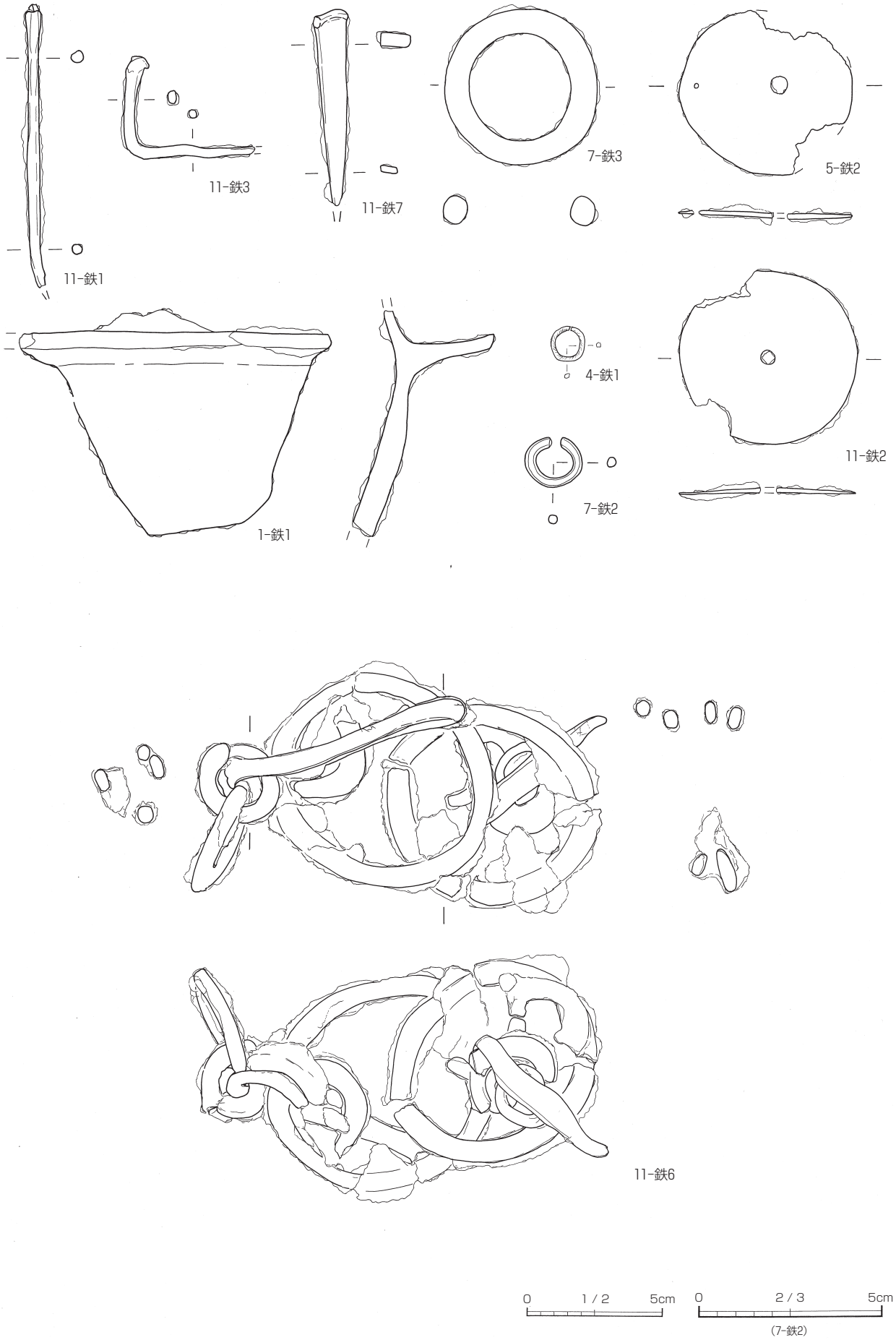



Fig.76　鉄器、鉄製品(2)

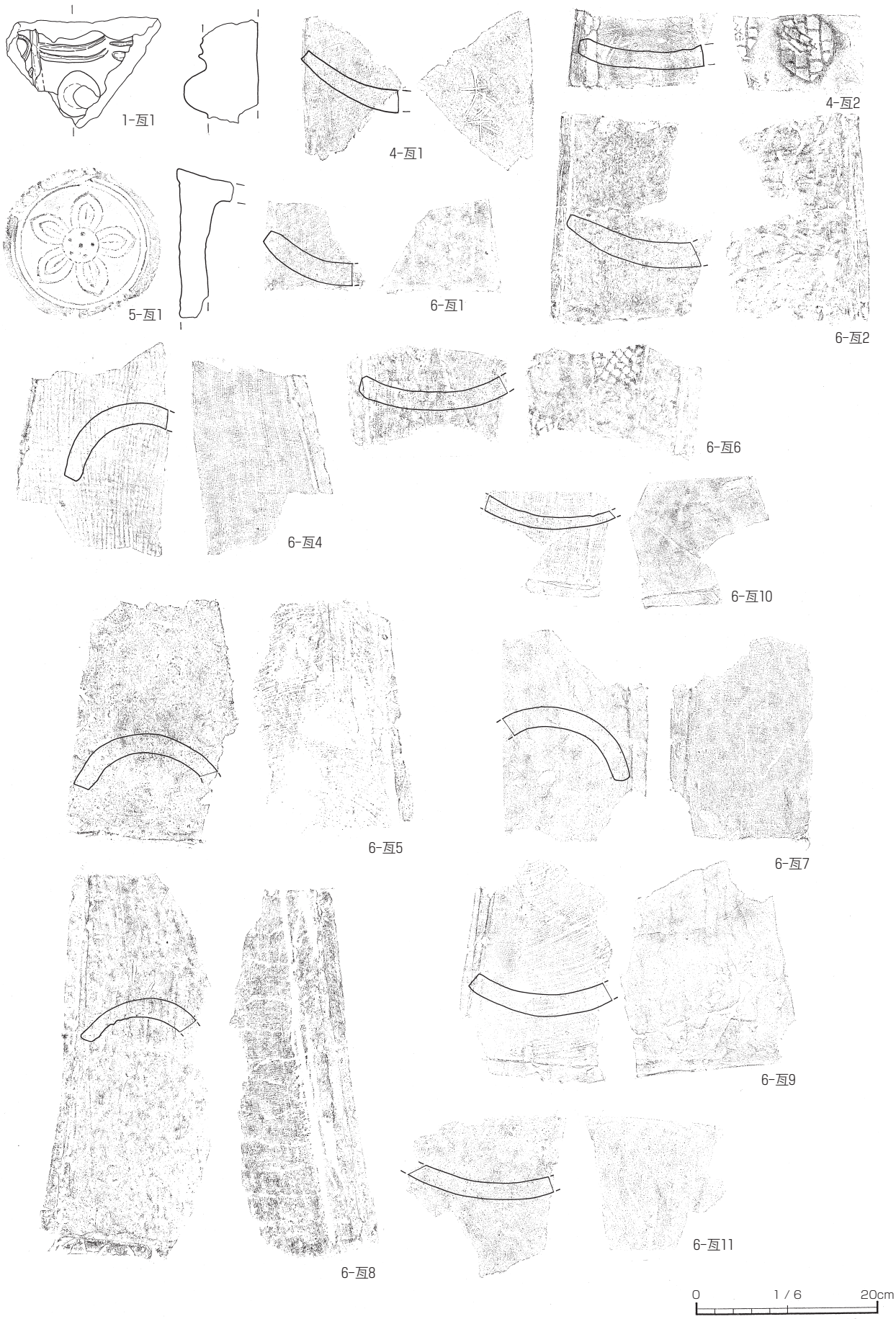

1-瓦1
4-瓦1
4-瓦2
5-瓦1
6-瓦1
6-瓦2
6-瓦4
6-瓦6
6-瓦10
6-瓦5
6-瓦7
6-瓦8
6-瓦9
6-瓦11
0
1/6
20cm

Fig.77　瓦(1)

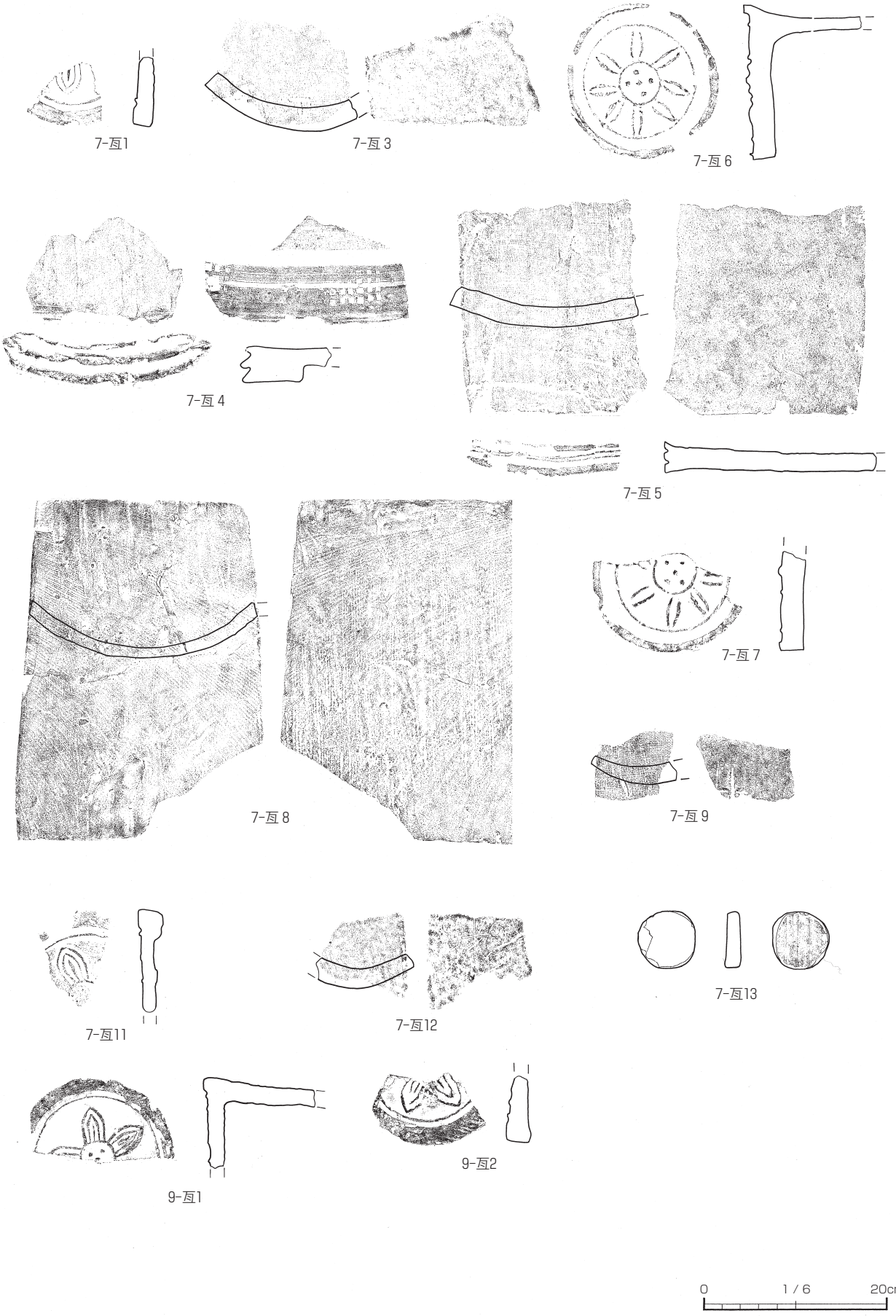



Fig.78　瓦(2)

1区　H－1号住居跡全景（東から）

1区　H－1号住居跡竈全景（西から）

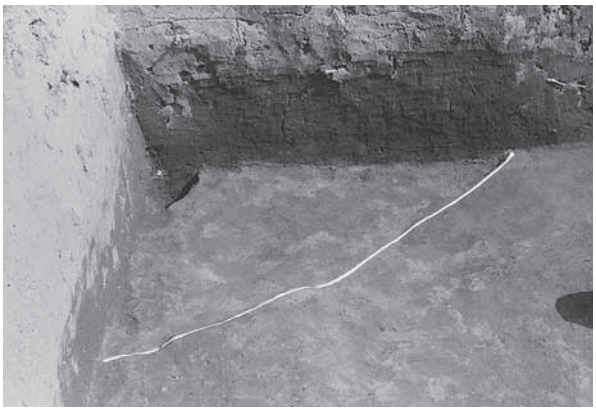
1区　H－1号住居跡竈前遺物出土状況（西から）

1区　H－2号住居跡全景（東から）

1区　H－2号住居跡竈全景（西から）

1区　H－3・7号住居跡全景（東から）

1区　H－7号住居跡竈全景（西から）



1区　H－5号住居跡全景（西から）

1区　H－4号住居跡全景（西から）

1区　H－4号住居跡竈全景（西から）

1区　H－6号住居跡全景（東から）

1区　H－6号住居跡竈全景（西から）

1区　W－2号溝跡全景（南東から）

1区　JD－1号縄文土坑全景（西から）

2区　H－1号住居跡全景（西から）

2区　H－1号住居跡竈全景（西から）

2区　H－2号住居跡全景（西から）

2区　H－2号住居跡紡錘車出土状況（真上から）

3区　全景（西から）

4区　J－1号住居跡出土状況（東から）

4区　J－1号住居跡土偶出土状況（北から）

4区　J－1号住居跡把手出土状況（西から）

4区　J－3号住居跡、JD－4号土坑全景（東から）

4区　H－1号住居跡出土状況（西から）

4区　H－1号住居跡北側遺物出土状況（西から）

4区　H－1号住居跡竈全景（西から）

4区　H－1号住居跡全景（南西から）

4区　H－2号住居跡竈全景（東から）

4区　H－3号住居跡、JD－3号土坑出土状況（南から）

4区　H－4号住居跡出土状況（西から）

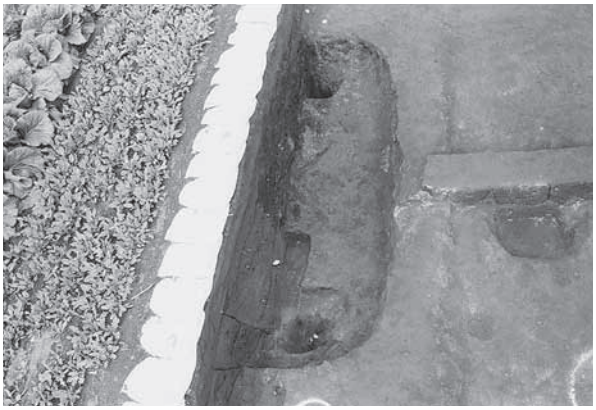
4区　H－4号住居跡竈付近遺物出土状況（西から）

4区　H－4号住居跡竈全景（西から）

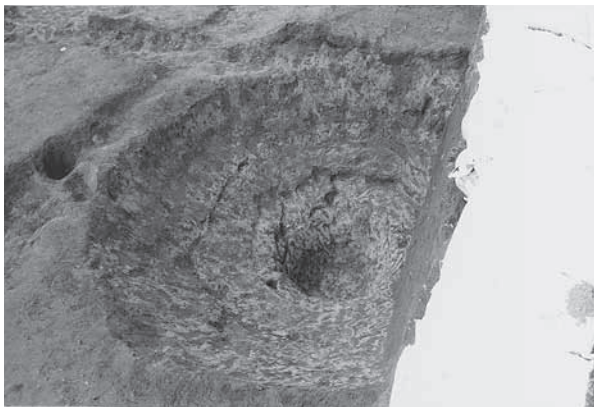
4区　H－4号住居跡全景（西から）

4区　H－5号住居跡竈全景（西から）

4区　H－5号住居跡、W－2号溝跡全景（西から）



4区　H－6号住居跡全景（南から）

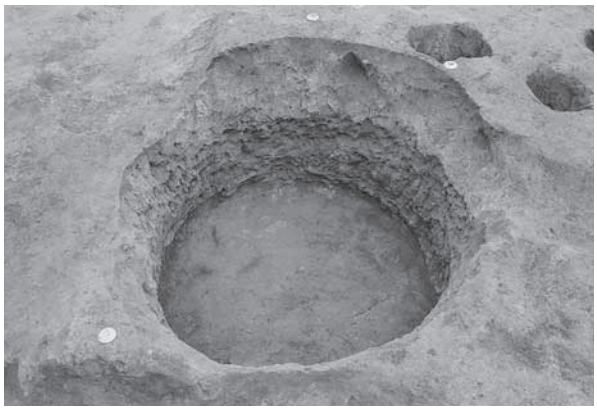


4区　D－4号土坑全景（南から）

4区　D－5号土坑全景（西から）

4区　JD－1号土坑出土状況（北から）

4区　JD－6号土坑出土状況（西から）



4区　ＪＤ－５号土坑全景（西から）

5区　Ｈ－１・２・６・７号住居跡全景（西から）

5区　Ｈ－１号住居跡緑釉陶器出土状況（西から）

5区　Ｈ－３・８・10号住居跡全景（西から）

5区　Ｈ－５号住居跡全景（南から）

5区　Ｈ－９号住居跡全景（南から）

5区　Ｈ－11号住居跡全景（西から）

5区　Ｗ－１・２号溝跡全景（西から）

6区　H－1号住居跡竈全景（西から）

6区　H－2号住居跡竈全景（西から）

6区　H－1・2号住居跡全景（西から）

6区　H－3号住居跡全景（西から）

6区　H－7号住居跡出土状況（南から）

6区　H－4号住居跡全景（西から）

6区　H－5号住居跡全景（西から）

6区　H－6号住居跡、D－1号土坑遺物出土状況（西から）

6区　H－6号住居跡貯蔵穴遺物出土状況（西から）

6区　H－6号住居跡竈全景（南から）

7区　H－1号住居跡全景（南から）

7区　H－2号住居跡全景（北から）

7区　H－4号住居跡全景（東から）

7区　H－4号住居跡竈全景（東から）

7区　H－5号住居跡全景（南から）

7区　H－6号住居跡全景（南から）

7区　H－7号住居跡全景（西から）

7区　H－7号住居跡竈全景（西から）

7区　H－9号住居跡全景（西から）

7区　H－9号住居跡竈全景（西から）

7区　H－9号住居跡埋設土器内状況（西から）

7区　H－9号住居跡埋設土器出土状況（西から）

7区　H－10号住居跡全景（西から）

7区　H－10号住居跡竈全景（西から）

7区　H－11号住居跡全景（西から）

7区　H－11号住居跡竈全景（西から）

7区　H－12号住居跡全景（北から）

7区　H－13号住居跡全景（北西から）

7区　H－13号住居跡竈全景（西から）

7区　H－15号住居跡全景（南から）

7区　H－16号住居跡全景（北から）

7区　H－18号住居跡全景（南から）

7区　H－17・19号住居跡全景（西から）

7区　H－19号住居跡金環出土状況（真上から）

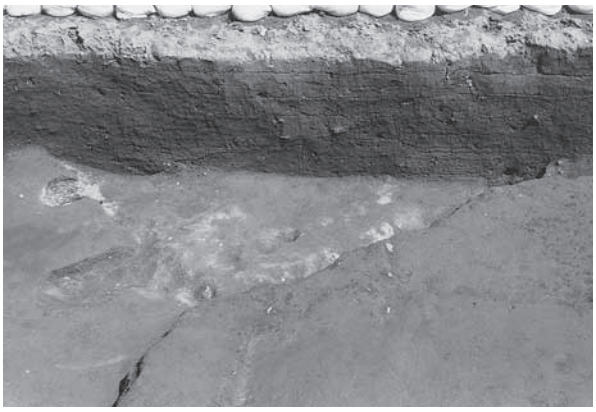
7区　H－20号住居跡全景（南から）

7区　H－21号住居跡全景（南から）

7区　H－22号住居跡全景（西から）

7区　H－22号住居跡南側竈全景（西から）

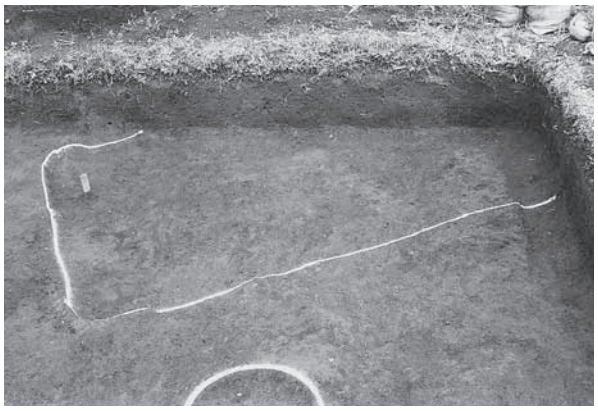
7区　H－22号住居跡北側竈全景（西から）



7区　H－23号住居跡全景（南から）

8区　H－1号住居跡、W－1号溝跡全景（西から）

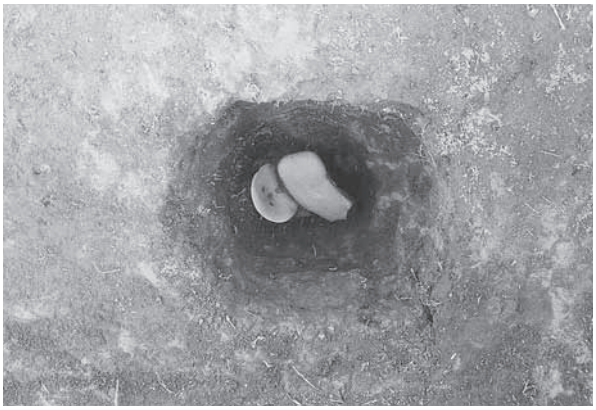
8区　H－1号住居跡竈全景（西から）



9区　H－1号住居跡全景（西から）

9区　H－3号住居跡全景（西から）

9区　H－4号住居跡全景（西から）



9区　H－5号住居跡$P_2$遺物出土状況（北から）

9区　H－7号住居跡全景（南から）

9区　T－1号竪穴状遺構全景（西から）

9区　W－2号溝跡全景（南から）

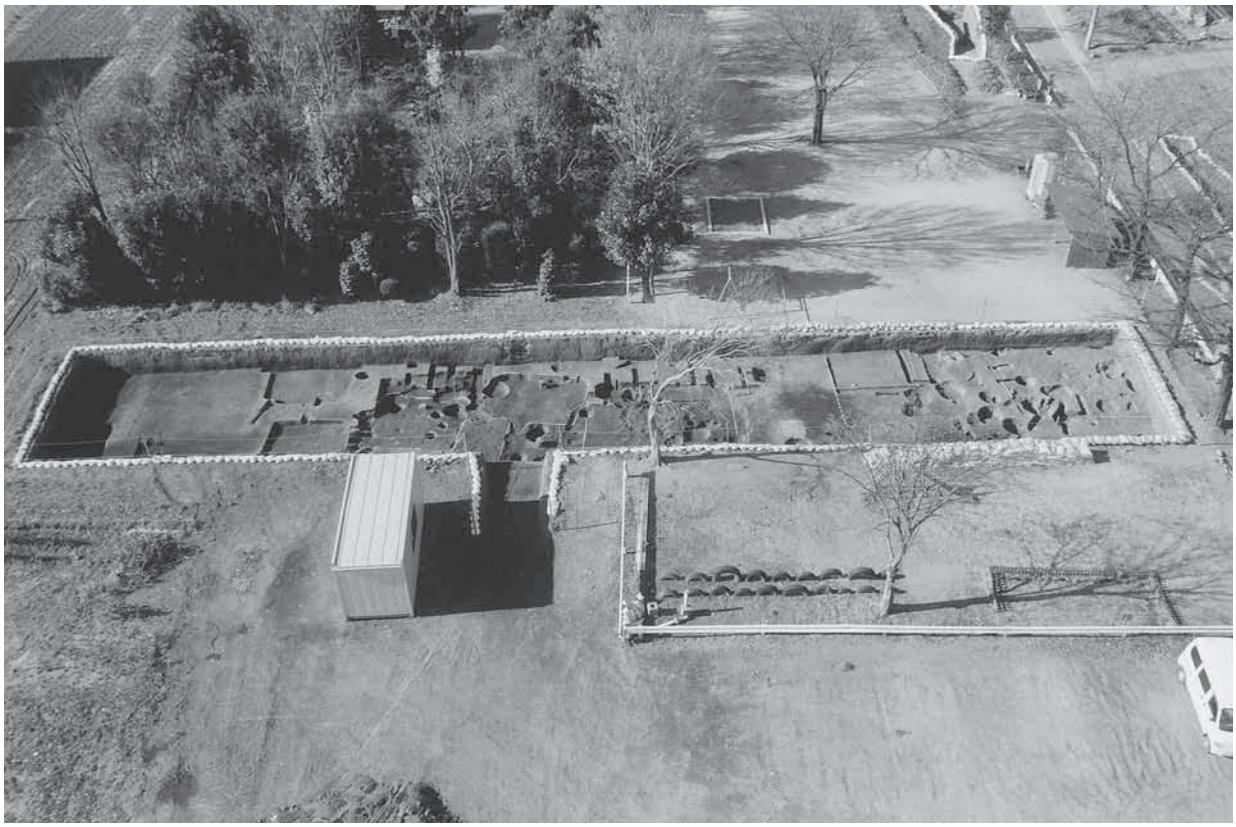
9区　A－2号道路状遺構、W－5号遺構全景（西から）

10区　Ｈ－１号住居跡竈全景（西から）

10区　Ｈ－１号住居跡全景（西から）

10区　Ｈ－２号住居跡竈全景（西から）

10区　Ｈ－２号住居跡全景（西から）



11区全景（東から）

11区　Ｈ－２号住居跡全景（西から）

11区　Ｈ－２号住居跡竈全景（西から）

11区　Ｈ－３号住居跡全景（北から）

11区　Ｈ－３号住居跡竈全景（西から）

11区　Ｈ－４号住居跡全景（西から）

11区　Ｈ－６号住居跡全景（東から）

11区　Ｈ－６号住居跡竈全景（西から）

11区　Ｈ－８・９・10号住居跡全景（西から）

11区　Ｈ－８号住居跡竈全景（西から）

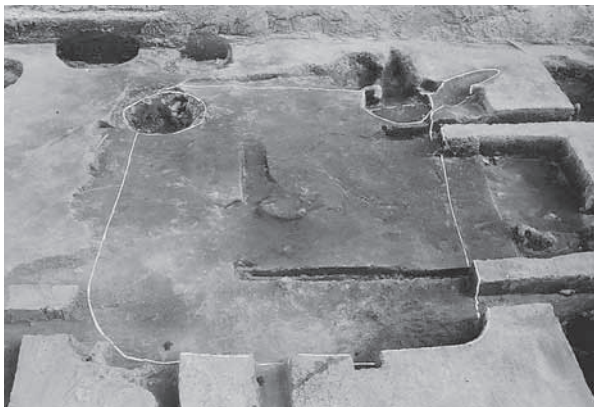
11区　Ｈ－９・10号住居跡竈全景（西から）

11区　Ｈ－11号住居跡全景（北から）

11区　Ｈ－11号住居跡竈全景（北から）

11区　Ｈ－12号住居跡全景（西から）

11区　Ｈ－16号住居跡全景（西から）



11区　Ｈ－18号住居跡全景（西から）

11区　Ｈ－18号住居跡竈全景（北から）

11区　H－12・18・20・21・22号住居跡全景（北から）

11区　K－1号工房跡全景（西から）

11区　D－27号土坑全景（南から）

11区　P－27号ピットカワラケ群出土状況（北から）

11区　P－15号ピット甕出土状況（西から）

4-縄3

4-縄2

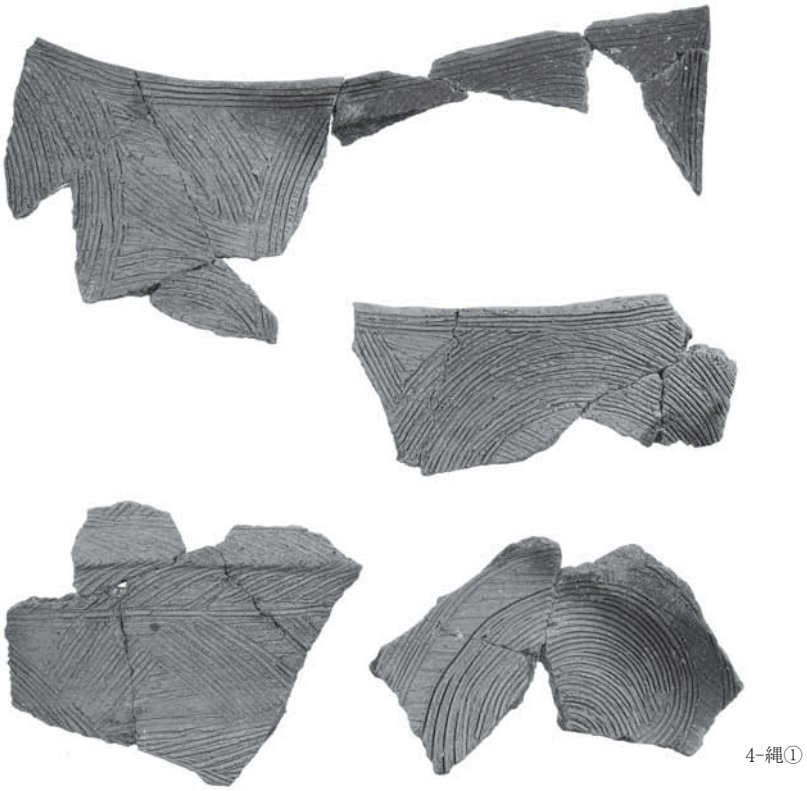
4-縄1

4-縄6

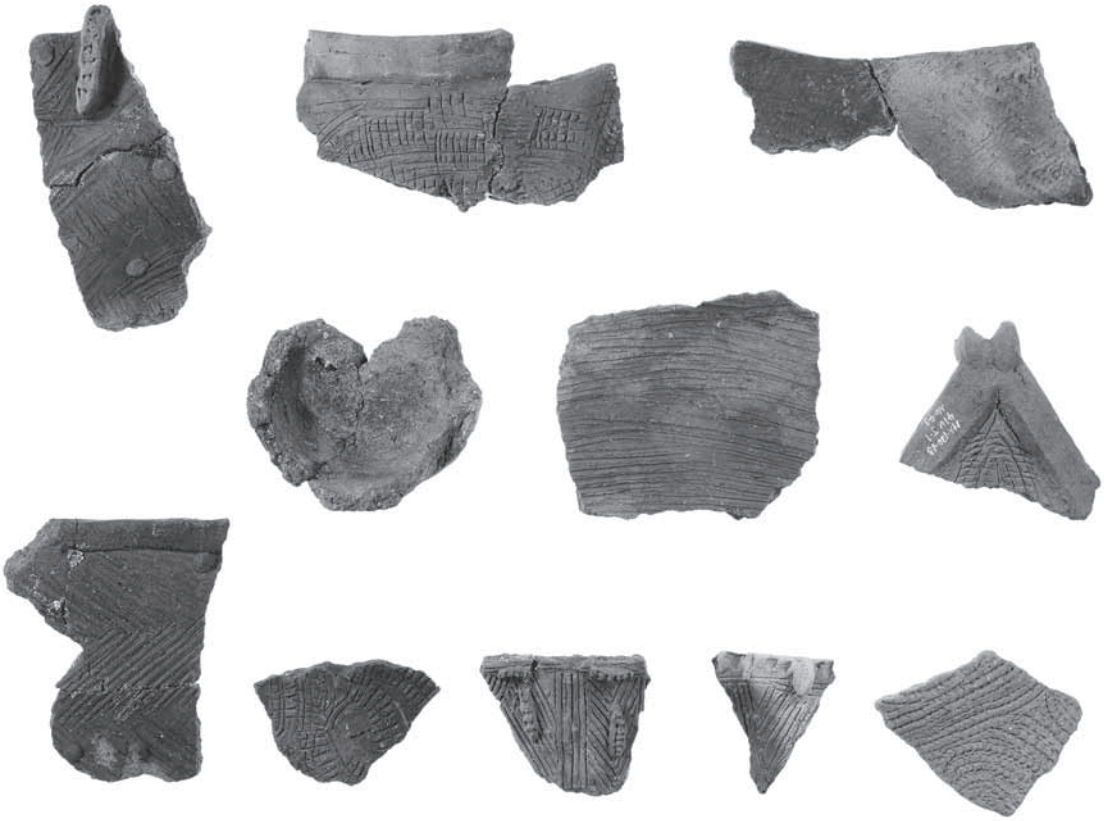
4-縄4

4-縄8

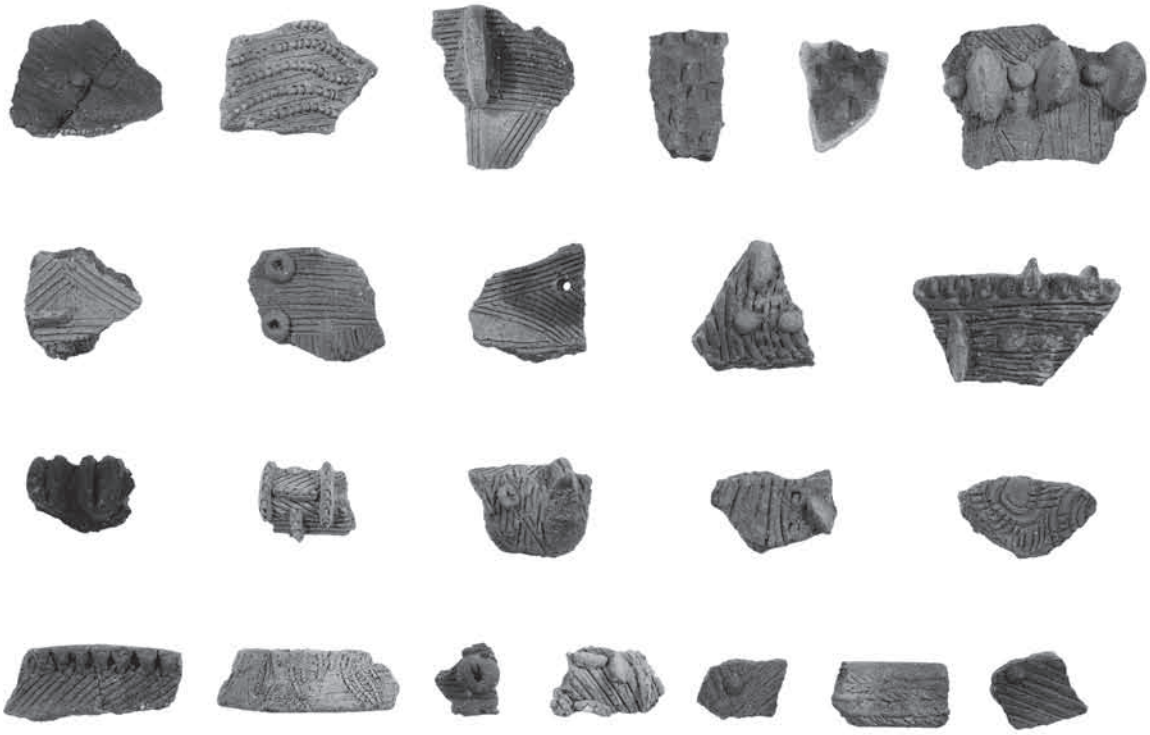
JD-1
4-縄50


4-縄①

縄文土器(1)



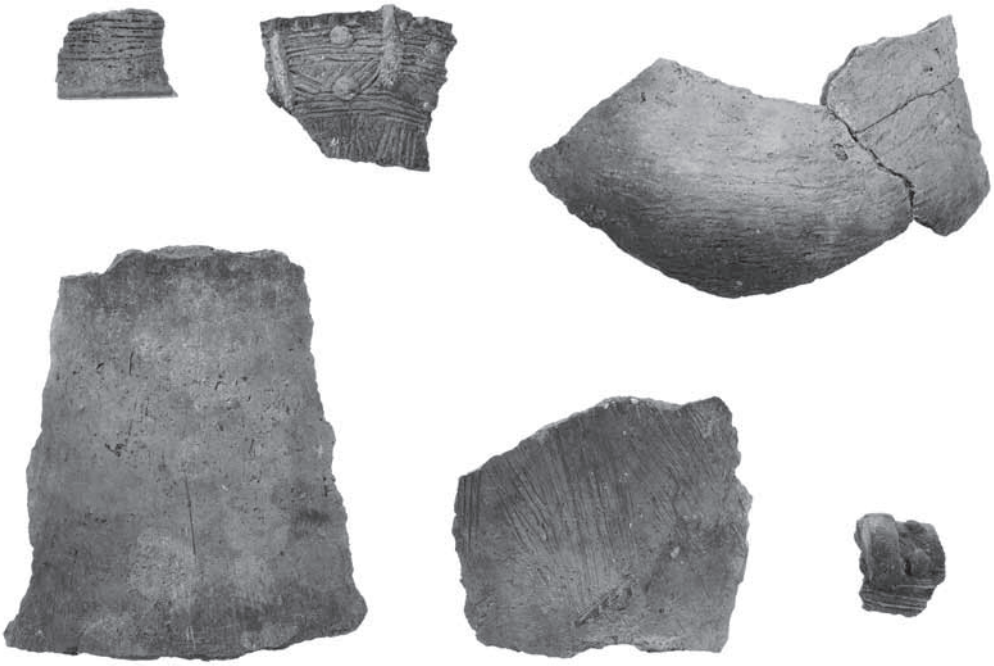
4-縄②



4-縄③

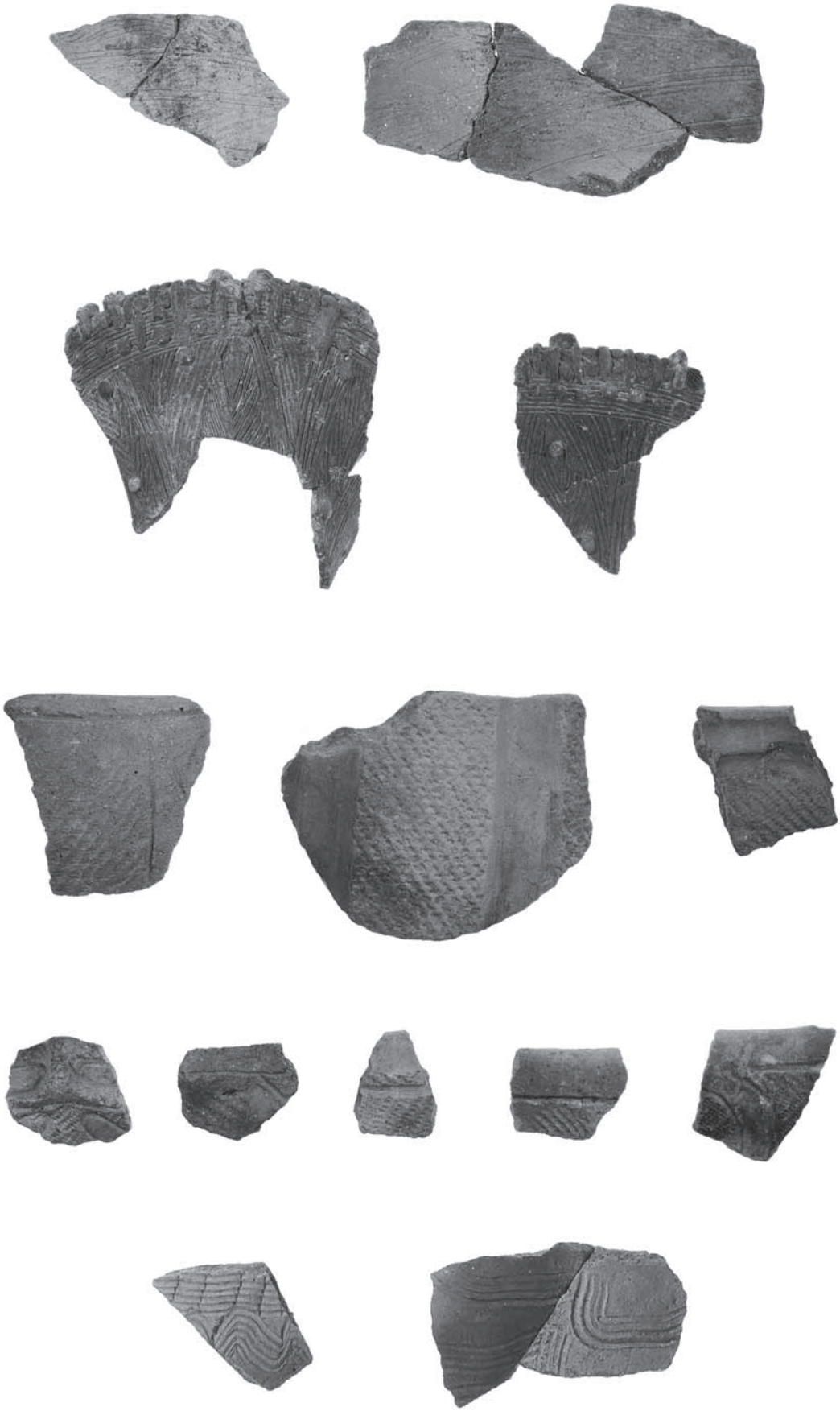
縄文土器(2)

4-縄④



4-縄⑤

縄文土器(3)



縄文土器(4)　弥生土器

PL.22

1-1

1-5

1-6

1-2

1-7

1-8

1-3

1-9

1-10

1-12

1-11

1-4

1-13

1-14

1-15

1-16

1-17

1-18

1-21

1-19

1-20

1-22

1-24

1-25

1-26

1-23

3-1

2-1

2-2

4-3

4-4

PL.24

4-1

4-5

4-6

4-7

4-9

4-10

4-12

4-13

4-14

4-15

4-16

4-19

4-20

4-21

5-3

5-2

5-1

5-5

5-4

5-6

5-10

5-7

5-8

5-9

5-11

5-17

5-12

5-13

5-15

5-14

5-16

6-1

6-6

6-2

6-8

6-11

6-12

6-14

6-15

PL.26

6-17

6-19

6-20

6-22

6-23

6-24

6-27

6-28

6-31

6-33

7-1

7-2

7-3

7-4

7-5

7-6

7-7

7-8

7-9

7-10

7-11

7-13

7-14

7-16

7-17

7-12

7-18

7-19

7-20

7-21

7-22

7-24

7-15

7-23

7-25

7-26

PL.28

7-27

7-28

7-29

7-30

7-31

7-32

7-34

7-35

7-36

7-33

7-37

7-40

7-38

7-39

7-41

7-42

8-3

8-1

9-2

8-2

9-1

9-3

9-4

9-5

9-6

9-7

9-8

9-9

9-10

9-11

9-12

10-1

10-2

10-4

11-1

11-2

11-4

11-5

PL.30

11-3

11-8

11-6

11-7

11-9

11-10

11-11

11-12

11-13

11-14

11-15

11-16

11-17

11-18

11-19

11-20

11-21

11-22

11-23

11-24

11-25

11-27

11-28

11-26

11-29

11-31

11-32

11-33

11-34

11-35

11-36

11-37

11-30

7-石4

7-石5

5-石1

7-石3

7-石1

4-石1

4-石2

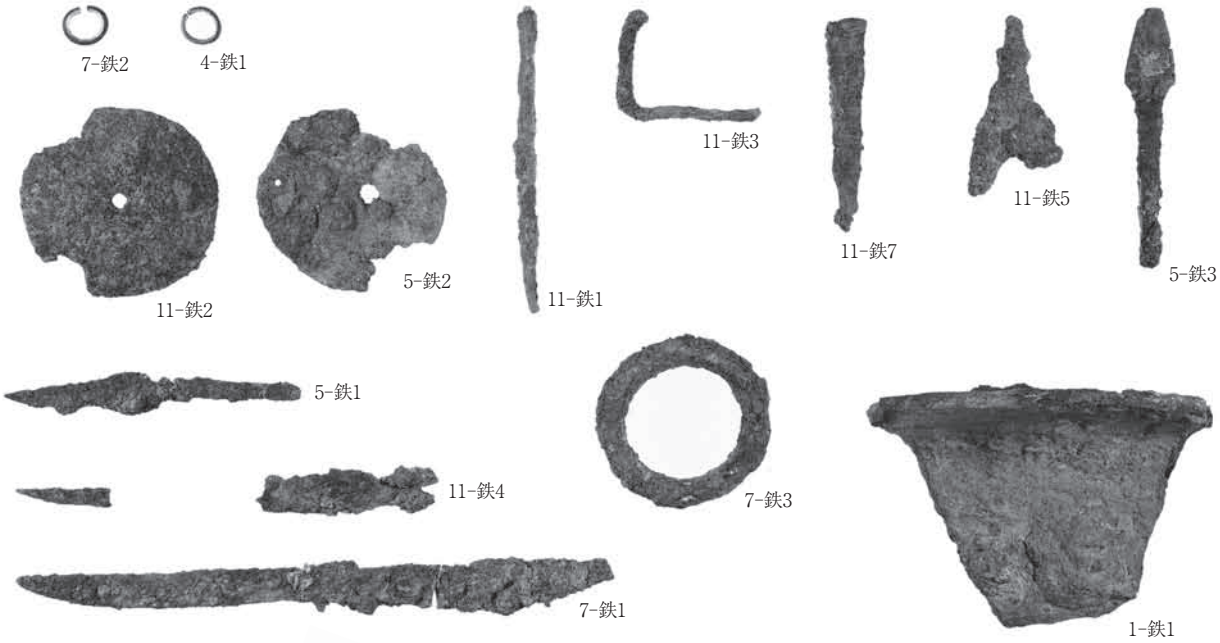
11-石1

1-石1

2-石1

7-石5

7-石2


7-鉄2
4-鉄1
11-鉄2
5-鉄2
11-鉄1
11-鉄3
11-鉄7
11-鉄5
5-鉄3
5-鉄1
11-鉄4
7-鉄3
7-鉄1
1-鉄1

11-鉄6

7-瓦13

1-瓦1

5-瓦1

7-瓦1

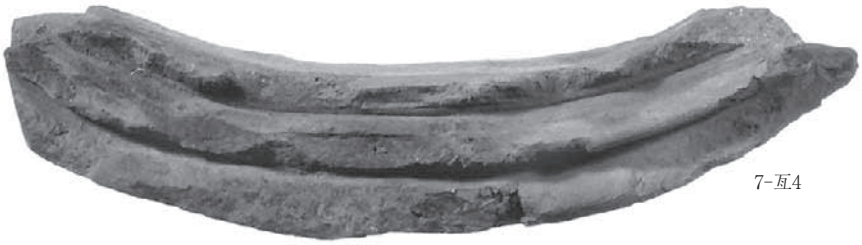
7-瓦11

7-瓦6

7-瓦7

9-瓦1

9-瓦2



7-瓦4

7-瓦5

7-瓦2

7-瓦10

7-互8

7-互3

7-互9

7-互12

# 抄　録

| | |
|---|---|
| フ　リ　ガ　ナ | モトソウジャオウミイセキグン(13) |
| 書　　名 | 元総社蒼海遺跡群(13) |
| 副　書　名 | 前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 |
| 編　著　者　名 | 阿久澤　真一・神宮　聡・清水　亮介 |
| 編　集　機　関 | 前橋市埋蔵文化財発掘調査団 |
| 編集機関所在地 | 〒371-0018　群馬県前橋市三俣町二丁目10-2 |
| 発 行 年 月 日 | 西暦2008年３月19日 |

| フリガナ<br>所収遺跡名 | フリガナ<br>所 在 地 | コード | | 位置 | | 調査期間 | 調査面積 | 調査原因 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 市町村 | 遺跡番号 | 北　緯 | 東　経 | | | |
| モトソウジャオウ ミ イ セキグン<br>元総社蒼海遺跡群<br>(13) | マエバシ シ モトソウジャ<br>前橋市元総社<br>マチ<br>町1564ほか | 10201 | 19A130<br>-13 | 36°23'26" | 139°01'59" | 20070516<br>～<br>20071221 | 約2,846㎡ | 前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業 |

| 所収遺跡名 | 種　別 | 主な時代 | 主 な 遺 構 | 主 な 遺 物 | 特記事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| 元総社蒼海遺跡群<br>(13) | 集落跡 | 縄文時代<br>古墳時代<br>奈良・平安時代<br><br><br>中世 | 竪穴住居跡４軒、土坑18基<br>竪穴住居跡21軒<br>竪穴住居跡68軒、<br>竪穴状遺構５軒、<br>工房跡１軒、溝跡12条<br>溝跡16条、土壙墓１基 | 縄文土器、土偶、石器<br>土師器、須恵器　他<br>土師器、須恵器、<br>三彩・緑釉陶器、<br>鉄製品、石製品、瓦 | |


元総社蒼海遺跡群(13)

2008年３月12日　印　　刷
2008年３月19日　発　　行
編集発行　前橋市埋蔵文化財発掘調査団
前橋市三俣町二丁目10-2
TEL 027-231-9531
印　　刷　日本特急印刷株式会社
前橋市下小出町二丁目9-25
TEL 027-233-2002